

浅 口 市
子育て支援に関するアンケート
調査結果報告書

平成 26 年（2014 年）2 月

浅 口 市

目 次

I 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査内容	1
3 調査設計	2
4 回収結果	2
5 留意点	2
II 調査対象者の基本属性	3
1 居住地域	3
2 居住小学校区	4
3 対象児童の年齢	5
4 調査票の回答者	5
III 就学前児童保護者調査の結果	6
1 子どもと家族の状況について	6
2 保護者の就労状況	9
3 幼稚園・保育所などの利用希望について	19
4 土曜・休日の保育所などの利用希望について	38
5 子どもの病気の際の対応について	43
6 子どもの一時預かり等の利用について	49
7 地域の子育て支援事業の利用状況	59
8 小学校就学後の放課後の過ごし方について	69
9 職場の両立支援制度について	76
10 子育て全般について	84
11 幼保一体化の考え方について	101
12 子育ての状況について	102

IV	小学生保護者調査の結果.....	104
1	子どもと家族の状況について.....	104
2	保護者の就労状況	107
3	子どもの病気の際の対応について.....	117
4	子どもの一時預かり等の利用について.....	124
5	子どもの放課後の過ごし方について.....	129
6	子育て全般について	141
7	子どものふだんの様子について.....	159
V	自由意見のまとめ（就学前児童）	165
VI	自由意見のまとめ（小学生）	178

I 調査概要

1 調査目的

「子ども・子育て支援新制度」の導入にあたって、市町村は「子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなっています。そこで、本市における教育・保育事業や子育て支援事業の利用状況や希望を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査内容

(1) 就学前児童調査

- ・基本属性
- ・子どもと家族の状況について
- ・保護者の就労状況
- ・幼稚園・保育所などの平日の利用状況
- ・土曜・休日の保育所などの利用希望について
- ・子どもの病気の際の対応について
- ・子どもの一時預かり等の利用について
- ・地域の子育て支援事業の利用状況
- ・小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ・職場の両立支援制度について
- ・子育て全般について
- ・幼保一体化の考え方について
- ・子育ての状況について
- ・自由意見

(2) 小学生調査

- ・基本属性
- ・子どもと家族の状況について
- ・保護者の就労状況
- ・子どもの病気の際の対応について
- ・子どもの一時預かり等の利用について
- ・子どもの放課後の過ごし方について
- ・子育て全般について
- ・子どものふだんの様子について
- ・自由意見

3 調査設計

対象者	平成 25 年 10 月 1 日現在、市内に在住する就学前児童（0～5 歳）および 小学校 1 年生から 6 年生の保護者
実施 方法	就学前児童のうち、市内保育園・幼稚園・小学校に通っているお子さんには園・ 学校を通じて配布・回収、その他のお子さんには郵送配布、郵送回収
実施 期間	平成 25 年 11 月 8 日（金）～平成 25 年 12 月 12 日（木）

4 回収結果

	配布数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	1,583 件	1,213 件	76.6%
小学生の保護者	1,790 件	1,651 件	92.2%
計	3,373 件	2,864 件	84.9%

※就学前児童・小学生ともに平成 25 年 12 月 12 日以降に返送があったものは集計に含まれていません。

5 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっています。

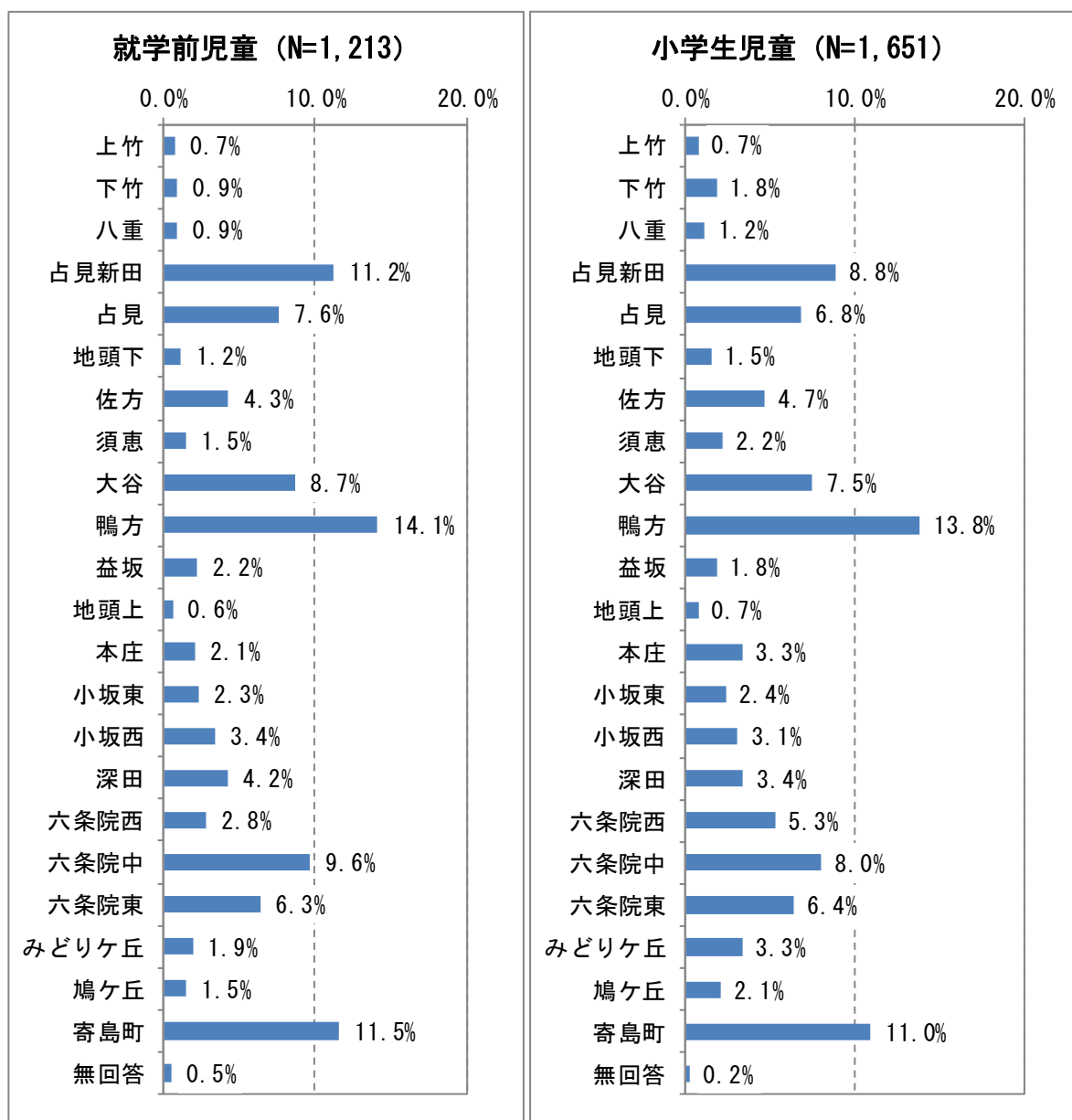
- (1) 回答は、各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。
小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0%を前後することがあります。
- (2) 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0%を超えることがあります。
- (3) 本文中のグラフや数表で、コンピュータの入力の都合上、回答選択肢の見出しを簡略化している場合があります。

Ⅱ 調査対象者の基本属性

1 居住地域

問1 お住まいの地域はどこですか。(○は1つ)

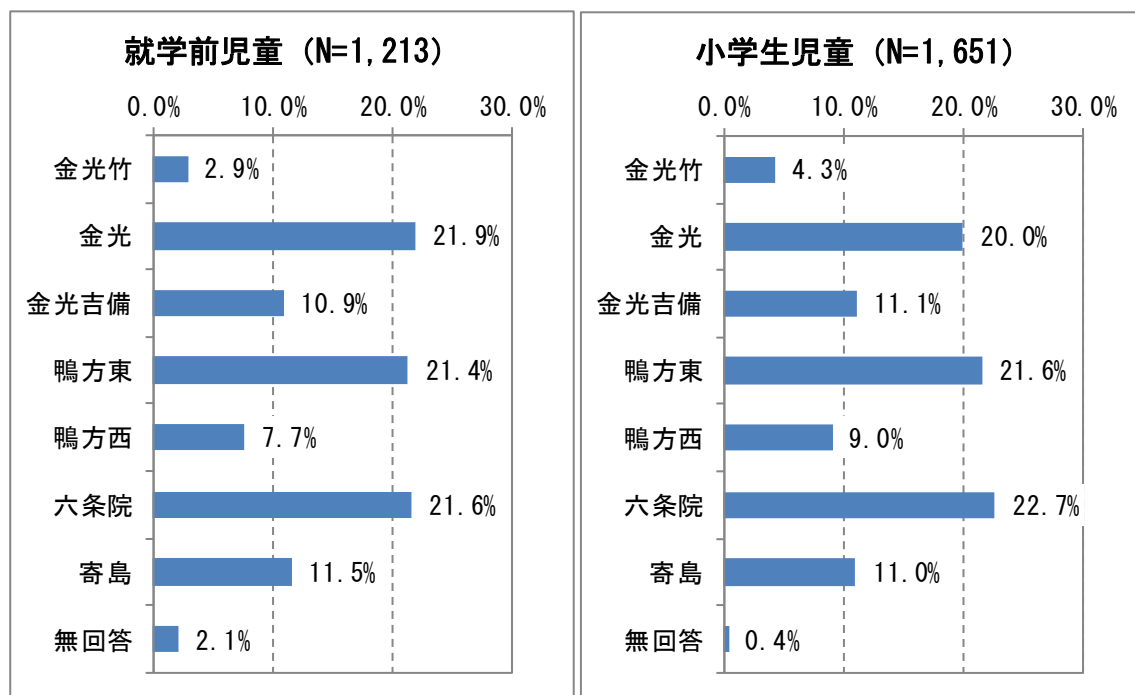
居住地域をみると、就学前児童では「鴨方」が14.1%と最も多く、次いで「寄島町」11.5%、「占見新田」11.2%の順となっている。小学生児童も就学前児童と同様に、「鴨方」が13.8%と最も多く、次いで「寄島町」11.0%、「占見新田」8.8%の順となっている。



2 居住小学校区

問2 お住まいの小学校区はどこですか。(〇は1つ)

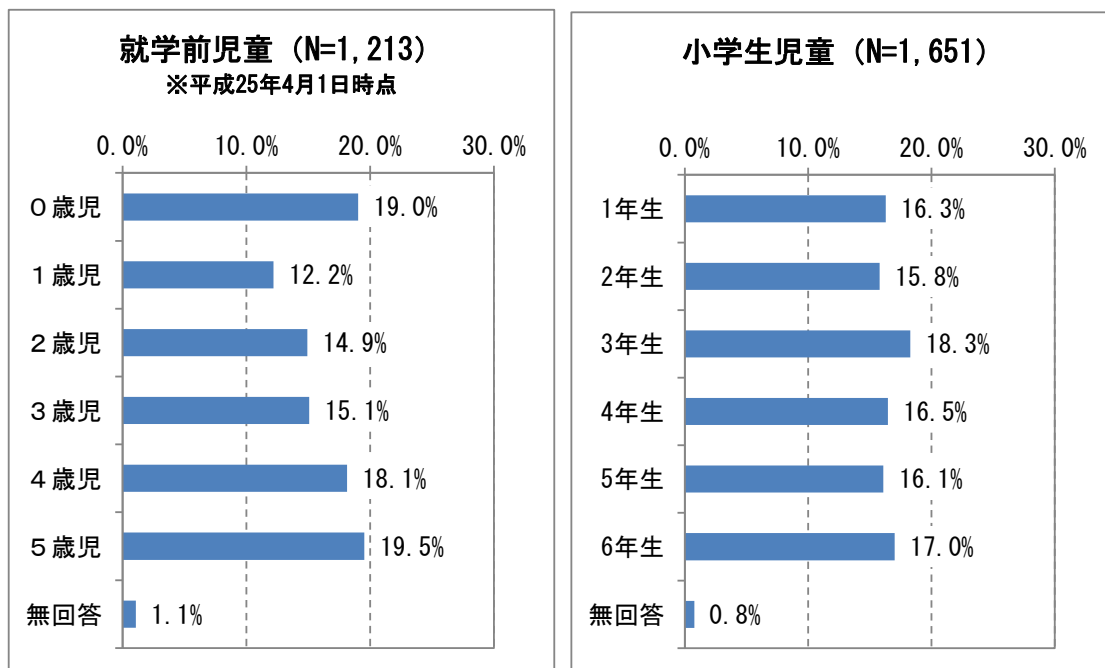
居住小学校区をみると、就学前児童では「金光」が21.9%と最も多く、次いで「六条院」21.6%、「鴨方東」21.4%の順となっている。小学生児童では、「六条院」が22.7%と最も多く、次いで「鴨方東」21.6%、「金光」20.0%の順となっている。



3 対象児童の年齢

問3 あて名のお子さんの生年月をご記入ください。

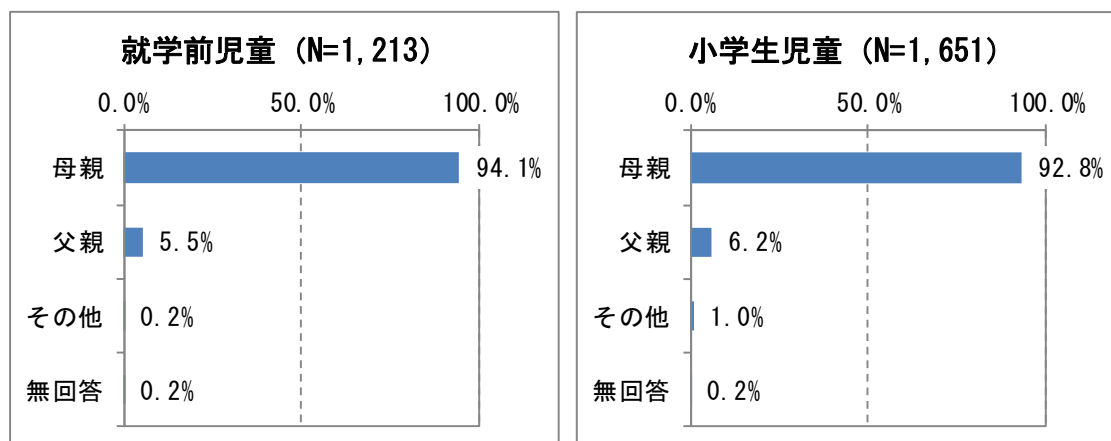
対象児童の年齢をみると、就学前児童では「5歳児」が19.5%と最も多く、次いで「0歳児」19.0%、「4歳児」18.1%の順となっている。小学生児童では、「3年生」が18.3%と最も多く、次いで「6年生」17.0%、「4年生」16.5%の順となっている。



4 調査票の回答者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

調査票の回答者をみると、就学前児童では「母親」が94.1%と最も多く、次いで「父親」5.5%の順となっている。小学生児童も就学前児童と同様に、「母親」が92.8%と最も多く、次いで「父親」6.2%の順となっている。その他では、「祖父」「祖母」の意見があった。



Ⅲ 就学前児童保護者調査の結果

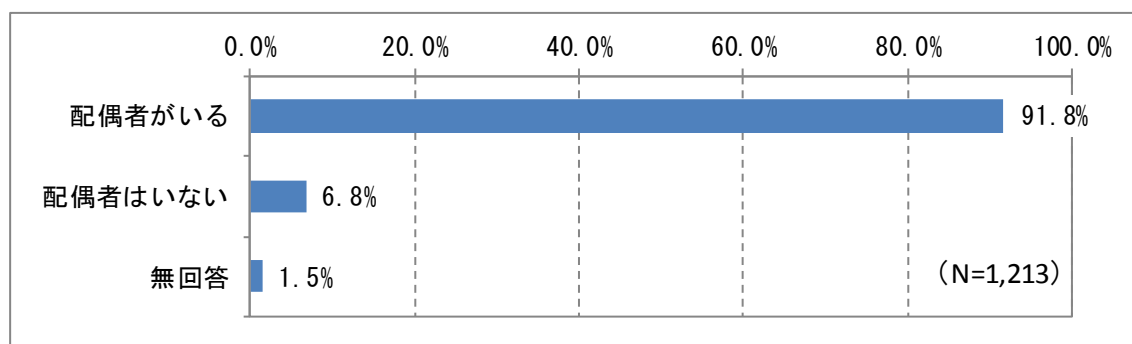
1 子どもと家族の状況について

(1) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(○は1つ)

回答者の配偶関係をみると、「配偶者がいる」が91.8%と最も多く、次いで「配偶者はいない」6.8%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、4歳児で「配偶者はいない」が10.0%と多くなっている。



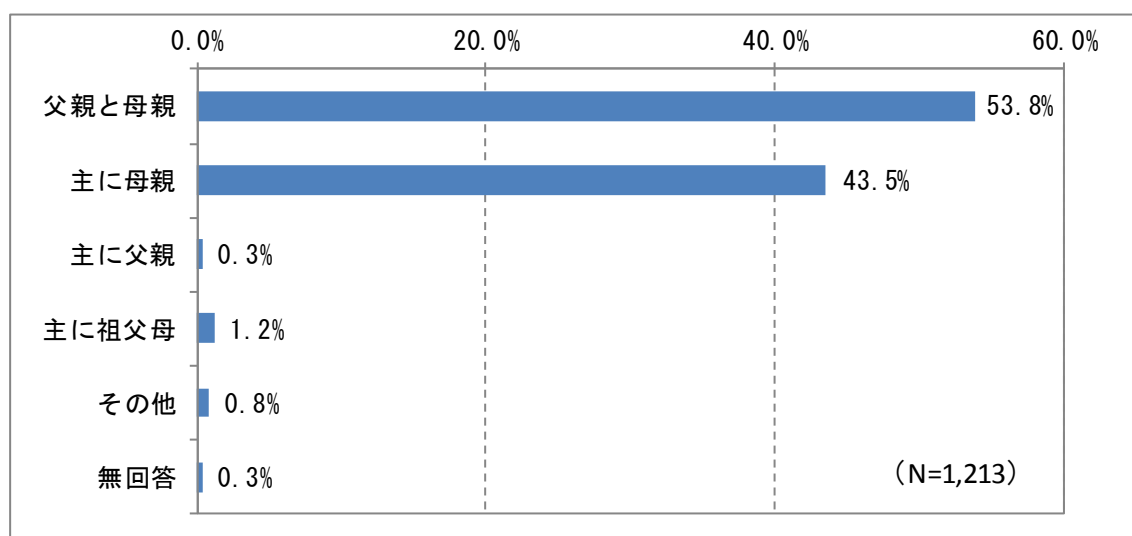
		全 体	配 偶 者 が い る	配 偶 者 は い ない	無 回 答
全体	上段／実数	1,213	1,113	82	18
	下段／%	100.0	91.8	6.8	1.5
子 ど も の 年 齢	0歳児	231	219	9	3
		100.0	94.8	3.9	1.3
	1歳児	148	140	6	2
		100.0	94.6	4.1	1.4
	2歳児	181	166	13	2
		100.0	91.7	7.2	1.1
	3歳児	183	165	16	2
		100.0	90.2	8.7	1.1
	4歳児	220	194	22	4
		100.0	88.2	10.0	1.8
	5歳児	237	221	16	—
		100.0	93.2	6.8	—

(2) 子育ての主体者

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

子育ての主体者をみると、「父親と母親」が53.8%と最も多く、次いで「主に母親」43.5%「主に祖父母」1.2%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、4・5歳児で「父親と母親」の割合が6割に近く、他の年齢よりもわずかに多くなっている。その他では、「祖父」「祖母」「仕事中は祖父母」「両親と祖父母」などの意見があった。



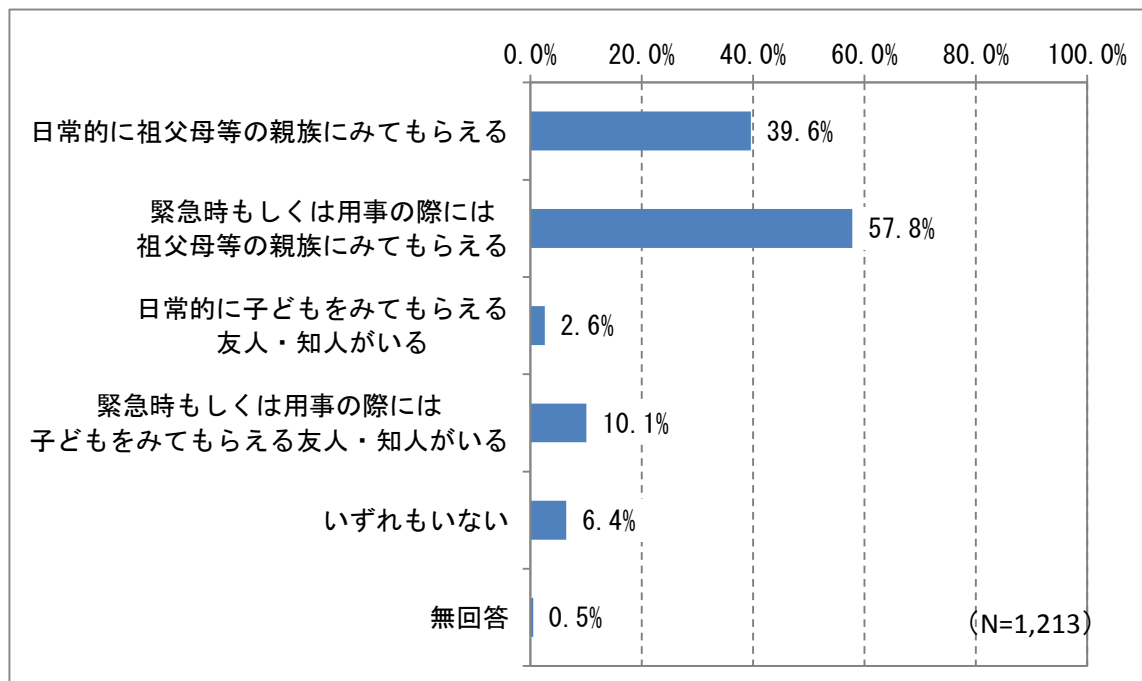
	全 体	父 親 と 母 親	主 に 母 親	主 に 父 親	主 に 祖 父 母	そ の 他	無 回 答
全体 上段／実数	1,213	653	528	4	14	10	4
下段／%	100.0	53.8	43.5	0.3	1.2	0.8	0.3
子 ど も の 年 齢	0歳児	231	126	102	-	1	1
		100.0	54.5	44.2	-	0.4	0.4
	1歳児	148	78	66	-	2	-
		100.0	52.7	44.6	-	1.4	-
	2歳児	181	88	89	1	2	-
		100.0	48.6	49.2	0.6	1.1	-
	3歳児	183	96	84	1	1	-
		100.0	52.5	45.9	0.5	0.5	-
	4歳児	220	127	87	1	2	-
		100.0	57.7	39.5	0.5	0.9	-
	5歳児	237	132	97	1	5	-
		100.0	55.7	40.9	0.4	2.1	-

(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母の親族にみてもらえる」が57.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」39.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」10.1%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、「祖父母等の親族にみてもらえる（緊急時含む）」は年齢で大きな差はないものの、「みてもらえる友人・知人がいる（緊急時含む）」の場合は年齢が高くなるにつれて増加傾向がみられる。



	全 体	に日 常的 に祖 父等 の親 族	に緊 急時 も祖 父等 の親 族に み え る	に日 常的 に友 人・ 知 人 を み て る	に緊 急時 も友 人・ 知 人 を み て る	い ず れ も い な い	無 回 答
全体 上段／実数	1,213	480	701	31	122	78	6
下段／MA%	100.0	39.6	57.8	2.6	10.1	6.4	0.5
子どもの年齢							
0歳児	231	94	134	2	12	19	1
	100.0	40.7	58.0	0.9	5.2	8.2	0.4
1歳児	148	56	86	2	13	8	1
	100.0	37.8	58.1	1.4	8.8	5.4	0.7
2歳児	181	61	118	6	17	15	1
	100.0	33.7	65.2	3.3	9.4	8.3	0.6
3歳児	183	75	105	7	21	9	-
	100.0	41.0	57.4	3.8	11.5	4.9	-
4歳児	220	86	127	5	19	12	-
	100.0	39.1	57.7	2.3	8.6	5.5	-
5歳児	237	106	125	9	38	14	-
	100.0	44.7	52.7	3.8	16.0	5.9	-

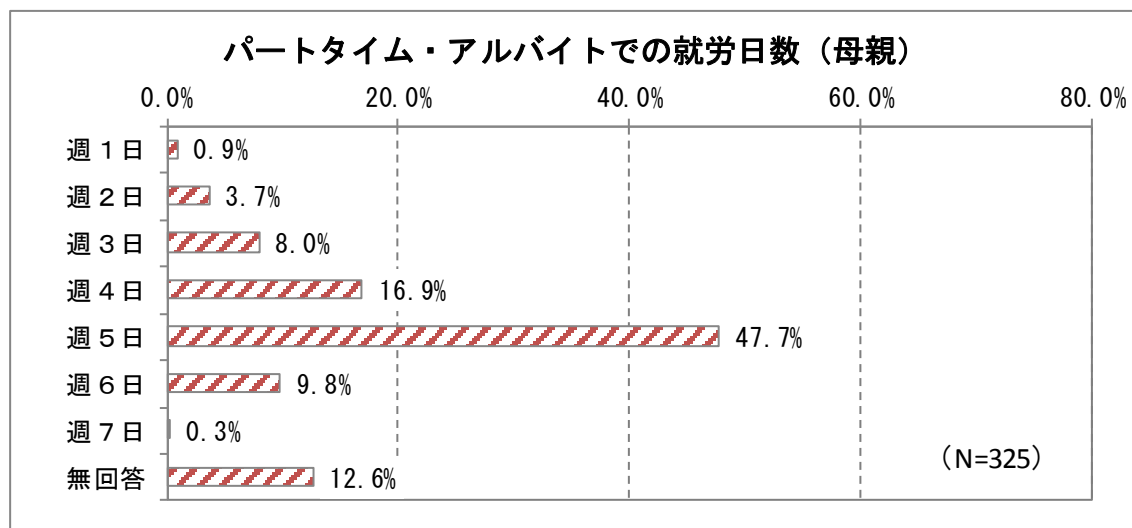
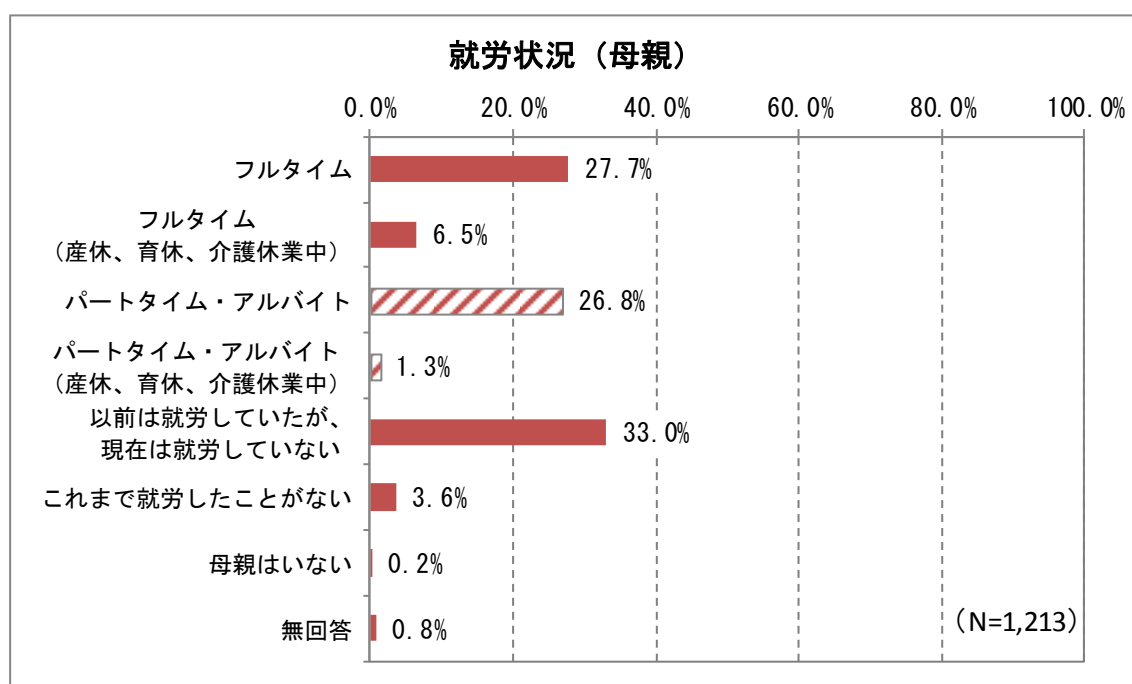
2 保護者の就労状況

(1) 父母の就労状況

問8 母親の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、おうかがいします。
母親の就労状況は次のどれですか。（○は1つ）

母親の就労状況をみると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が33.0%と最も多く、次いで「フルタイム」27.7%、「パートタイム・アルバイト」26.8%の順となっている。「パートタイム・アルバイト」と回答した人の就労日数では、「週5日」が47.7%と最も多く、次いで「週4日」16.9%、「無回答」12.6%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、子どもの年齢が高くなるにつれ、フルタイム、パートタイム・アルバイトといったなんらかの形で就労している割合が増加傾向にある。

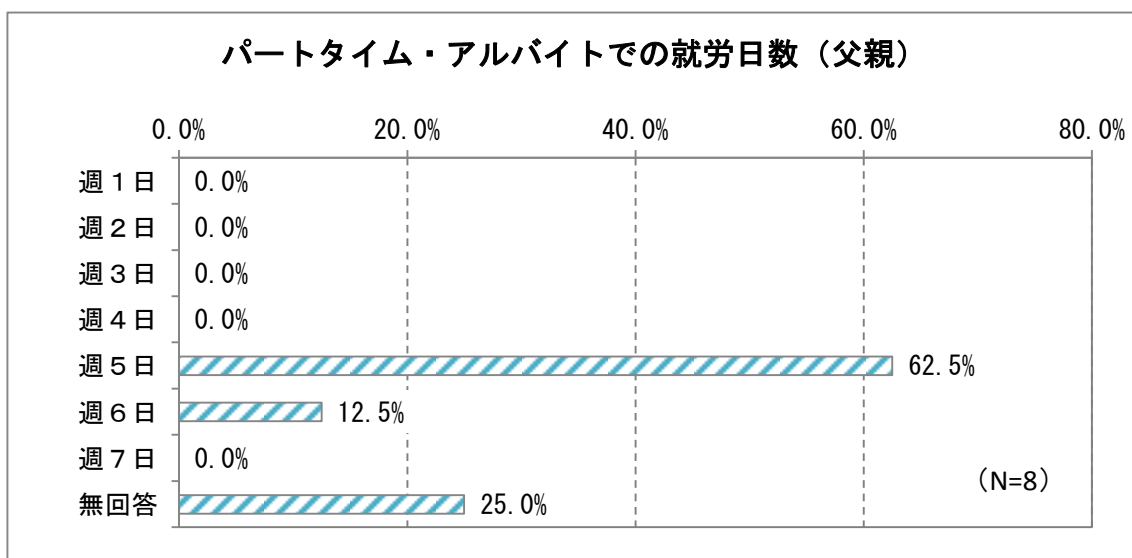
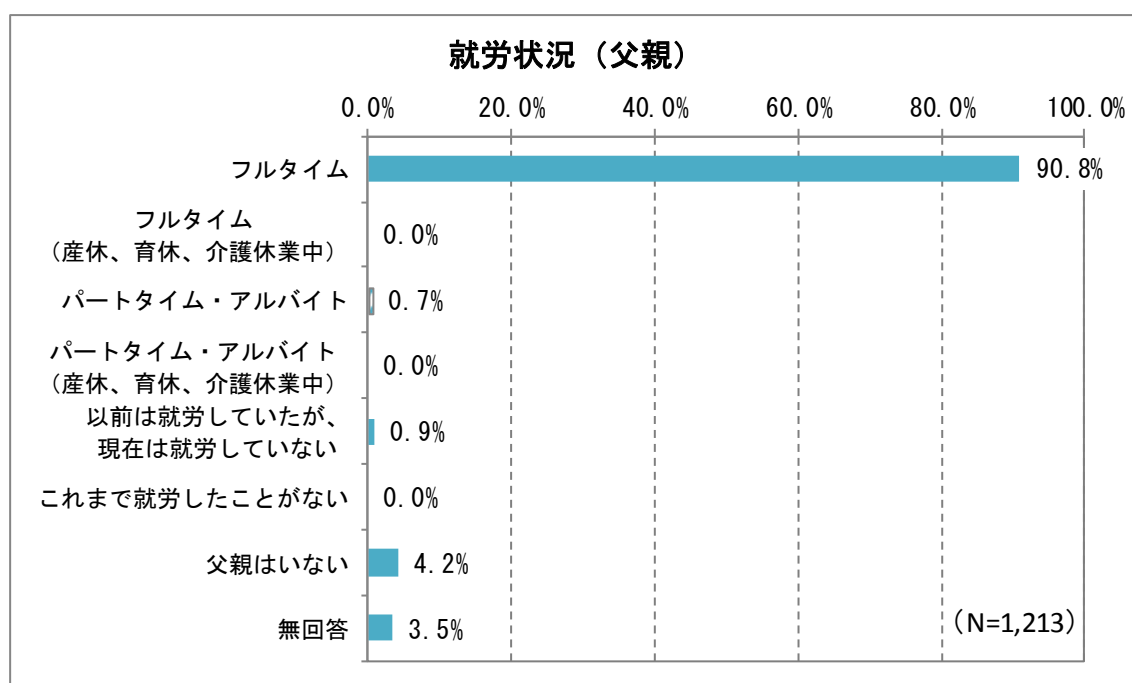


		全 体	フル タイム	フルタイム（産休、育休、介護 休業中）	パートタイム・アルバイト	パートタイム・アルバイト（産 休、育休、介護休業中）	以前は就労していたが、現在は 就労していない	これまで就労したことがない	母親はいない	無回 答
全体 上段／実数		1,213	336	79	325	16	400	44	3	10
下段／％		100.0	27.7	6.5	26.8	1.3	33.0	3.6	0.2	0.8
子 ど も の 年 齢	0歳児	231	41	46	37	6	96	5	－	－
		100.0	17.7	19.9	16.0	2.6	41.6	2.2	－	－
	1歳児	148	45	10	24	2	60	7	－	－
		100.0	30.4	6.8	16.2	1.4	40.5	4.7	－	－
	2歳児	181	49	5	48	5	66	7	－	1
		100.0	27.1	2.8	26.5	2.8	36.5	3.9	－	0.6
	3歳児	183	52	6	60	2	56	5	1	1
		100.0	28.4	3.3	32.8	1.1	30.6	2.7	0.5	0.5
	4歳児	220	75	8	69	1	55	9	1	2
		100.0	34.1	3.6	31.4	0.5	25.0	4.1	0.5	0.9
	5歳児	237	70	3	84	－	67	10	1	2
		100.0	29.5	1.3	35.4	－	28.3	4.2	0.4	0.8

問9 父親の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、おうかがいします。
父親の就労状況は次のどれですか。（○は1つ）

父親の就労状況をみると、「フルタイム」が90.8%と最も多く、次いで「父親はいない」4.2%、「無回答」3.5%の順となっている。

「パートタイム・アルバイト」と回答した人の就労日数では、「週5日」が62.5%と最も多く、次いで「無回答」25.0%、「週6日」12.5%の順となっている。



(2) 父母の就労時間

問8で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。

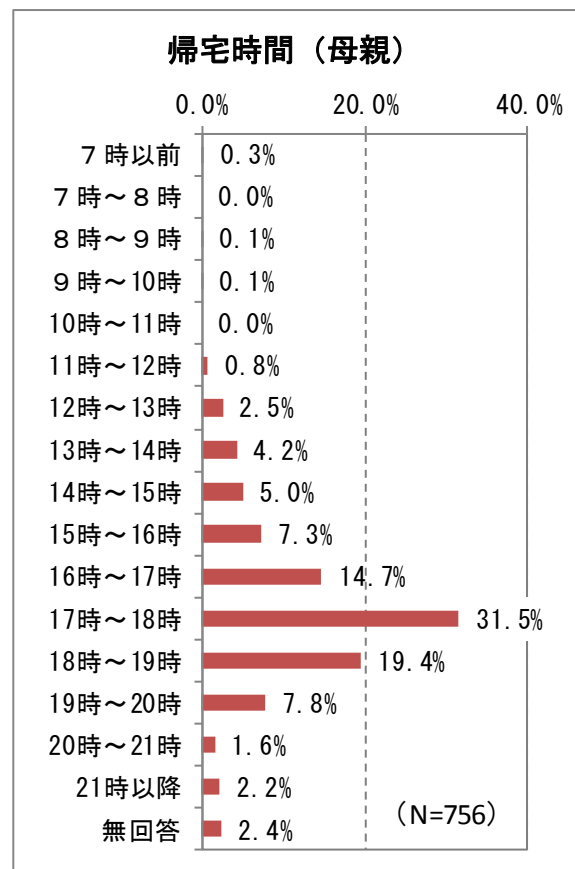
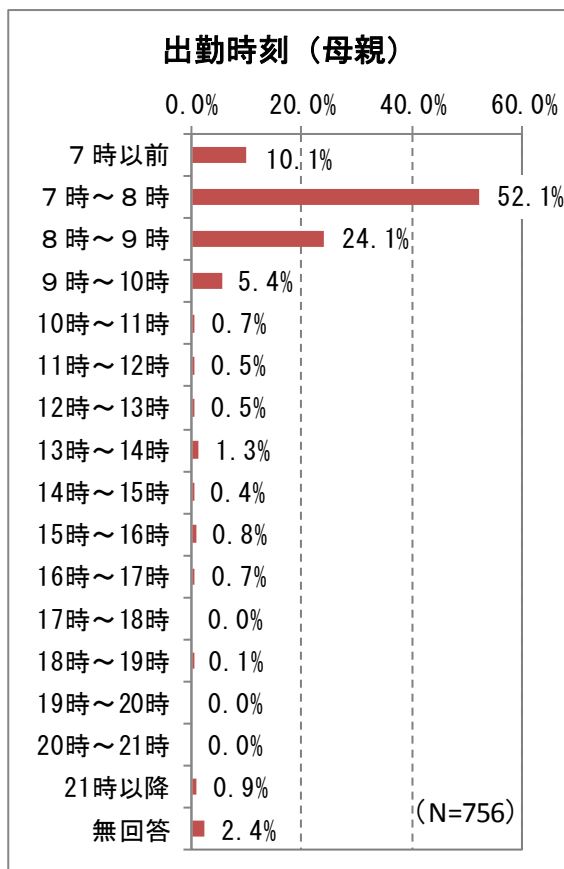
問8－1 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

問9で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。

問9－1 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

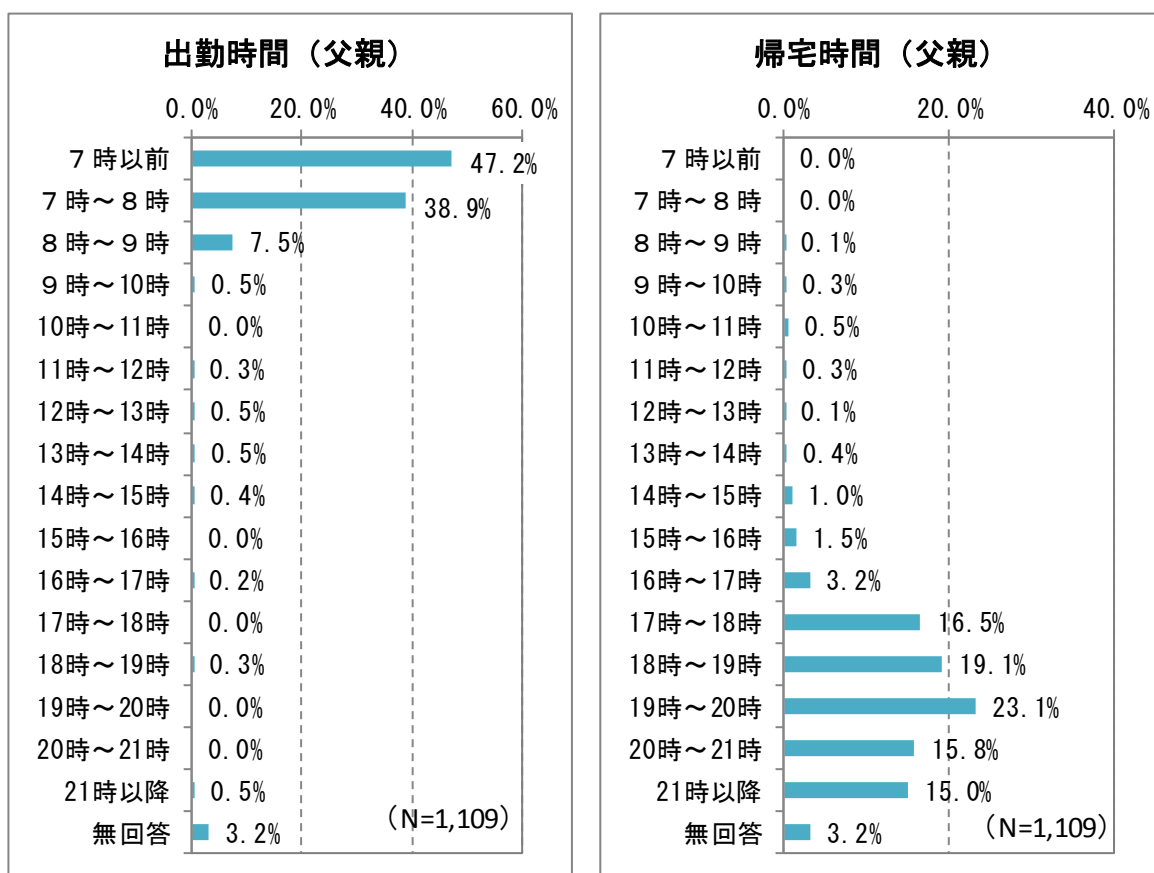
母親の就労時間をみると、出勤時刻では「7時～8時」が52.1%と最も多く、次いで「8時～9時」24.1%、「7時以前」10.1%の順となっている。

帰宅時刻では「17時～18時」が31.5%と最も多く、次いで「18時～19時」19.4%、「16時～17時」14.7%の順となっている。



父親の就労時間をみると、出勤時刻では「7時以前」が47.2%と最も多く、次いで「7時～8時」38.9%、「8時～9時」7.5%の順となっている。

帰宅時刻では「19時～20時」が23.1%と最も多く、次いで「18時～19時」19.1%、「17時～18時」16.5%の順となっている。



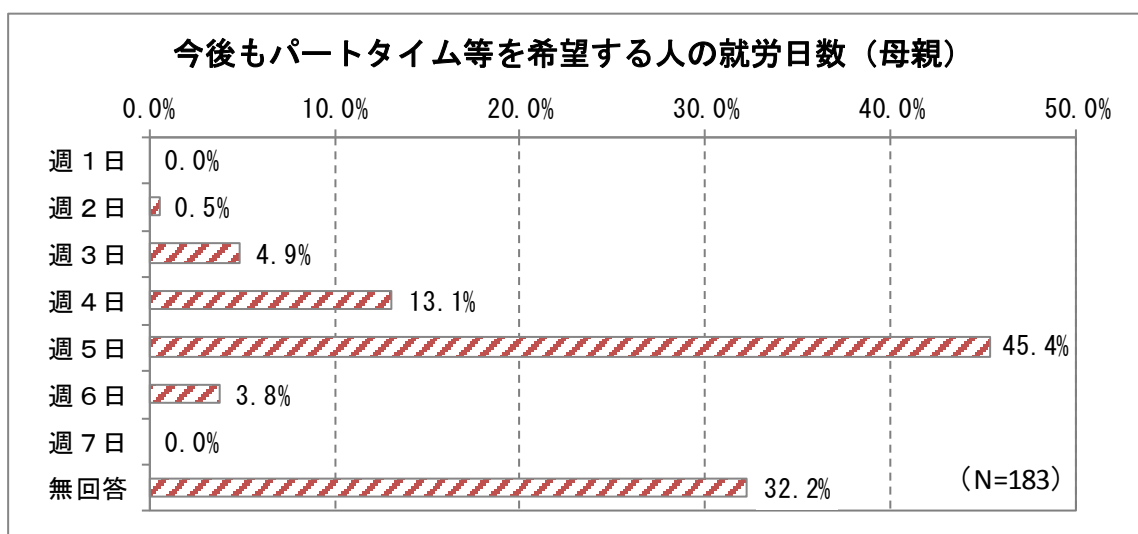
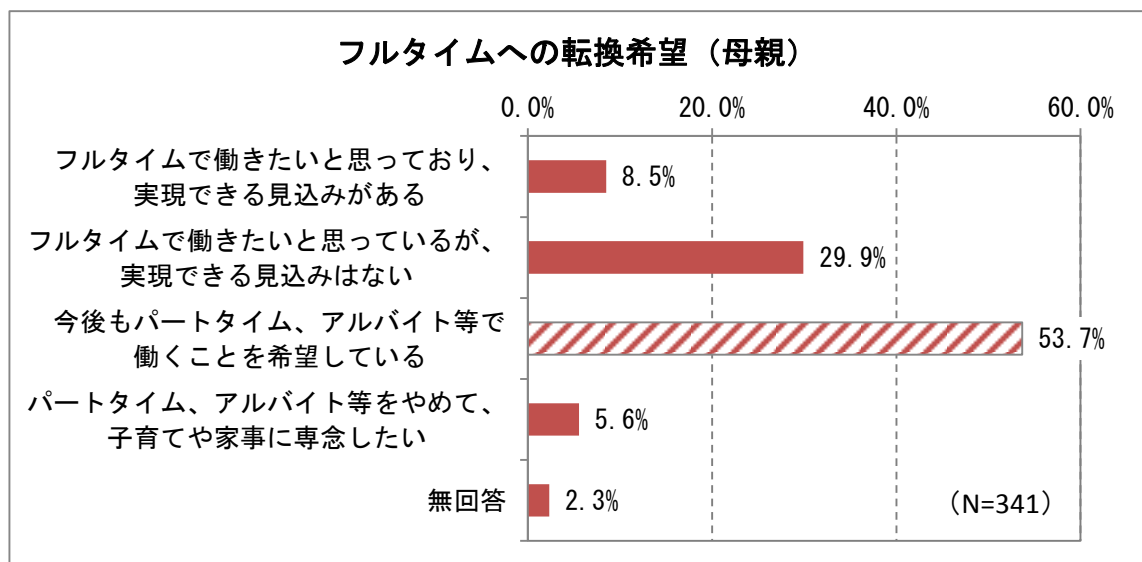
(3) フルタイムへの転換希望

問8で「3.」「4.」（パートタイム、アルバイト等で就労）に○をつけた方におうかがいします。

問8-2 フルタイムで働きたいと思いますか。（○は1つ）

フルタイムへの転換希望をみると、「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」が53.7%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」29.9%、「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」8.5%の順となっている。

「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」と回答した人の就労日数では、「週5日」が45.4%と最も多く、次いで「無回答」32.2%、「週4日」13.1%の順となっている。

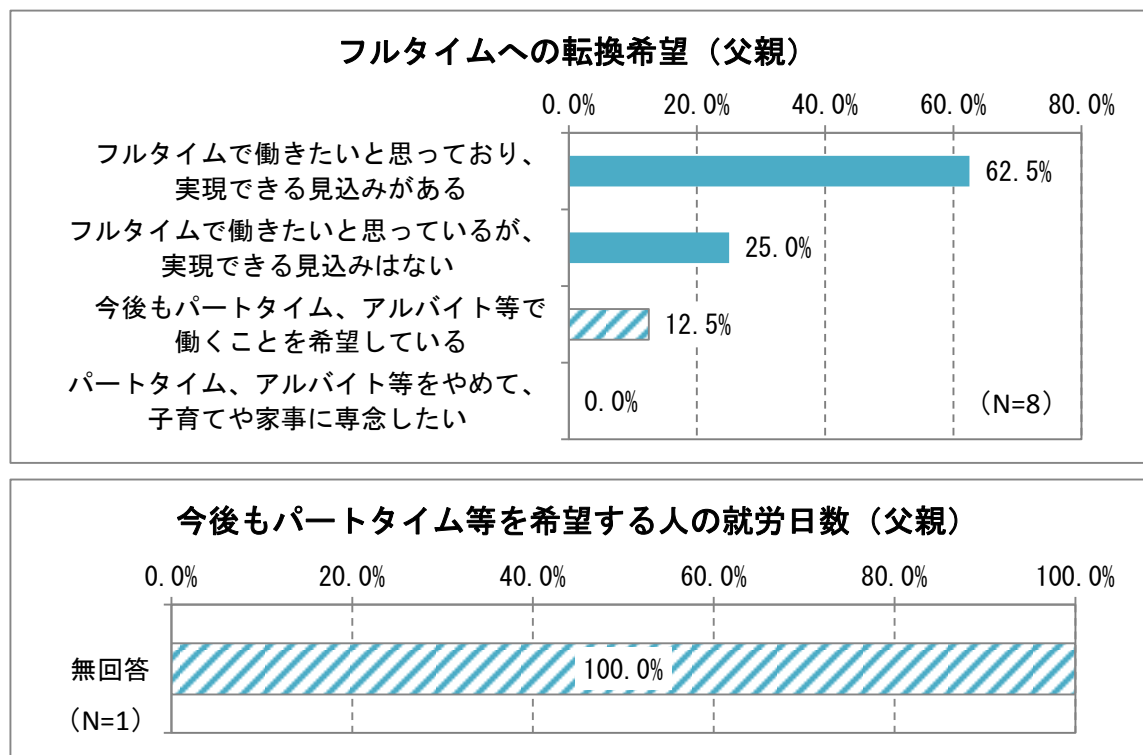


問9で「3.」「4.」（パートタイム、アルバイト等で就労）に○をつけた方におうかがいします。

問9－2 フルタイムで働きたいと思いますか。

フルタイムへの転換希望をみると、「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」が62.5%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」25.0%、「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」12.5%の順となっている。

「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」と回答した人の就労日数は全て「無回答」となっている。



(4) 非就労者の就労希望

問8で「5.」「6.」（非就労）に○をつけた方におうかがいします。

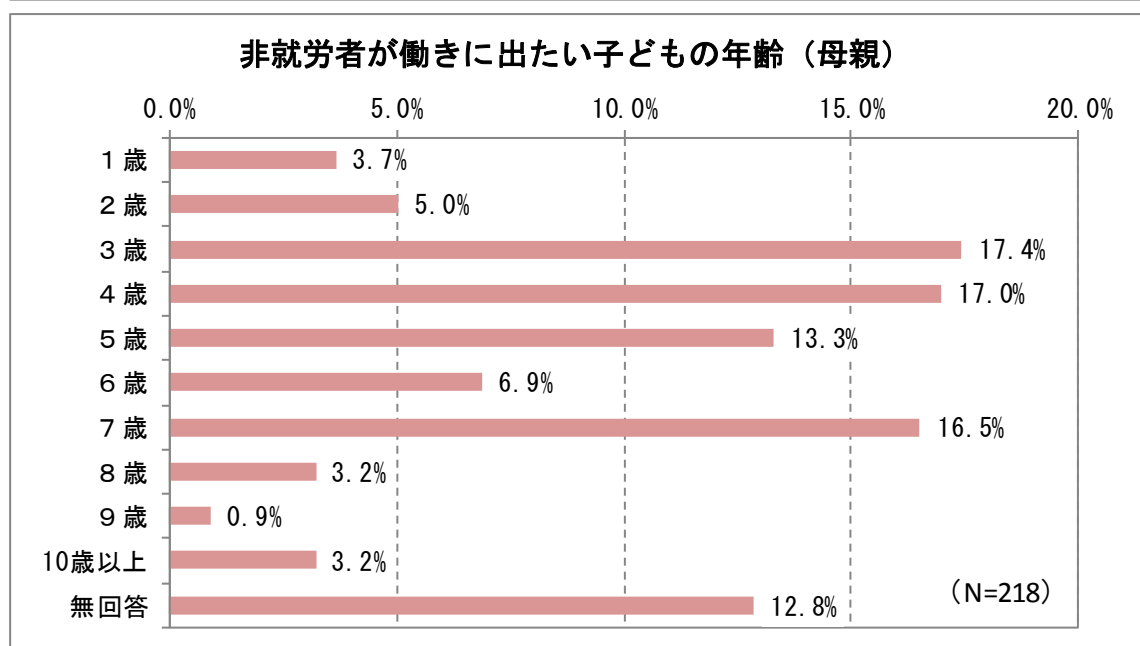
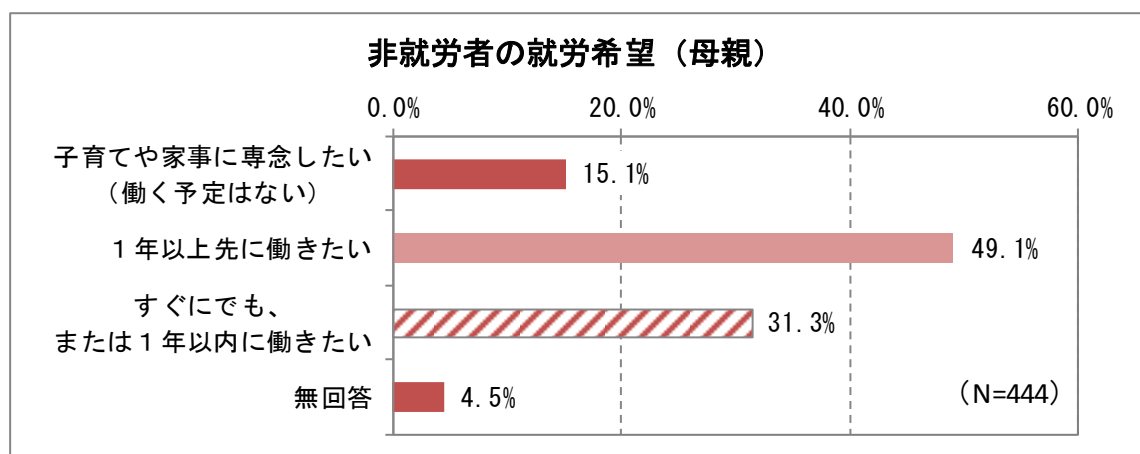
問8－3 今後、働きたいという希望はありますか。

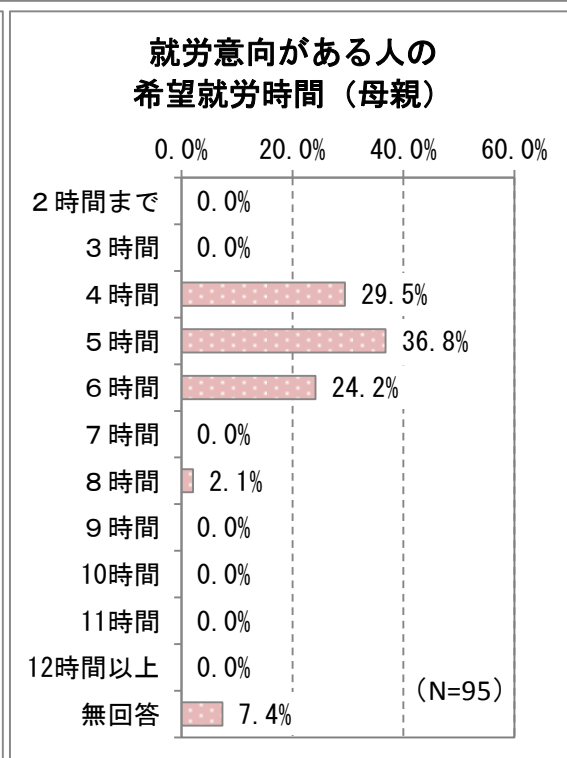
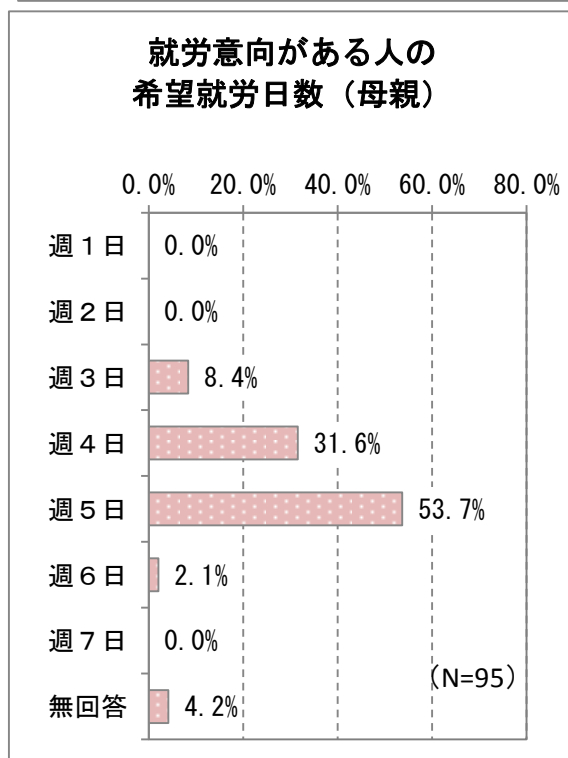
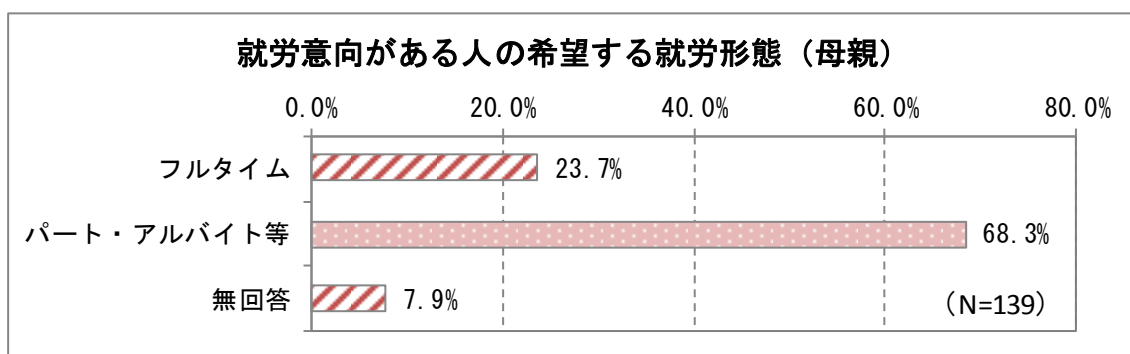
非就労者の就労希望をみると、母親では、「1年以上先に働きたい」が49.1%と最も多く、次いで「すぐにでも、または1年以内に働きたい」31.3%、「子育てや家事に専念したい（働く予定はない）」15.1%の順となっている。

「1年以上先に働きたい」と回答した人の働きに出たい子どもの年齢では、「3歳」が17.4%と最も多く、次いで「4歳」17.0%、「7歳」16.5%の順となっている。

就労意向のある人の希望する就労形態では、「パート・アルバイト等」が68.3%と最も多く、次いで「フルタイム」23.7%の順となっている。

また、希望する日数では、「週5日」53.7%、「週4日」31.6%となっており、希望する就労時間では、「5時間」36.8%、「4時間」29.5%の順となっている。





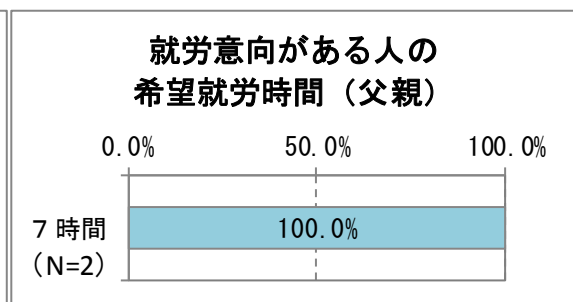
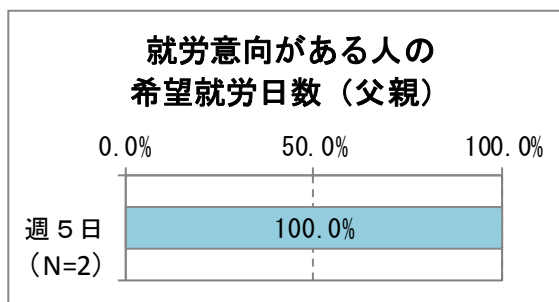
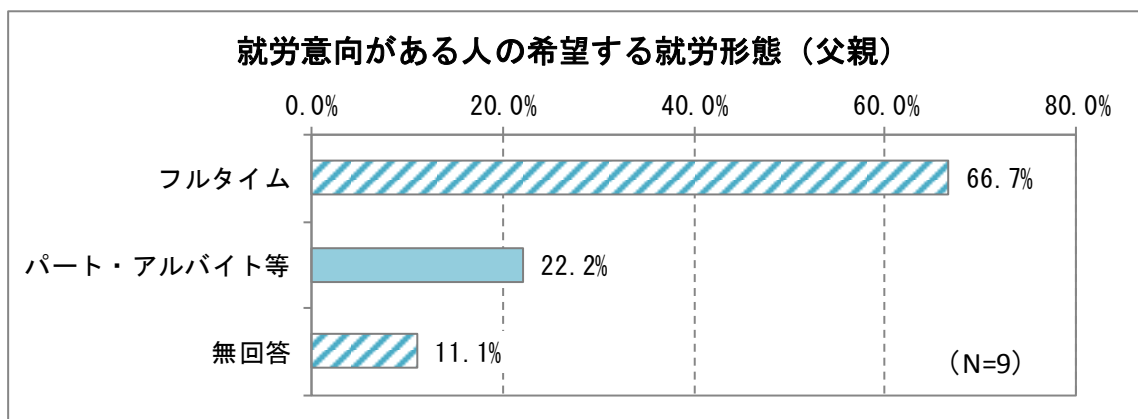
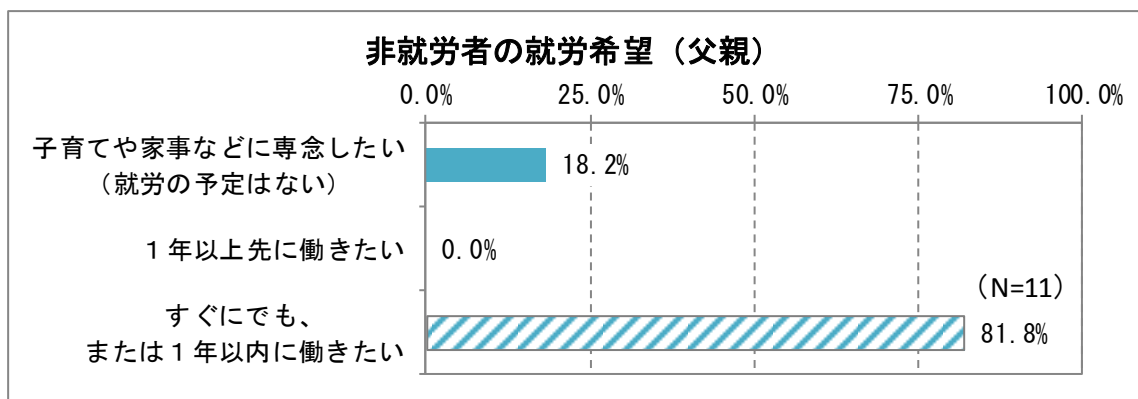
問9で「5.」「6.」（非就労）に○をつけた方におうかがいします。

問9－3 今後、働きたいという希望はありますか。

非就労者の就労希望をみると、父親では、「すぐにでも、または1年以内に働きたい」が81.8%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）」18.2%の順となっている。

就労意向のある人の希望する就労形態では、「フルタイム」が66.7%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等」22.2%の順となっている。

また、「パート・アルバイト等」を希望する方の希望就労日数では、「週5日」100.0%となっており、希望する就労時間では、「7時間」100.0%となっている。



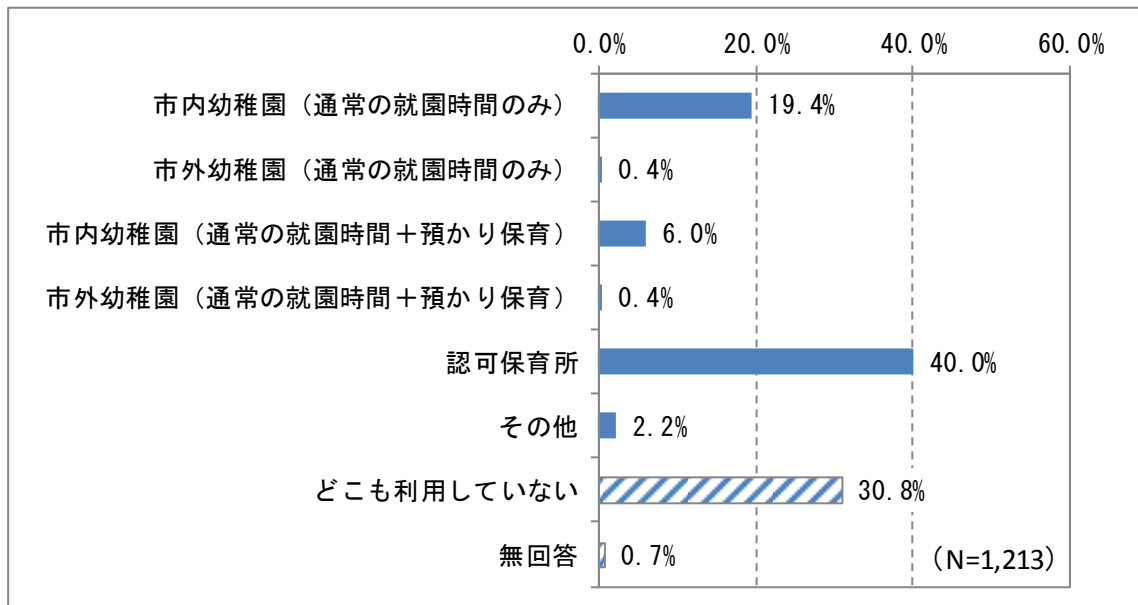
3 幼稚園・保育所などの利用希望について

(1) 平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況

問10 あて名のお子さんはふだん、幼稚園や保育所（園）などを利用されていますか。
（○は1つ）

平日の定期的な教育・保育サービスの利用状況をみると、「認可保育所」が40.0%と最も多く、次いで「どこも利用していない」30.8%、「市内幼稚園（通常の就園時間のみ）」19.4%の順となっている。その他では、「一時預かり（一時保育）」「院内保育」「職場の託児所・保育園」などの意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイム、パートタイム・アルバイト等のなんらかの就労状況にある場合は「認可保育所」の利用が多く、就労していない場合は「市内幼稚園（通常の就園時間のみ）」「どこも利用していない」が多くなっている。



	全 体	園 市 時 内 間 幼 の 稚 園 園 （ 通 常 の 就	園 市 時 外 間 幼 の 稚 園 園 （ 通 常 の 就	園 市 時 内 間 幼 の 稚 園 園 （ 通 常 の 就	園 市 時 外 間 幼 の 稚 園 園 （ 通 常 の 就	認 可 保 育 所	そ の 他	ど こ も 利 用 し て い な い	無 回 答
全体 上段/実数	1,213	235	5	73	5	485	27	374	9
下段/%	100.0	19.4	0.4	6.0	0.4	40.0	2.2	30.8	0.7
母親の就労タイプ									
フルタイム （産休・育休中等を含む）	415	24	2	25	4	277	11	69	3
パートタイム・アルバイト等 （産休・育休中等を含む）	341	62	1	39	-	186	5	47	1
就労していない	444	145	2	7	1	18	10	258	3
	100.0	32.7	0.5	1.6	0.2	4.1	2.3	58.1	0.7
母親はいない	3	-	-	1	-	1	1	-	-
	100.0	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-

問10で「1. ～6.」（サービス利用者）に○をつけた方におうかがいします。

問10-1 問10のサービスについて、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

【現在の状況】

定期的な教育・保育サービスの利用者の利用日数は「週5日」65.8%、「週6日」24.0%の順となっており、1日あたりの利用時間は「8時間」20.8%、「9時間」18.7%となっている。

また、利用開始時間は「8時1分～8時30分」41.4%、「7時31分～8時」21.8%の順となっており、利用終了時間は「16時1分～17時」26.1%、「13時1分～14時」25.4%の順となっている。

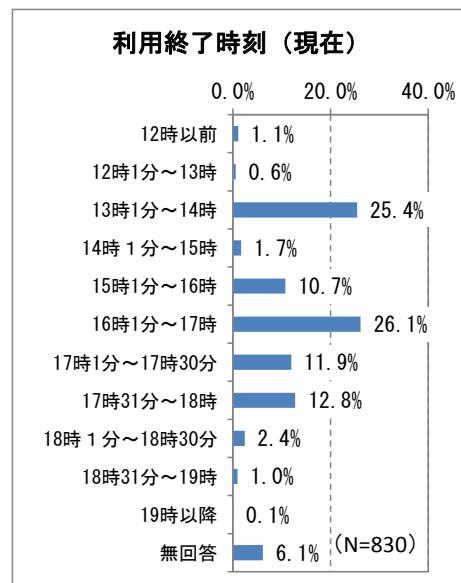
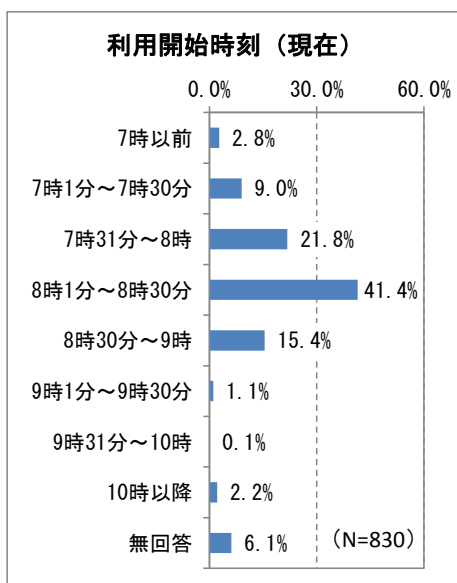
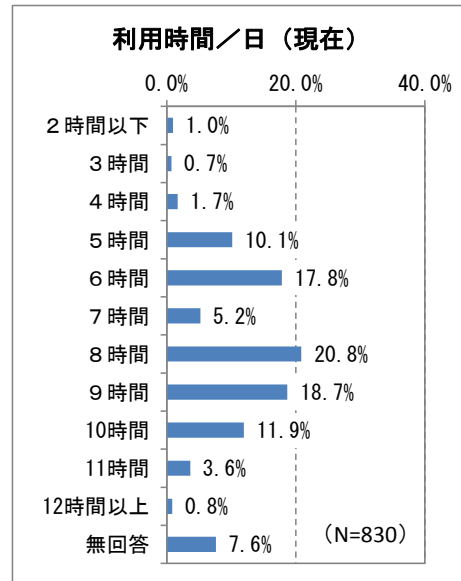
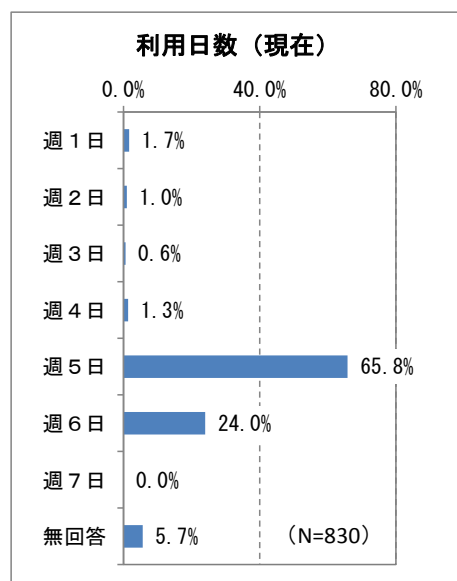
現在の利用事業別にみると、ほぼすべての事業で週5日の利用が最も多い。

【利用希望】

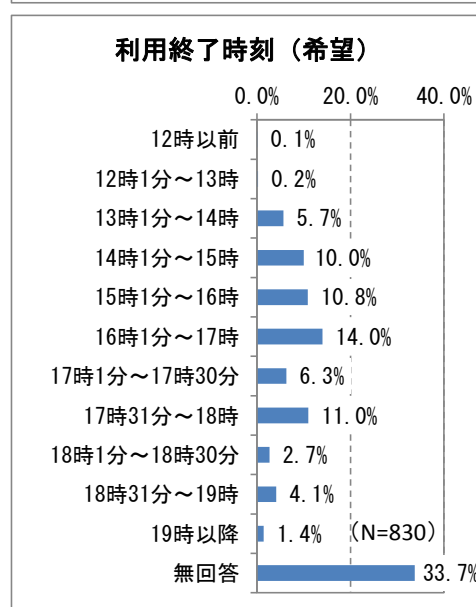
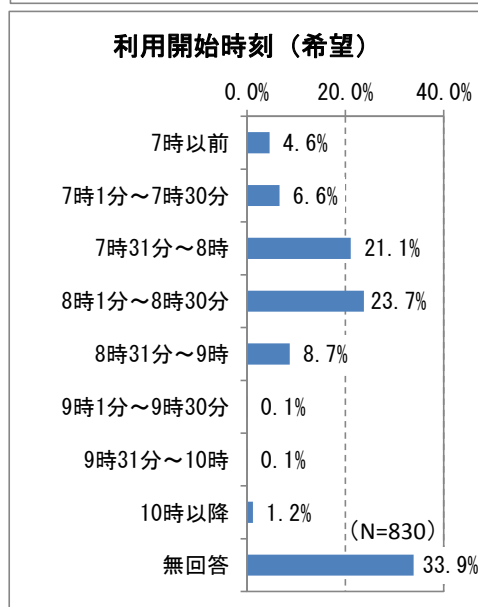
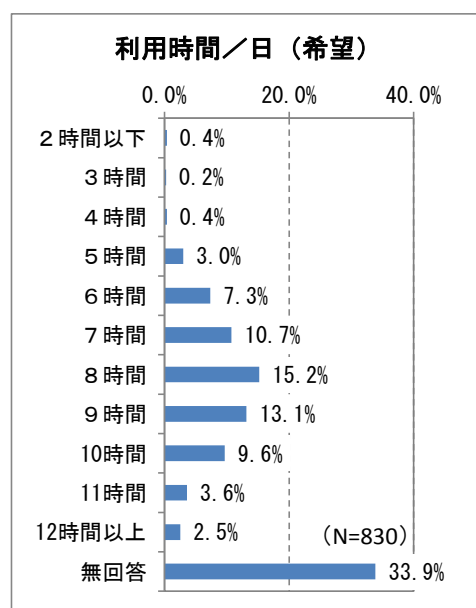
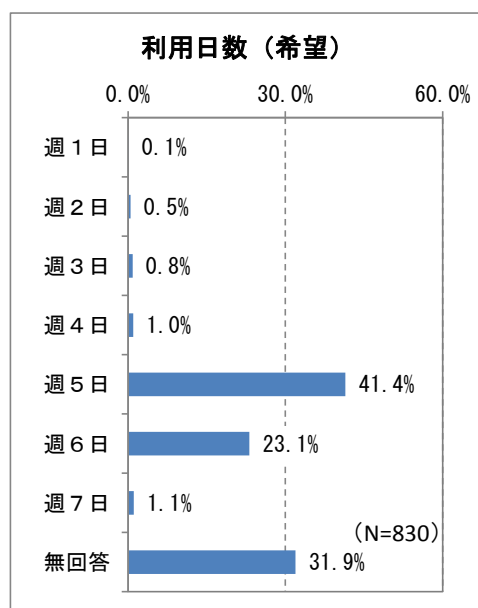
定期的な教育・保育サービスの利用希望日数は「週5日」41.4%、「無回答」31.9%の順となっており、1日あたりの希望利用時間は「無回答」33.9%、「8時間」15.2%となっている。

また、希望利用開始時間は「無回答」33.9%、「8時1分～8時30分」23.7%、「7時31分～8時」21.1%の順となっており、希望利用終了時間は「無回答」33.7%、「16時1分～17時」14.0%の順となっている。

現在の利用事業別にみると、ほぼすべての事業で週5日の利用が最も多く、現在の状況と同様になっている。



	全 体	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無 回 答
全体 上段／実数	830	14	8	5	11	546	199	-	47
下段／%	100.0	1.7	1.0	0.6	1.3	65.8	24.0	-	5.7
利用 事業	市内幼稚園 (通常の就園時間のみ)	235	1	-	-	1	216	-	17
		100.0	0.4	-	-	0.4	91.9	-	7.2
	市外幼稚園 (通常の就園時間のみ)	5	-	-	-	-	5	-	-
		100.0	-	-	-	-	100.0	-	-
	市内幼稚園 (通常の就園時間＋預かり保育)	73	-	-	2	4	61	3	3
		100.0	-	-	2.7	5.5	83.6	4.1	4.1
	市外幼稚園 (通常の就園時間＋預かり保育)	5	-	1	-	-	4	-	-
		100.0	-	20.0	-	-	80.0	-	-
	認可保育所	485	5	6	2	4	248	196	24
		100.0	1.0	1.2	0.4	0.8	51.1	40.4	4.9
その他		27	8	1	1	2	12	-	3
		100.0	29.6	3.7	3.7	7.4	44.4	-	11.1
どこも利用していない		-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-



	全 体	週 1 日	週 2 日	週 3 日	週 4 日	週 5 日	週 6 日	週 7 日	無 回 答
全体 上段／実数	830	1	4	7	8	344	192	9	265
下段／％	100.0	0.1	0.5	0.8	1.0	41.4	23.1	1.1	31.9
市内幼稚園 （通常の就園時間のみ）	235	－	－	－	1	158	18	－	58
市外幼稚園 （通常の就園時間のみ）	5	－	－	－	－	5	－	－	－
市内幼稚園 （通常の就園時間＋預かり保育）	73	－	－	1	3	30	10	－	29
市外幼稚園 （通常の就園時間＋預かり保育）	5	－	－	－	－	3	1	－	1
認可保育所	485	1	2	3	3	137	161	9	169
その他	27	－	2	3	1	11	2	－	8
どこも利用していない	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(2) 幼稚園を利用してよかったと感じる点・不満を感じる点

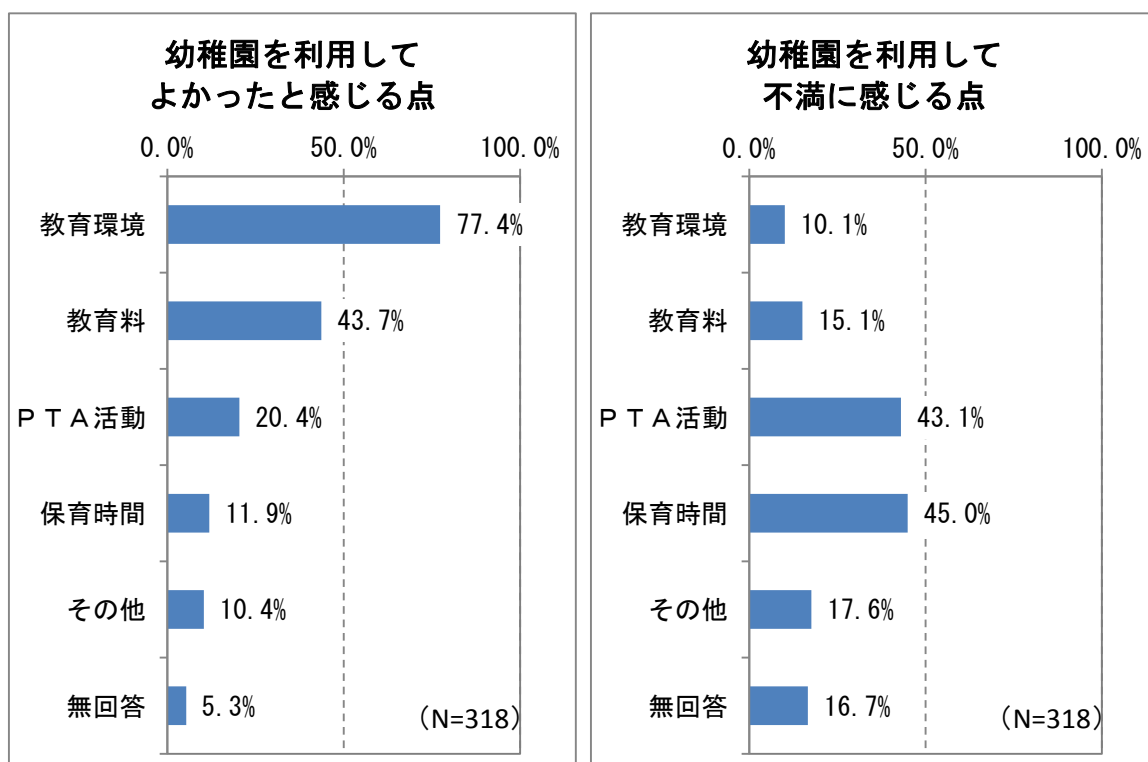
問10で「1.～4.」(幼稚園利用者)に○をつけた方におうかがいします。

問10-2 幼稚園を利用してよかったと感じる点と理由についてお答えください。
(○はいくつでも)

問10-3 幼稚園を利用して不満を感じる点と理由についてお答えください。
(○はいくつでも)

幼稚園を利用して良かったと感じる点を見ると、「教育環境」が77.4%と最も多く、次いで「教育料」43.7%、「PTA活動」20.4%の順となっている。

幼稚園を利用し不満を感じる点を見ると、「保育時間」が45.0%と最も多く、次いで「PTA活動」43.1%、「その他」17.6%の順となっている。



◆その他意見（幼稚園を利用してよかったと感じる点_教育環境）

	回答数
小学校との交流がある（連携している）	33
のびのびと育ててくれる	30
友達ができる・過ごせる	30
先生の指導や対応がよい	25
小学校へあがる準備ができる	24
集団生活が身につく	17
行事等を通じて色々な経験ができる	14
子どもの成長を感じる	10
同じ小学校へ行く友達と接することができる	9
教育・保育理念に共感している	8
自然が豊か	7
英語や食育が学べる	5
給食がある	5
バス通園	2
自宅から近い	2
環境が似ている人が多い	2
相談にのってくれるので安心	1

◆その他意見（幼稚園を利用してよかったと感じる点_教育料）

	回答数
経済的負担が少ない	106
補助金がある	5
教育料について	4
その他	8

◆その他意見（幼稚園を利用してよかったと感じる点_P T A活動）

	回答数
親同士の交流や地域とのつながりが生まれる	46
イベントが充実している	4
子どもの様子や成長を見ることができる	3
負担が少ない	2
その他	7

◆その他意見（幼稚園を利用してよかったと感じる点_保育時間）

	回答数
子どもの負担にならず、子どもとの時間が作れる	14
預かり保育がある	11
親の自由な時間が作れる	6
延長保育がある	5
その他	1

◆その他意見（幼稚園を利用してよかったと感じる点_その他）

	回答数
親・子どもとも、友達ができた（できる）	8
預かり保育がある	5
給食がある	5
満3才保育がある	4
自宅から近い	2
その他	4

◆その他意見（幼稚園を利用して不満に感じる点_教育環境）

	回答数
遊びだけでなく、字の練習や英語などに親しむ機会を増やしてほしい	8
1クラスの人数が多い	6
1クラスの人数に対して先生が少ない	5
設備の老朽化	5
担任の方針に違いがある	3
その他	5

◆その他意見（幼稚園を利用して不満に感じる点_教育料）

	回答数
高い	29
市からの補助金があると助かる	3
小学校につなげる勉強を少し早めにしてほしい	3
無料化希望	2
その他	10

◆その他意見（幼稚園を利用して不満に感じる点__PTA活動）

	回答数
行事や委員会など活動が多く、負担が大きい	119
なくしてほしい	2
その他	9

◆その他意見（幼稚園を利用して不満に感じる点__保育時間）

	回答数
もう少し長く預かってほしい、時間が短すぎる	95
水曜日の午後保育を希望	9
不規則な時間により働きづらい（働けない）	8
月や日によって不規則なので時間等を考慮してほしい	6
4月と7月の午後保育を希望	4
給食日数が少ない	4
給食がない曜日がバラバラで保護者が把握しづらい	2
その他	7

◆その他意見（幼稚園を利用して不満に感じる点__その他）

	回答数
給食の回数を増やしてほしい	11
子どもの数に対して先生の数が少ない	4
ひらがなの読み書きの練習をしてほしい	3
月や日によって終了時間が異なり困る	3
参観日等の行事が多い	6
その他	12

(3) 保育園を利用してよかったと感じる点・不満を感じる点

問10で「5. 認可保育所」に○をつけた方におうかがいします。

問10-4 保育園を利用してよかったと感じる点と理由についてお答えください。

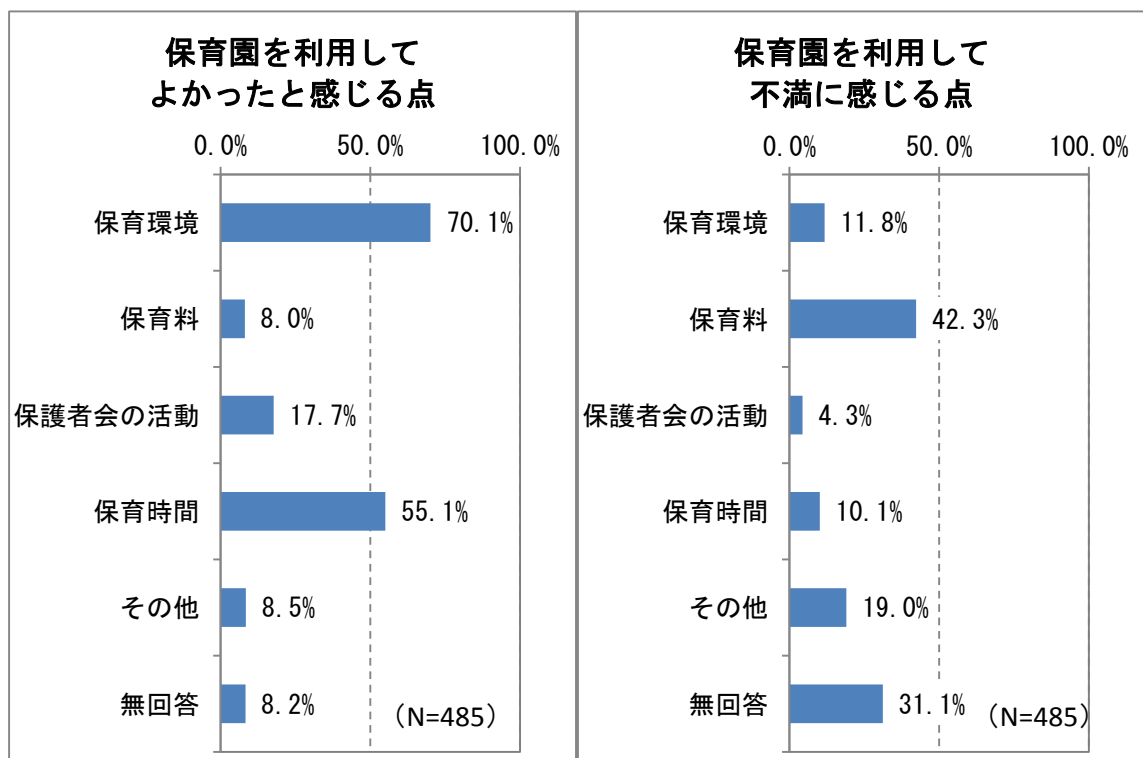
(○はいくつでも)

問10-5 保育園を利用して不満を感じる点と理由についてお答えください。

(○はいくつでも)

保育園を利用して良かったと感じる点をみると、「保育環境」が70.1%と最も多く、次いで「保育時間」55.1%、「保護者会の活動」17.7%の順となっている。

保育園を利用し不満を感じる点をみると、「保育料」が42.3%と最も多く、次いで「無回答」31.1%、「その他」19.0%の順となっている。



◆その他意見（保育園を利用してよかったと感じる点_保育環境）

	回答数
保育士が親切等、対応が良い	83
友達ができ、集団生活で社会性を身につけることができる	61
子どもにとって寝や学ぶ場となっている	38
家や職場から近い	21
給食やおやつがある	15
保育園が清潔・きれい	14
子ども自身が楽しく過ごせている	12
保育園の雰囲気が良い	6
様々な行事や体験ができる	6
異年齢の交流ができる	5
保育士が多く、安心できる	2
その他	27

◆その他意見（保育園を利用してよかったと感じる点_保育料）

	回答数
母子家庭のため免除があるから	8
費用が安いから	7
2人目が半額だから	4
費用が妥当だから	4
無料だから	3
その他	7

◆その他意見（保育園を利用してよかったと感じる点_保護者会の活動）

	回答数
保護者の負担が少ない	36
仕事と両立できる程度の負担である	24
仕事をしていることに対する理解がある	4
保護者同士の交流ができる	4
子どもと一緒に遊べる	2
その他	13

◆その他意見（保育園を利用してよかったと感じる点_保育時間）

	回答数
早朝から遅くまでみてくれる	52
延長保育がある	39
長時間預かってくれる	36
早朝からみてくれる	23
希望に対応してくれる	21
土曜日に預かってくれる	15
仕事の時間と合致している	9
長期休暇がない	3
その他	18

◆その他意見（保育園を利用してよかったと感じる点_その他）

	回答数
給食がある	11
保育士の対応が良い	8
学習や教育をしてもらえる	4
行事や参観日がある	3
PTA 活動などの保護者の負担が少ない	2
家から近い	2
希望を聞いてもらえる	2
警報が出ても預かってくれる	2
土曜日に預かってもらえる	2
働くことができる	2
友達ができ、社会性が身に付く	2
その他	6

◆その他意見（保育園を利用して不満に感じる点_保育環境）

	回答数
園や教室が狭い	15
子どもの遊ぶ環境を整えてほしい（遊具など）	6
行事や体験が少ない	4
家から遠い	3
教育の不足	3
子どもの学区が違う	2
宗教色が強い	2
障害児へのサポート体制不足	2
職員不足・人材不足	2
病児保育がない	2
保育士の質や対応	2
その他	14

◆その他意見（保育園を利用して不満に感じる点_保育料）

	回答数
保育料が高い	164
所得で保育料が決まるのが不満	8
3歳未満の保育料が高い	7
早朝と延長に費用がかかる	2
その他	16

◆その他意見（保育園を利用して不満に感じる点_保護者会の活動）

	回答数
活動がない	4
活動が不透明	4
仕事との両立が難しい	4
参観日や行事が平日にある	2
参観日や行事を増やして欲しい	1
その他	3

◆その他意見（保育園を利用して不満に感じる点__保育時間）

	回答数
保育時間の終了時間を延ばしてほしい	11
休日保育に対応してほしい	8
延長保育の終了時間を延ばしてほしい	6
一時預かりの終了時間を延ばしてほしい	3
土曜日に一日保育を希望	3
土曜日の保育時間の延長	3
行事等により迎えの時間が早くなる	2
その他	11

◆その他意見（保育園を利用して不満に感じる点__その他）

	回答数
育児休暇中の対応（通園できない、退園させられる）	8
園での教育や運営方針等に不満	8
病児保育に対応していない	8
希望の保育園に入れない	6
園や教室が狭い	5
土曜日が預けにくい	5
子どもが保育中に体調不良になった際の対応	4
仕事を見つけにくい	3
入園するのが厳しい	3
施設整備に関する不満	2
長期休暇を短くしてほしい	2
保育士の質や対応	2
その他	8

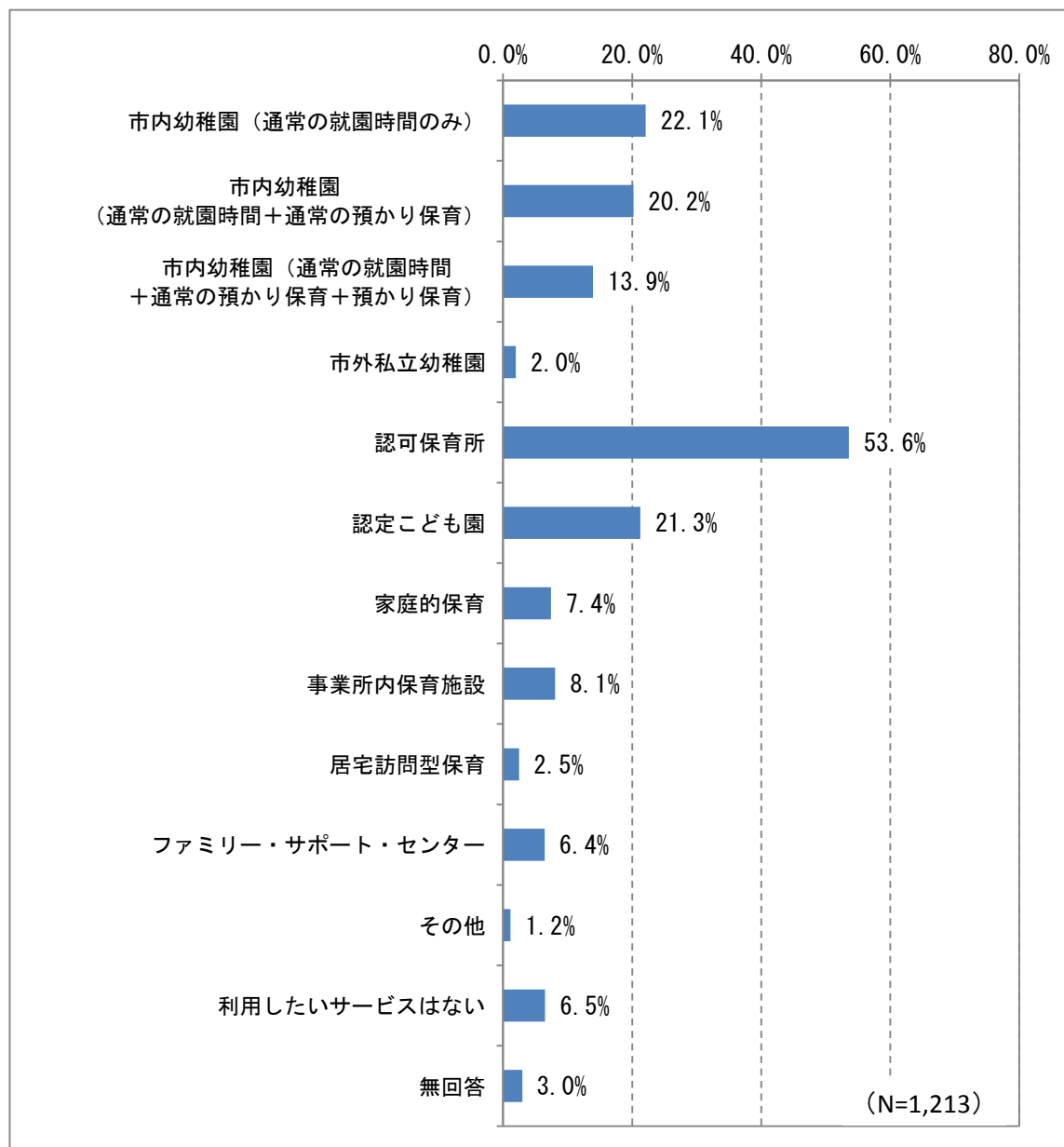
(4) 定期的に利用したい平日の教育・保育サービス

すべての方におうかがいします。

問11 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、平日の昼間に「定期的に」利用したいと考えるサービスをお答えください。
(○はいくつでも)

定期的に利用したい平日の教育・保育サービスをみると、「認可保育所」が53.6%と最も多く、次いで「市内幼稚園（通常の就園時間のみ）」22.1%、「認定こども園」21.3%の順となっている。その他では、「児童館」「休日保育」などの意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイム、パートタイム・アルバイト等による就労を行っている場合は「認可保育所」、就労していない場合は「市内幼稚園」の割合が高く、現在の利用事業継続の意向がみられる。



	全 体	市 内 幼 稚 園 （ 通 常 の 就 園 時 間 の み ）	市 内 幼 稚 園 （ 通 常 の 就 園 時 間 ＋ 通 常 の 預 か り 保 育 ）	市 内 幼 稚 園 （ 通 常 の 就 園 時 間 ＋ 通 常 の 預 か り 保 育 ）	市 外 私 立 幼 稚 園	認 可 保 育 所
全体 上段／実数	1,213	268	245	169	24	650
下段／％	100.0	22.1	20.2	13.9	2.0	53.6
母親の就労タイプ	フルタイム	415	20	46	61	300
	（産休・育休中等を含む）	100.0	4.8	11.1	14.7	72.3
	パートタイム・アルバイト等	341	58	85	52	209
	（産休・育休中等を含む）	100.0	17.0	24.9	15.2	61.3
	就労していない	444	188	110	55	137
		100.0	42.3	24.8	12.4	30.9
	母親はいない	3	－	1	1	1
		100.0	－	33.3	33.3	33.3
	全 体	認 定 こ ど も 園	家 庭 的 保 育	保 事 業 施 所 内	居 宅 訪 問 型 保 育	セ ン タ ー ミ ニ ・ サ フ ア ミ リ ・
全体 上段／実数	1,213	258	90	98	30	78
下段／％	100.0	21.3	7.4	8.1	2.5	6.4
母親の就労タイプ	フルタイム	415	108	42	38	34
	（産休・育休中等を含む）	100.0	26.0	10.1	9.2	8.2
	パートタイム・アルバイト等	341	78	15	25	18
	（産休・育休中等を含む）	100.0	22.9	4.4	7.3	5.3
	就労していない	444	70	33	35	26
		100.0	15.8	7.4	7.9	5.9
	母親はいない	3	1	－	－	－
		100.0	33.3	－	－	－
	全 体	そ の 他	ビ リ ス は し な い サ ー	無 回 答		
全体 上段／実数	1,213	14	79	36		
下段／％	100.0	1.2	6.5	3.0		
母親の就労タイプ	フルタイム	415	5	20	15	
	（産休・育休中等を含む）	100.0	1.2	4.8	3.6	
	パートタイム・アルバイト等	341	4	7	8	
	（産休・育休中等を含む）	100.0	1.2	2.1	2.3	
	就労していない	444	5	51	11	
		100.0	1.1	11.5	2.5	
	母親はいない	3	－	1	－	
		100.0	－	33.3	－	

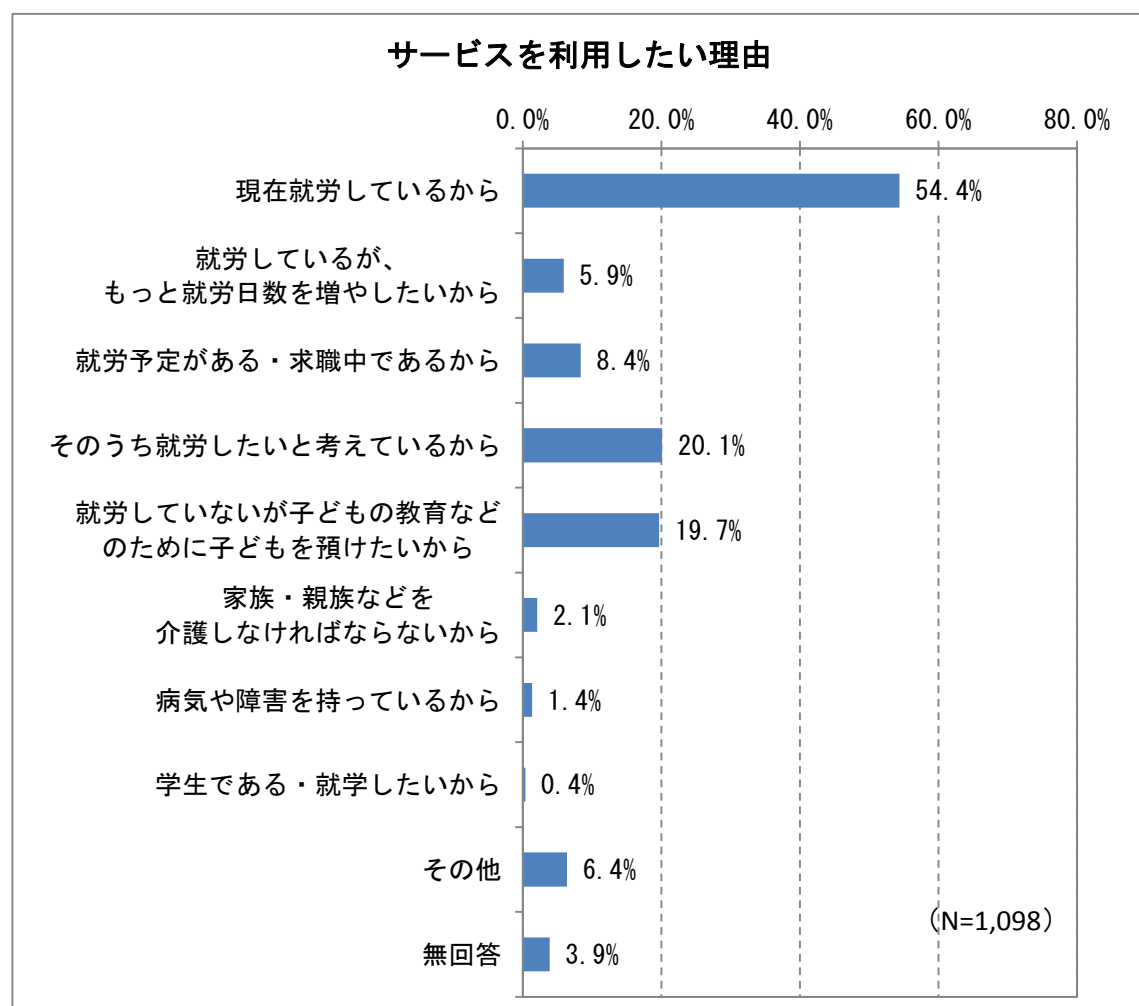
問11で「1. ～11.」（利用したいサービスがある）に○をつけた方におうかがいします。

問11-1 サービスを利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

定期的に利用したい平日の教育・保育サービスがあると回答した人の利用したい理由をみると、「現在就労しているから」が54.4%と最も多く、次いで「そのうち就労したいと考えているから」20.1%、「就労していないが子どもの教育などのために子どもを預けたいから」19.7%の順となっている。その他では、「子どもの教育のため」「子どもの友達づくりのため」「子どもの社会性を養うため」などの意見があった。

子どもの年齢別にみると、0歳児から3歳児にかけて「現在就労しているから」の割合が増加傾向にあり、以降4歳児・5歳児とわずかに減少傾向となっているが、0～3歳児の時期に比べ4～6歳児の方が「現在就労しているから」の割合は高い。

母親の就労タイプ別にみると、現在就労している（フルタイム、パートタイム・アルバイト等）母親については「現在就労している」が占める割合が非常に高く8割を超えており、就労していない母親については「そのうち就労したいと考えているから」「就労していないが子どもの教育などのために子どもを預けたいから」が約5割を占めている。

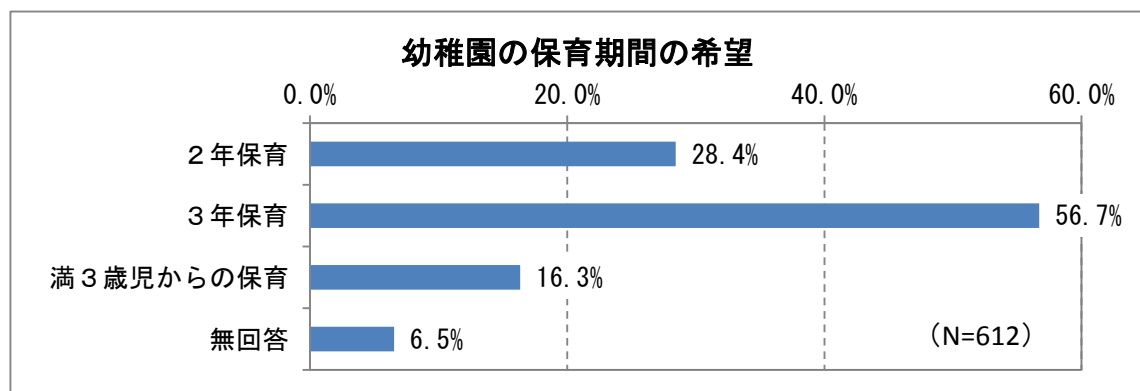


		全 体	現在就労しているから	就労しているが、もつと就労日数を増やしたいから	就労予定がある・求職中であるから	そのうち就労したいと考えている	就労していないが子どもの教育などのために子どもを預けたいから	家族・親族などを介護しなければならぬから	病気や障害を持っているから	学生である・就学したいから	その他	無回答
全体		1,098	597	65	92	221	216	23	15	4	70	43
上段／実数		100.0	54.4	5.9	8.4	20.1	19.7	2.1	1.4	0.4	6.4	3.9
子どもの年齢	0歳児	199	80	12	39	54	37	4	1	1	15	9
		100.0	40.2	6.0	19.6	27.1	18.6	2.0	0.5	0.5	7.5	4.5
	1歳児	128	62	4	16	34	30	4	1	-	7	4
		100.0	48.4	3.1	12.5	26.6	23.4	3.1	0.8	-	5.5	3.1
	2歳児	171	87	10	13	43	41	-	2	1	14	3
		100.0	50.9	5.8	7.6	25.1	24.0	-	1.2	0.6	8.2	1.8
	3歳児	171	108	12	6	25	38	8	6	-	9	7
		100.0	63.2	7.0	3.5	14.6	22.2	4.7	3.5	-	5.3	4.1
	4歳児	207	129	10	13	28	34	2	4	-	13	6
		100.0	62.3	4.8	6.3	13.5	16.4	1.0	1.9	-	6.3	2.9
5歳児	213	125	16	5	37	35	4	1	2	12	12	
	100.0	58.7	7.5	2.3	17.4	16.4	1.9	0.5	0.9	5.6	5.6	
母親の就労タイプ	フルタイム	380	324	7	30	4	12	9	4	-	17	16
	(産休・育休中等を含む)	100.0	85.3	1.8	7.9	1.1	3.2	2.4	1.1	-	4.5	4.2
	パートタイム・アルバイト等	326	262	57	12	7	12	3	4	1	21	10
	(産休・育休中等を含む)	100.0	80.4	17.5	3.7	2.1	3.7	0.9	1.2	0.3	6.4	3.1
	就労していない	382	5	1	50	209	189	11	7	3	32	16
		100.0	1.3	0.3	13.1	54.7	49.5	2.9	1.8	0.8	8.4	4.2
母親はいない	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問11で「1. ～4.」(幼稚園)に○をつけた方におうかがいします。

問11-2 2年保育、3年保育いずれを希望しますか。(○はいくつでも)

定期的に利用したい平日の教育・保育サービスが幼稚園と回答した人の保育期間の希望をみると、「3年保育」が56.7%と最も多く、次いで「2年保育」28.4%、「満3歳児からの保育」16.3%の順となっている。



◆2年保育を希望する理由

	回答数
なるべく家庭でみたい (成長をみたい、一緒にいたい、家族関係を築きたい、しつけをしたい 等)	13
ちょうどいい年齢だから	13
2年保育しかないから	12
現在通っているから (通う予定だから)	11
2年で充分だから	11
親や兄弟姉妹が2年保育だったから	8
教育のため、友達づくりのため	5
3歳からは早いと思うから	5
仕事に戻るため、仕事をしているため	4
3年保育との違いがわからない	3
就労していないから	2
まだわからない	2

◆3年保育を希望する理由

	回答数
少しでも早く集団生活に慣れさせたい、社会性を身に付けさせたい	74
周りに子どもが少ない、子ども同士で遊ばせてあげたい、友達づくりのため	56
教育のため、経験のため	22
早く働きたい、働いているため	16
家庭でみる (遊ばせる) には限りがある	13
2年は短いから	11
3年保育を経験してみたい	9
早く子どもをみてもらえると助かる	9
3年保育で充分、3年が普通	9
親や兄弟が3年保育だったから、兄弟姉妹と一緒に通わせたいから	7
保育園より保育料が安い	6
4～5月生まれだと5歳まで入れないから	6
待機児童が多く保育園に入園できないため	5
現在通っているから (通う予定だから)	3
経済的に私立は難しいため公立でもしてもらいたい	2
早くから教育を受けている子は違う (たくましい、しっかりしている 等)	2
2年保育と3年保育どちらが良いのかわからない	2
その他	6

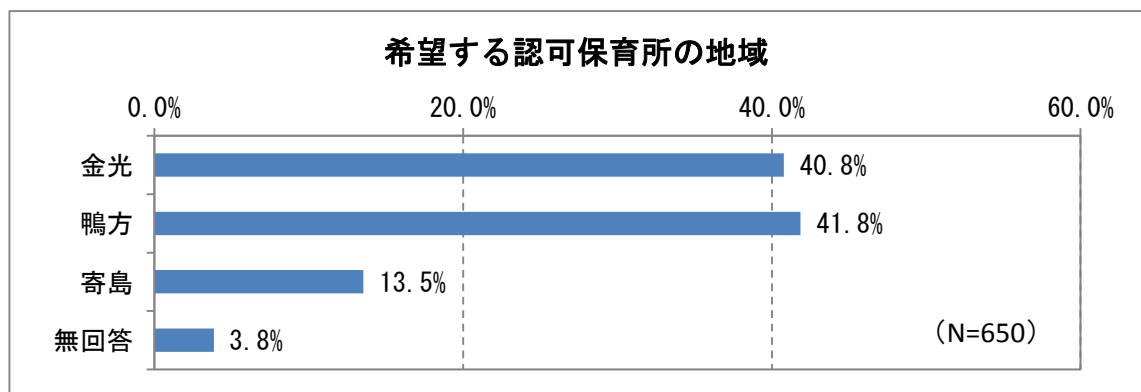
◆満3歳児からの保育を希望する理由

	回答数
早く働きたいから、育休の期間が決まっているため	14
少しでも早く集団生活に慣れさせたい、社会性を身に付けさせたい	12
周りに子どもが少ない、子ども同士で遊ばせてあげたい、友達づくりのため	10
ちょうどいい年齢だから	9
満3年保育を受けてよかったから、現在利用しているから、兄弟姉妹と一緒に通わせたいから	8
教育のため、経験のため	6
選択肢が増えることは良い	5
なるべく早いほうが良い	3
家庭でみる（遊ばせる）には限りがある	3
その他	5

問11で「5. 認可保育所」に○をつけた方におうかがいします。

問11-3 どちらの地域の保育所（園）を利用したいですか。（○は1つ）

定期的に利用したい平日の教育・保育サービスが認可保育所と回答した人の希望地域をみると、「鴨方」が41.8%と最も多く、次いで「金光」40.8%、「寄島」13.5%の順となっている。



4 土曜・休日の保育所などの利用希望について

(1) 土曜日の定期的な保育サービスの利用意向

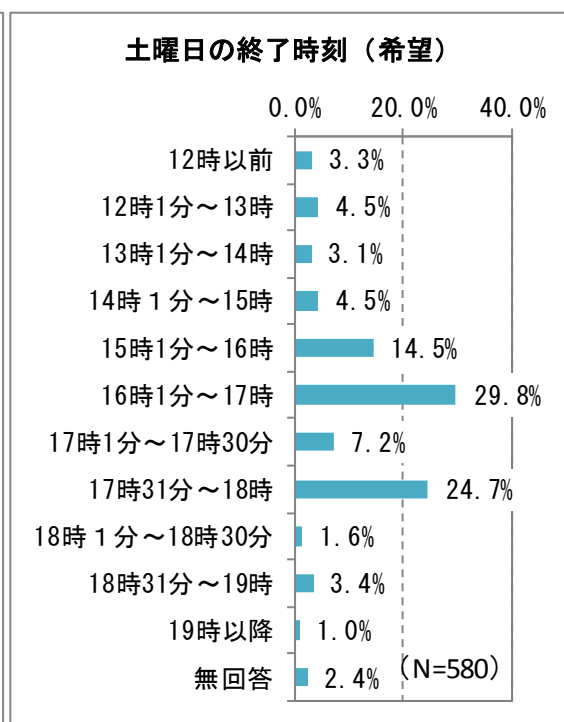
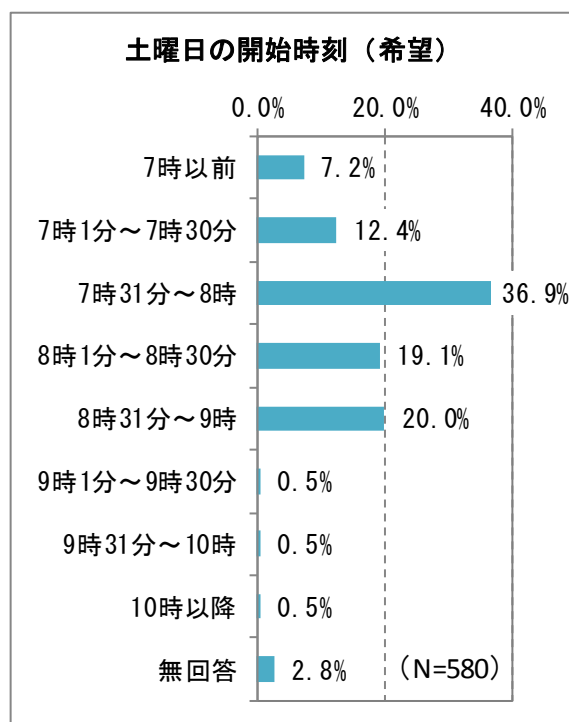
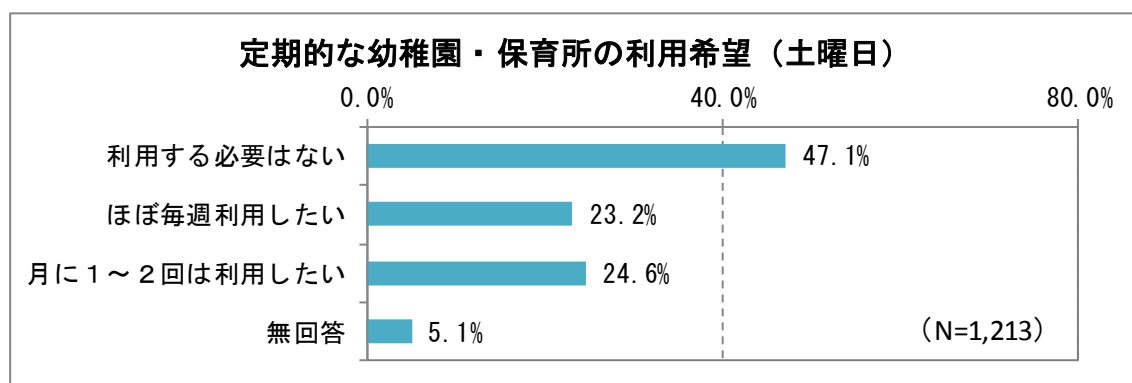
問12 あて名のお子さんについて、土曜日に定期的な幼稚園や保育所（園）の利用希望はありますか。

定期的にご利用したい幼稚園・保育所の土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」が47.1%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」24.6%、「ほぼ毎週利用したい」23.2%の順となっている。

また、利用したい時間の開始時刻は「7時31分～8時」36.9%、「8時31分～9時」20.0%、「8時1分～8時30分」19.1%となっており、終了時刻は「16時1分～17時」29.8%、「17時31分～18時」24.7%、「15時1分～16時」14.5%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、1歳児以降年齢が高くなるにつれ「利用する必要はない」の割合が増加傾向にある。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムで就労している場合に利用ニーズが高い。



		全 体	土曜日			
			は利 ない する 必要	しほ たぼ い毎 週利 用	は月 利に 用1 し た2 い回	無 回 答
全体 上段／実数		1,213	571	281	299	62
下段／％		100.0	47.1	23.2	24.6	5.1
子 ど も の 年 齢	0歳児	231	113	55	45	18
		100.0	48.9	23.8	19.5	7.8
	1歳児	148	58	36	43	11
		100.0	39.2	24.3	29.1	7.4
	2歳児	181	81	46	46	8
		100.0	44.8	25.4	25.4	4.4
	3歳児	183	81	44	50	8
		100.0	44.3	24.0	27.3	4.4
	4歳児	220	106	51	54	9
		100.0	48.2	23.2	24.5	4.1
	5歳児	237	127	48	57	5
		100.0	53.6	20.3	24.1	2.1
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	415	105	156	136	18
	(産休・育休中等を含む)	100.0	25.3	37.6	32.8	4.3
	パートタイム・アルバイト等	341	138	98	97	8
	(産休・育休中等を含む)	100.0	40.5	28.7	28.4	2.3
	就労していない	444	324	26	62	32
		100.0	73.0	5.9	14.0	7.2
母 親 は い な い	母親はいない	3	－	1	1	1
		100.0	－	33.3	33.3	33.3

(2) 日曜日・祝日の定期的な保育サービスの利用意向

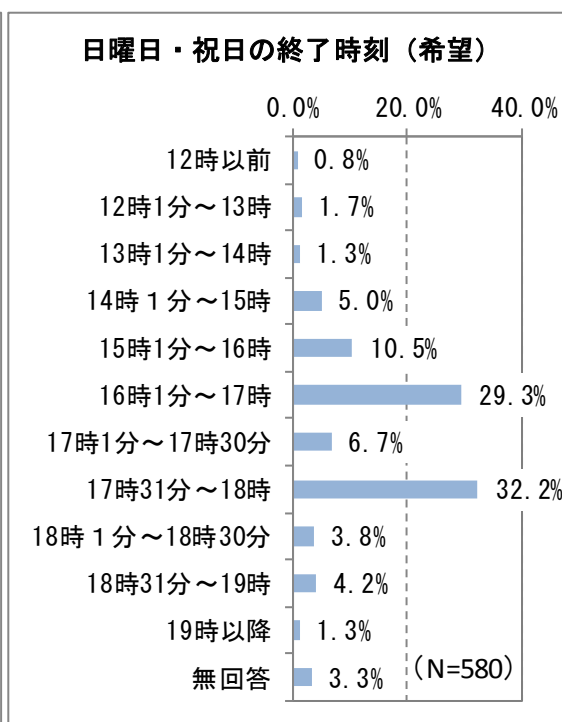
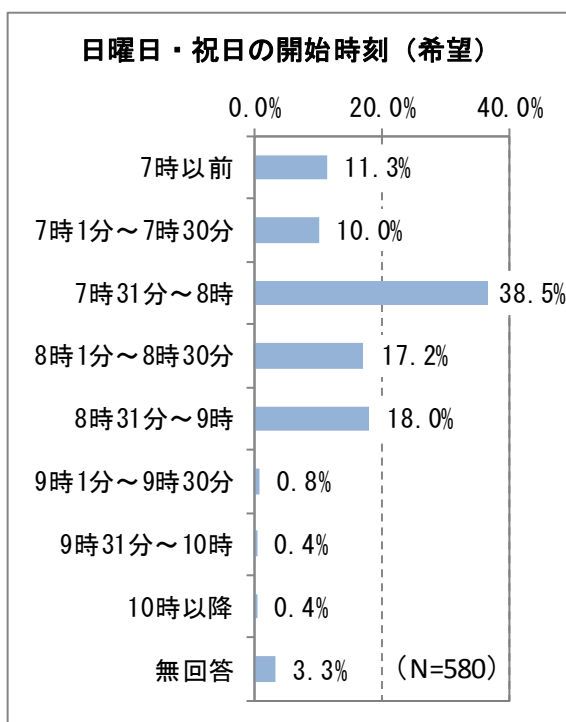
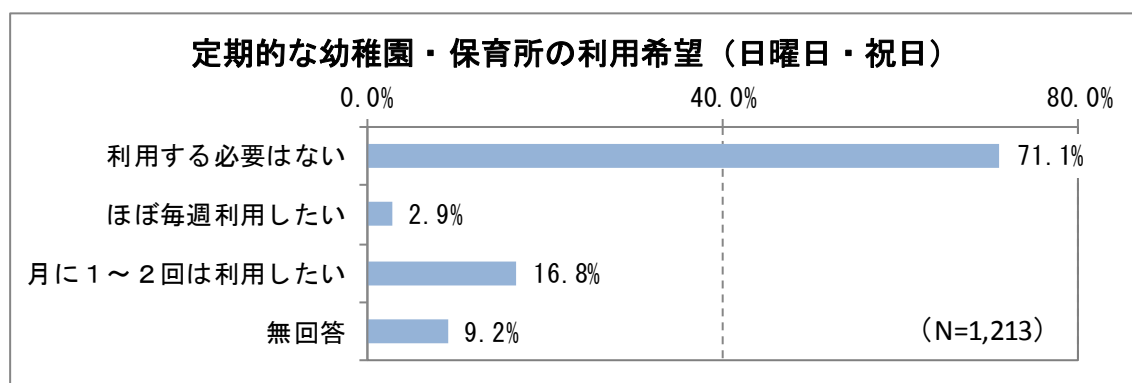
問12 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に定期的な幼稚園や保育所（園）の利用希望はありますか。

定期的にご利用したい日曜日の幼稚園・保育所の利用希望をみると、「利用する必要はない」が71.1%と最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」16.8%、「無回答」9.2%の順となっている。

また、利用したい時間の開始時刻は「7時31分～8時」38.5%、「8時31分～9時」18.0%、「8時1分～8時30分」17.2%となっており、終了時刻は「17時31分～18時」32.2%、「16時1分～17時」29.3%、「15時1分～16時」10.5%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、「利用する必要はない」の割合は0～3歳児よりも4～6歳児で多くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、土曜日に比べ利用ニーズは減少しているものの、フルタイムの場合、「月に1～2回は利用したい」との希望は土曜日と同程度みられる。



		全 体	日曜日			
			利 用 す る 必 要 は な い	ほ ぼ 毎 週 利 用 し た い	た 月 に 1 〜 2 回 は 利 用 し	無 回 答
全体 上段／実数		1,213	863	35	204	111
下段／％		100.0	71.1	2.9	16.8	9.2
子 ど も の 年 齢	0歳児	231	157	15	33	26
		100.0	68.0	6.5	14.3	11.3
	1歳児	148	93	3	33	19
		100.0	62.8	2.0	22.3	12.8
	2歳児	181	133	5	30	13
		100.0	73.5	2.8	16.6	7.2
	3歳児	183	137	2	30	14
		100.0	74.9	1.1	16.4	7.7
	4歳児	220	158	5	39	18
		100.0	71.8	2.3	17.7	8.2
	5歳児	237	177	5	37	18
		100.0	74.7	2.1	15.6	7.6
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	415	241	18	121	35
	(産休・育休中等を含む)	100.0	58.1	4.3	29.2	8.4
	パートタイム・アルバイト等	341	243	11	55	32
	(産休・育休中等を含む)	100.0	71.3	3.2	16.1	9.4
	就労していない	444	371	6	27	40
		100.0	83.6	1.4	6.1	9.0
	母親はいない	3	1	－	1	1
		100.0	33.3	－	33.3	33.3

(3) 長期休暇期間中の定期的な保育サービスの利用意向

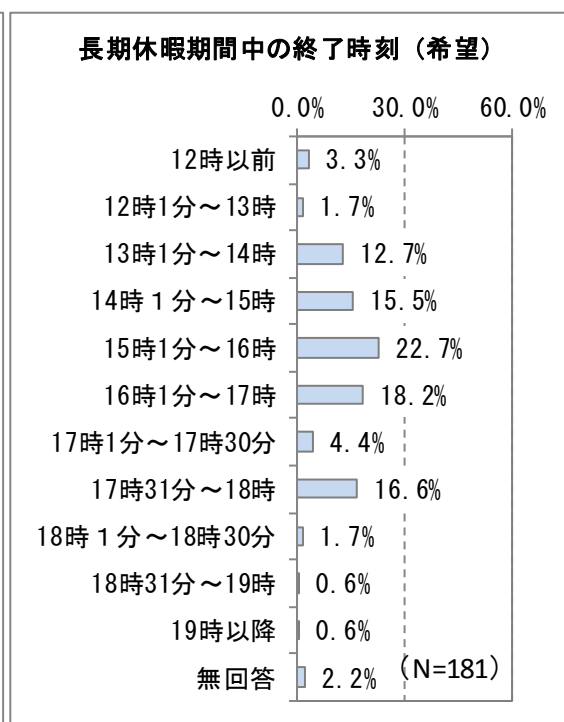
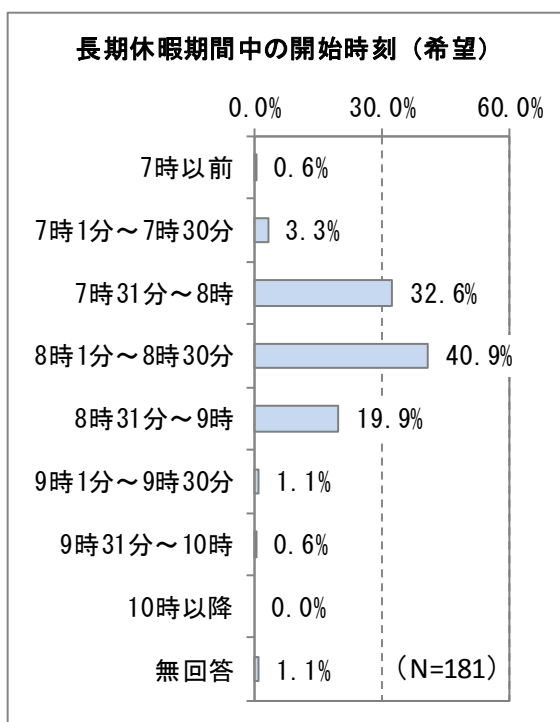
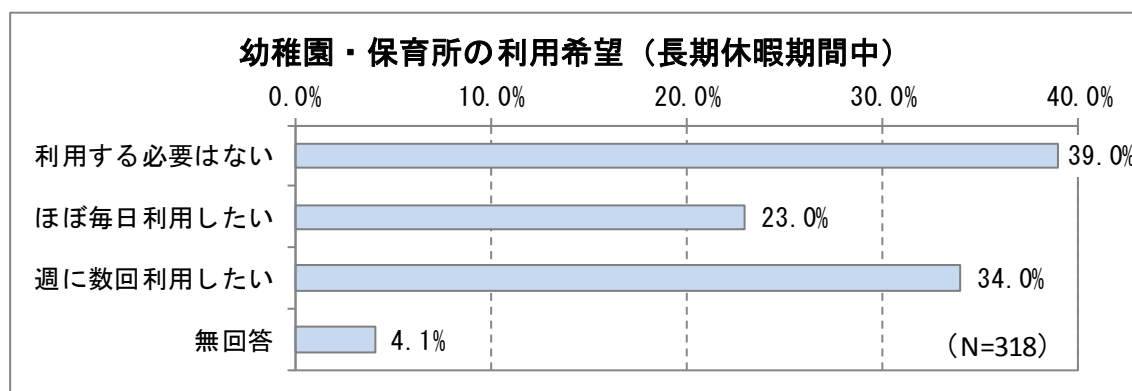
「幼稚園」を利用されている方におうかがいします。

問13 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

長期休暇期間中の幼稚園・保育所の利用希望をみると、「利用する必要はない」が39.0%と最も多く、次いで「週に数回利用したい」34.0%、「ほぼ毎日利用したい」23.0%の順となっている。

また、利用したい時間の開始時刻は「8時1分～8時30分」40.9%、「7時31分～8時」32.6%、「8時31分～9時」19.9%となっており、終了時刻は「15時1分～16時」22.7%、「16時1分～17時」18.2%、「17時31分～18時」16.6%の順となっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイム、パートタイム・アルバイト等の就労状況にある母親の利用意向（ほぼ毎日利用したい+週に数回利用したい）は就労していない母親に比べて多くなっている。特にフルタイムでの就労の場合「ほぼ毎日利用したい」が50.9%と多くなっている。



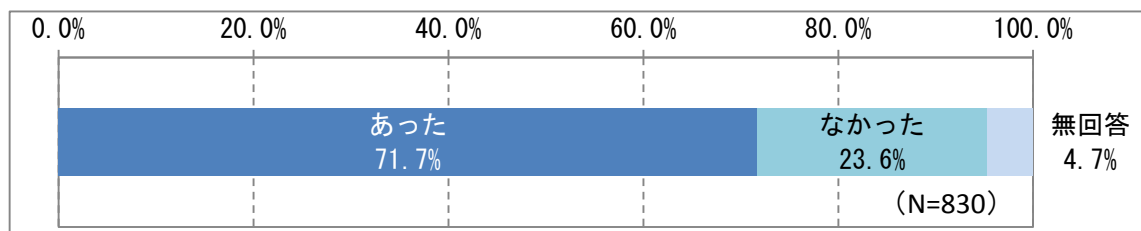
	全 体	利 用 す る 必 要 は な い	ほ ぼ 毎 日 利 用 し た い	週 に 数 回 利 用 し た い	無 回 答
全体 上段／実数	318	124	73	108	13
下段／％	100.0	39.0	23.0	34.0	4.1
母親の就労タイプ					
フルタイム	55	12	28	13	2
(産休・育休中等を含む)	100.0	21.8	50.9	23.6	3.6
パートタイム・アルバイト等	102	37	30	33	2
(産休・育休中等を含む)	100.0	36.3	29.4	32.4	2.0
就労していない	155	73	14	59	9
	100.0	47.1	9.0	38.1	5.8
母親はいない	1	－	1	－	－
	100.0	－	100.0	－	－

5 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気等で教育・保育事業が利用できなかったこと

問14は、平日の保育所（園）や幼稚園などの事業を利用している方におうかがいします。
 問14 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで通常の事業が利用できなかったことはありましたか。（○は1つ）

病気等で教育・保育事業が利用できなかったことをみると、「あった」が71.7%と最も多く、次いで「なかった」23.6%の順となっている。



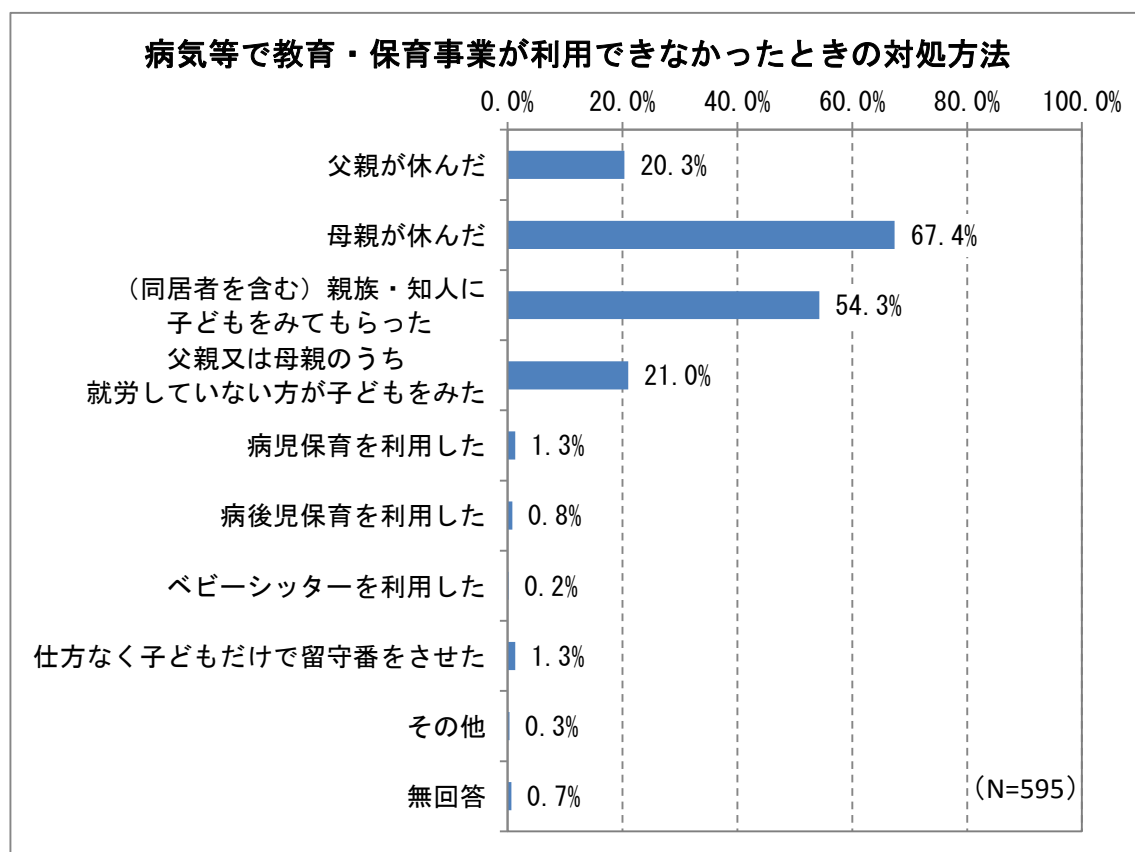
(2) 病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法

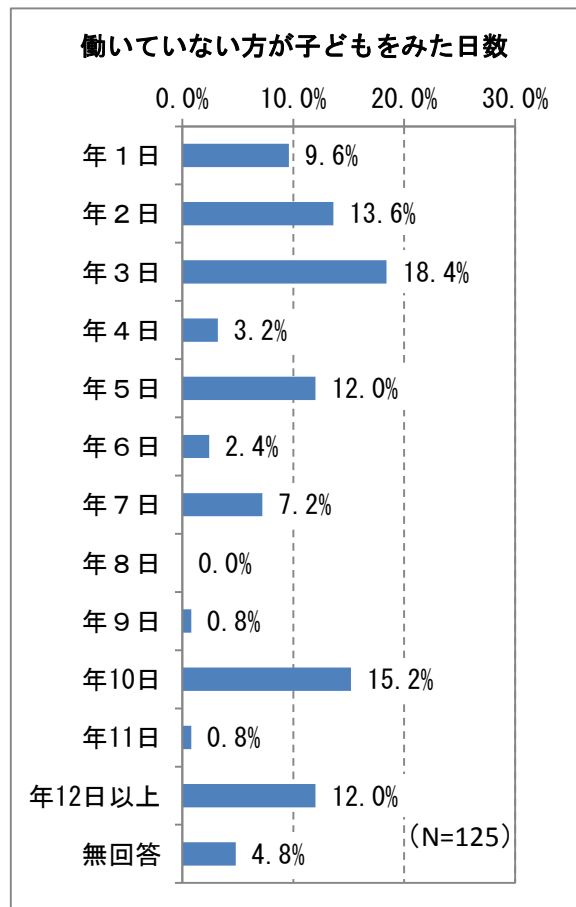
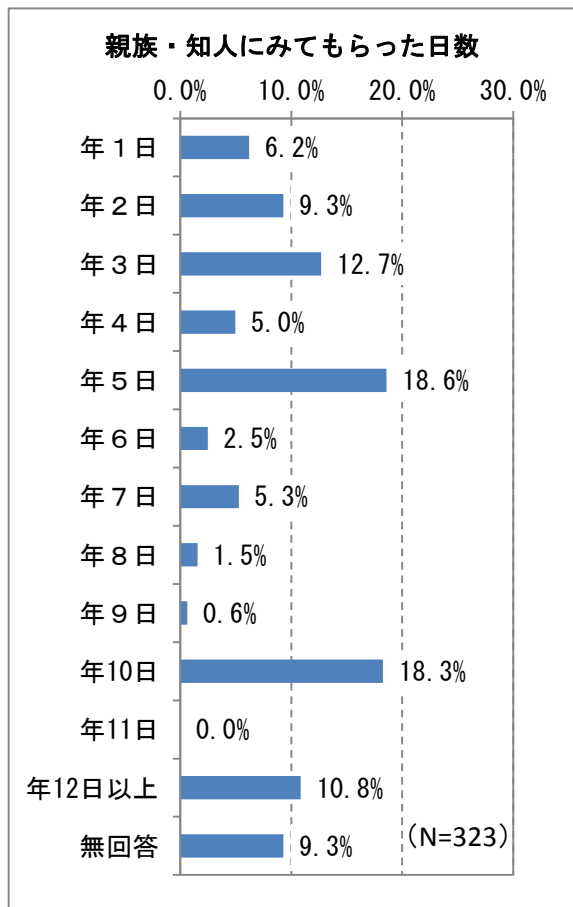
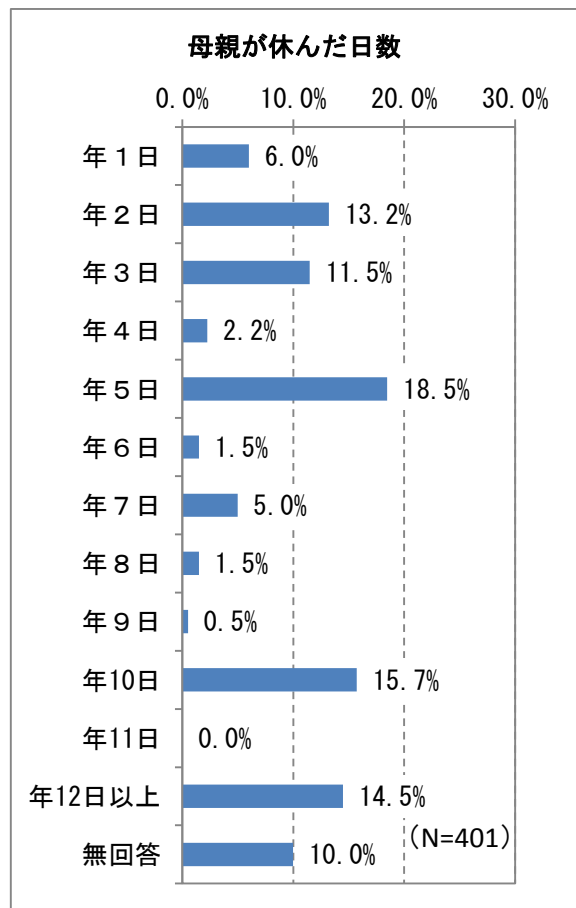
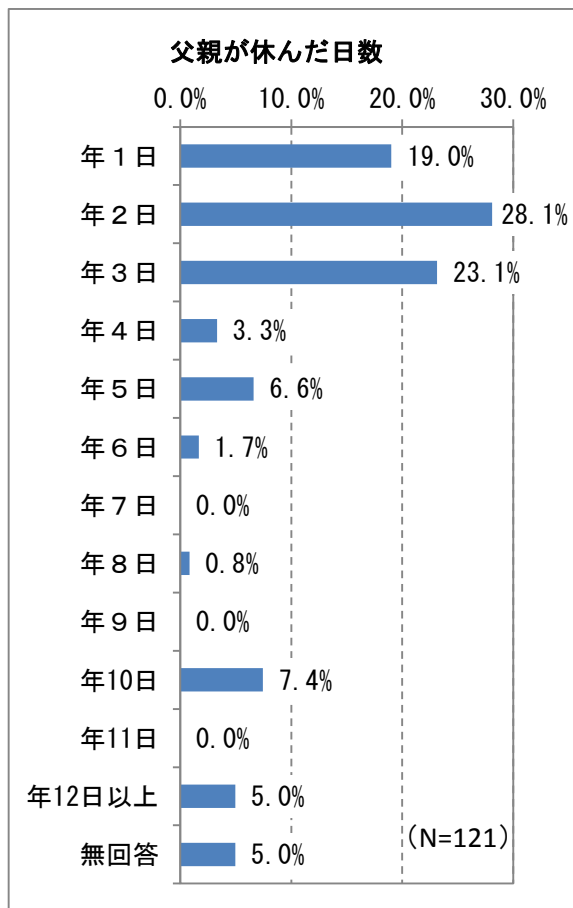
問14で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。

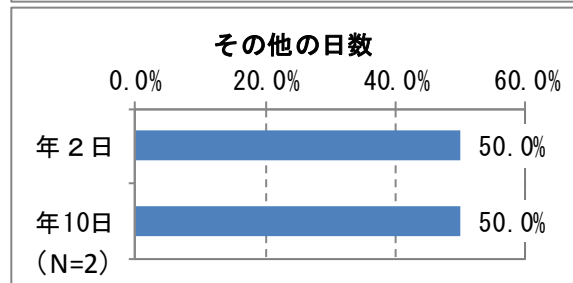
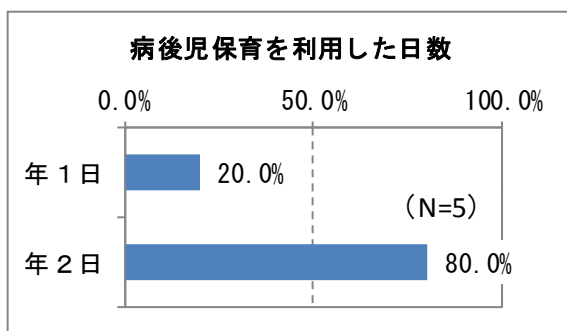
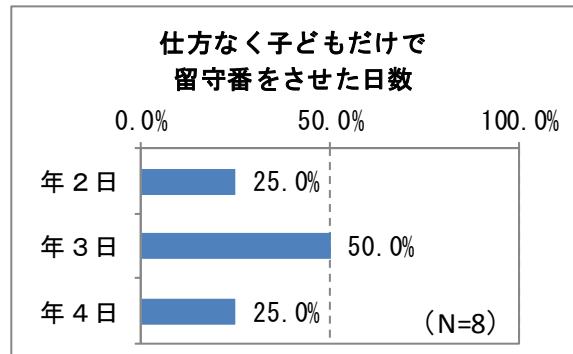
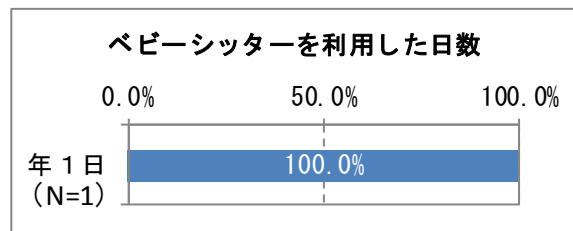
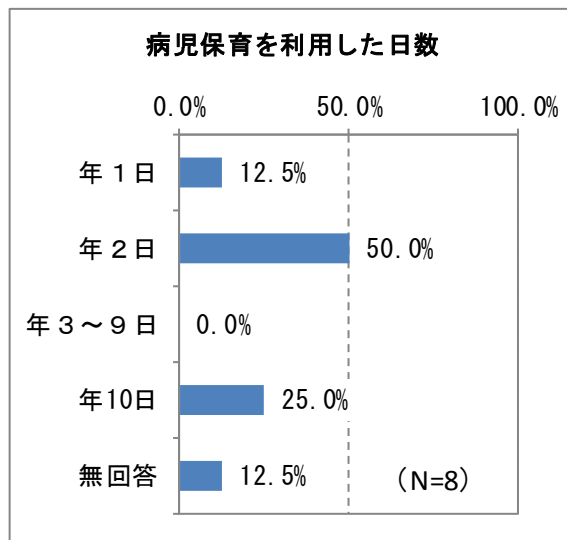
問14-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間にどのように対処しましたか。

病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法をみると、「母親が休んだ」が67.4%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」54.3%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」21.0%の順となっている。その他では、「会社と一緒に連れていった」という意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、母親がフルタイムで就労している場合、「父親が休んだ」の割合がパートタイム・アルバイトや就労していない場合に比べ多くなっている。







	全 体	父 親 が 休 ん だ	母 親 が 休 ん だ	も 親 （ 同 居 者 を 含 む ） を み て も ら ん な ら な い 子 ど ろ	方 が 就 業 し て い る 父 親 の み な ら な い 子 ど ろ	た 病 児 保 育 を 利 用 し た
全体 上段／実数	595	121	401	323	125	8
下段／MA%	100.0	20.3	67.4	54.3	21.0	1.3
母親フルタイム	267	80	216	184	10	5
（産休・育休中等を含む）	100.0	30.0	80.9	68.9	3.7	1.9
パートタイム・アルバイト等	220	33	174	125	25	3
（産休・育休中等を含む）	100.0	15.0	79.1	56.8	11.4	1.4
就労していない	103	6	9	11	89	-
100.0	5.8	8.7	10.7	86.4	-	-
母親はいない	1	1	-	1	-	-
100.0	100.0	-	100.0	-	-	-
全 体	全 体	用 病 し 後 児 保 育 を 利 用 し た	を ベ リ ビ ー シ ッ タ ー を 利 用 し た	さ だ け で な く 子 ど ろ を み て も ら ん な い 子 ど ろ	そ の 他	無 回 答
全体 上段／実数	595	5	1	8	2	4
下段／MA%	100.0	0.8	0.2	1.3	0.3	0.7
母親フルタイム	267	3	-	4	1	3
（産休・育休中等を含む）	100.0	1.1	-	1.5	0.4	1.1
パートタイム・アルバイト等	220	2	1	4	-	1
（産休・育休中等を含む）	100.0	0.9	0.5	1.8	-	0.5
就労していない	103	-	-	-	1	-
100.0	-	-	-	-	1.0	-
母親はいない	1	-	-	-	-	-
100.0	-	-	-	-	-	-

(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

問14-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

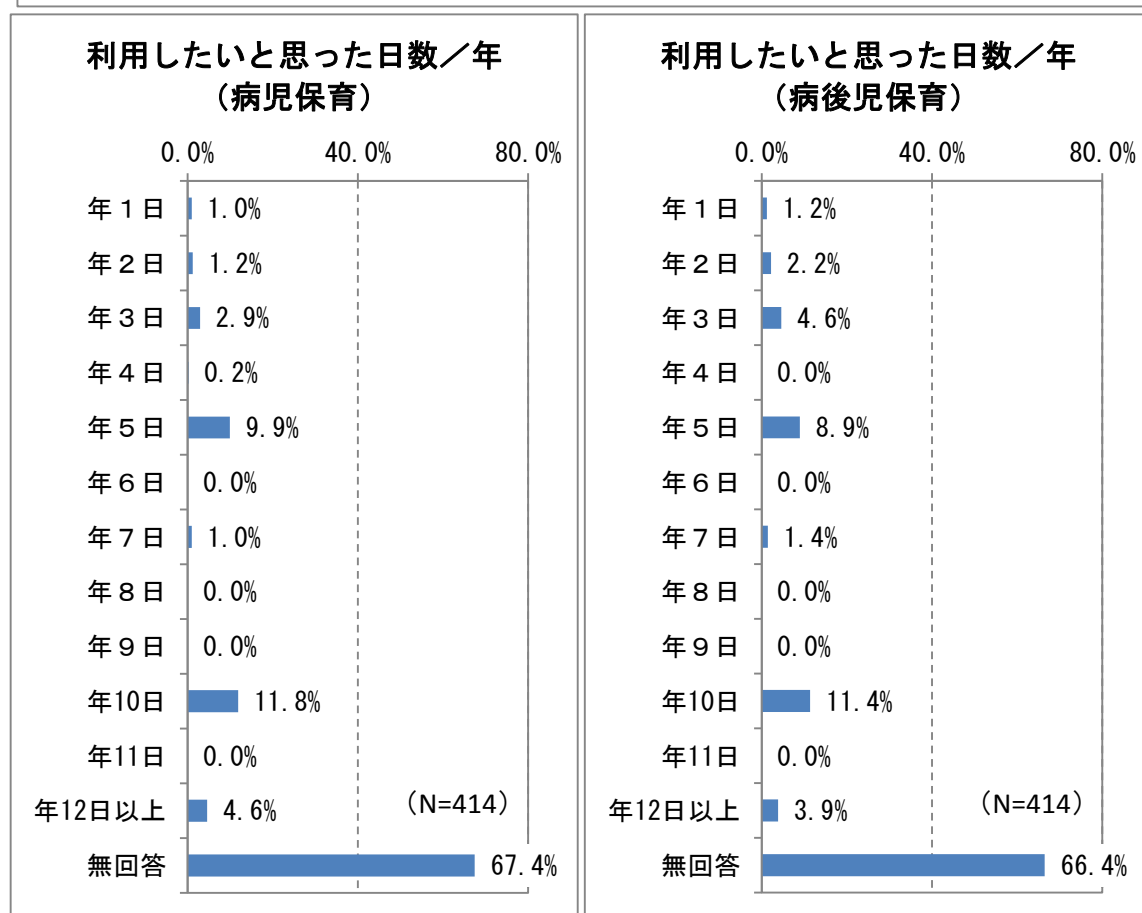
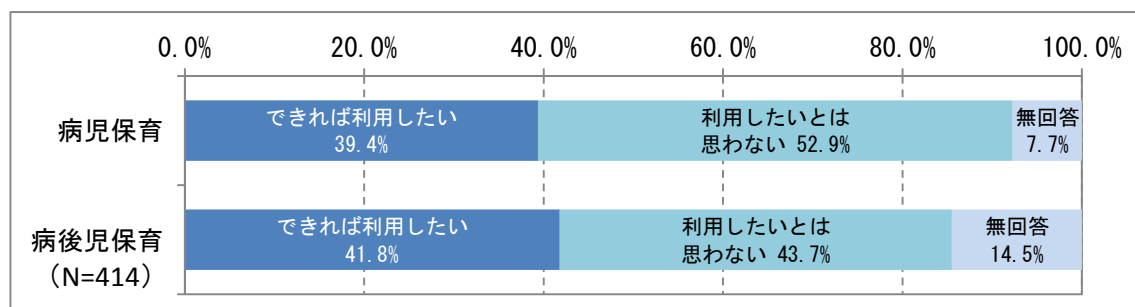
問14-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

病児・病後児のための保育施設等の利用希望をみると、病児保育・病後児保育とも「利用したいと思わない」が52.9%、43.7%と最も多く、次いで「できれば利用したい」39.4%、41.8%の順となっている。

利用したいと思った日数は、病児保育・病後児保育とも「年10回」が11.8%、11.4%と最も多く、次いで「年5回」9.9%、8.9%の順となっている。

子どもの年齢別にみると、病児保育・病後児保育ともに0歳で「できれば利用したい」が多くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイム、パートタイム・アルバイト等の就労状況にある母親の方が就労していない母親よりも「できれば利用したい」が多くなっている。



		全 体	病児保育			病後児保育		
			し で た き い れ ば 利 用	は 利 思 用 わ し な い と	無 回 答	し で た き い れ ば 利 用	は 利 思 用 わ し な い と	無 回 答
全体 上段／実数		414	163	219	32	173	181	60
下段／％		100.0	39.4	52.9	7.7	41.8	43.7	14.5
子 ど も の 年 齢	0歳児	44	24	16	4	26	12	6
		100.0	54.5	36.4	9.1	59.1	27.3	13.6
	1歳児	45	23	18	4	20	16	9
		100.0	51.1	40.0	8.9	44.4	35.6	20.0
	2歳児	69	24	41	4	30	32	7
		100.0	34.8	59.4	5.8	43.5	46.4	10.1
	3歳児	73	28	37	8	28	32	13
		100.0	38.4	50.7	11.0	38.4	43.8	17.8
	4歳児	91	36	51	4	40	42	9
		100.0	39.6	56.0	4.4	44.0	46.2	9.9
母 親 の 就 労 タ イ プ	5歳児	86	25	54	7	27	45	14
		100.0	29.1	62.8	8.1	31.4	52.3	16.3
	フルタイム	220	89	114	17	92	98	30
	(産休・育休中等を含む)	100.0	40.5	51.8	7.7	41.8	44.5	13.6
	パートタイム・アルバイト等	177	69	97	11	75	76	26
	(産休・育休中等を含む)	100.0	39.0	54.8	6.2	42.4	42.9	14.7
	就労していない	13	4	6	3	4	5	4
		100.0	30.8	46.2	23.1	30.8	38.5	30.8
	母親はいない	1	1	－	－	1	－	－
		100.0	100.0	－	－	100.0	－	－

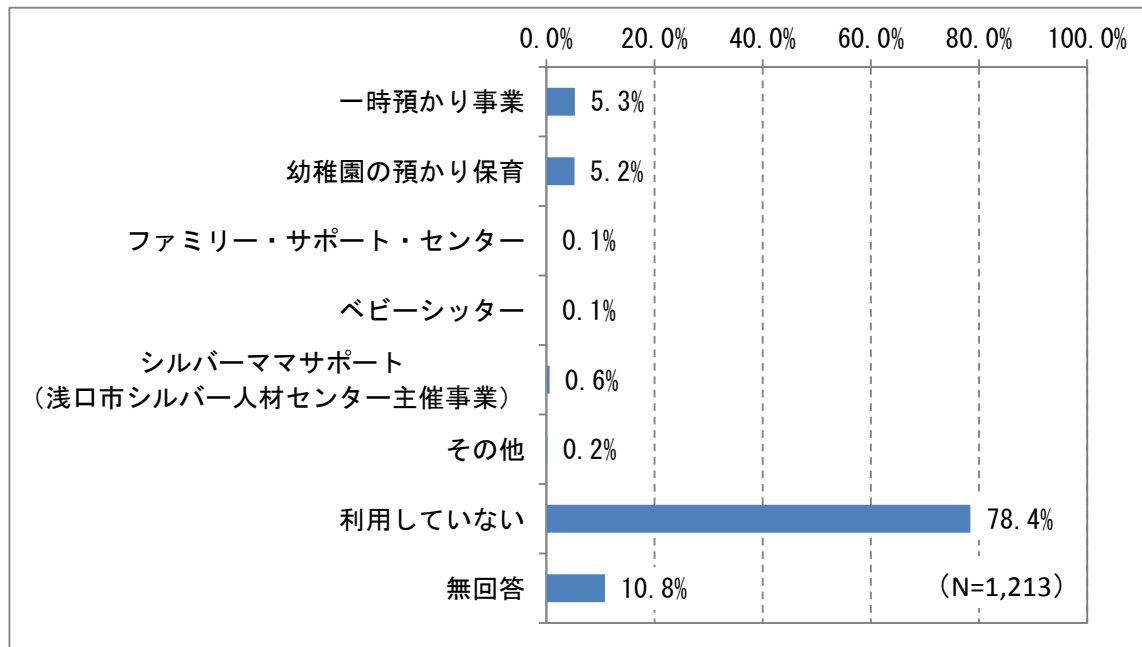
6 子どもの一時預かり等の利用について

(1) 不定期的に利用している教育・保育サービス

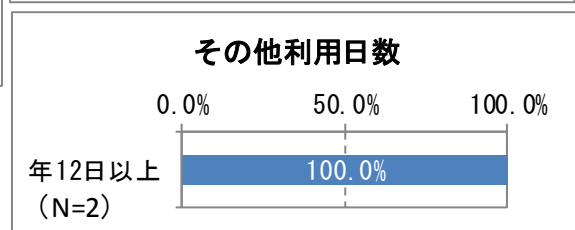
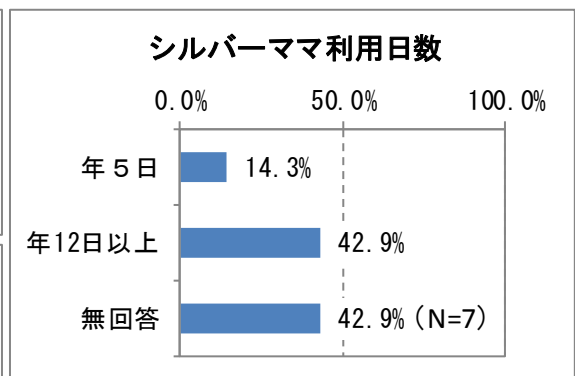
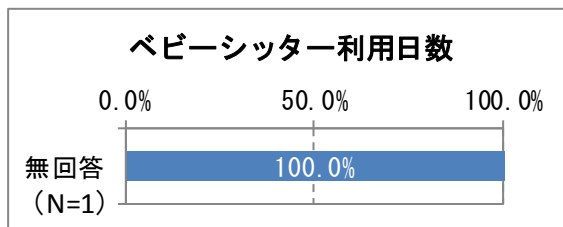
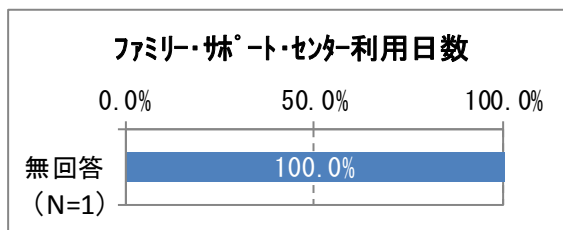
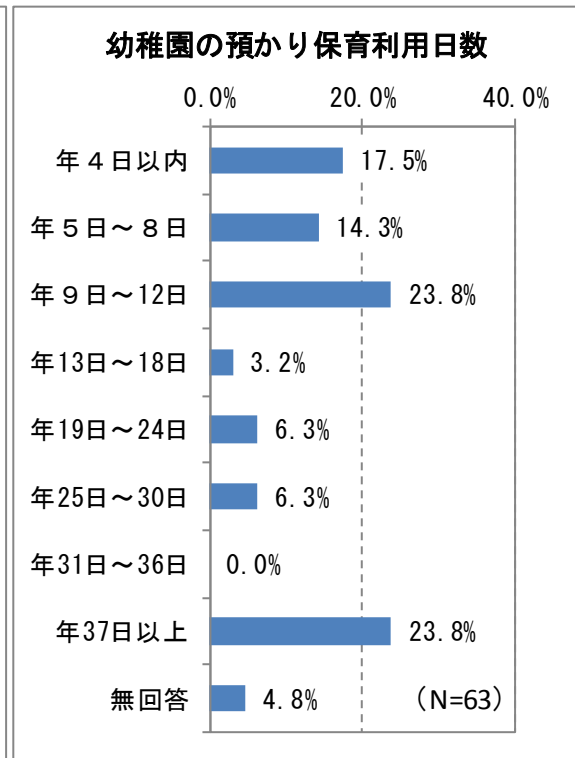
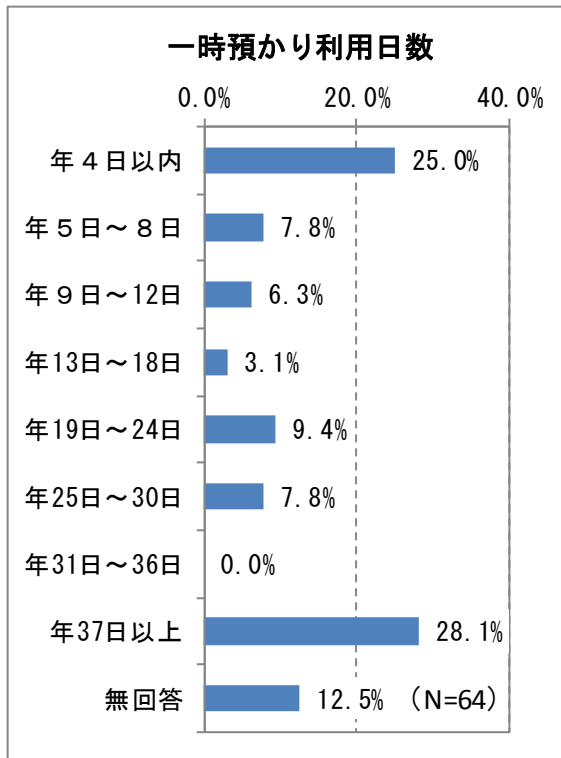
問15 あて名のお子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。

不定期的に利用している事業をみると、「利用していない」が78.4%と最も多く、次いで「一時預かり」5.3%、「幼稚園の預かり保育」5.2%の順となっている。その他では、「職場の託児所・保育園」という意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、就労状況に関わらず「利用していない」が最も多くなっている。



	全体	一時預かり事業	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	ベビーシッター	シルバーママサポート (浅口市シルバー人材センター主催事業)	その他	利用していない	無回答
全体 上段/実数	1,213	64	63	1	1	7	2	951	131
下段/%	100.0	5.3	5.2	0.1	0.1	0.6	0.2	78.4	10.8
母親の就労タイプ									
フルタイム	415	15	14	1	1	4	1	325	58
(産休・育休中等を含む)	100.0	3.6	3.4	0.2	0.2	1.0	0.2	78.3	14.0
パートタイム・アルバイト等	341	16	25	-	-	2	1	254	44
(産休・育休中等を含む)	100.0	4.7	7.3	-	-	0.6	0.3	74.5	12.9
就労していない	444	33	24	-	-	1	-	364	24
100.0	7.4	5.4	-	-	0.2	-	-	82.0	5.4
母親はいない	3	-	-	-	-	-	-	1	2
100.0	-	-	-	-	-	-	-	33.3	66.7

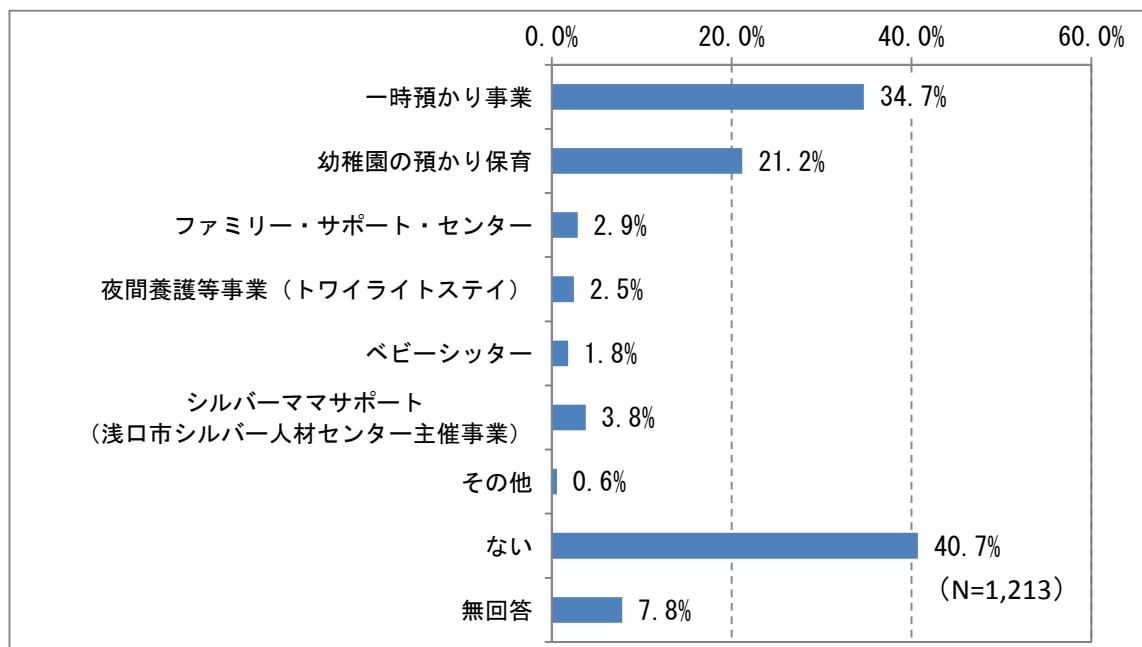


(2) 利用したい不定期の教育・保育サービス

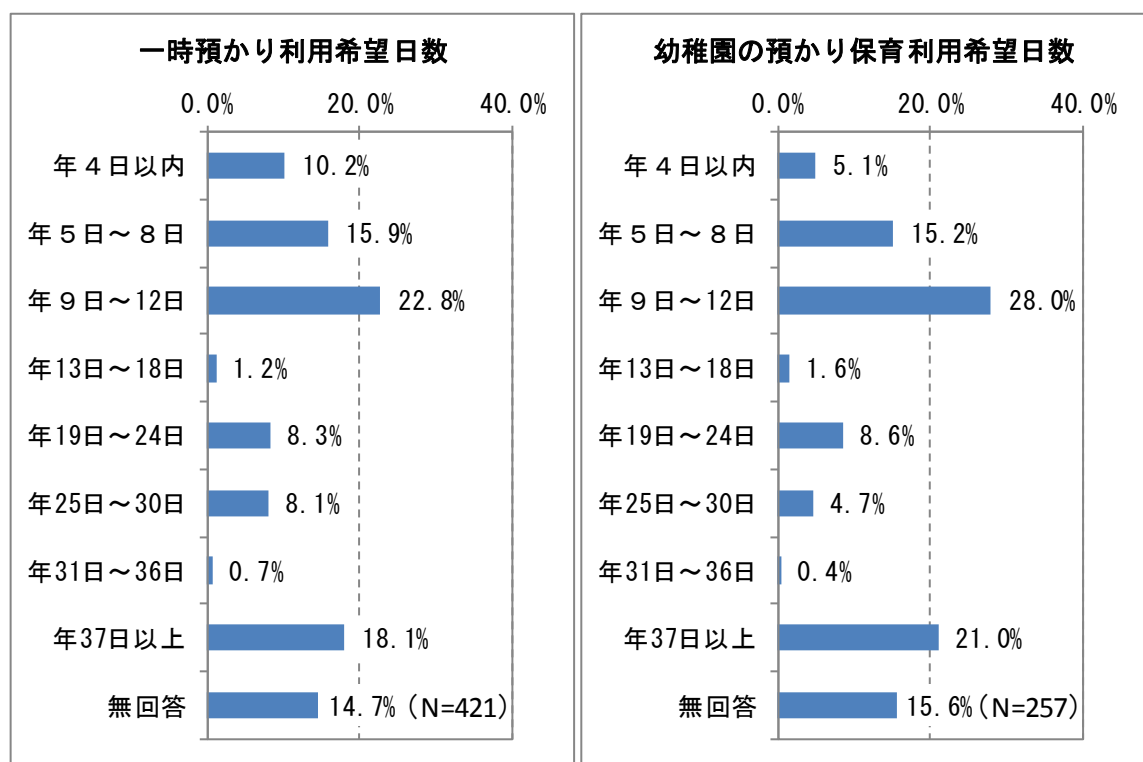
問16 あて名のお子さんについて、現在、利用しているかどうかに関わらず、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したい事業はありますか。

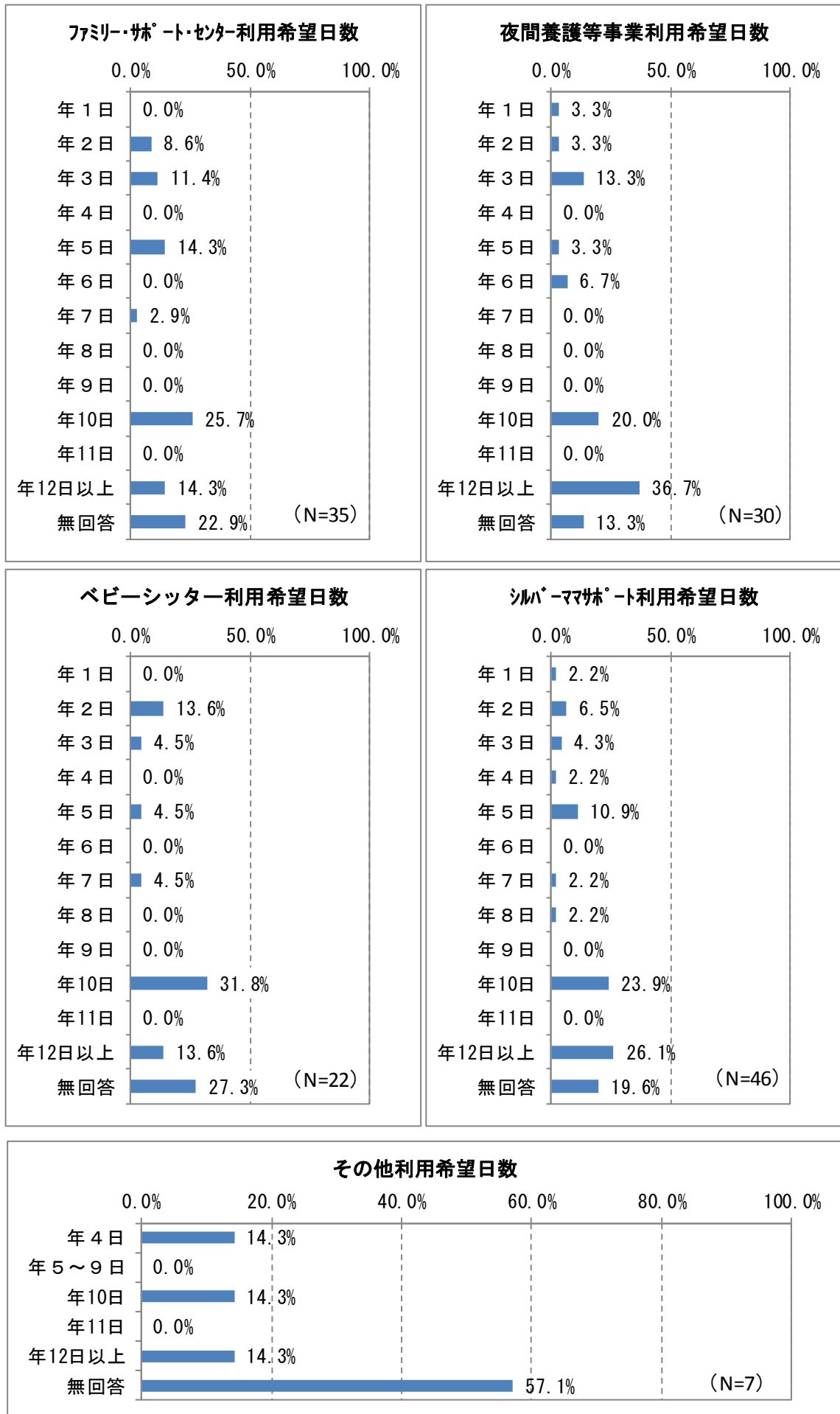
不定期に利用したい事業をみると、「ない」が40.7%と最も多く、次いで「一時預かり」34.7%、「幼稚園の預かり保育」21.2%の順となっている。その他では、「急に仕事で遅くなりそうな時に迎えに行きあずけられるサービス」「通っている保育園で病児保育」「保育園が行事の代休も預かってほしい」などの意見があった。

子どもの年齢別にみると、「一時預かり事業」は子どもの年齢が高くなるにつれ減少傾向にあり、「幼稚園の預かり保育」が増加傾向にある。



		全 体	一 時 預 かり 事業	幼 稚 園 の 預 かり 保育	フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	夜 間 養 護 等 事業 (ト ワ イ ラ イ ト ス テ イ)	ベ ビ ー シ ツ タ ー	セ ン タ ー 主 催 事業 (シ ル バ ー マ マ サ ポ ー ト 人 材 ト シ ル バ ー マ マ サ ポ ー ト 人 材 ト シ ル バ ー マ マ サ ポ ー ト 人 材 ト)	そ の 他	な い	無 回 答
全体 上段／実数		1,213	421	257	35	30	22	46	7	494	95
下段／%		100.0	34.7	21.2	2.9	2.5	1.8	3.8	0.6	40.7	7.8
子 ど も の 年 齢	0歳児	231	119	22	4	7	4	7	2	92	12
		100.0	51.5	9.5	1.7	3.0	1.7	3.0	0.9	39.8	5.2
	1歳児	148	64	20	6	6	4	5	－	59	12
		100.0	43.2	13.5	4.1	4.1	2.7	3.4	－	39.9	8.1
	2歳児	181	85	33	7	5	3	9	2	62	11
		100.0	47.0	18.2	3.9	2.8	1.7	5.0	1.1	34.3	6.1
	3歳児	183	56	35	8	2	4	5	1	83	15
		100.0	30.6	19.1	4.4	1.1	2.2	2.7	0.5	45.4	8.2
	4歳児	220	49	72	6	6	2	10	1	97	13
		100.0	22.3	32.7	2.7	2.7	0.9	4.5	0.5	44.1	5.9
5歳児	237	45	72	3	4	5	8	1	99	27	
	100.0	19.0	30.4	1.3	1.7	2.1	3.4	0.4	41.8	11.4	





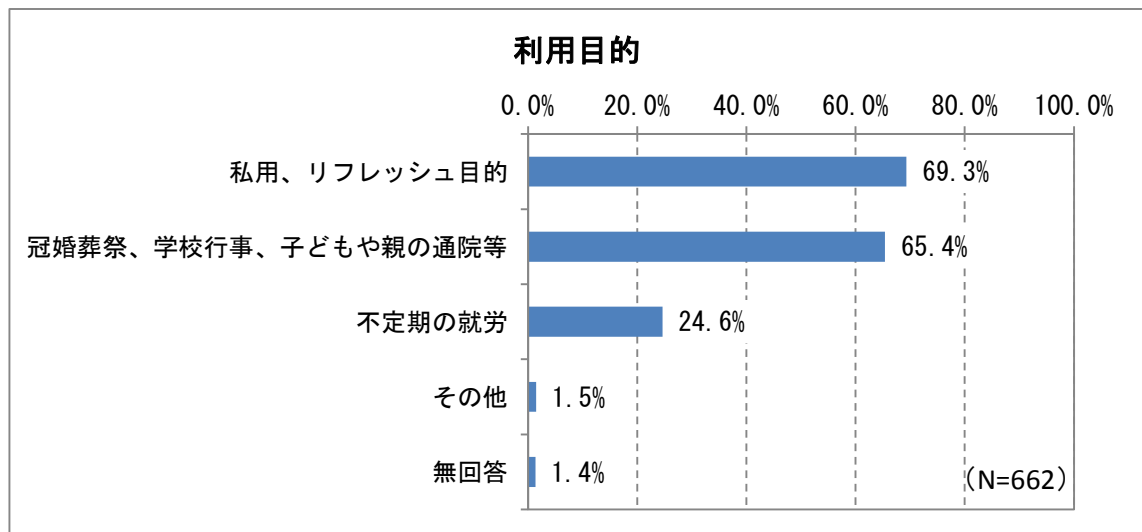
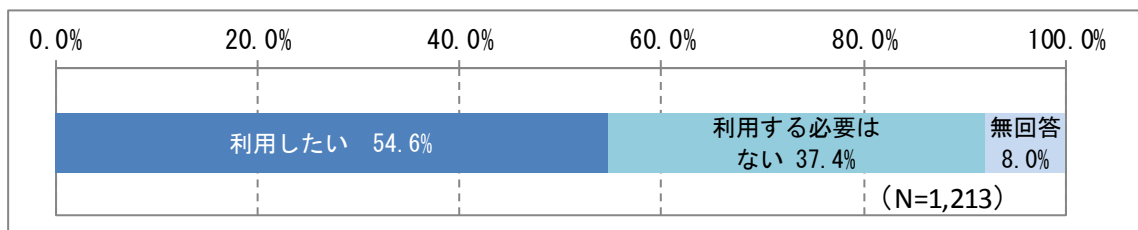
(3) 不定期な教育・保育サービスを利用したい目的

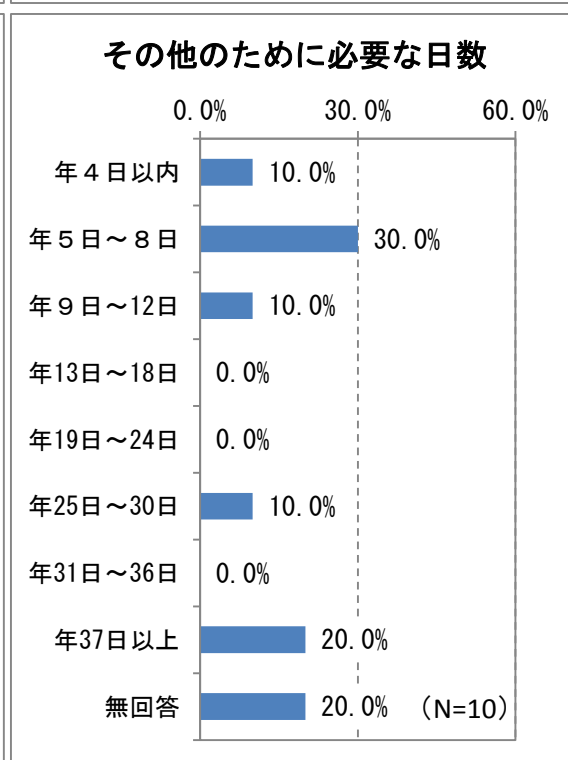
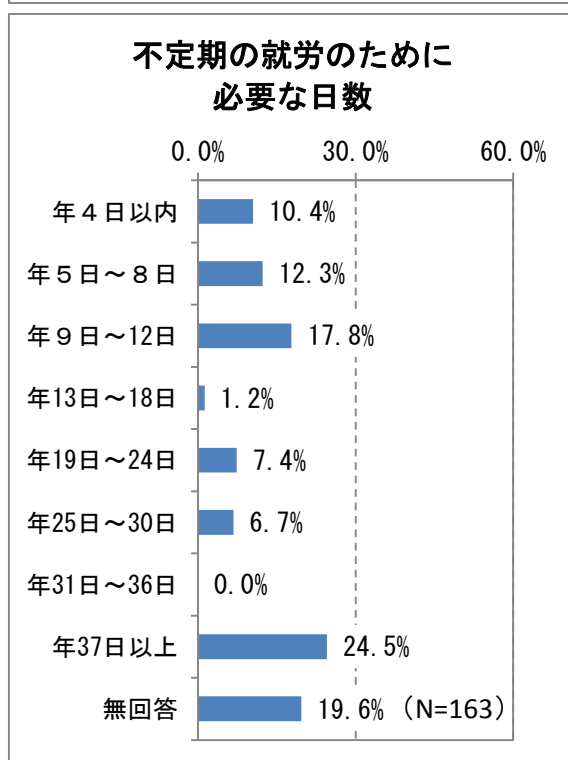
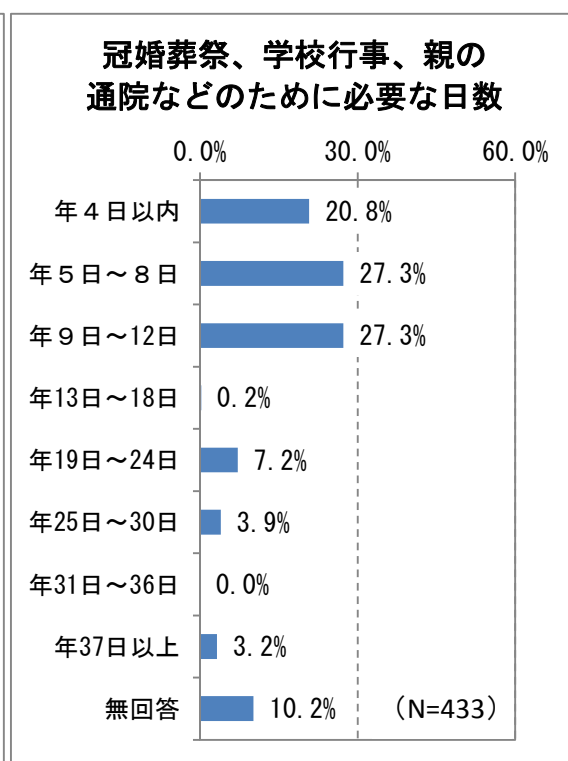
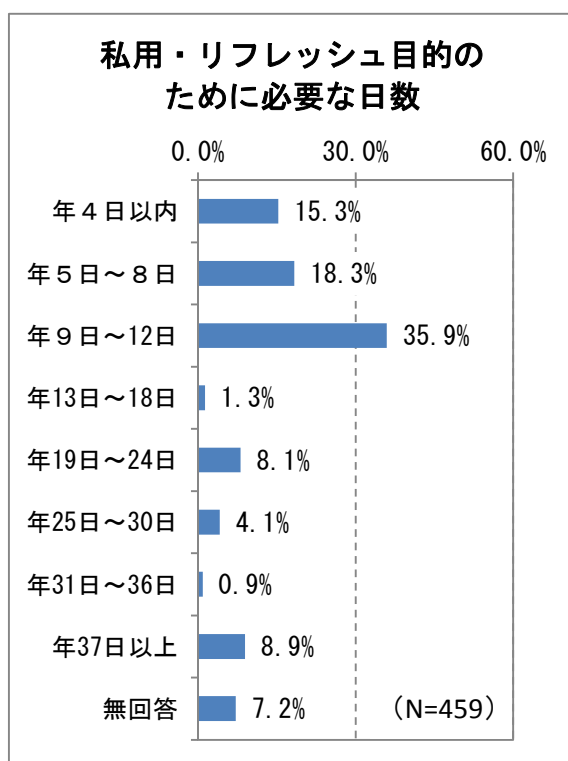
問17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

不定期な教育・保育サービスの利用希望の有無をみると、「利用したい」54.6%、「利用する必要はない」37.4%となっている。

また、利用したい目的は、「私用、リフレッシュ目的」69.3%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」65.4%、「不定期の就労」24.6%の順となっています。その他では、「就職活動」「2人目の産後」などの意見があった。

必要な日数は、「年9回～12回」が多くなっている。





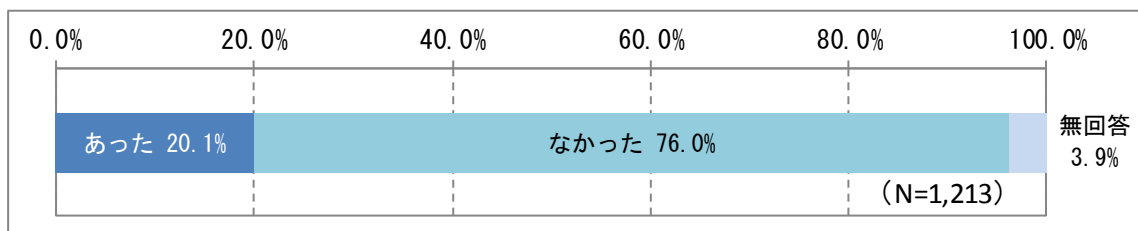
(4) 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと

問18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことをみると、「なかった」76.0%、「あった」20.1%となっている。

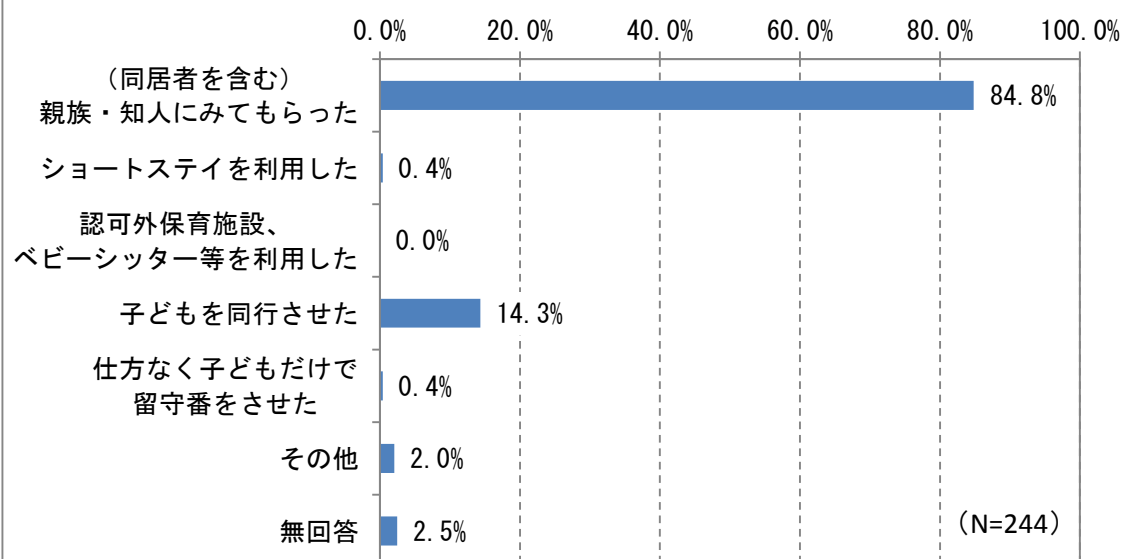
また、泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が84.8%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」14.3%、「無回答」2.5%の順となっている。泊まりがけで家族以外にみてもらった泊数は、「年1泊」が多くなっている。その他では、「預け先がないため予定を断った」という意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、「あった」との回答はフルタイムの場合で最も多く24.8%、次いでパートタイム・アルバイトの場合20.2%、就労していない場合15.8%の順となっている。

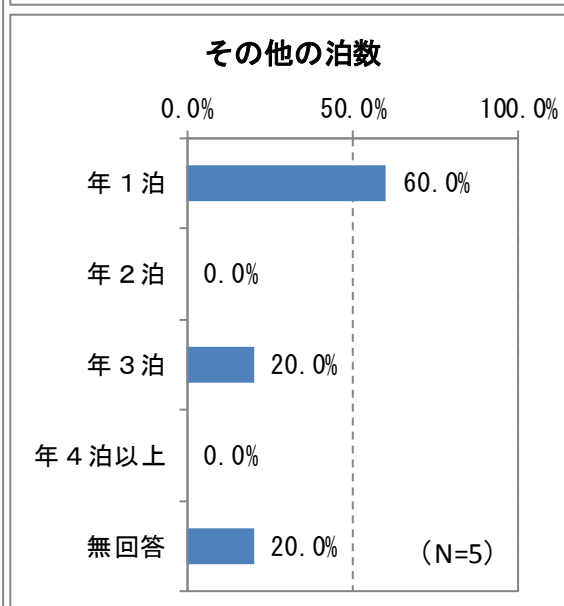
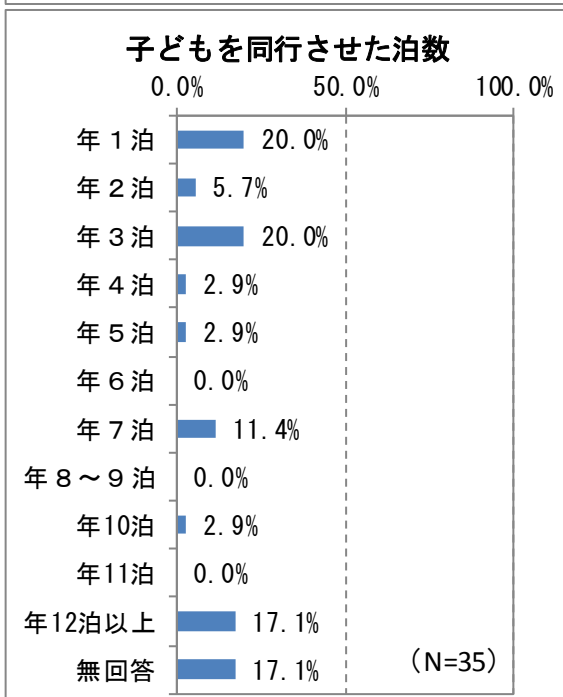
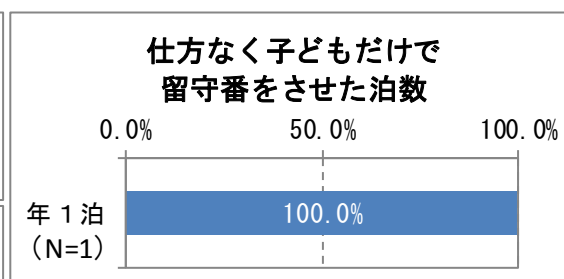
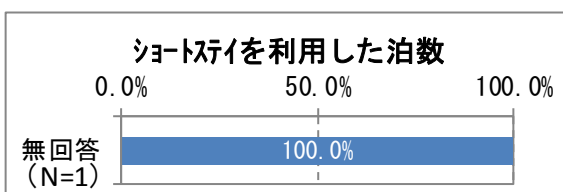
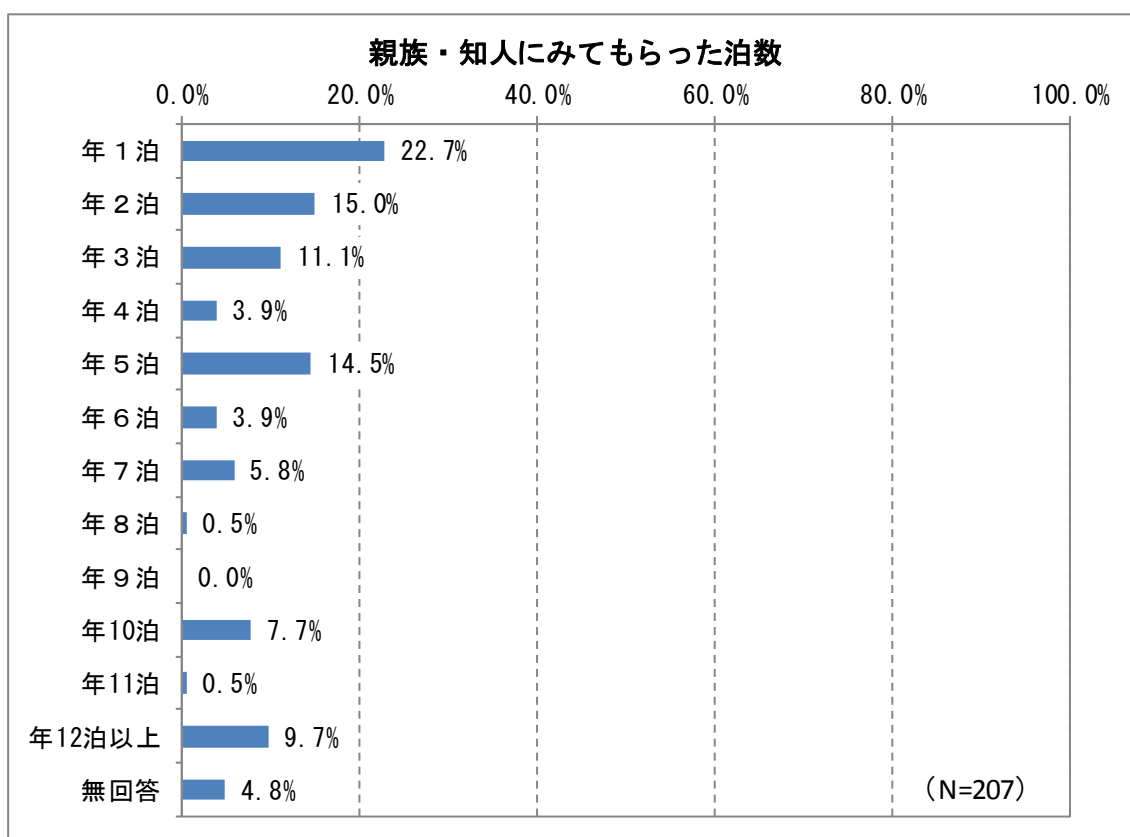


	全 体	あ っ た	な か っ た	無 回 答
全体 上段／実数	1,213	244	922	47
下段／%	100.0	20.1	76.0	3.9
母親の就労タイプ				
フルタイム	415	103	291	21
(産休・育休中等を含む)	100.0	24.8	70.1	5.1
パートタイム・アルバイト等	341	69	260	12
(産休・育休中等を含む)	100.0	20.2	76.2	3.5
就労していない	444	70	364	10
	100.0	15.8	82.0	2.3
母親はいない	3	－	2	1
	100.0	－	66.7	33.3

泊りがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対処方法



	全 体	に み て ら う た る 親 族 ・ 知 人	シ ョ ー ト ス テ イ を 利 用 し た	認 可 外 保 育 施 設 、 ベ ー ビ ー シ ッ タ ー 等 を 利 用 し た	子 ど も を 同 行 さ せ た	仕 方 な く 子 ど も だ け で 留 守 番 を さ せ た	そ の 他	無 回 答
全体	244	207	1	-	35	1	5	6
上段／実数	244	207	1	-	35	1	5	6
下段／%	100.0	84.8	0.4	-	14.3	0.4	2.0	2.5
子 ど も の 年 齢	0歳児	35	27	1	-	10	-	1
		100.0	77.1	2.9	-	28.6	-	2.9
	1歳児	33	28	-	-	3	-	2
		100.0	84.8	-	-	9.1	-	6.1
	2歳児	46	38	-	-	8	-	1
		100.0	82.6	-	-	17.4	-	2.2
	3歳児	34	28	-	-	4	-	1
		100.0	82.4	-	-	11.8	-	2.9
母 親 の 就 労 タ イ プ	4歳児	43	37	-	-	7	-	-
		100.0	86.0	-	-	16.3	-	-
	5歳児	50	46	-	-	3	1	1
		100.0	92.0	-	-	6.0	2.0	2.0
	フルタイム	103	91	-	-	15	1	1
	(産休・育休中等を含む)	100.0	88.3	-	-	14.6	1.0	1.0
	パートタイム・アルバイト等	69	63	1	-	6	-	1
	(産休・育休中等を含む)	100.0	91.3	1.4	-	8.7	-	1.4
母 親 は い な い	就労していない	70	52	-	-	13	2	4
		100.0	74.3	-	-	18.6	2.9	5.7
母 親 は い な い	母親はいない	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-



7 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 地域の子育て支援施設の利用状況

問19 あて名のお子さんは、現在、次の子育て支援施設（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。

子育て支援施設の現在の利用状況をみると、「無回答」が82.9%と最も多く、「つどいの広場のびっ子」11.9%、「子育て支援センターみわ」5.5%の順となっている。

また、利用回数は、「月1回」が多くなっている。

子どもの年齢別にみると、0～2歳児での利用が多く、3歳児になると利用が減少し、4歳以上ではほぼ利用していない。

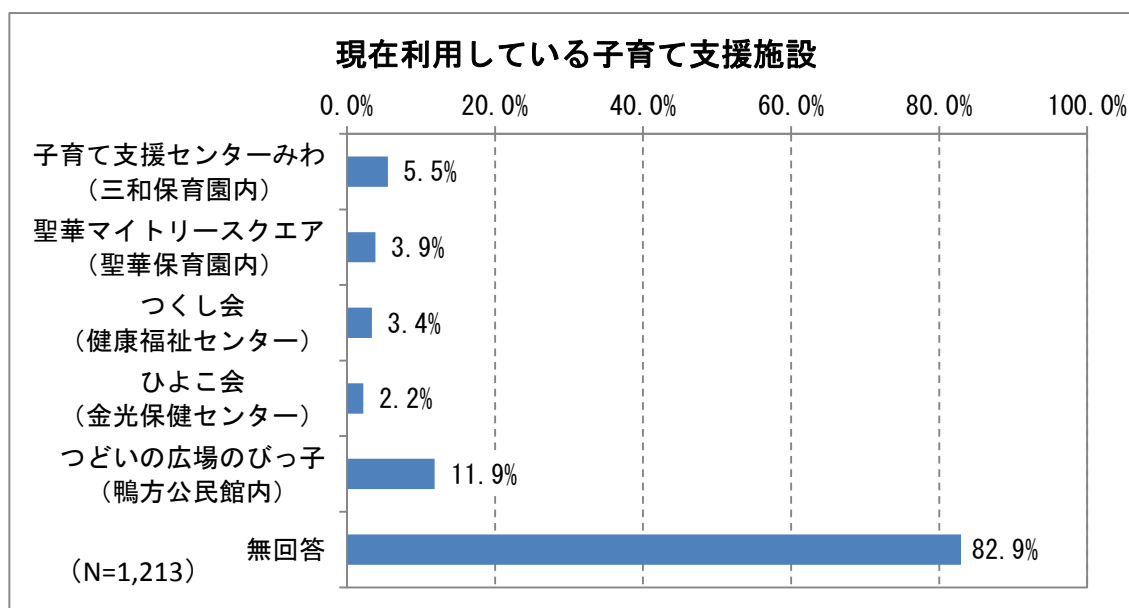
母親の就労タイプ別にみると、フルタイム、パートタイム・アルバイト等の就労状況にある場合よりも就労していない場合の方が利用は多くなっている。

子育て支援施設の今後の利用意向をみると、「無回答」81.7%と最も多く、「つどいの広場のびっ子」12.9%、「子育て支援センターみわ」7.1%の順となっている。

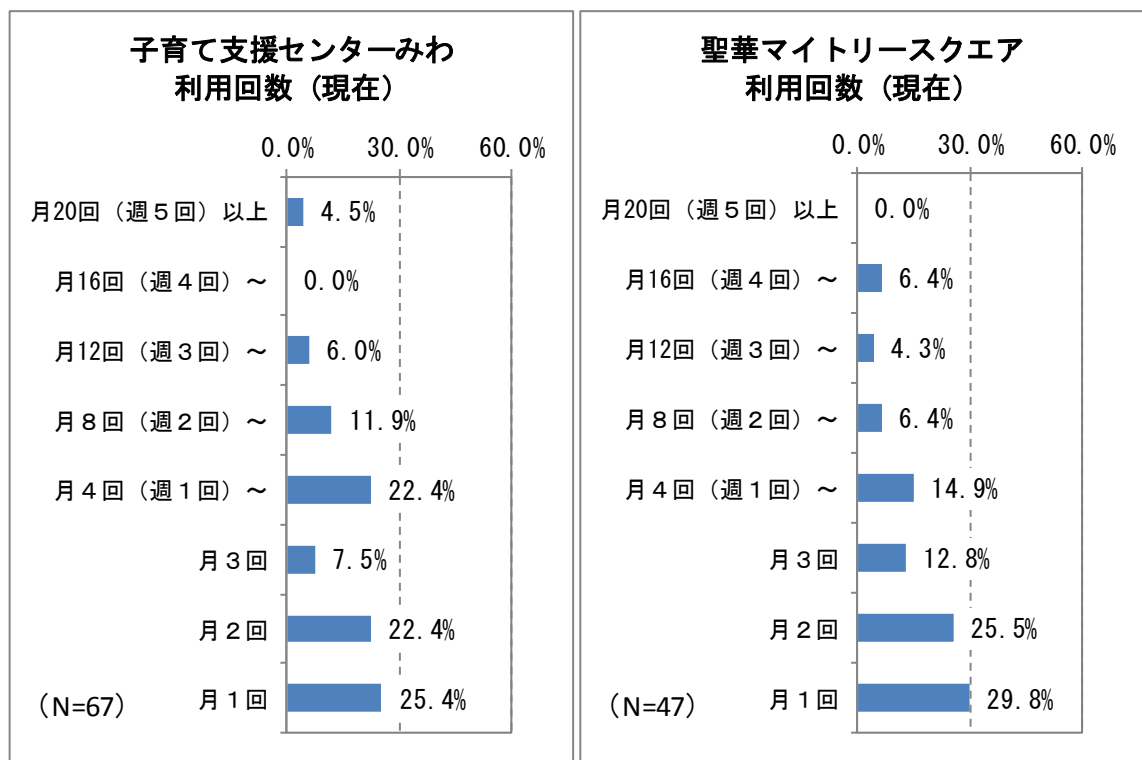
また、希望回数は、「月1回」が多くなっており、「子育て支援センターみわ（三和保育園内）」と「つどいの広場のびっ子（鴨方公民館内）」については「月4回（週1回）～」が多くなっている。

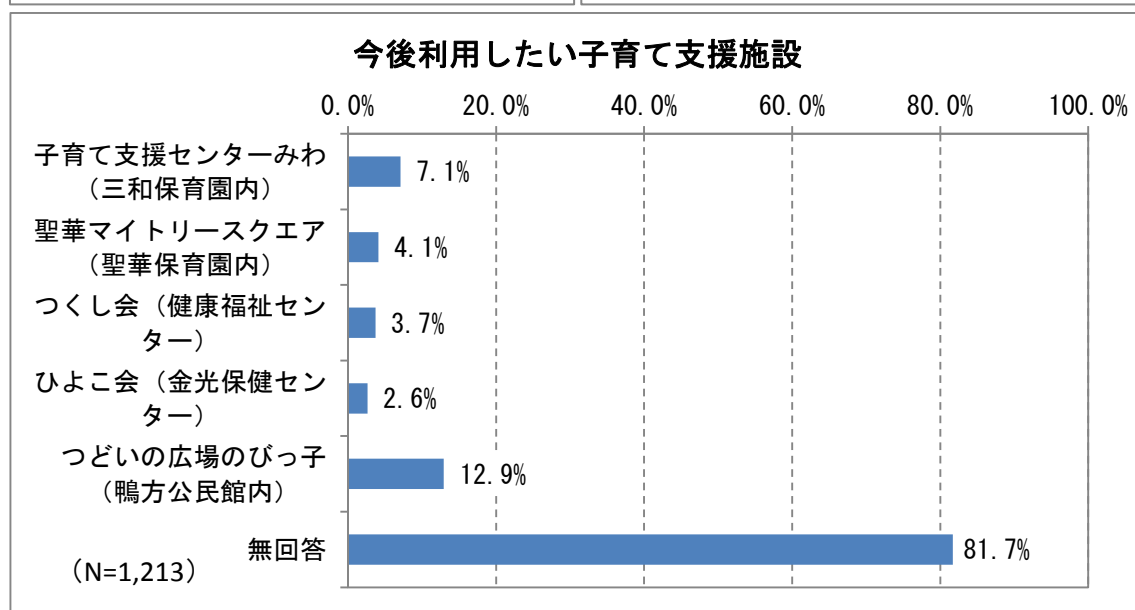
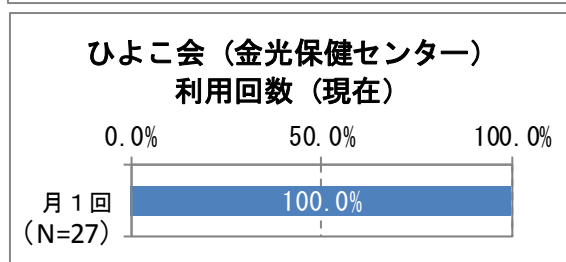
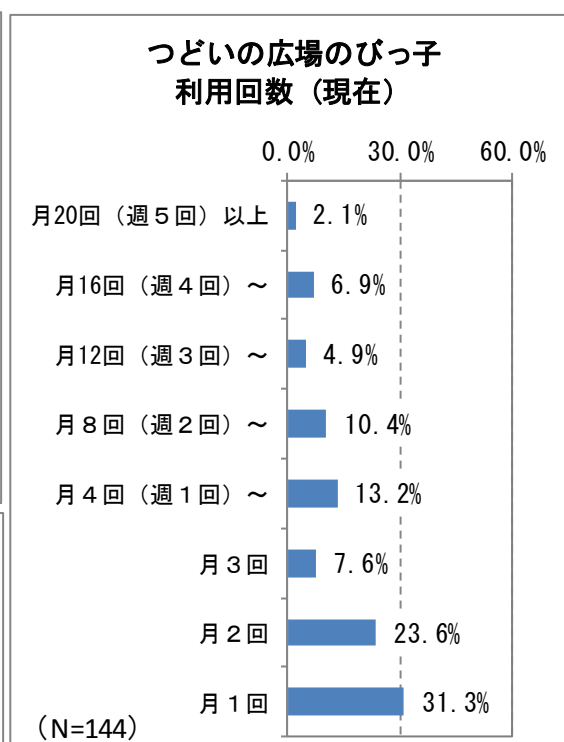
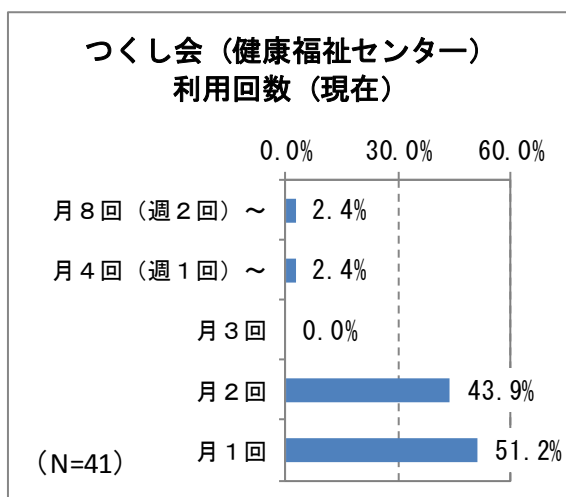
子どもの年齢別にみると、4歳以上では利用希望はほぼなく、0～2歳児で利用意向は高くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、就労していない場合での利用希望が多く、フルタイム、パートタイム・アルバイト等の就労状況にある場合の利用希望は多くはない。

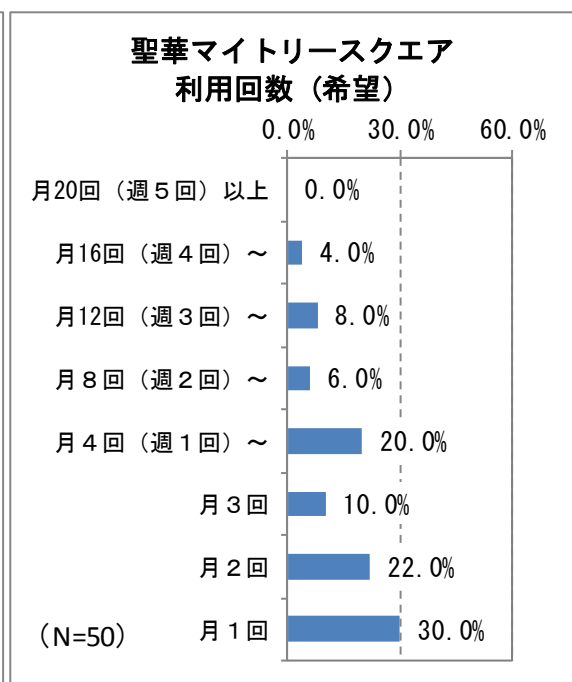
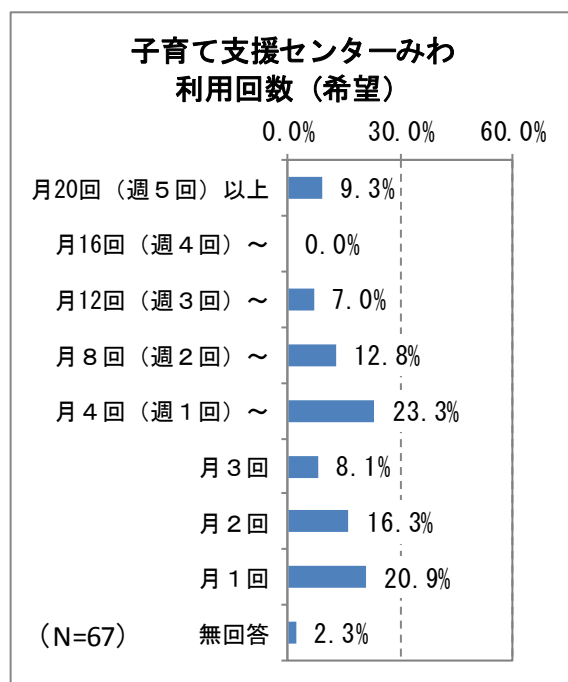


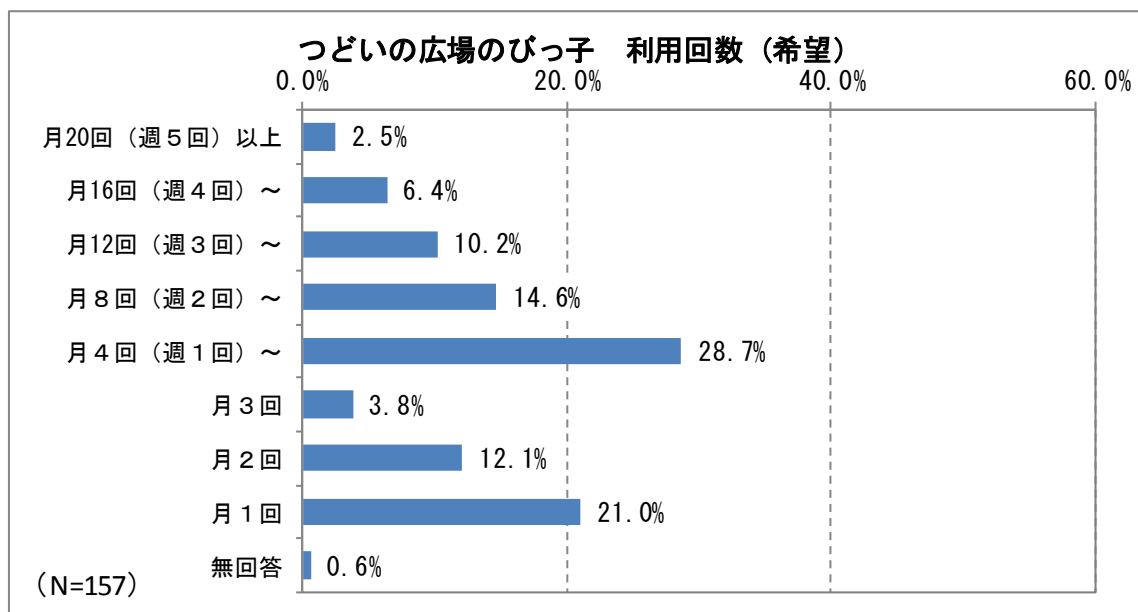
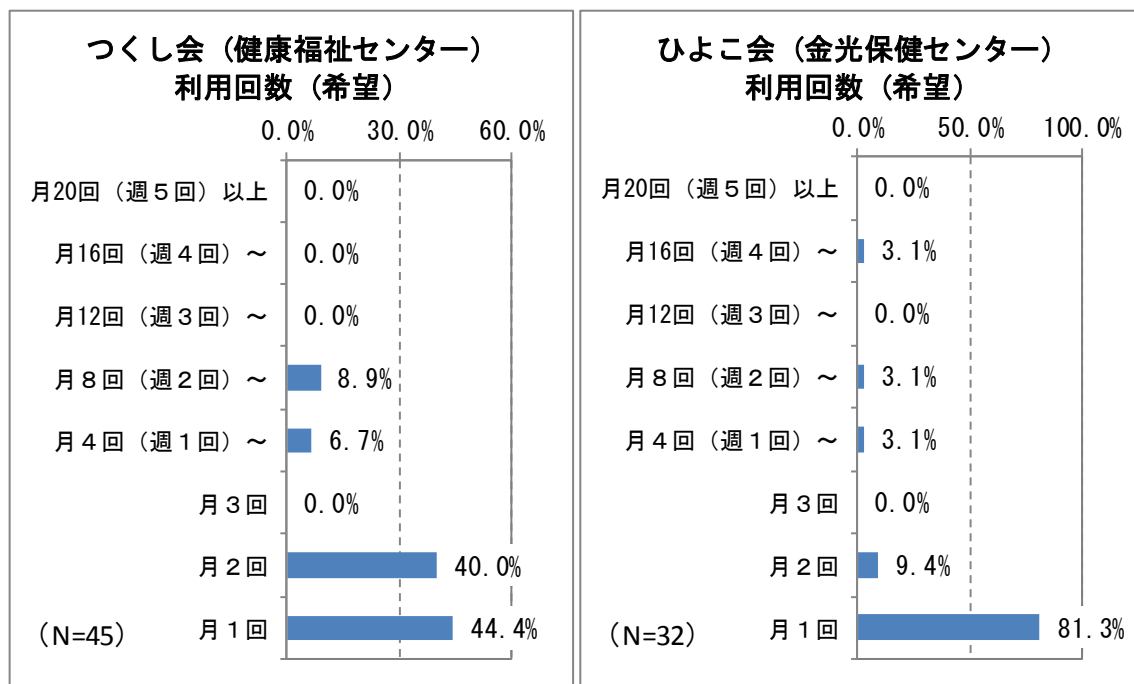
		全 体	現在利用している					
			子育て支援センターみわ (三和保育園内)	聖華マイトリースクエア (聖華保育園内)	つくし会 (健康福祉センター)	ひよこ会 (金光保健センター)	つどいの広場のびっ子 (鴨方公民館内)	無回答
全体 上段／実数		1,213	67	47	41	27	144	1,006
下段／MA%		100.0	5.5	3.9	3.4	2.2	11.9	82.9
子どもの年齢	0歳児	231	22	12	8	7	47	169
		100.0	9.5	5.2	3.5	3.0	20.3	73.2
	1歳児	148	15	11	10	4	28	107
		100.0	10.1	7.4	6.8	2.7	18.9	72.3
	2歳児	181	20	15	14	9	35	123
		100.0	11.0	8.3	7.7	5.0	19.3	68.0
	3歳児	183	9	8	7	7	21	153
		100.0	4.9	4.4	3.8	3.8	11.5	83.6
	4歳児	220	1	-	-	-	7	212
		100.0	0.5	-	-	-	3.2	96.4
	5歳児	237	-	1	2	-	5	230
		100.0	-	0.4	0.8	-	2.1	97.0
母親の就労タイプ	フルタイム	415	10	14	4	3	25	379
	(産休・育休中等を含む)	100.0	2.4	3.4	1.0	0.7	6.0	91.3
	パートタイム・アルバイト等	341	8	4	4	-	20	310
	(産休・育休中等を含む)	100.0	2.3	1.2	1.2	-	5.9	90.9
	就労していない	444	48	29	33	24	99	305
		100.0	10.8	6.5	7.4	5.4	22.3	68.7
母親はいない		3	-	-	-	-	-	3
		100.0	-	-	-	-	-	100.0





		全 体	今後利用したい					
			子育て支援センターみわ (三和保育園内)	聖華マイトリースクエア (聖華保育園内)	つくし会 (健康福祉センター)	ひよこ会 (金光保健センター)	つどいの広場のびっ子 (鴨方公民館内)	無回答
全体 上段／実数		1,213	86	50	45	32	157	991
下段／MA%		100.0	7.1	4.1	3.7	2.6	12.9	81.7
子どもの年齢	0歳児	231	34	18	16	14	54	155
		100.0	14.7	7.8	6.9	6.1	23.4	67.1
	1歳児	148	19	10	7	4	32	103
		100.0	12.8	6.8	4.7	2.7	21.6	69.6
	2歳児	181	22	12	15	8	37	125
		100.0	12.2	6.6	8.3	4.4	20.4	69.1
	3歳児	183	9	9	7	6	20	154
		100.0	4.9	4.9	3.8	3.3	10.9	84.2
	4歳児	220	2	1	—	—	8	210
		100.0	0.9	0.5	—	—	3.6	95.5
	5歳児	237	—	—	—	—	4	233
		100.0	—	—	—	—	1.7	98.3
母親の就労タイプ	フルタイム	415	18	17	6	7	29	369
	(産休・育休中等を含む)	100.0	4.3	4.1	1.4	1.7	7.0	88.9
	パートタイム・アルバイト等	341	12	6	4	2	31	302
	(産休・育休中等を含む)	100.0	3.5	1.8	1.2	0.6	9.1	88.6
	就労していない	444	55	27	35	23	96	309
		100.0	12.4	6.1	7.9	5.2	21.6	69.6
母親はいない		3	—	—	—	—	—	3
		100.0	—	—	—	—	—	100.0





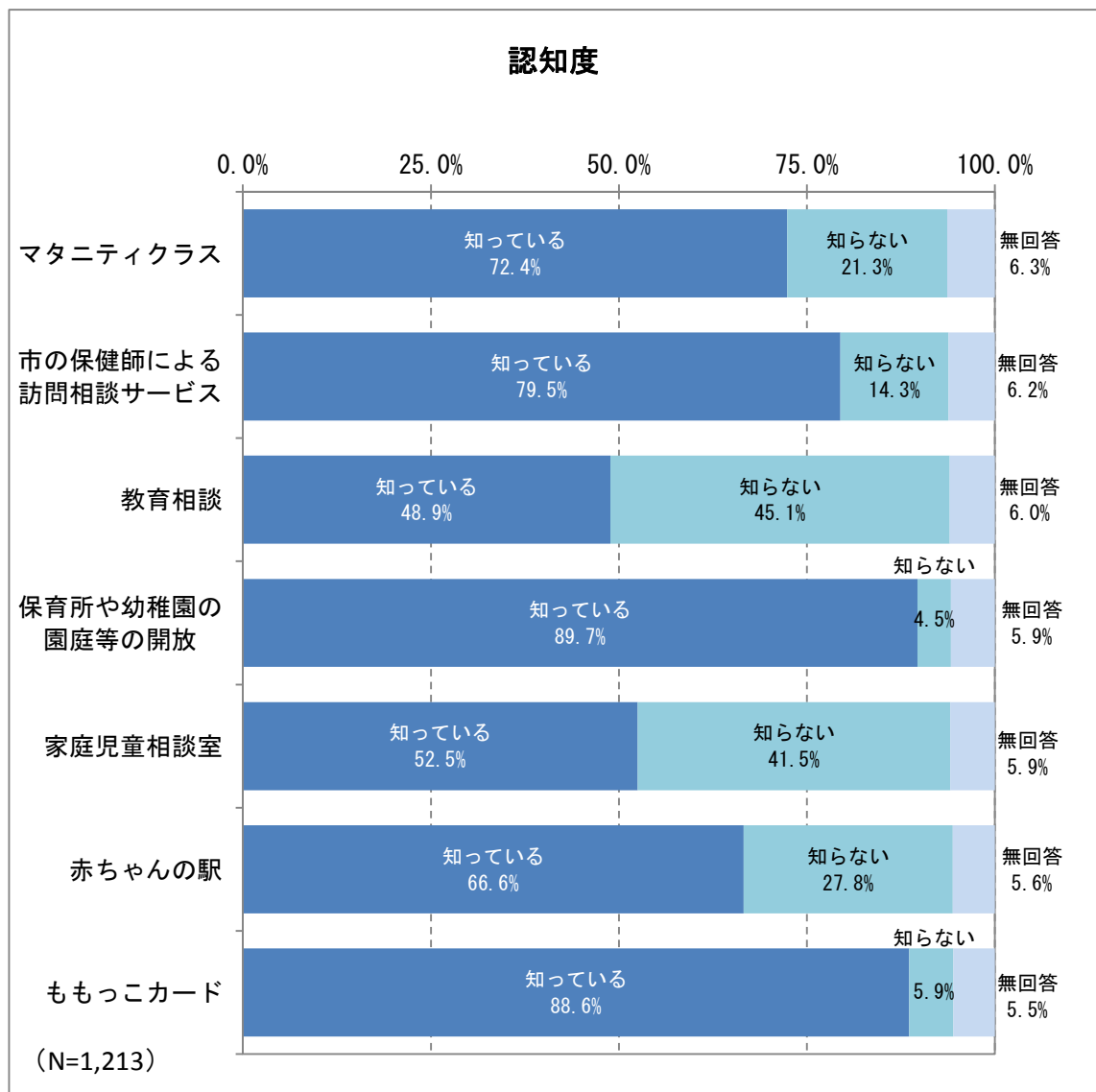
(2) 地域の子育て支援事業の認知度・利用状況

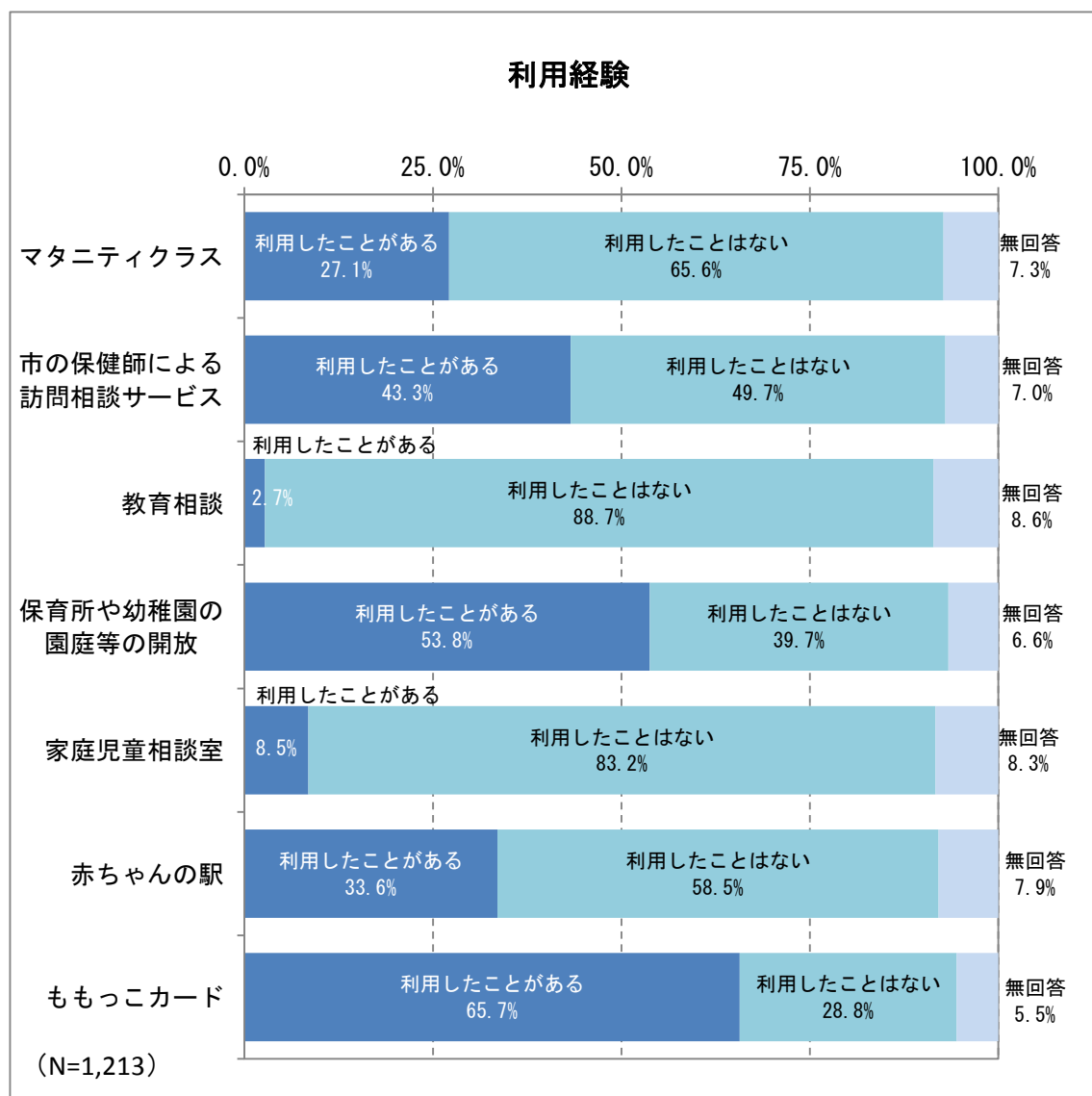
問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。

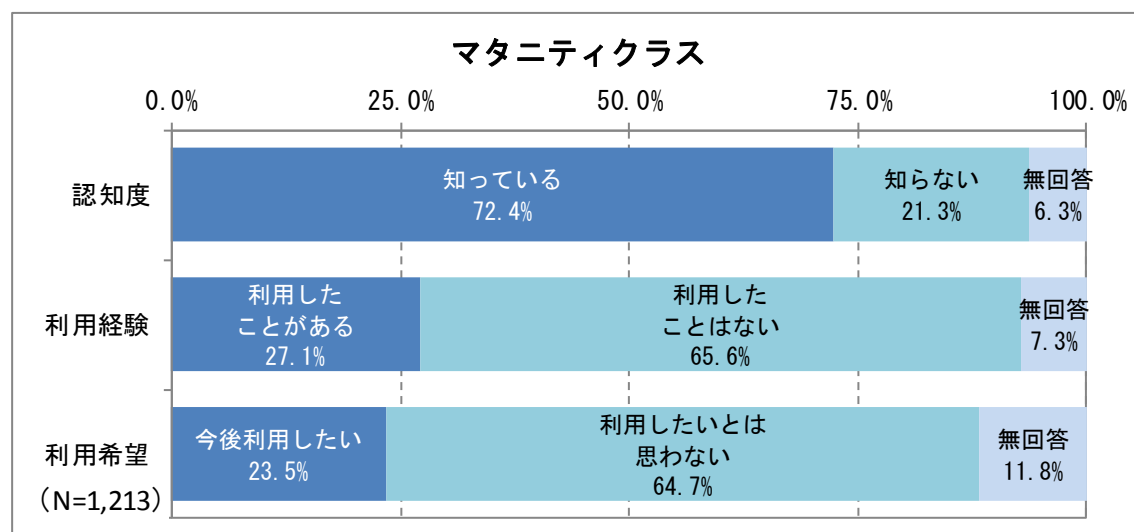
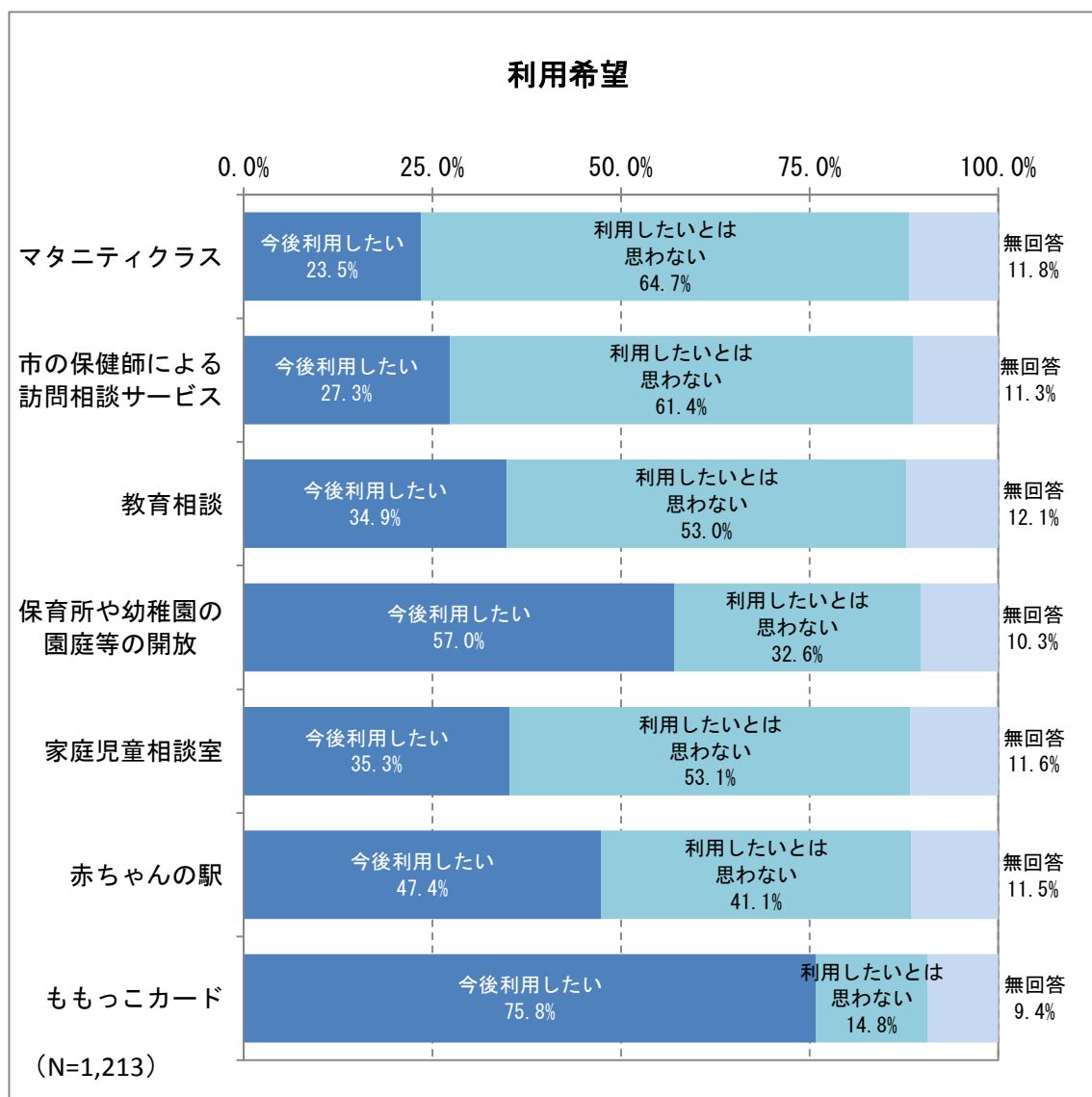
子育て支援事業の認知度をみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」が89.7%と最も多く、次いで「ももっこカード」88.6%、「市の保健師による訪問相談サービス」79.5%の順となっている。

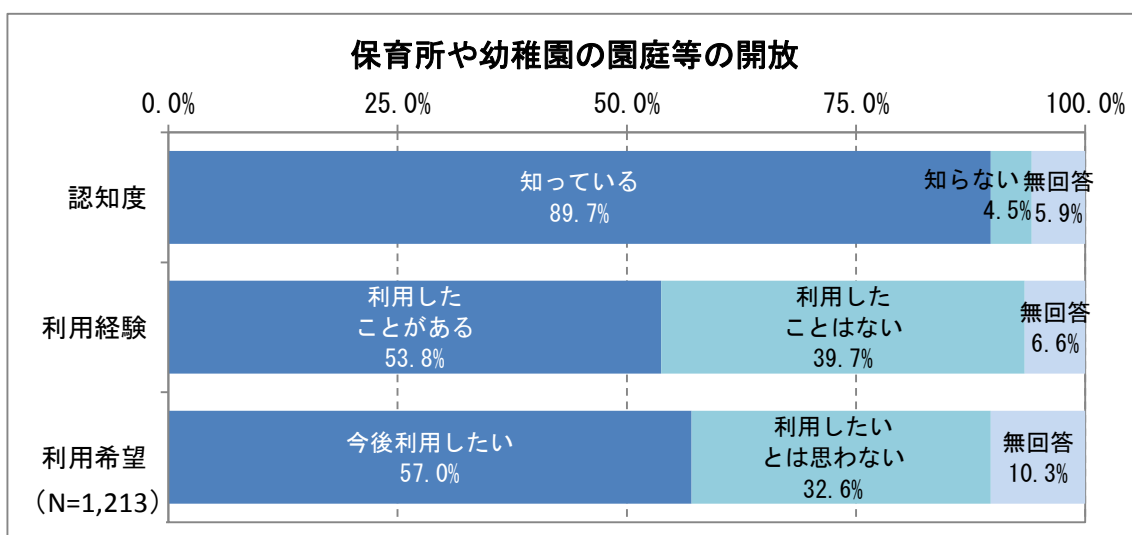
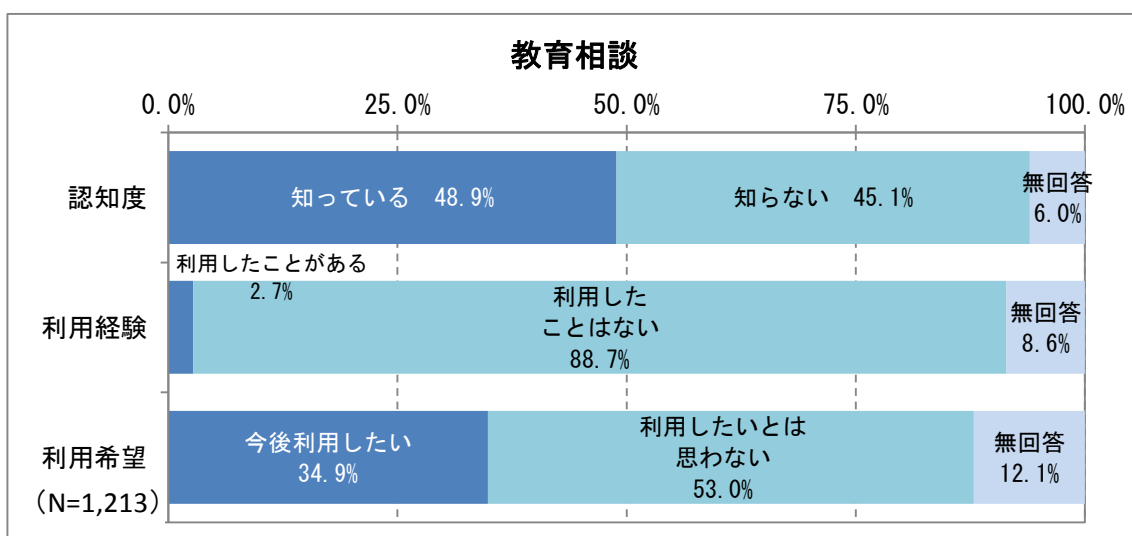
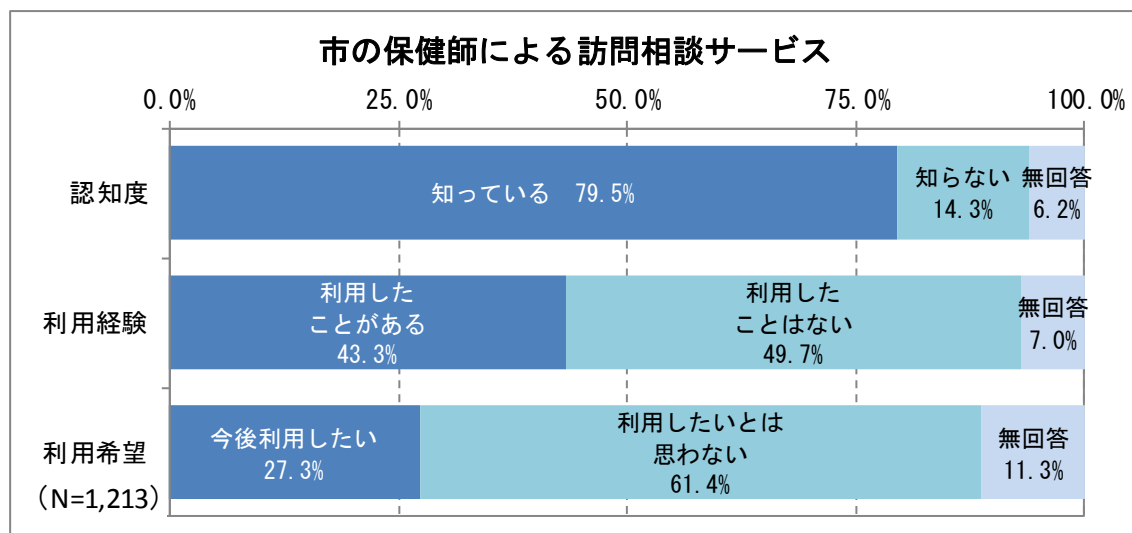
子育て支援事業の利用経験をみると、「ももっこカード」が65.7%と最も多く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」53.8%、「市の保健師による訪問相談サービス」43.3%の順となっている。

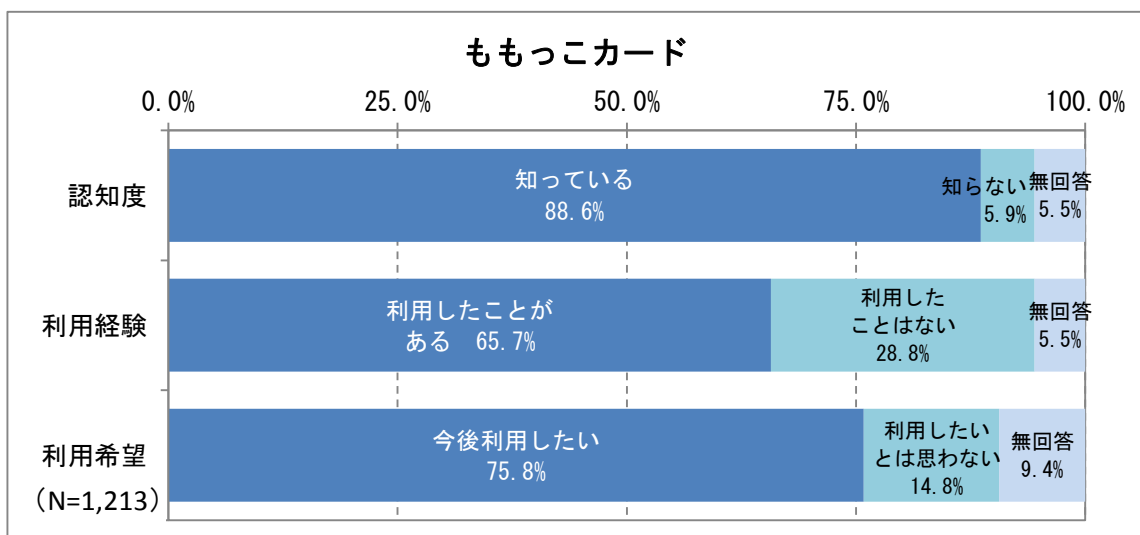
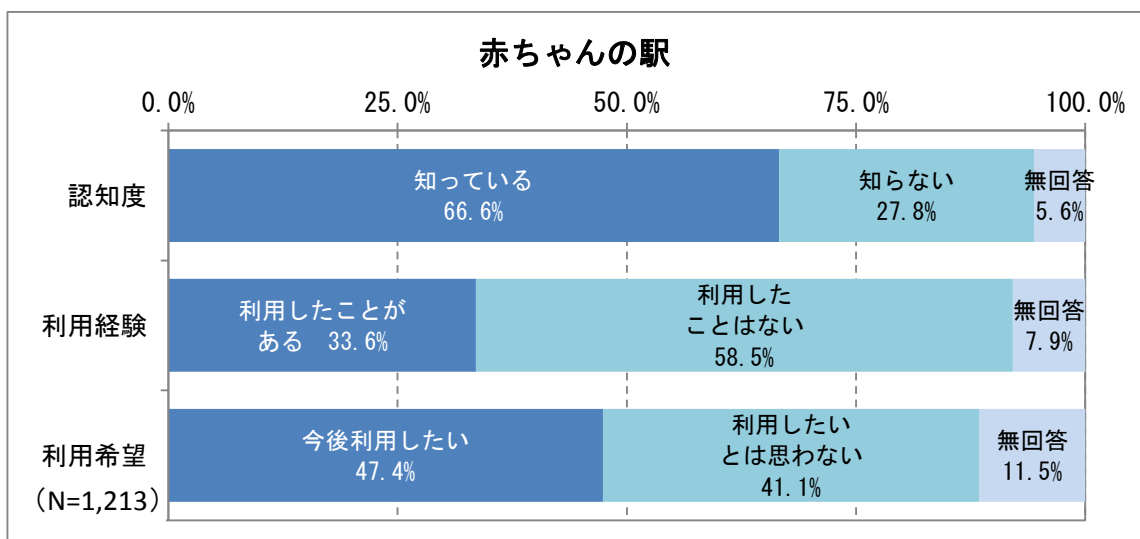
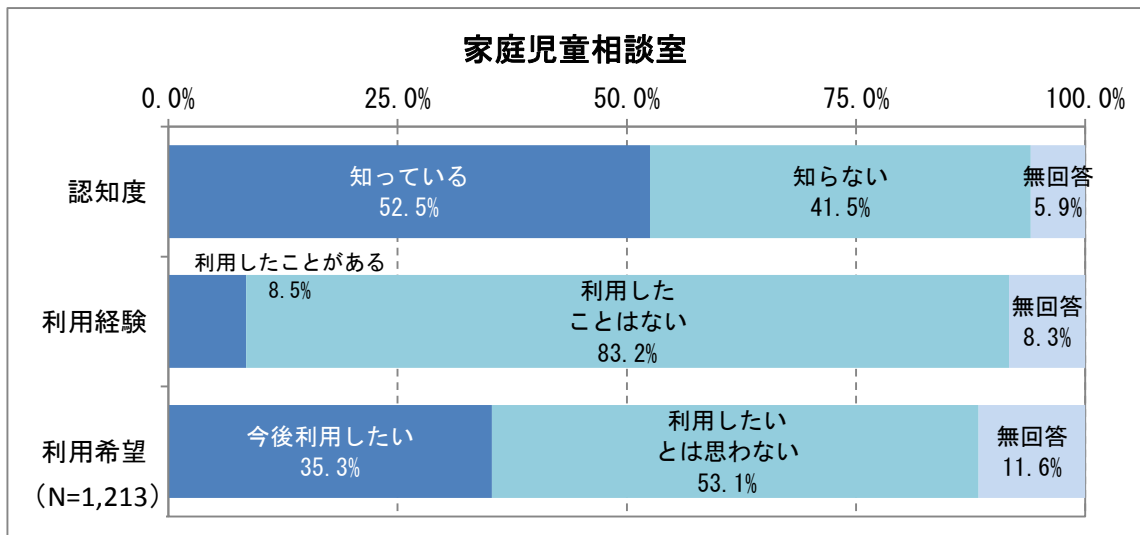
子育て支援事業の利用希望をみると、「ももっこカード」が75.8%と最も多く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」57.0%、「赤ちゃんの駅」47.4%の順となっている。











8 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校就学後の放課後の過ごし方

問21 あて名のお子さんについて、小学校就学後の放課後の時間をどこで過ごさせたいと思いますか。

【低学年】

小学校就学後の放課後の過ごし方をみると、「自宅」56.8%が最も多く、次いで「習い事」47.8%、「放課後児童クラブ」44.8%の順となっている。その他では、「放課後等デイサービス」「会社へ連れて行く」などの意見があった。

また、「自宅」「放課後児童クラブ」「ファミリー・サポート・センター」は「週5日」が多くなっており、それ以外は「週1日」「週2回」が多くなっている。

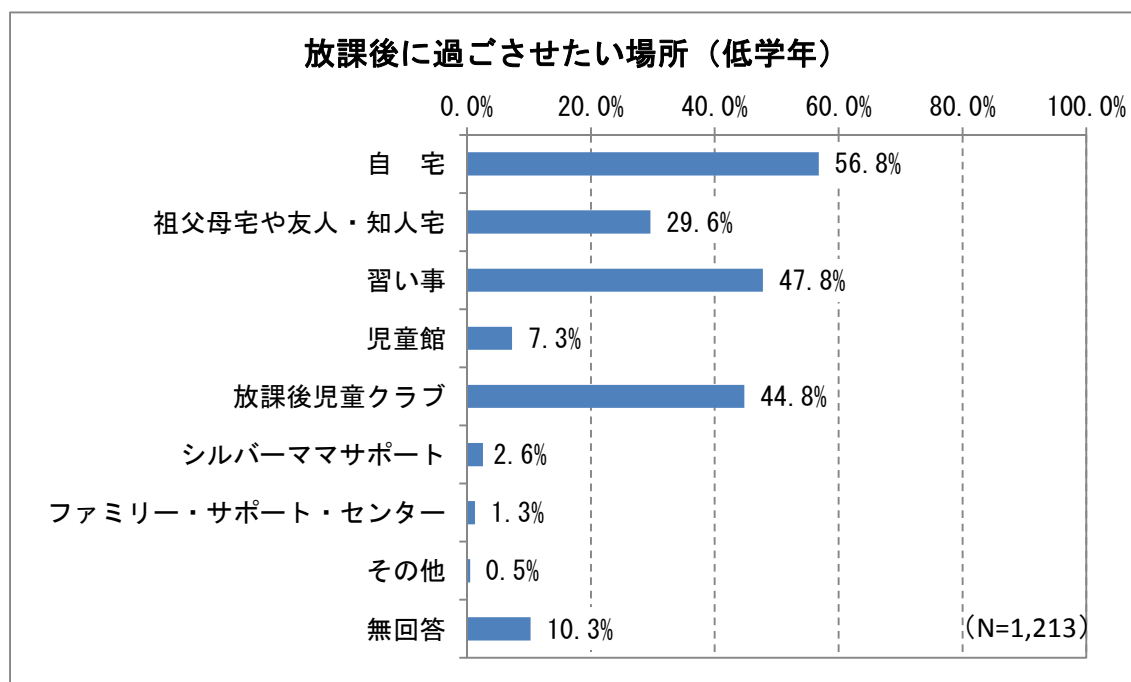
母親の就労タイプ別にみると、フルタイムでの就労の場合「放課後児童クラブ」が最も多く67.5%となっている。パートタイム・アルバイト、就労していない場合では「自宅」が最も多くなっている。

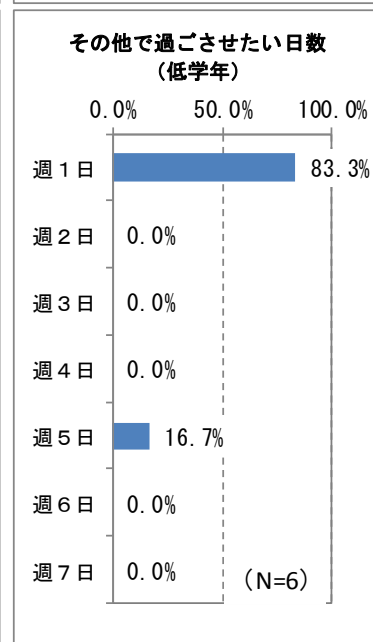
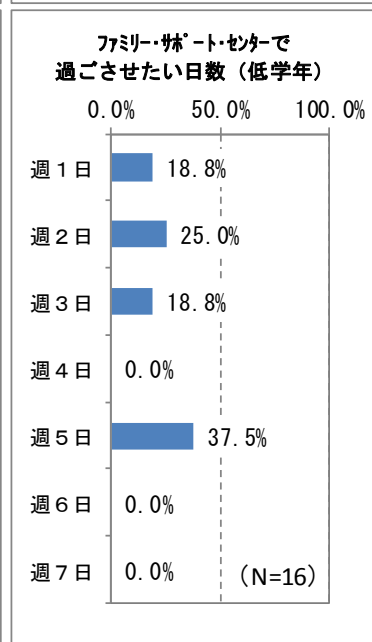
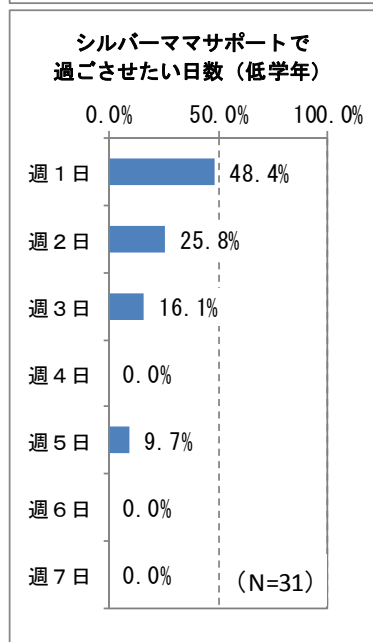
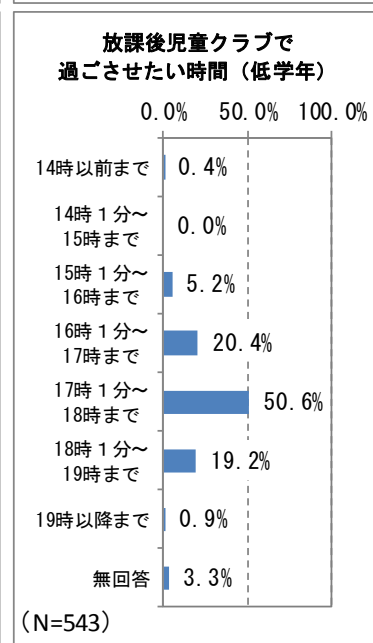
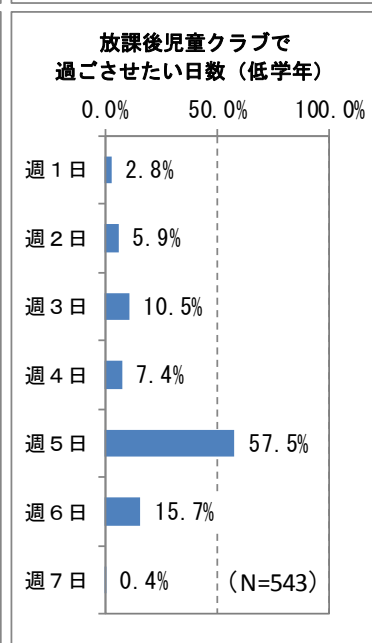
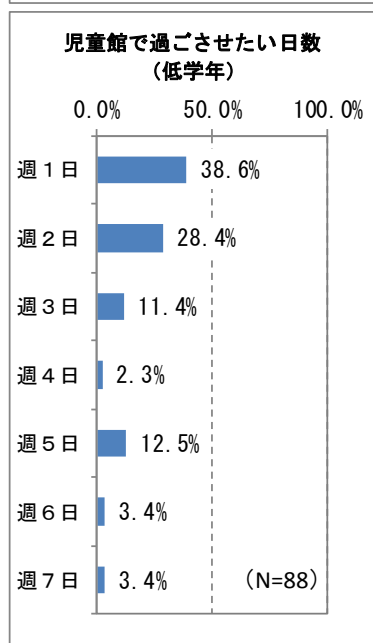
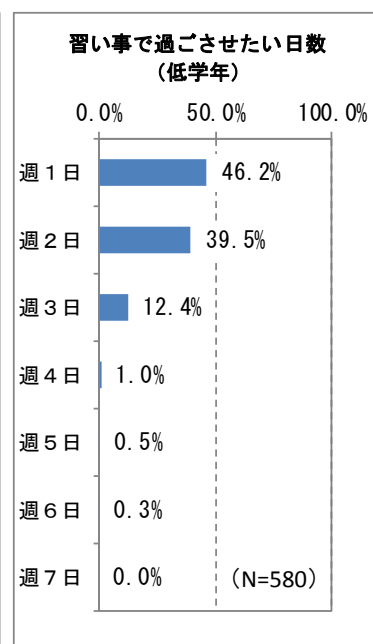
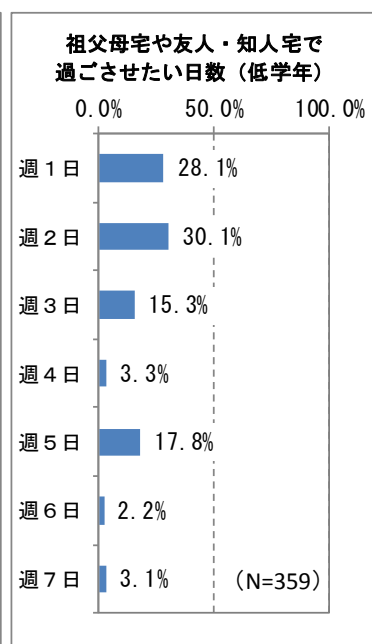
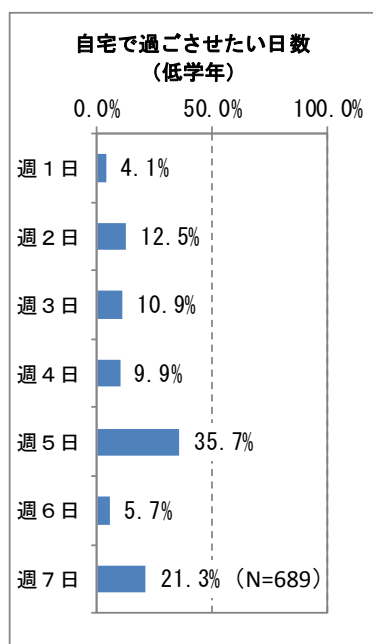
【高学年】

小学校就学後の放課後の過ごし方をみると、「自宅」63.5%が最も多く、次いで「習い事」52.3%、「放課後児童クラブ」30.8%の順となっている。その他では、低学年同様「放課後等デイサービス」「会社へ連れて行く」などの意見があった。

また、「自宅」「放課後児童クラブ」「ファミリー・サポート・センター」は「週5日」が多くなっており、それ以外は「週1日」「週2回」が多くなっている。

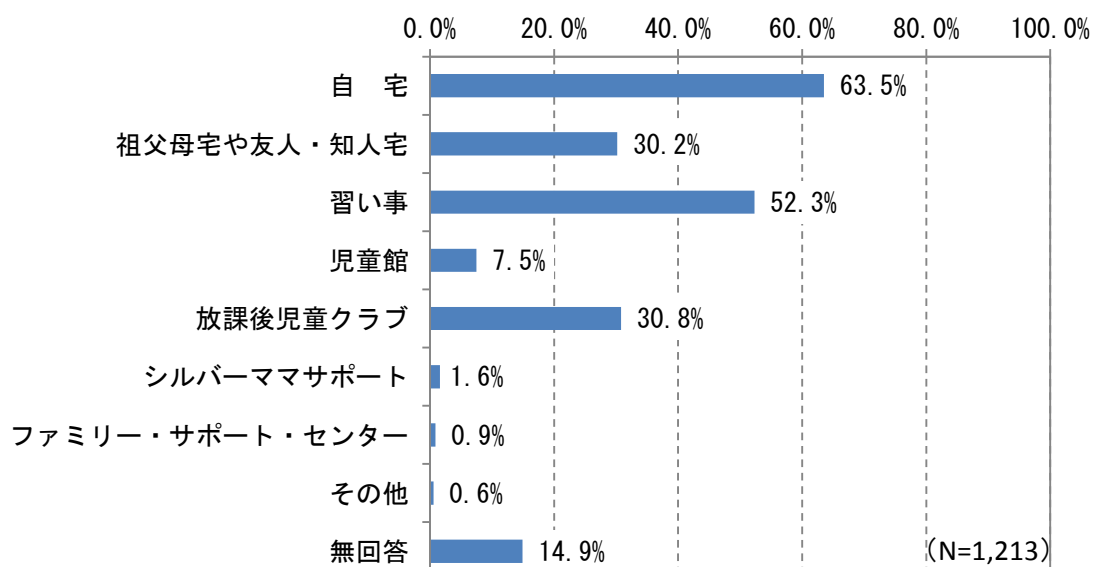
母親の就労タイプ別にみると、フルタイムの場合、低学年の時に比べ「自宅」の割合が増加しており、「習い事」「放課後児童クラブ」の3項目が4割程度と多くなっている。パートタイム・アルバイト、就労していない場合については概ね低学年時と同様の傾向にあり「自宅」が最も多くなっている。



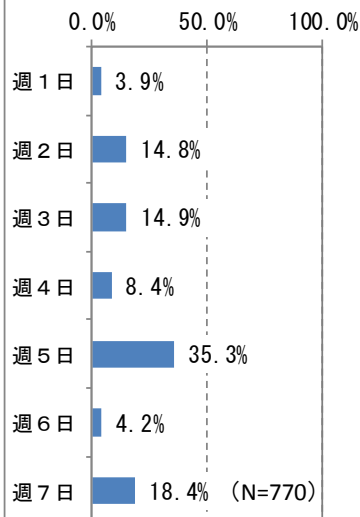


	全 体	自 宅	祖 父 母 宅 や 友 人 ・ 知 人 宅	習 い 事	児 童 館	放 課 後 児 童 ク ラ ブ	シ ル バ ー マ マ サ ポ ー ト	フ ア ミ リ ー ・ セ ン タ ー	そ の 他	無 回 答
全体 上段／実数	1,213	689	359	580	88	543	31	16	6	125
下段／MA%	100.0	56.8	29.6	47.8	7.3	44.8	2.6	1.3	0.5	10.3
母親の 就 労 タ イ プ	フルタイム	415	141	98	155	24	280	11	6	34
	(産休・育休中等を含む)	100.0	34.0	23.6	37.3	5.8	67.5	2.7	1.4	8.2
	パートタイム・アルバイト等	341	209	101	149	21	150	9	5	36
	(産休・育休中等を含む)	100.0	61.3	29.6	43.7	6.2	44.0	2.6	1.5	10.6
	就労していない	444	332	156	271	42	109	11	5	52
	母親はいない	100.0	74.8	35.1	61.0	9.5	24.5	2.5	1.1	11.7
		3	2	-	-	-	2	-	-	-
		100.0	66.7	-	-	-	66.7	-	-	-

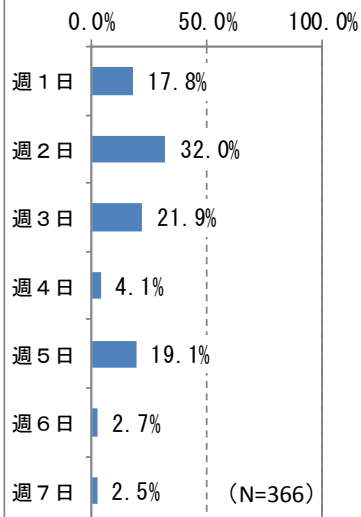
放課後に過ごさせたい場所（高学年）



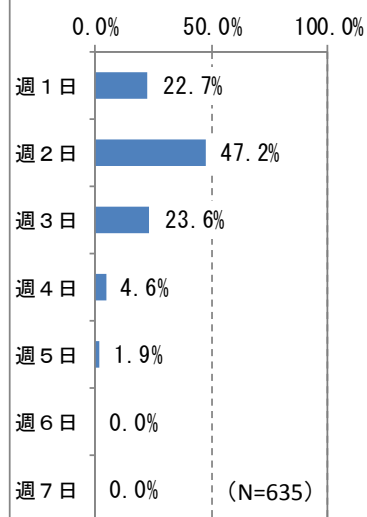
自宅で過ごさせたい日数（高学年）

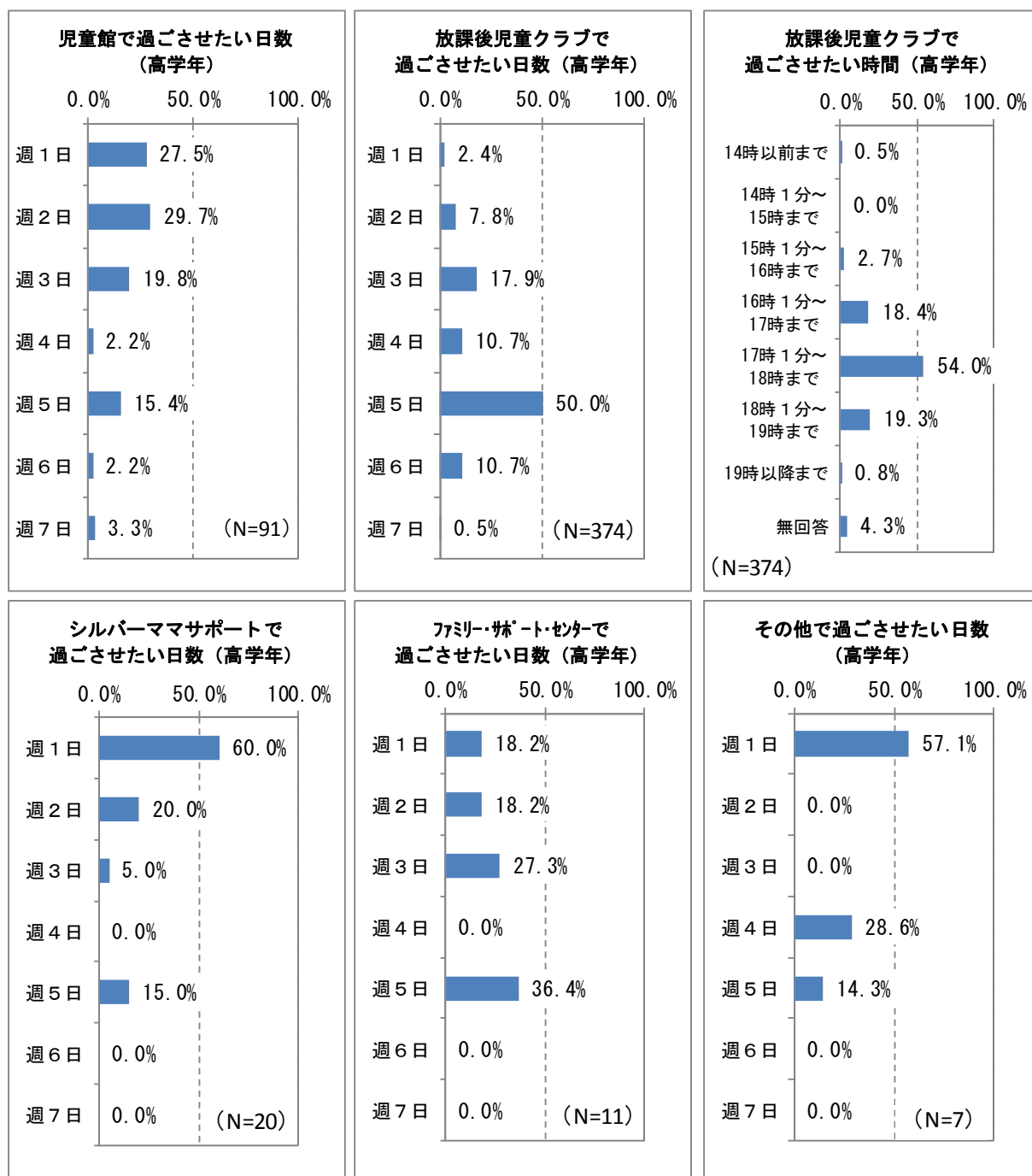


祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数（高学年）



習い事で過ごさせたい日数（高学年）





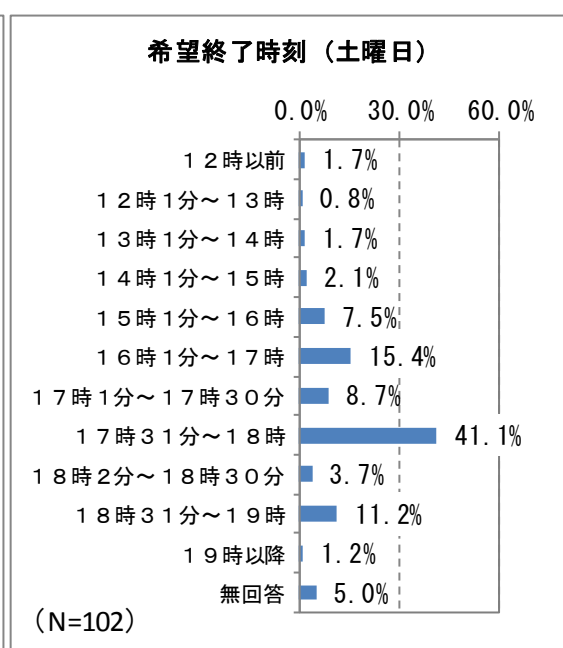
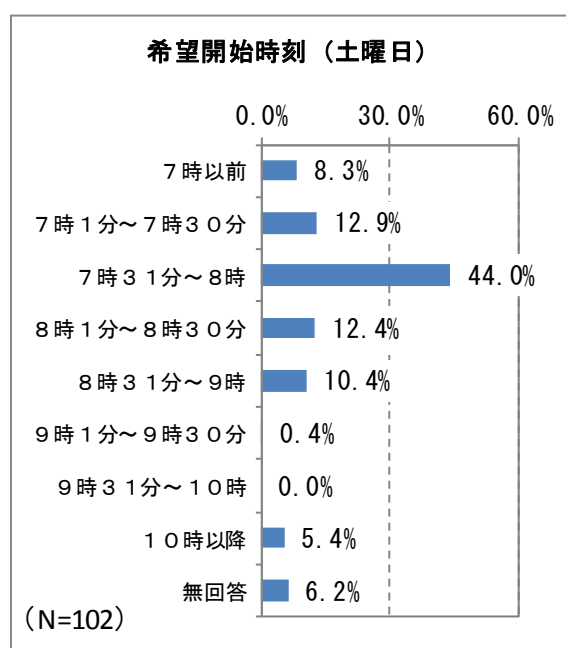
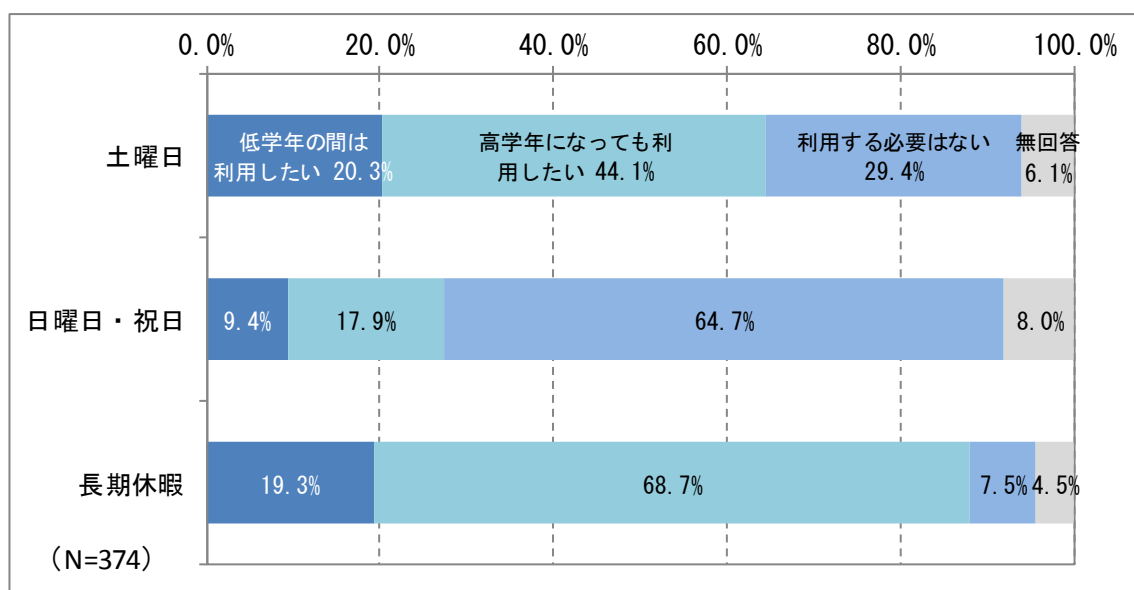
	全体	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後児童クラブ	シルバーママサポート	ファミリーサポート	その他	無回答
全体 上段/実数	1,213	770	366	635	91	374	20	11	7	181
下段/MA%	100.0	63.5	30.2	52.3	7.5	30.8	1.6	0.9	0.6	14.9
母親の就労タイプ										
フルタイム	415	197	101	177	27	178	6	4	3	64
(産休・育休中等を含む)	100.0	47.5	24.3	42.7	6.5	42.9	1.4	1.0	0.7	15.4
パートタイム・アルバイト等	341	236	105	166	22	85	4	3	2	53
(産休・育休中等を含む)	100.0	69.2	30.8	48.7	6.5	24.9	1.2	0.9	0.6	15.5
就労していない	444	330	156	287	41	108	10	4	2	61
	100.0	74.3	35.1	64.6	9.2	24.3	2.3	0.9	0.5	13.7
母親はいない	3	2	-	-	-	1	-	-	-	-
	100.0	66.7	-	-	-	33.3	-	-	-	-

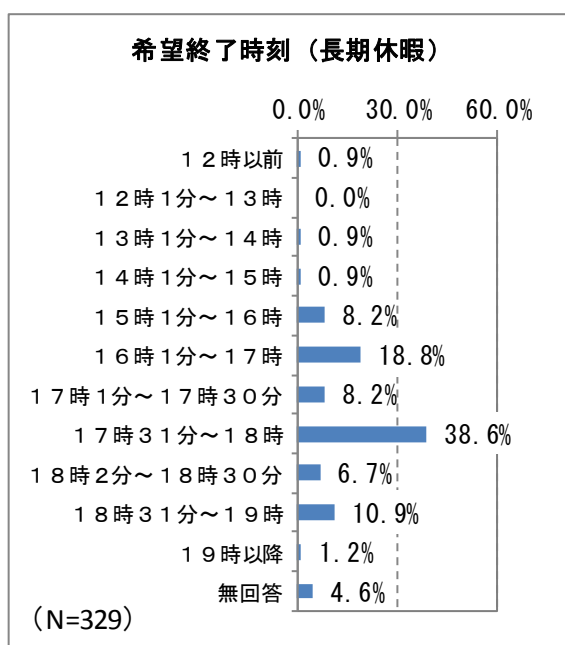
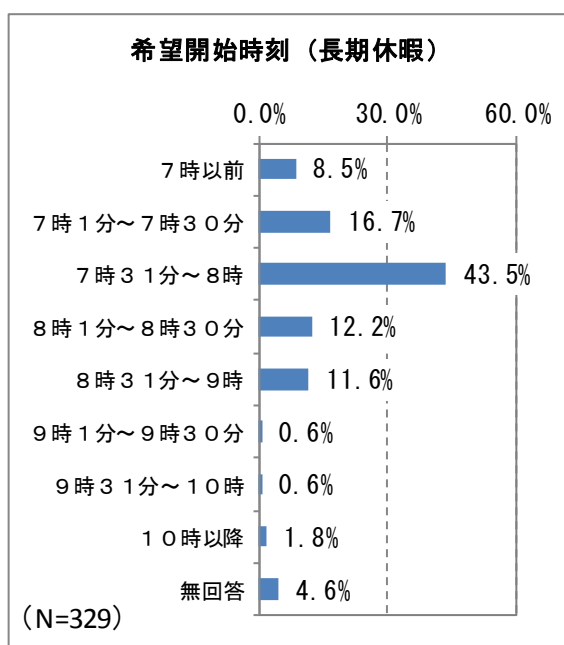
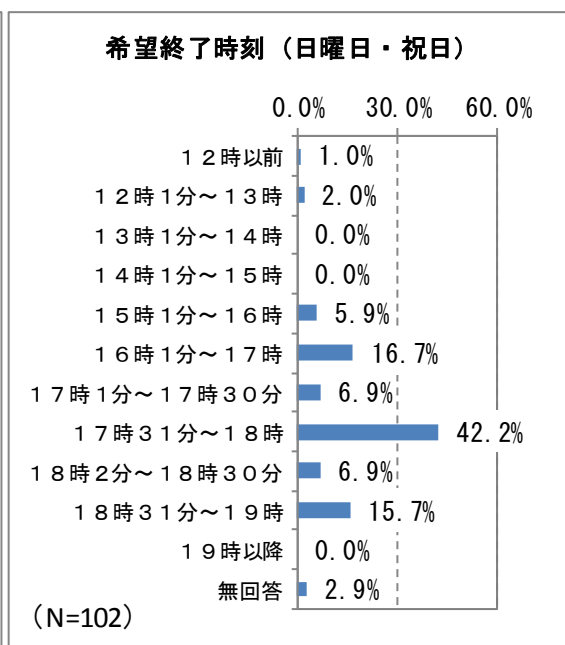
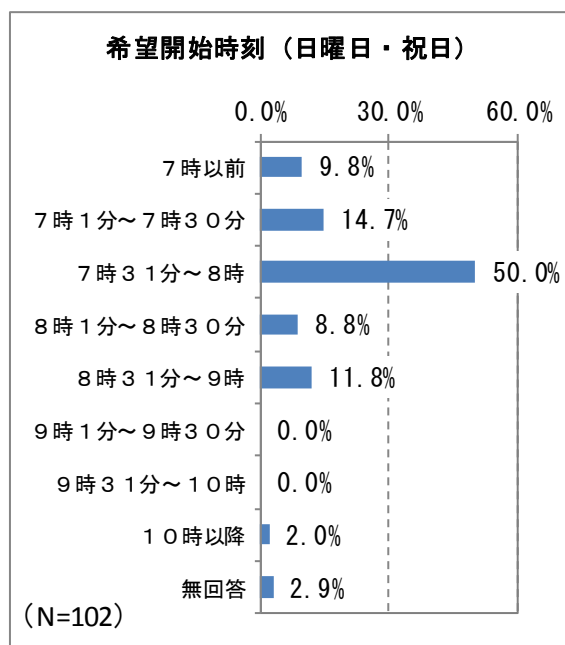
問21で「5. 放課後児童クラブ」の希望がある方におうかがいします。

問21-1 放課後児童クラブについて、土曜日・日曜日・祝日や夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の利用希望はありますか。

放課後児童クラブの利用意向がある人の土曜日・日曜日・祝日や夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の利用希望をみると、「土曜日」は6割以上、「長期休暇」は8割を超える利用希望があるのに対し、「日曜日」は「利用する必要はない」が6割を超えている。

母親の就労タイプ別にみると、どの就労タイプでも長期休暇での利用希望が最も高くなっている。





	全 体	土曜日				日曜日・祝日			
		し低 た学 い年 の間 は利 用	利高 用学 し年 たに なっ ても	い利 用 す る 必 要 は な	無 回 答	し低 た学 い年 の間 は利 用	利高 用学 し年 たに なっ ても	い利 用 す る 必 要 は な	無 回 答
全体 上段／実数	374	76	165	110	23	35	67	242	30
下段／%	100.0	20.3	44.1	29.4	6.1	9.4	17.9	64.7	8.0
母親の就労タイプ	178	29	96	45	8	22	40	104	12
フルタイム	100.0	16.3	53.9	25.3	4.5	12.4	22.5	58.4	6.7
パートタイム・アルバイト等	85	21	32	24	8	8	9	62	6
（産休・育休中等を含む）	100.0	24.7	37.6	28.2	9.4	9.4	10.6	72.9	7.1
就労していない	108	26	36	39	7	5	18	73	12
100.0	24.1	33.3	36.1	6.5	4.6	16.7	67.6	11.1	
母親はいない	1	-	-	1	-	-	-	1	-
100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-

		全 体	長期休暇（夏休み・冬休みなど）			
			し低 た学 い年 の間 は利 用	利高 用学 し年 たに なっ ても	い利 用す る必 要は な	無 回 答
全体 上段／実数		374	72	257	28	17
下段／％		100.0	19.3	68.7	7.5	4.5
母親 の就 労タ イ プ	フルタイム	178	31	137	6	4
	（産休・育休中等を含む）	100.0	17.4	77.0	3.4	2.2
	パートタイム・アルバイト等	85	20	54	5	6
	（産休・育休中等を含む）	100.0	23.5	63.5	5.9	7.1
	就労していない	108	20	64	17	7
		100.0	18.5	59.3	15.7	6.5
	母親はいない	1	－	1	－	－
		100.0	－	100.0	－	－

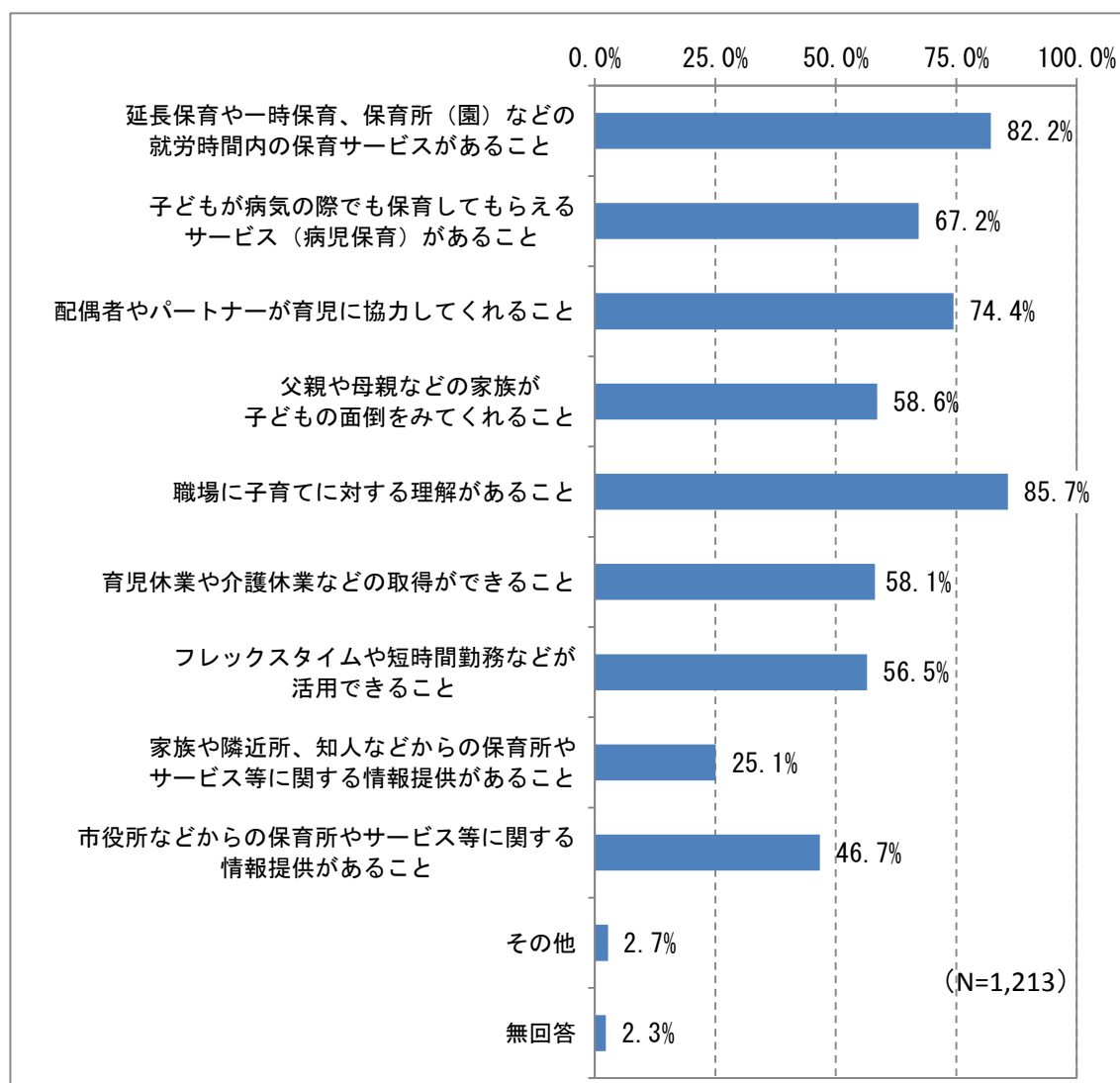
9 職場の両立支援制度について

(1) 仕事と子育てを両立するために必要な支援

問22 仕事と子育てを両立していくために、どんな支援が必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

仕事と子育てを両立するために必要な支援をみると、「職場に子育てに対する理解があること」が85.7%と最も多く、次いで「延長保育や一時保育、保育所（園）などの就労時間内の保育サービスがあること」82.2%、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」74.4%となっている。その他では、「職場に子どもをつれていける体制を整える」「保育園を増やして待機児童を減らす」「平日の幼稚園行事を減らす」などの意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、どの就労タイプでも「延長保育や一時保育、保育所（園）などの就労時間内の保育サービスがあること」「子どもが病気の際でも保育してもらえるサービス」のサービスに関する部分、「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」「職場に子育てに対する理解があること」といった環境に関するものが多くなっている。



		全 体	サ ー ビ ス が あ る こ と	延 長 保 育 や 一 時 保 育 、 保 育 所 育 （ 園 ） な ど の 就 労 時 間 内 の 保 育	も ら え る サ ー ビ ス （ 病 児 保 育 ） が あ る こ と	子 ど も が 病 気 の 際 で も 保 育 し て あ る こ と	配 偶 者 や パ ー ト ナ ー が 育 児 に 協 力 し て く れ る こ と	父 親 や 母 親 な ど の 家 族 が 子 ど も の 面 倒 を み て く れ る こ と	職 場 に 子 育 て に 対 す る 理 解 が あ る こ と	育 児 休 業 や 介 護 休 業 な ど の 取 得 が で き る こ と
全体 上段／実数		1,213	997	815	903	711	1,039	705		
下段／%		100.0	82.2	67.2	74.4	58.6	85.7	58.1		
母親の就労タイプ	フルタイム	415	360	281	302	262	346	292		
	（産休・育休中等を含む）	100.0	86.7	67.7	72.8	63.1	83.4	70.4		
	パートタイム・アルバイト等	341	262	199	266	206	285	159		
	（産休・育休中等を含む）	100.0	76.8	58.4	78.0	60.4	83.6	46.6		
	就労していない	444	368	330	331	239	400	252		
		100.0	82.9	74.3	74.5	53.8	90.1	56.8		
母親はいない		3	2	2	-	1	3	-		
		100.0	66.7	66.7	-	33.3	100.0	-		
		全 体	な ど が フ レ ッ ク ス タ イ ム で き る こ と	報 提 供 が あ る こ と	保 育 所 や 隣 近 所 、 知 人 な ど か ら の 情 報	家 族 や サ ー ビ ス 等 に 関 す る 情 報	市 役 所 な ど か ら の 情 報	ビ ス 等 に 関 す る 情 報	そ の 他	無 回 答
全体 上段／実数		1,213	685	304	567	33	28			
下段／%		100.0	56.5	25.1	46.7	2.7	2.3			
母親の就労タイプ	フルタイム	415	247	115	201	17	12			
	（産休・育休中等を含む）	100.0	59.5	27.7	48.4	4.1	2.9			
	パートタイム・アルバイト等	341	159	75	149	6	7			
	（産休・育休中等を含む）	100.0	46.6	22.0	43.7	1.8	2.1			
	就労していない	444	277	113	211	10	7			
		100.0	62.4	25.5	47.5	2.3	1.6			
母親はいない		3	-	-	1	-	-			
		100.0	-	-	33.3	-	-			

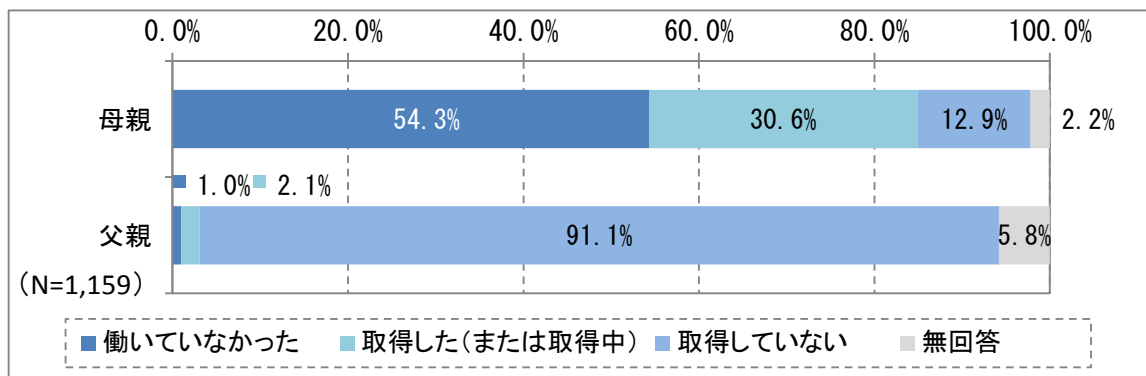
(2) 育児休業制度の取得状況

問23 あて名のお子さんが生まれた時、母親、父親のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。※ひとり親の場合は集計から除外しています。

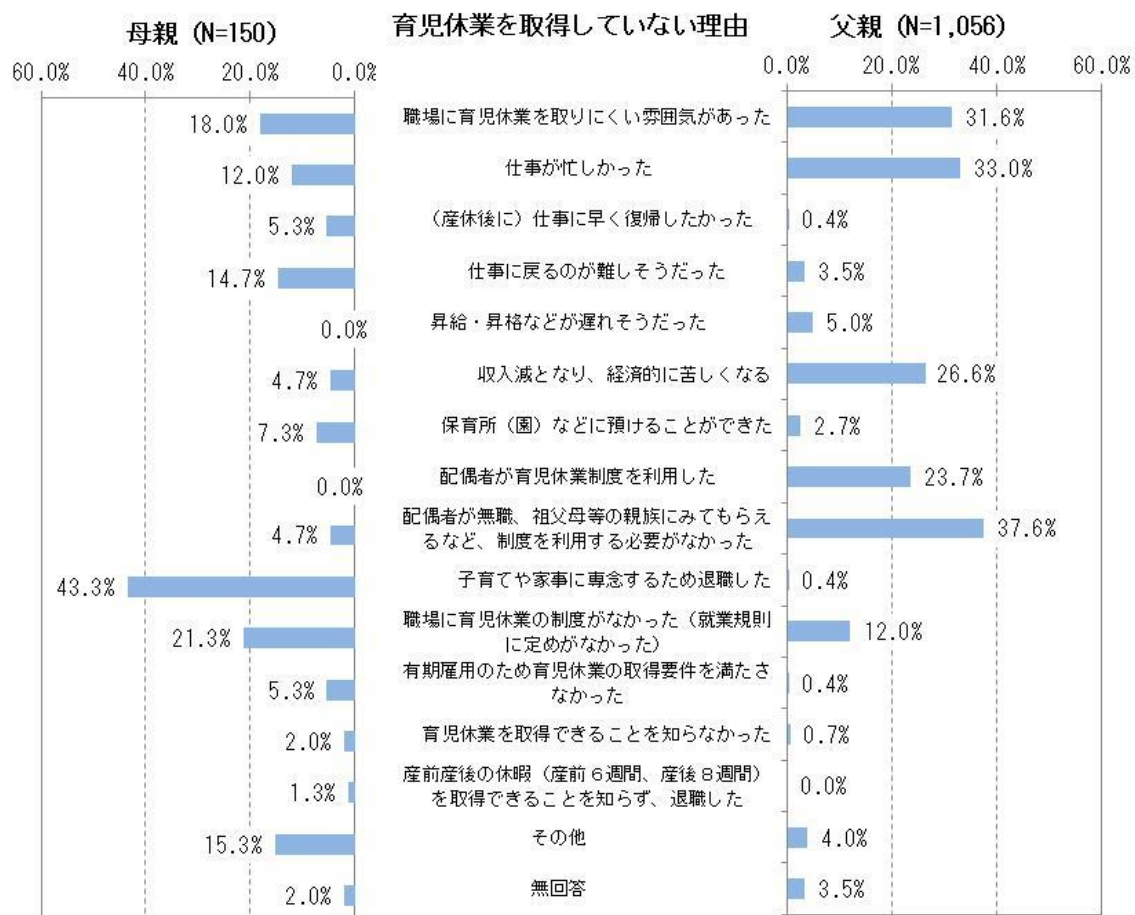
育児休業制度の取得状況をみると、母親では「取得した（または取得中）」が3割程度となっているのに対し、父親では、2.1%となっている。

育児休業制度を取得していない母親の理由では、「子育てや家事に専念するため退職した」が43.3%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」21.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」18.0%となっている。その他では、「自営のため」「退職させられた」などの意見があった。

育児休業制度を取得していない父親の理由では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が37.6%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」33.0%「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」31.6%となっている。その他では、「自営のため」「取得するという考えがなかった」「必要ない」などの意見があった。



		全 体	母親				父親				
			た 働 いて い な か つ	は 取 得 し た (ま た	取 得 し て い な い	無 回 答	た 働 いて い な か つ	は 取 得 し た (ま た	取 得 し て い な い	無 回 答	
全体		上段／実数	1,159	629	355	150	25	12	24	1,056	67
		下段／%	100.0	54.3	30.6	12.9	2.2	1.0	2.1	91.1	5.8
子 ど も の 年 齢	0歳児		226	102	89	31	4	3	3	207	13
			100.0	45.1	39.4	13.7	1.8	1.3	1.3	91.6	5.8
	1歳児		146	80	44	19	3	3	1	132	10
			100.0	54.8	30.1	13.0	2.1	2.1	0.7	90.4	6.8
	2歳児		171	98	56	15	2	3	5	156	7
			100.0	57.3	32.7	8.8	1.2	1.8	2.9	91.2	4.1
	3歳児		174	94	46	28	6	3	3	158	10
			100.0	54.0	26.4	16.1	3.4	1.7	1.7	90.8	5.7
	4歳児		206	120	62	22	2	-	6	188	12
			100.0	58.3	30.1	10.7	1.0	-	2.9	91.3	5.8
5歳児		223	131	53	34	5	-	6	205	12	
		100.0	58.7	23.8	15.2	2.2	-	2.7	91.9	5.4	

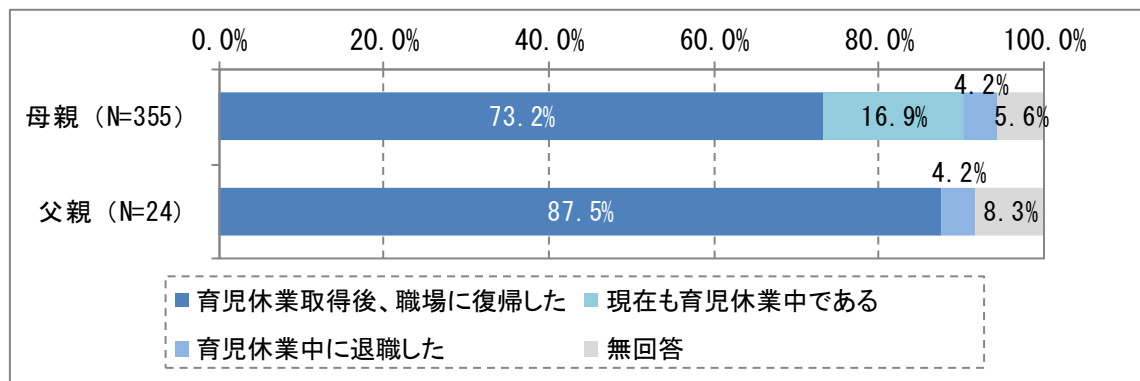


(3) 育児休業後の職場復帰状況

問23で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方におうかがいします。

問23-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（母親・父親それぞれ〇は1つ）

育児休業制度を取得した（取得中である）人の職場復帰の状況をみると、「育児休業取得後、職場に復帰した」が「母親」73.2%、「父親」87.5%と多くなっている。

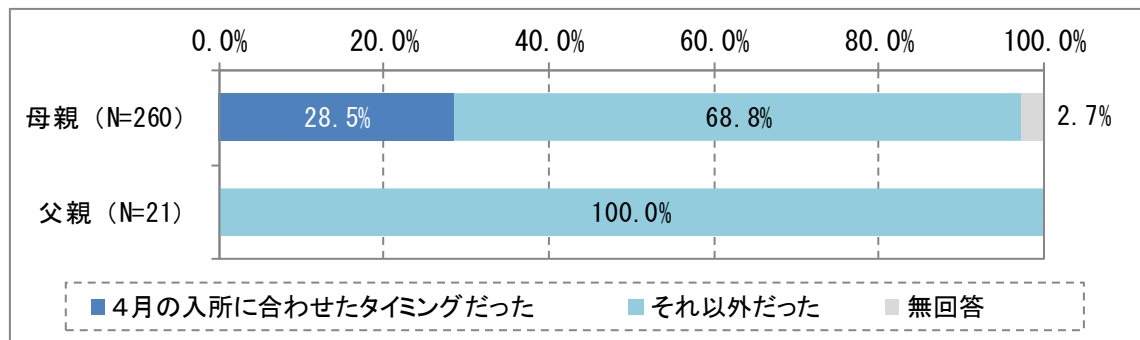


(4) 育児休業から復帰のタイミング

問23-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に〇をつけた方におうかがいします。

問23-2 育児休業から職場に復帰したのは、4月の保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。
（母親・父親それぞれ〇は1つ）

育児休業から復帰したタイミングをみると、「4月の入所に合わせたタイミングだった」は「母親」の28.5%のみとなっており、「それ以外だった」が多くなっている。

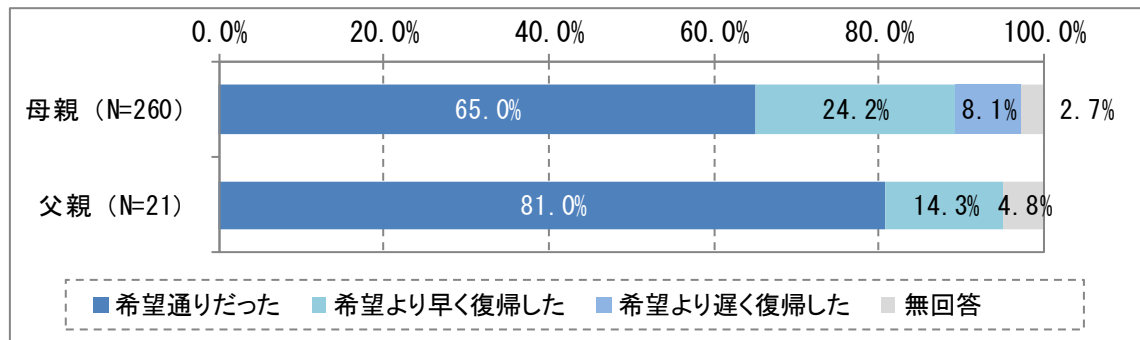


(5) 育児休業からの復帰時期

問23-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におうかがいします。

問23-3 育児休業から職場に復帰した時期は希望通りでしたか。

希望した時期の育児休業から復帰をみると、「希望通りだった」が母親・父親とも多くなっており、「希望より早く復帰した」は母親で24.2%、父親では14.3%となっている。

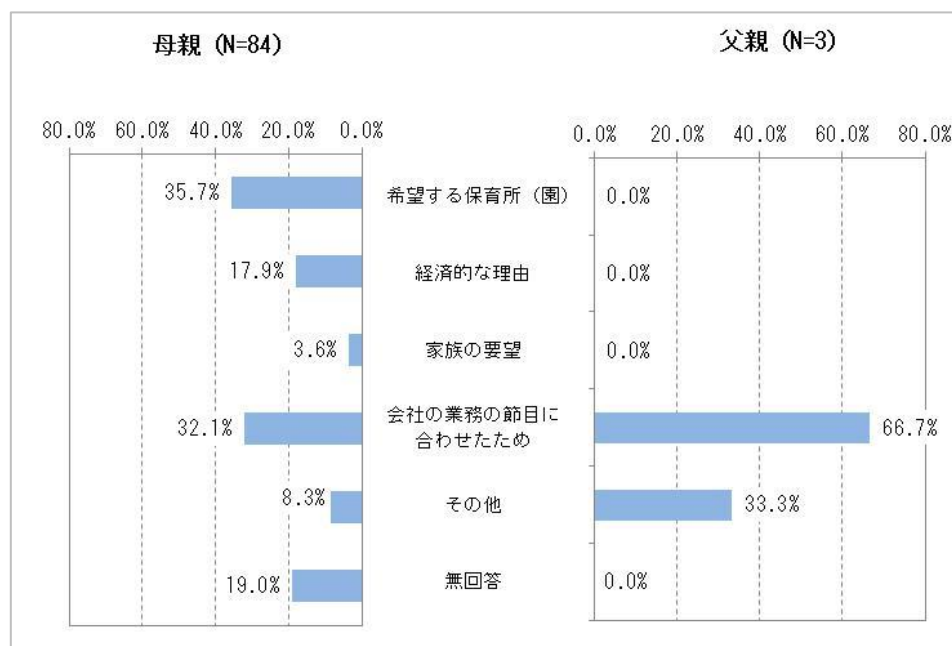


(6) 復帰時期が希望と実際が異なった理由

問23-3で「2.」「3.」に○をつけた方におうかがいします。

問23-6 職場復帰時期が、希望と実際が異なった理由は何ですか。(○はいくつでも)

職場復帰時期が、希望と実際が異なった理由をみると、母親では、「希望する保育所(園)の関係」35.7%、「会社の業務の節目に合わせたため」32.1%となっており、父親では、「会社の業務の節目に合わせたため」66.7%、「その他」33.3%となっている。その他では、「職場の希望」「子どもの体調不良」などの意見があった。

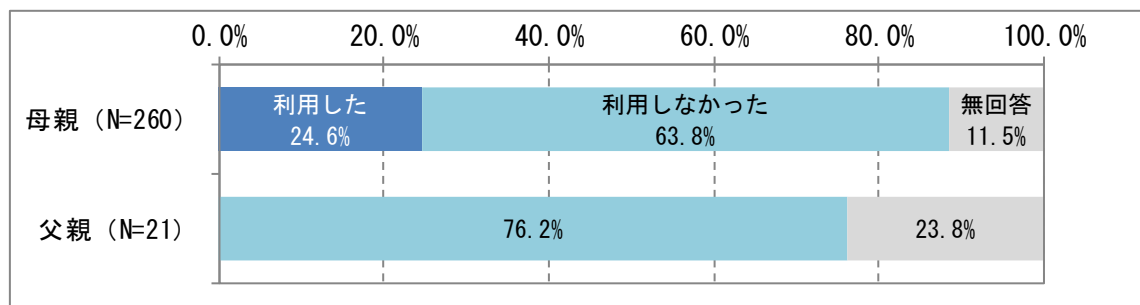


(7) 短時間勤務制度の利用有無

問23-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方におうかがいします。

問23-4 育児休業からの職場復帰には、短時間勤務制度（所定労働時間の短縮措置）を利用しましたか。

短時間勤務制度（所定労働時間の短縮措置）の利用状況をみると、母親では、「利用した」24.6%となっており、母親・父親とも利用しなかったが多くなっている。

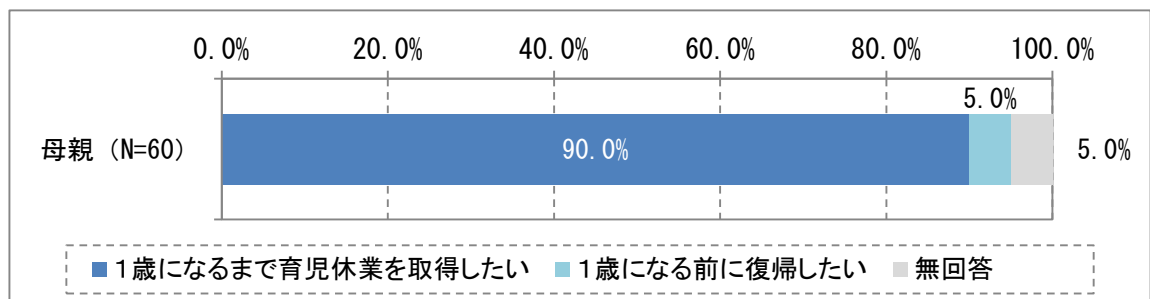


(8) 1歳で必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得

問23-1で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方におうかがいします。

問23-5 あて名のお子さんが1歳になったときに必ず「子どもを預かってもらえるサービスが利用できる」と約束されていれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。

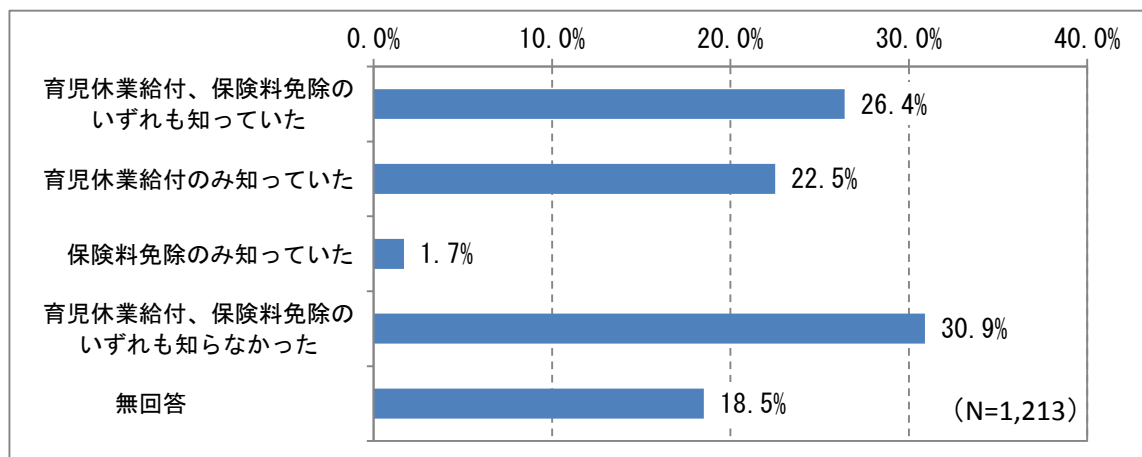
1歳で必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得をみると、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.0%となっており、「1歳になる前に復帰したい」は5.0%となっている。



(9) 育児休業給付及び育児休業期間中の保険料免除の認知度

問24 子どもが原則1歳（保育所（園）における保育の実施が行われていないなど一定の要件を満たす場合は1歳6か月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。
(○は1つ)

育児休業給付及び育児休業期間中の保険料免除の認知度をみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が30.9%と最も多く、次いで、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」は26.4%、「育児休業給付のみ知っていた」22.5%の順となっている。



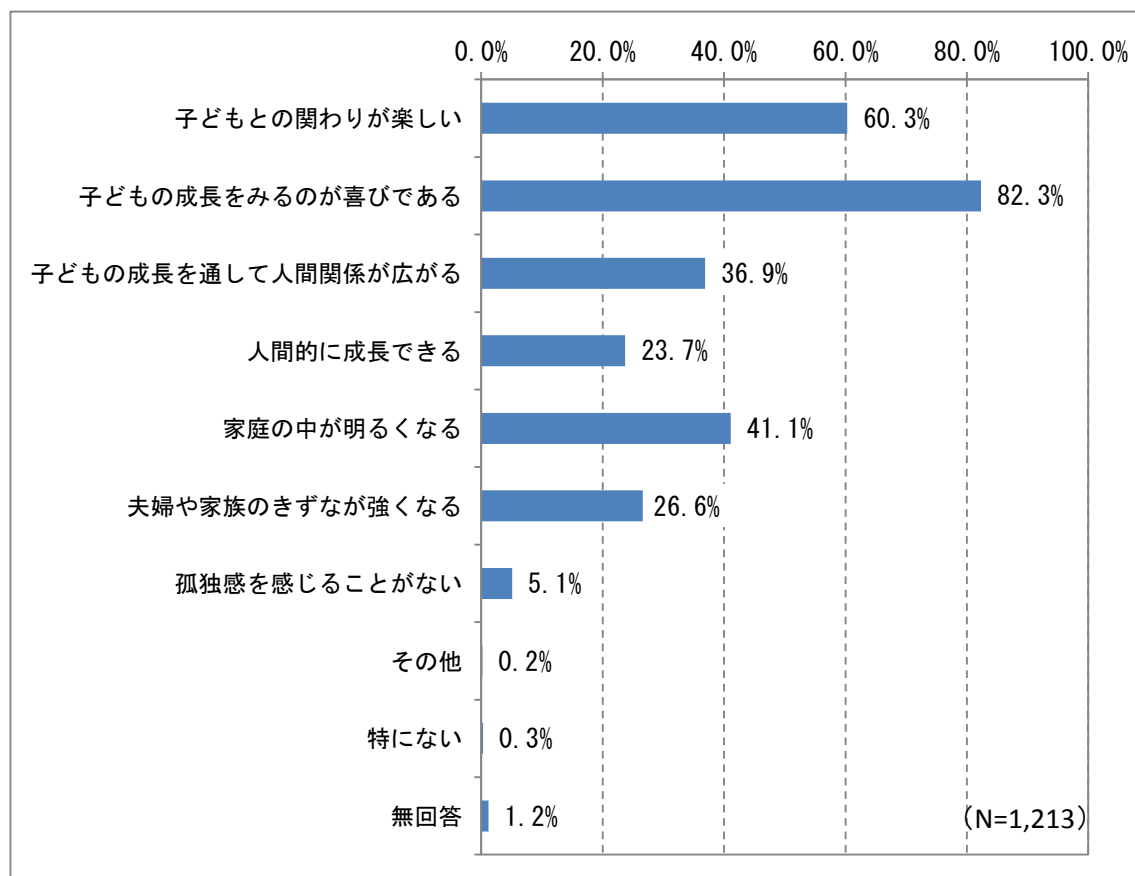
10 子育て全般について

(1) 子育ての良さや喜びについて

問25 子育ての良さや喜びについてどのようにお考えですか。(○は3つまで)

子育ての良さや喜びについてをみると、「子どもの成長をみるのが喜びである」が82.3%と最も多く、次いで、「子どもとの関わりが楽しい」60.3%、「家庭の中が明るくなる」41.1%の順となっている。その他では、「今までとは違うものの見方ができる」「数えきれないほどたくさん良さがある」という意見があった。

母親の就労タイプ別に差が出ている項目をみると、フルタイム、パートタイム・アルバイト等の就労状況にある場合「子どもとの関わりが楽しい」が就労していない場合に比べて多くなっている。また、就労していない場合は「子どもの成長を通して人間関係が広がる」「夫婦や家族のきずなが強くなる」が就労している場合に比べ多くなっている。

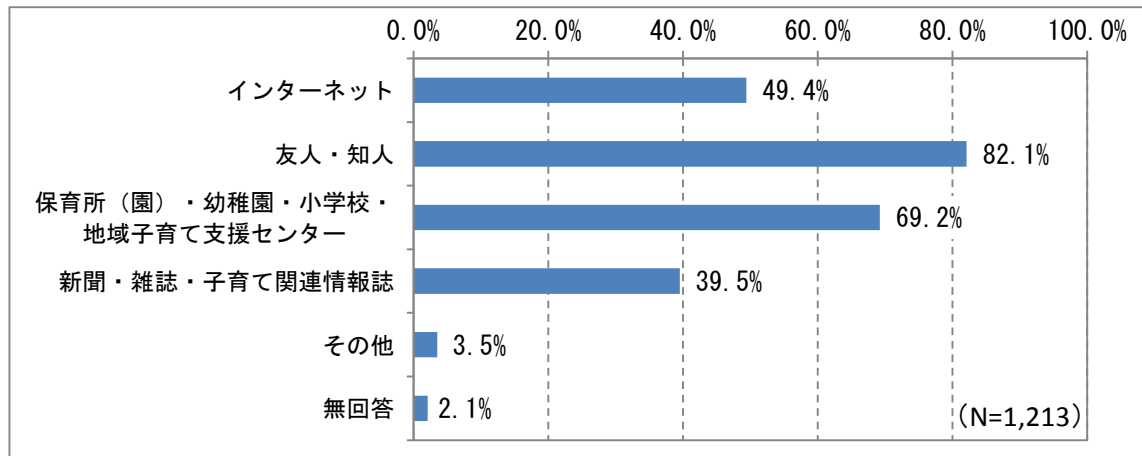


		全 体	わ り ど が も と し の 関	び を み ど も の 成 喜 長	関 を 通 ど も の 成 間 長	で 人 間 的 に 成 長	る 家 庭 の 中 が 明
全体 上段／実数		1,213	732	998	447	287	498
下段／%		100.0	60.3	82.3	36.9	23.7	41.1
母親の就労タイプ	フルタイム	415	278	338	129	102	170
	(産休・育休中等を含む)	100.0	67.0	81.4	31.1	24.6	41.0
	パートタイム・アルバイト等	341	213	281	132	75	134
	(産休・育休中等を含む)	100.0	62.5	82.4	38.7	22.0	39.3
	就労していない	444	234	370	185	107	186
		100.0	52.7	83.3	41.7	24.1	41.9
	母親はいない	3	2	3	－	－	1
		100.0	66.7	100.0	－	－	33.3
		全 体	な き 夫 婦 な や が 家 強 族 く の	る 孤 こ 独 と 感 が を な 感 い じ	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体 上段／実数		1,213	323	62	2	4	15
下段／%		100.0	26.6	5.1	0.2	0.3	1.2
母親の就労タイプ	フルタイム	415	103	19	2	－	5
	(産休・育休中等を含む)	100.0	24.8	4.6	0.5	－	1.2
	パートタイム・アルバイト等	341	77	19	－	2	3
	(産休・育休中等を含む)	100.0	22.6	5.6	－	0.6	0.9
	就労していない	444	142	23	－	2	5
		100.0	32.0	5.2	－	0.5	1.1
	母親はいない	3	－	1	－	－	－
		100.0	－	33.3	－	－	－

(2) 子育てに関する情報源

問26 子育てに関する情報はどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

子育てに関する情報源をみると、「友人・知人」が82.1%と最も多く、次いで、「保育所(園)・幼稚園・小学校・地域子育て支援センター」69.2%、「インターネット」49.4%の順となっている。その他では、「両親など家族や親戚」「職場」「本」などの意見があった。



(3) 子育てに関する事業の認知度・利用状況

問27 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。

【認知度】

子育てに関する事業の認知度をみると、「広報あさくち」が94.0%と最も多く、次いで「浅口市ホームページ」77.5%、「あさくち子育てガイドブック」61.2%の順となっている。

また、「あさくち子育て応援サイト」「浅口市子育て通信」は半数以上が知らないと回答している。

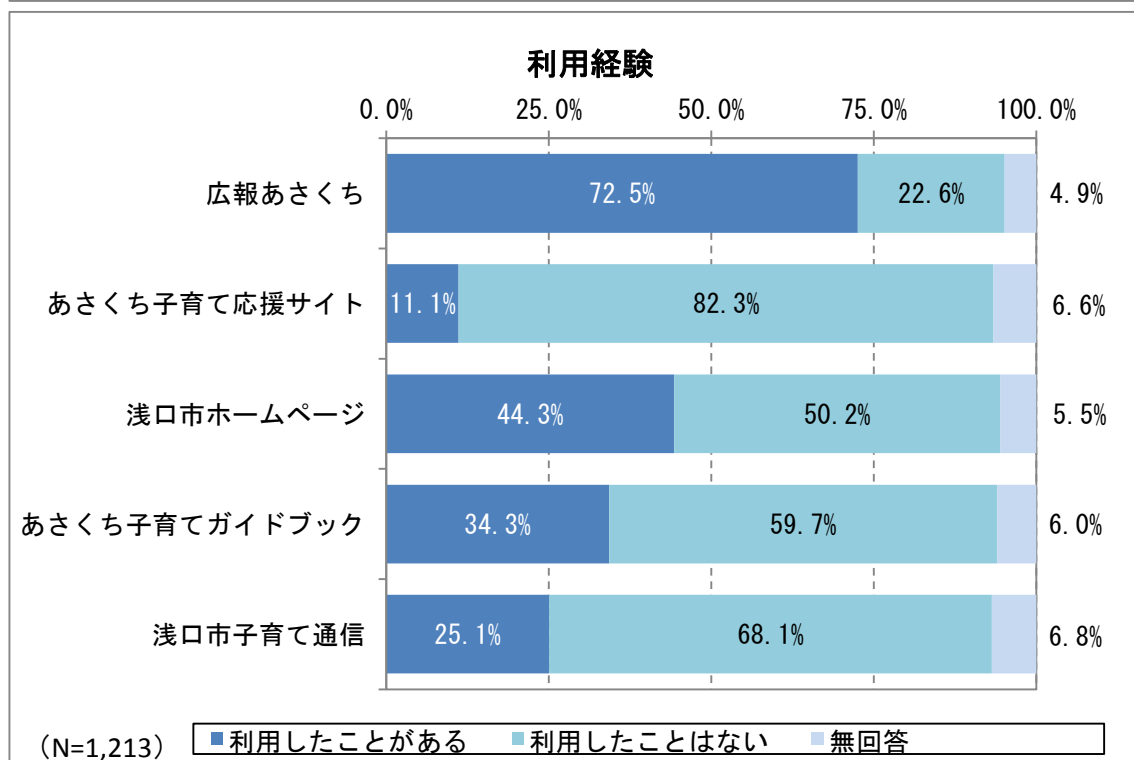
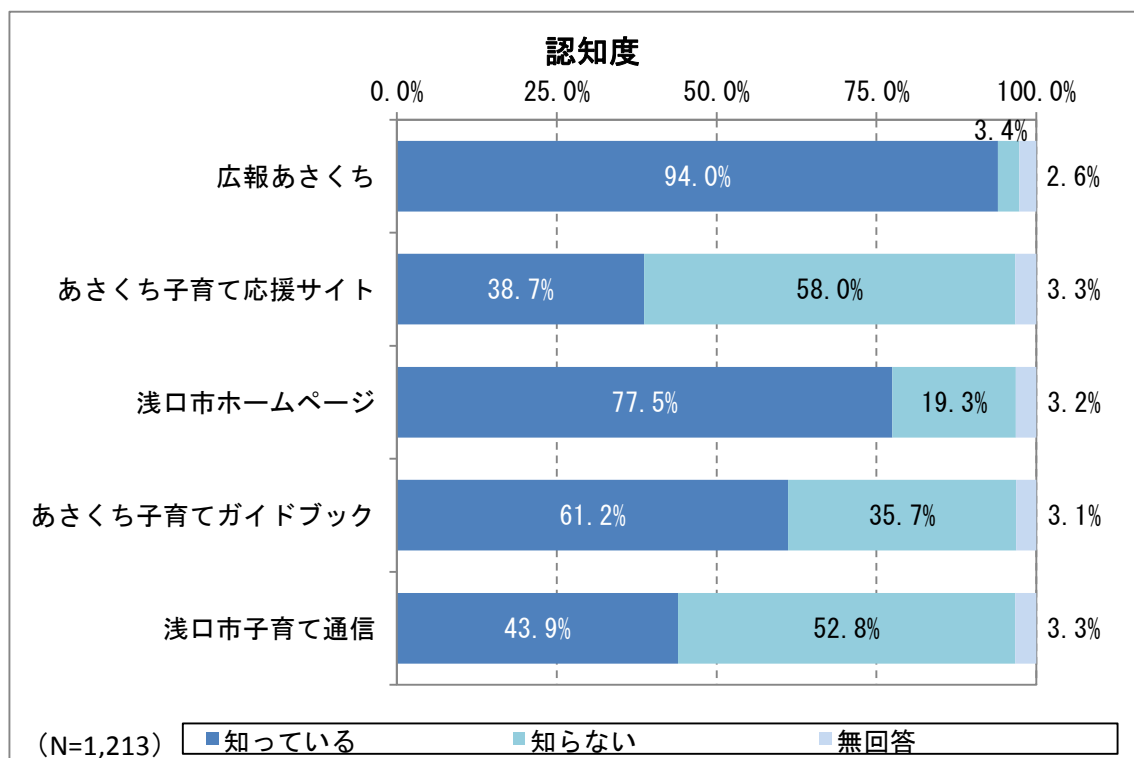
【利用経験】

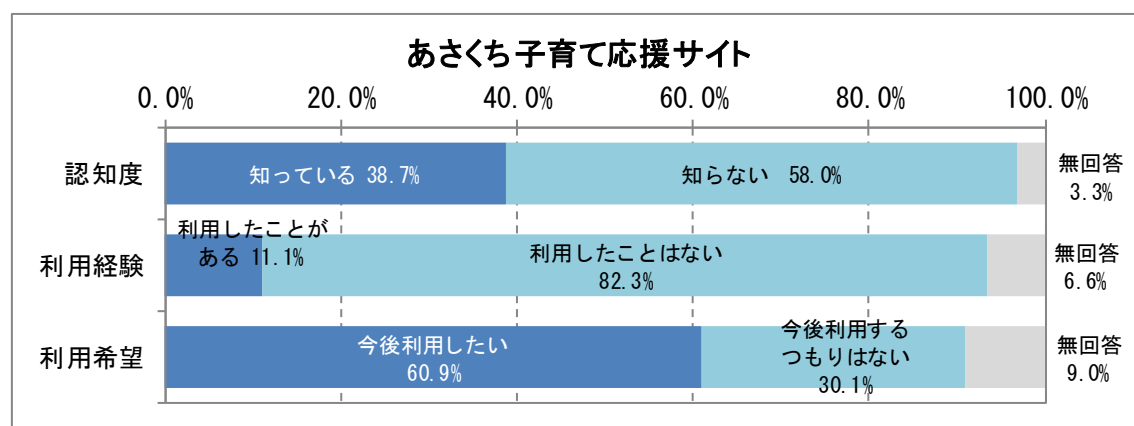
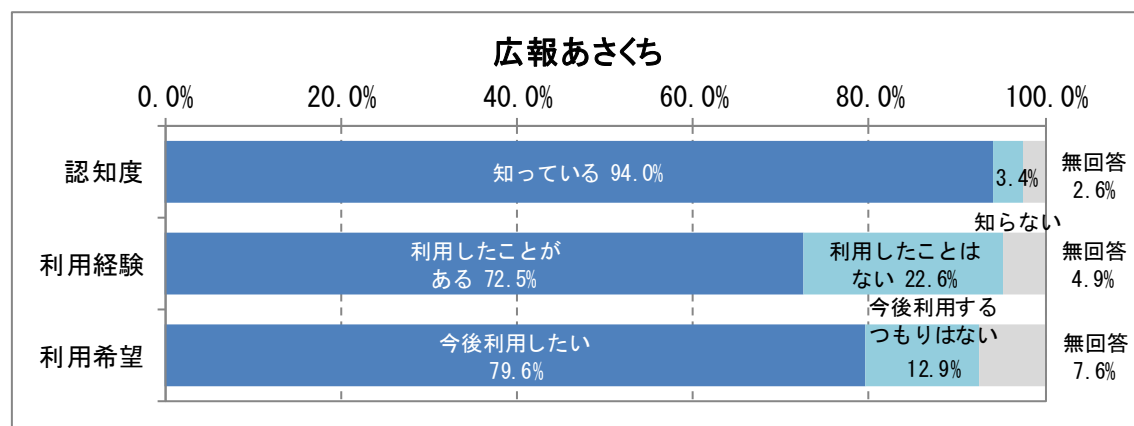
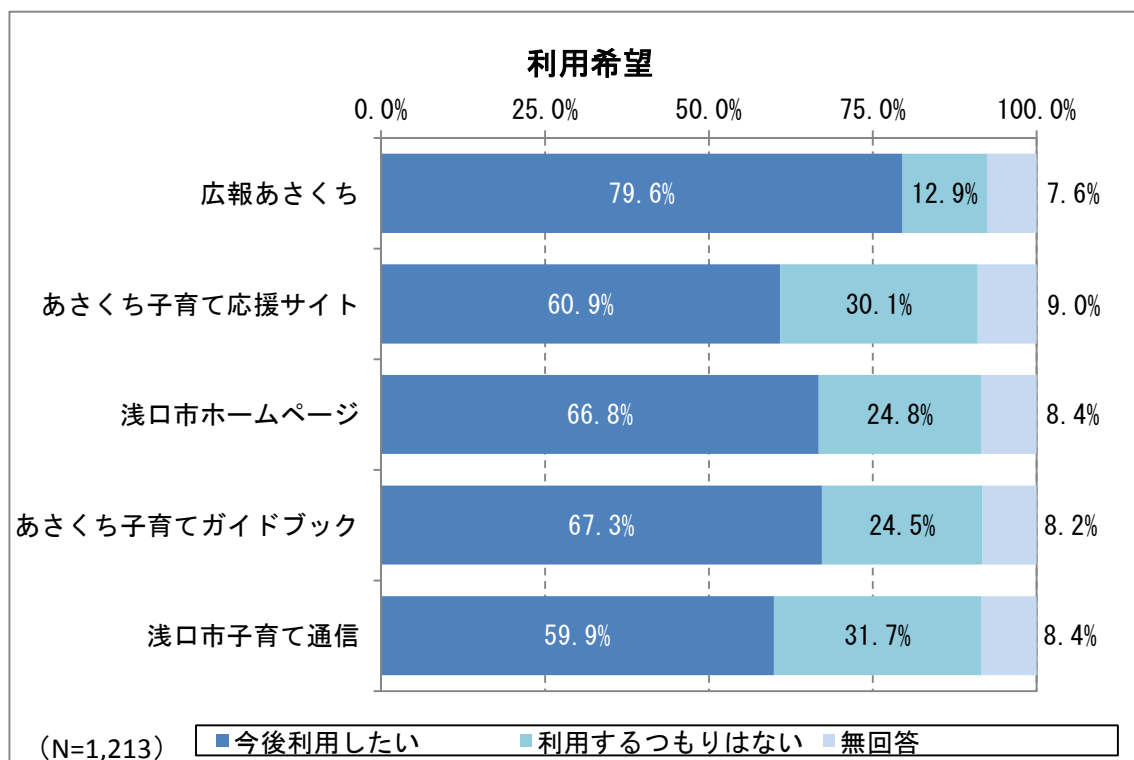
子育てに関する事業の利用経験をみると、「広報あさくち」が72.5%と最も多く、次いで「浅口市ホームページ」44.3%、「あさくち子育てガイドブック」34.3%の順となっている。

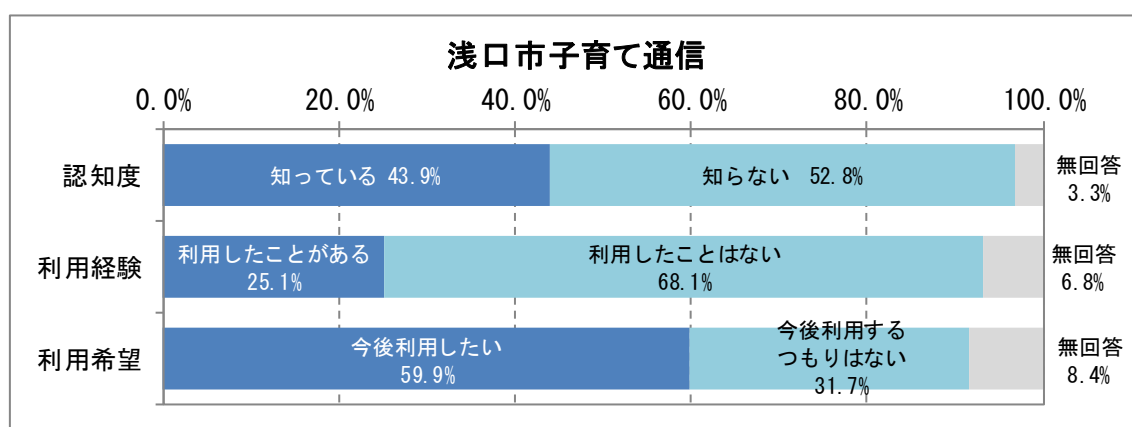
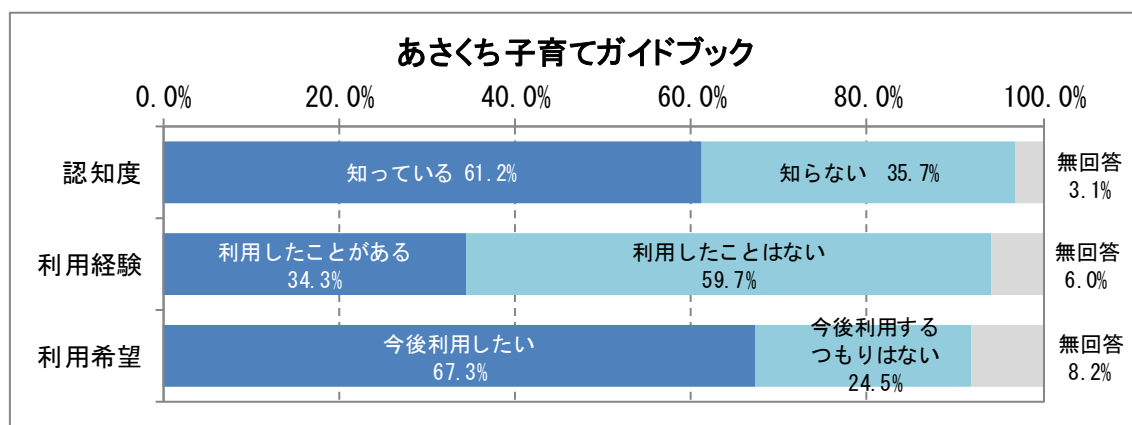
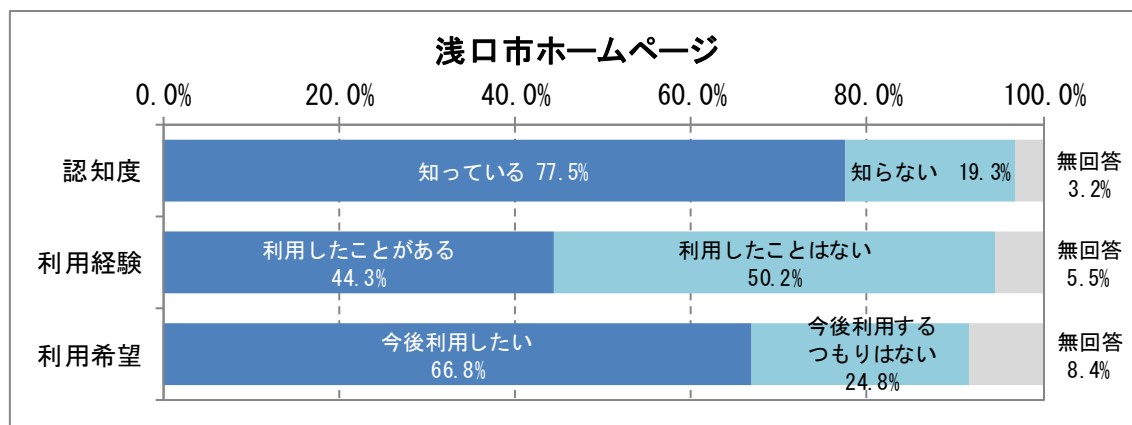
また、「広報あさくち」以外は半数以上が利用したことはないと回答している。

【利用希望】

子育てに関する事業の利用希望をみると、「広報あさくち」が79.6%と最も多く、次いで「あさくち子育てガイドブック」67.3%、「浅口市ホームページ」66.8%の順となっている。





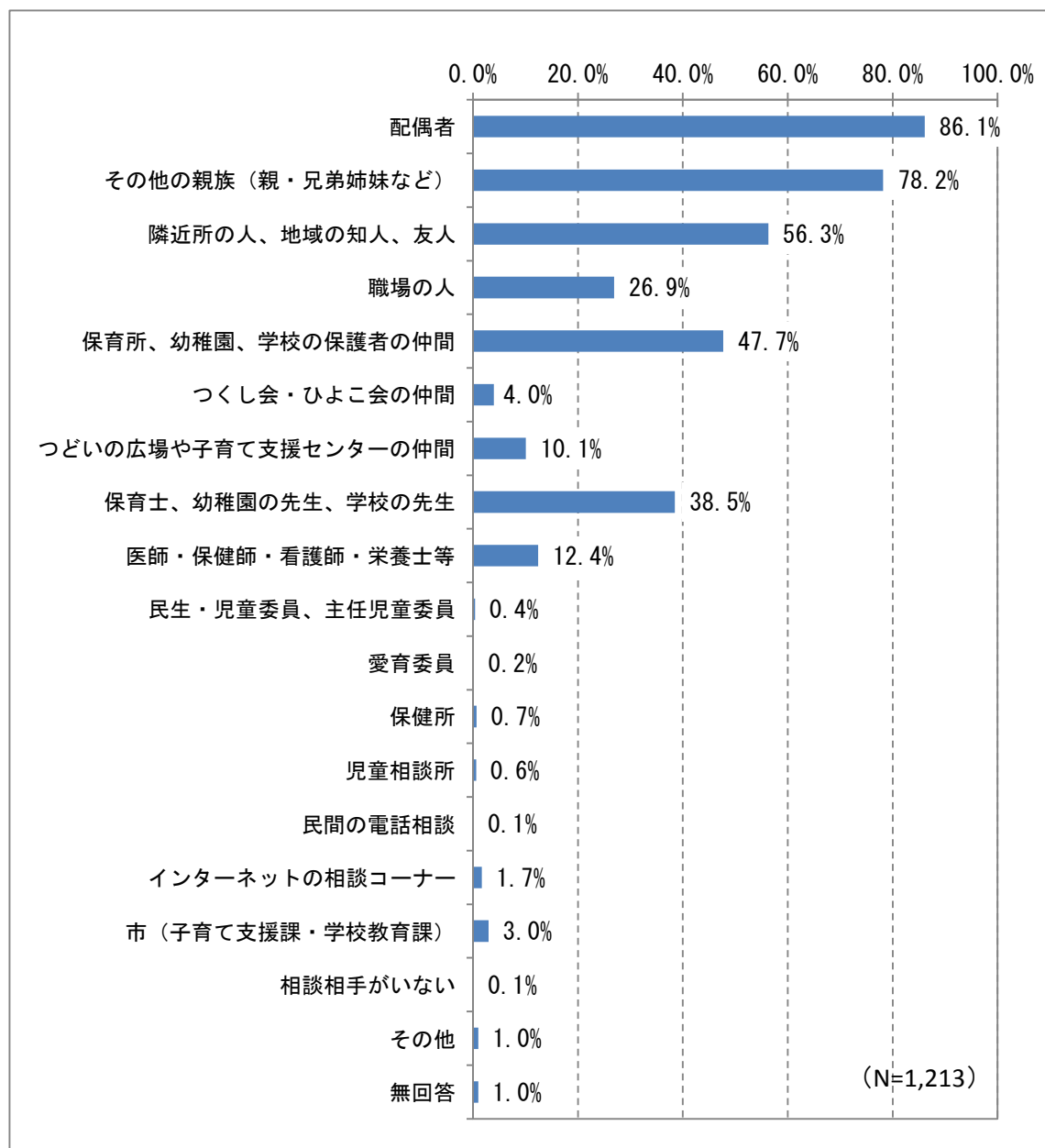


(4) 子育てに関する相談先

問28 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

子育てに関する相談先をみると、「配偶者」が86.1%と最も多く、次いで「その他の親族(親・兄弟姉妹など)」78.2%、「隣近所の人、地域の知人、友人」56.3%の順となっている。その他では、「発達支援センターの先生」「子育て支援センターの先生」「学習塾の先生」などの意見があった。

母親の就労タイプ別に差が出ている項目をみると、フルタイムの場合「職場の人」との回答が他タイプに比べ多くなっている。また、就労していない場合は「つくし会・ひよこ会の仲間」「つどいの広場や子育て支援センターの仲間」の割合が就労状況にあるタイプ(フルタイム、パート・アルバイト等)と比べて多くなっている。



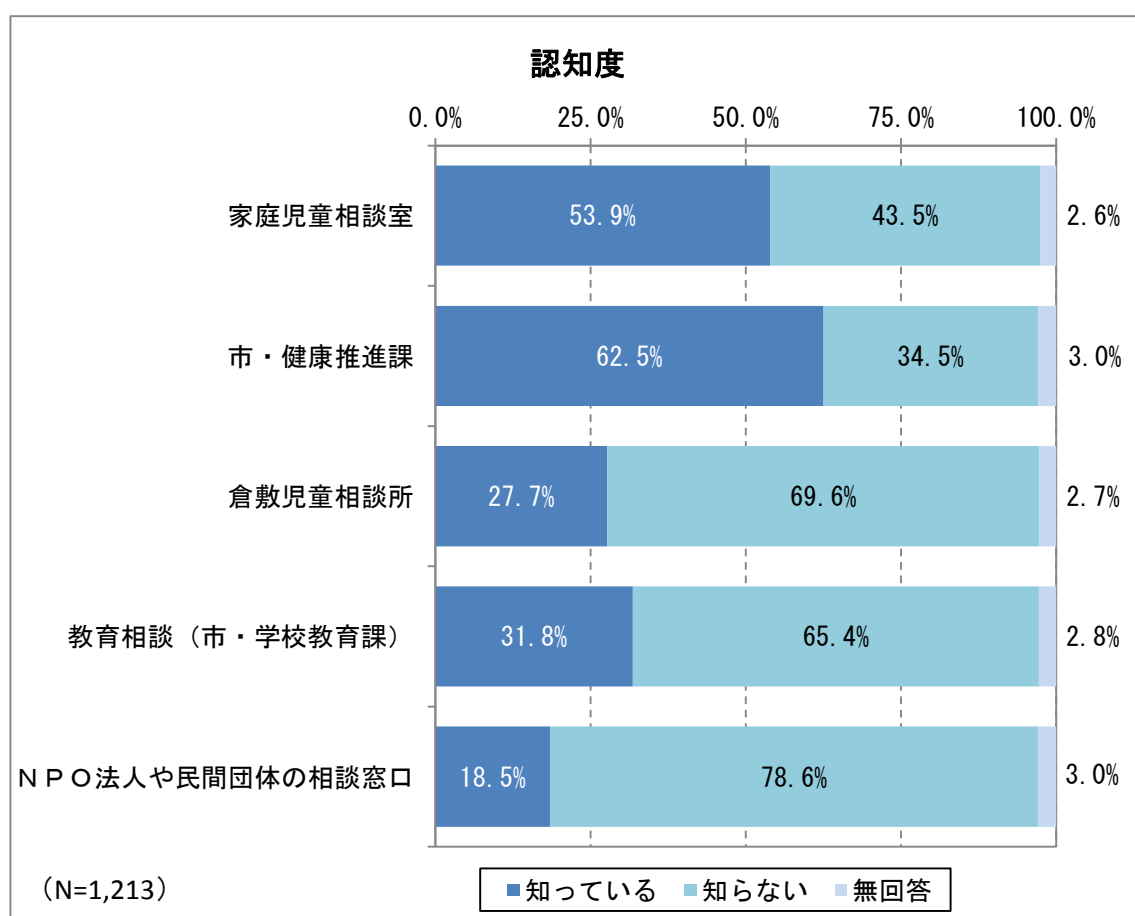
		全 体	配 偶 者	な ど (そ の 他 の 兄 弟 姉 妹)	隣 近 の 知 人 、 友 人 、 地 域	職 場 の 人	園、保 育所、 学校の 仲間の 幼稚園 の保護 者	つくし 会の 仲間・ ひよ
全体 上段／実数		1,213	1,044	948	683	326	578	49
下段／％		100.0	86.1	78.2	56.3	26.9	47.7	4.0
母親 の就 労 タ イ プ	フルタイム	415	328	325	224	212	193	10
	(産休・育休中等を含む)	100.0	79.0	78.3	54.0	51.1	46.5	2.4
	パートタイム・アルバイト等	341	304	267	182	101	188	10
	(産休・育休中等を含む)	100.0	89.1	78.3	53.4	29.6	55.1	2.9
	就労していない	444	406	346	272	10	192	29
		100.0	91.4	77.9	61.3	2.3	43.2	6.5
母親 は い な い	母親はいない	3	-	3	-	-	-	-
		100.0	-	100.0	-	-	-	-
		全 体	タ 子 つ 育 ど の 支 の 仲 間 援 セ ン ヤ	先 の 生 先 生 、 学 校 の 園	等 看 護 師 ・ 保 健 師 士 ・	医 生 、 主 任 児 童 委 員	愛 育 委 員	保 健 所
全体 上段／実数		1,213	122	467	150	5	3	8
下段／％		100.0	10.1	38.5	12.4	0.4	0.2	0.7
母親 の就 労 タ イ プ	フルタイム	415	26	185	54	1	2	3
	(産休・育休中等を含む)	100.0	6.3	44.6	13.0	0.2	0.5	0.7
	パートタイム・アルバイト等	341	19	141	40	-	-	-
	(産休・育休中等を含む)	100.0	5.6	41.3	11.7	-	-	-
	就労していない	444	77	137	55	4	1	4
		100.0	17.3	30.9	12.4	0.9	0.2	0.9
母親 は い な い	母親はいない	3	-	1	-	-	-	-
		100.0	-	33.3	-	-	-	-
		全 体	児 童 相 談 所	民 間 の 電 話 相 談	の イ ン タ ー ネ ッ ト	課 市 （ 学 校 育 て 支 援	い 相 談 相 手 が い な	そ の 他
全体 上段／実数		1,213	7	1	21	36	1	12
下段／％		100.0	0.6	0.1	1.7	3.0	0.1	1.0
母親 の就 労 タ イ プ	フルタイム	415	1	-	6	11	-	3
	(産休・育休中等を含む)	100.0	0.2	-	1.4	2.7	-	0.7
	パートタイム・アルバイト等	341	2	-	6	11	-	-
	(産休・育休中等を含む)	100.0	0.6	-	1.8	3.2	-	-
	就労していない	444	3	1	9	14	1	8
		100.0	0.7	0.2	2.0	3.2	0.2	1.8
母親 は い な い	母親はいない	3	1	-	-	-	-	1
		100.0	33.3	-	-	-	-	33.3

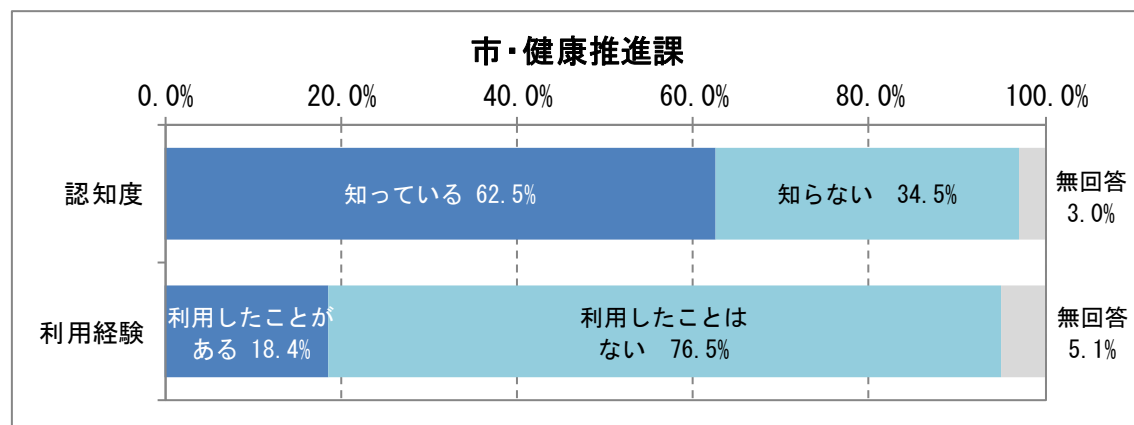
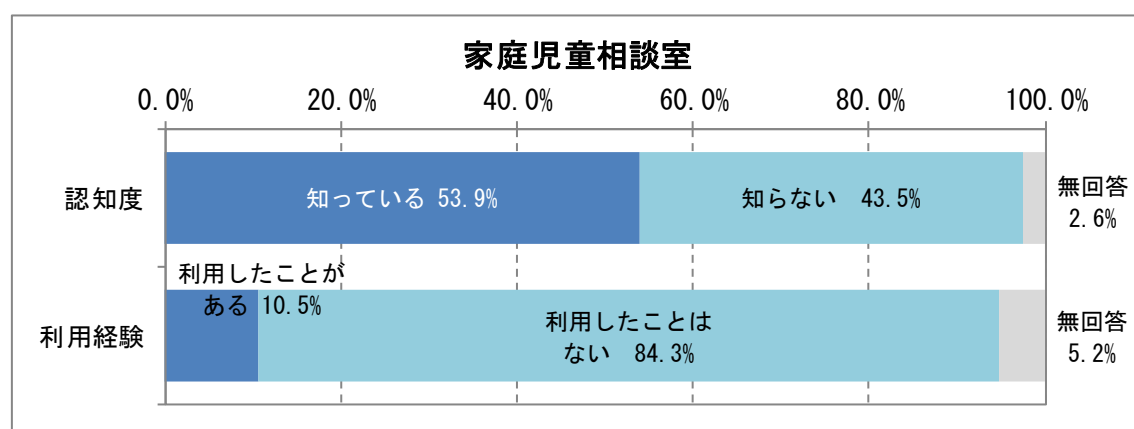
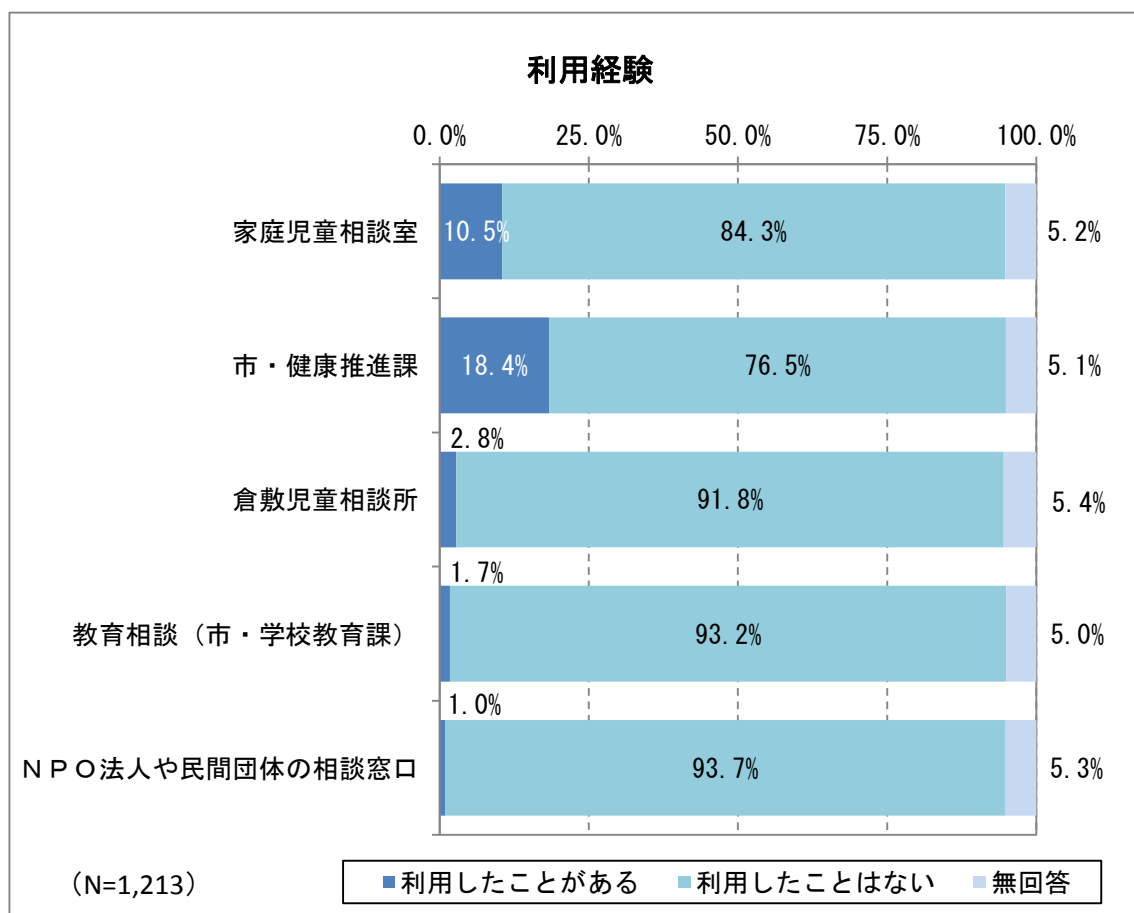
(5) 県内・市内の子育てに関する相談先の認知度・利用状況

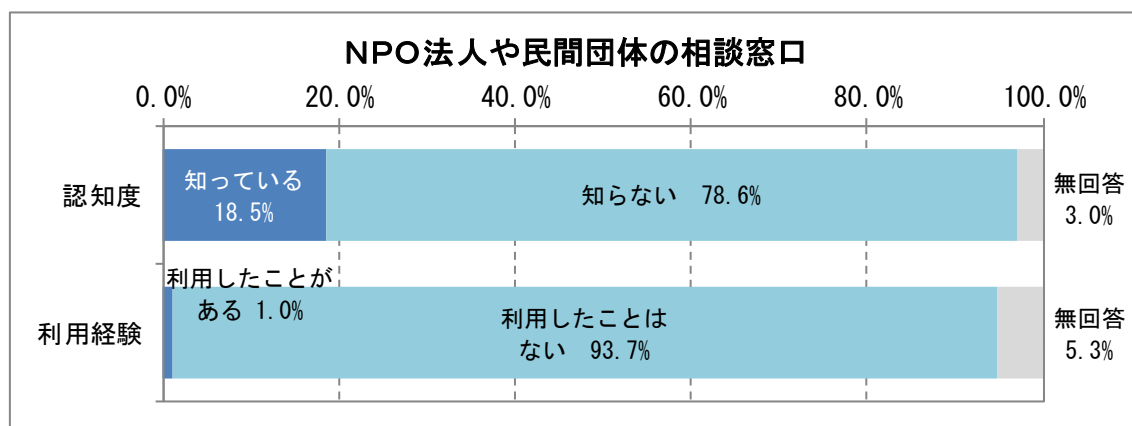
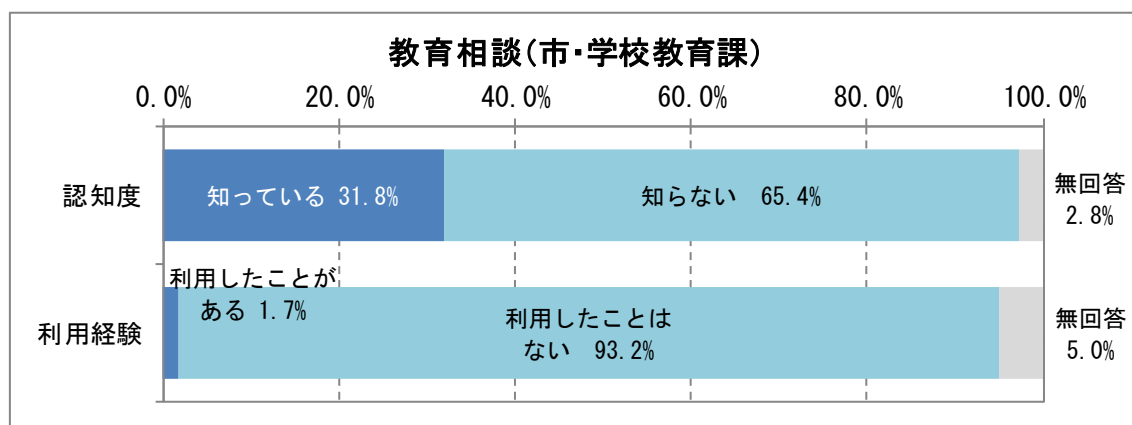
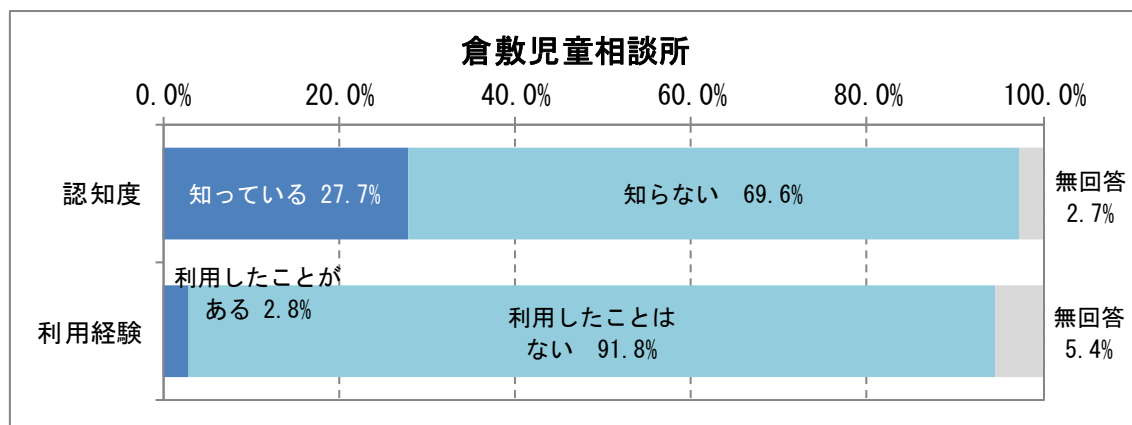
問29 岡山県内及び浅口市内の子どもに関する相談先について、各機関のA（知っている）・B（利用したことがある）のそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

県内・市内の子育てに関する相談先の認知度をみると、「市・健康推進課」が62.5%と最も多く、次いで「家庭児童相談室」53.9%、「教育相談（市・学校教育課）」31.8%の順となっている。

県内・市内の子育てに関する相談先の利用状況をみると、「市・健康推進課」が18.4%と最も多く、次いで「家庭児童相談室」10.5%、「倉敷児童相談所」2.8%の順となっている。







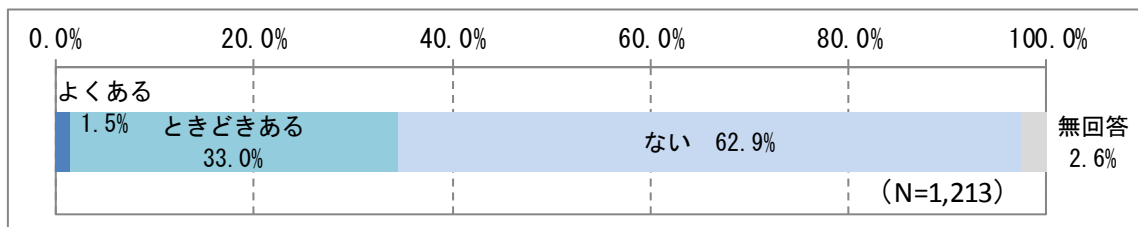
(6) 虐待について

問30 あなたは、あて名のお子さんを虐待してしまったと思うときがありますか。
(○は1つ)

虐待をしてしまったと思うときの有無をみると、「ない」が62.9%、「ときどきある」33.0%、「よくある」1.5%となっており、虐待をしてしまったと思う時がある人が3割を超えている。

子どもの年齢別にみると、3歳児・5歳児で「よくある」「ときどきある」の割合が多くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、「よくある」「ときどきある」の割合はフルタイムの場合30.1%、パートタイム・アルバイト等の場合35.5%、就労していない場合38.3%の順に増加している。

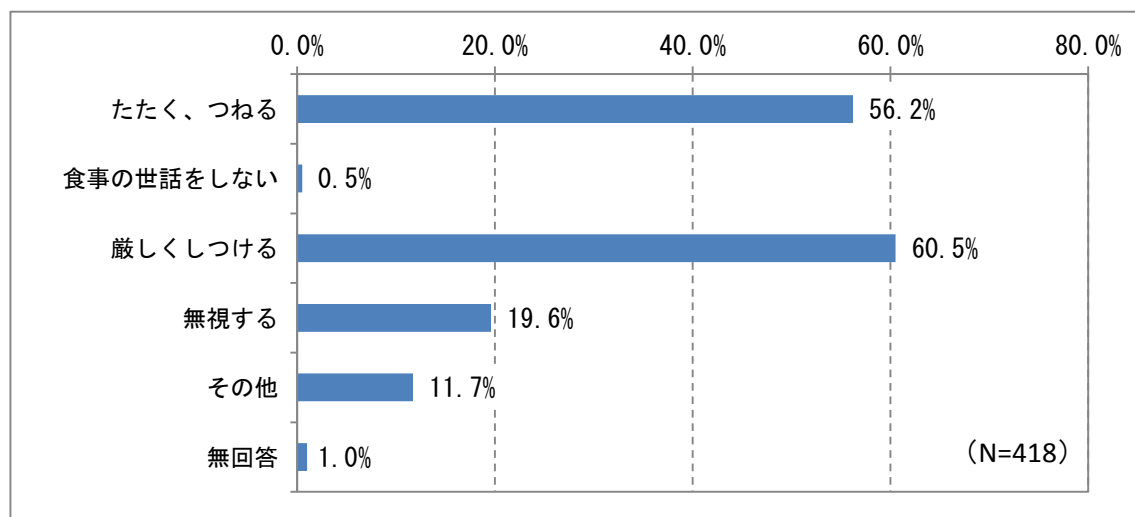


		全 体	よ く あ る	と き ど き あ る	な い	無 回 答
全体 上段／実数		1,213	18	400	763	32
下段／%		100.0	1.5	33.0	62.9	2.6
子 ど も の 年 齢	0歳児	231	2	38	183	8
		100.0	0.9	16.5	79.2	3.5
	1歳児	148	－	41	105	2
		100.0	－	27.7	70.9	1.4
	2歳児	181	2	66	109	4
		100.0	1.1	36.5	60.2	2.2
	3歳児	183	6	75	99	3
		100.0	3.3	41.0	54.1	1.6
母 親 の 就 労 タ イ プ	4歳児	220	2	76	139	3
		100.0	0.9	34.5	63.2	1.4
	5歳児	237	6	100	122	9
		100.0	2.5	42.2	51.5	3.8
	フルタイム	415	6	119	279	11
	(産休・育休中等を含む)	100.0	1.4	28.7	67.2	2.7
	パートタイム・アルバイト等	341	4	117	209	11
	(産休・育休中等を含む)	100.0	1.2	34.3	61.3	3.2
母 親 は い な い	就労していない	444	8	162	267	7
		100.0	1.8	36.5	60.1	1.6
	母親はいない	3	－	1	2	－
		100.0	－	33.3	66.7	－

問30で「1.」「2.」（よくある・ときどきある）に○をつけた方におうかがいします。

問30-1 虐待してしまったと思うのは、どのようなときですか。（○はいくつでも）

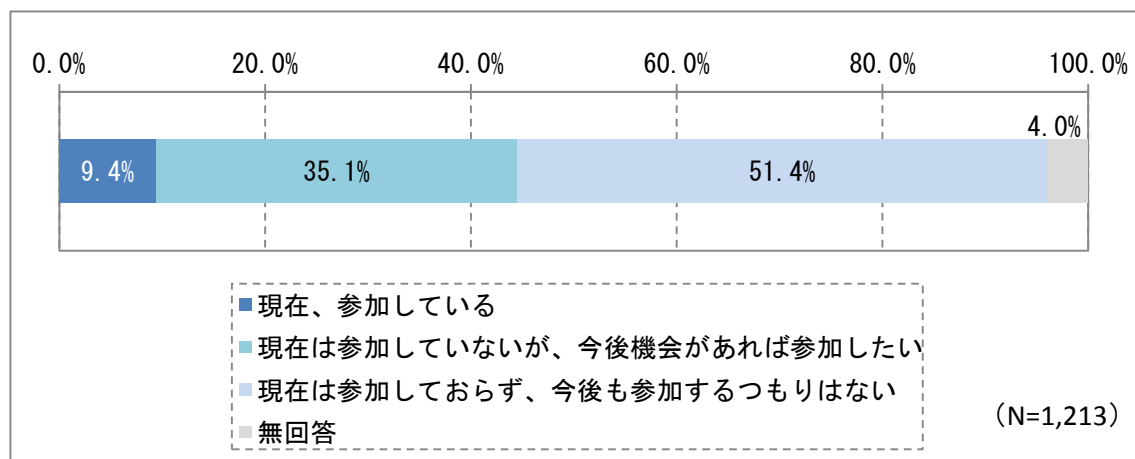
虐待をしてしまったと思う行動をみると、「厳しくしつける」が60.5%と最も多く、次いで「たたく、つねる」56.2%、「無視する」19.6%の順となっている。その他では、「暴言を吐く」「大声で怒鳴る」などの意見があった。



(7) 子育てに関するサークルなど自主的な活動への参加状況

問31 子育てに関するサークルなど自主的な活動に参加していますか。（○は1つ）

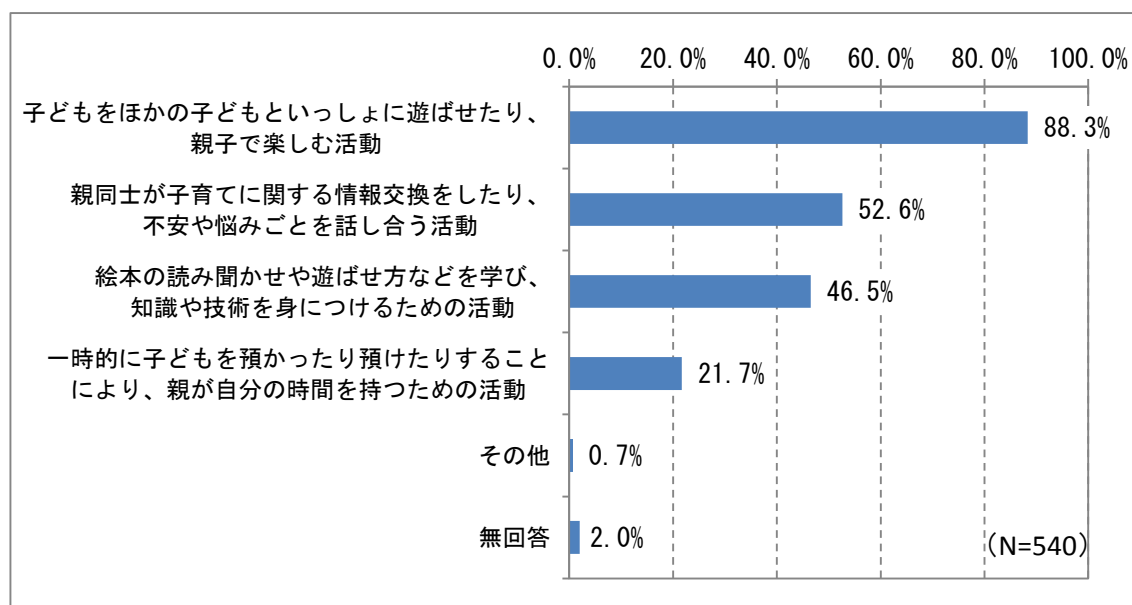
自主的な活動への参加状況をみると、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が51.4%と最も多く、次いで「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」35.1%、「現在、参加している」9.4%の順となっている。



問31で「1.」「2.」に○をつけた方におうかがいします。

問31-1 今後実施したい自主活動、参加したい活動や講座はどのようなものですか。
(○は3つまで)

今後実施したい自主活動、参加したい活動や講座をみると、「子どもをほかの子どもといっしょに遊ばせたり、親子で楽しむ活動」が88.3%と最も多く、次いで「親同士が子育てに関する情報交換をしたり、不安や悩みごとを話し合う活動」52.6%、「絵本の読み聞かせや遊ばせ方などを学び、知識や技術を身につけるための活動」46.5%の順となっている。その他では、「わらべうたや伝承遊び」「子ども服のリサイクル交換会」などの意見があった。

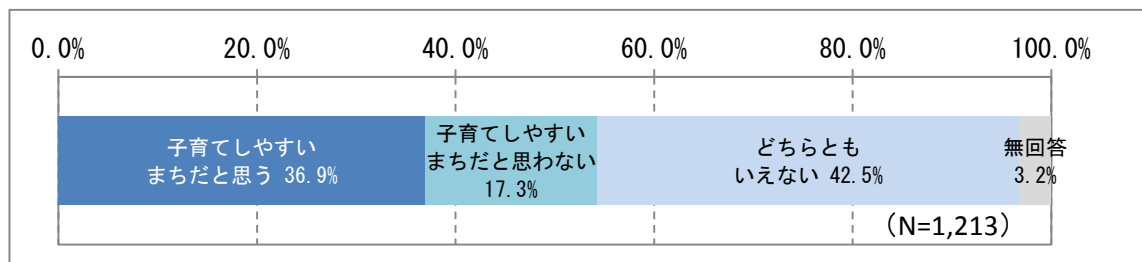


(8) 子育てしやすいまちについて

問32 浅口市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

子育てしやすいまちについてみると、「どちらともいえない」が42.5%と最も多く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」36.9%、「子育てしやすいまちだと思わない」17.3%となっている。

母親の就労タイプ別にみると、パートタイム・アルバイト等での就労の場合に比べ、フルタイム・就労していない場合で「子育てしやすいまちだと思わない」の割合が多くなっている。



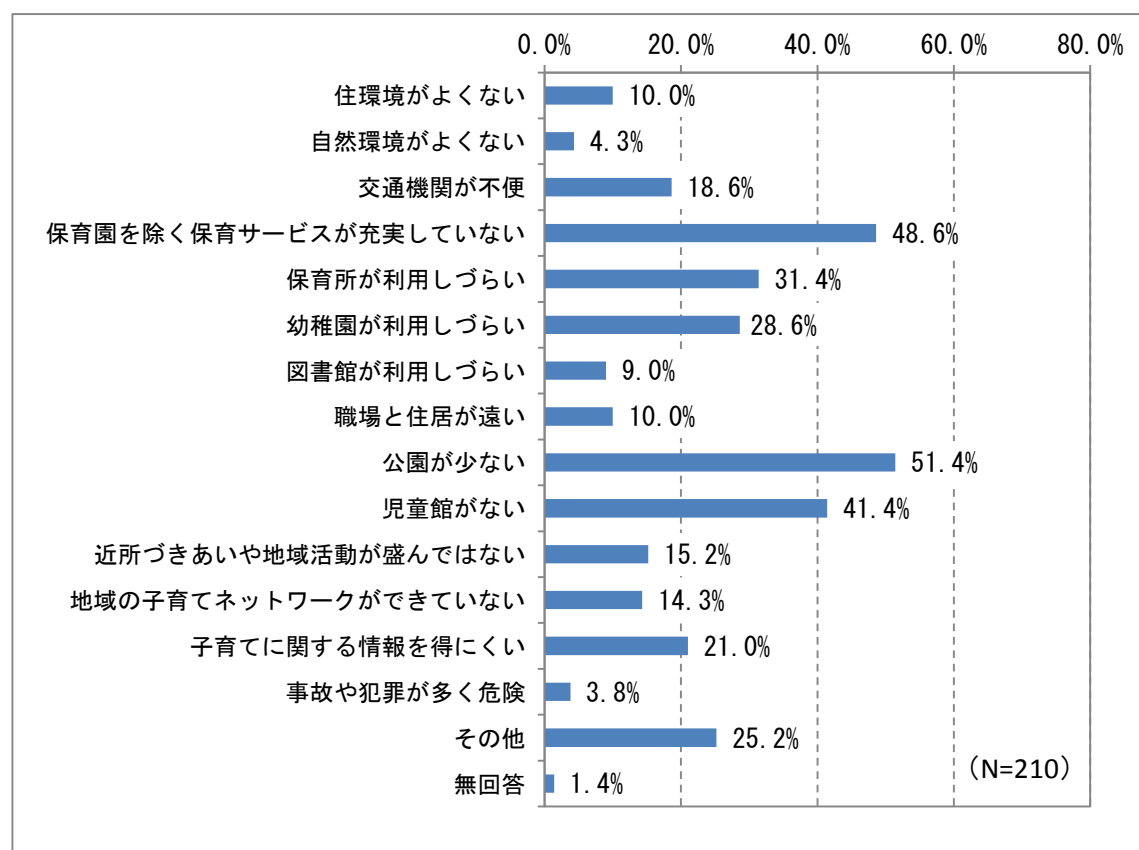
	全 体	思 う 育 て し や す い ま ち だ と	思 わ な い 育 て し や す い ま ち だ と	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
全体 上段／実数	1,213	448	210	516	39
下段／MA%	100.0	36.9	17.3	42.5	3.2
母親の就労タイプ					
フルタイム	415	148	79	177	11
(産休・育休中等を含む)	100.0	35.7	19.0	42.7	2.7
パートタイム・アルバイト等	341	138	53	142	8
(産休・育休中等を含む)	100.0	40.5	15.5	41.6	2.3
就労していない	444	159	78	190	17
	100.0	35.8	17.6	42.8	3.8
母親はいない	3	-	-	3	-
	100.0	-	-	100.0	-

問32で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」に○をつけた方におうかがいします。

問32-1 子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

子育てしやすいまちだと思わない理由についてみると、「公園が少ない」が51.4%と最も多く、次いで「保育園を除く保育サービスが充実していない」48.6%、「児童館がない」41.4%となっている。その他では、「保育園に預けられない」「病児病後児保育がない」「屋内で遊べる施設が少ない」「3年保育がない」などの意見があった。

母親の就労タイプ別に差がでている項目をみると、フルタイムの場合「住環境がよくない」「職場と住居が遠い」が他のタイプに比べて多くなっている。また、パートタイム・アルバイトの場合は「近所づきあいや地域活動が盛んではない」、就労していない場合は「公園が少ない」「交通機関が不便」といった回答が多い。

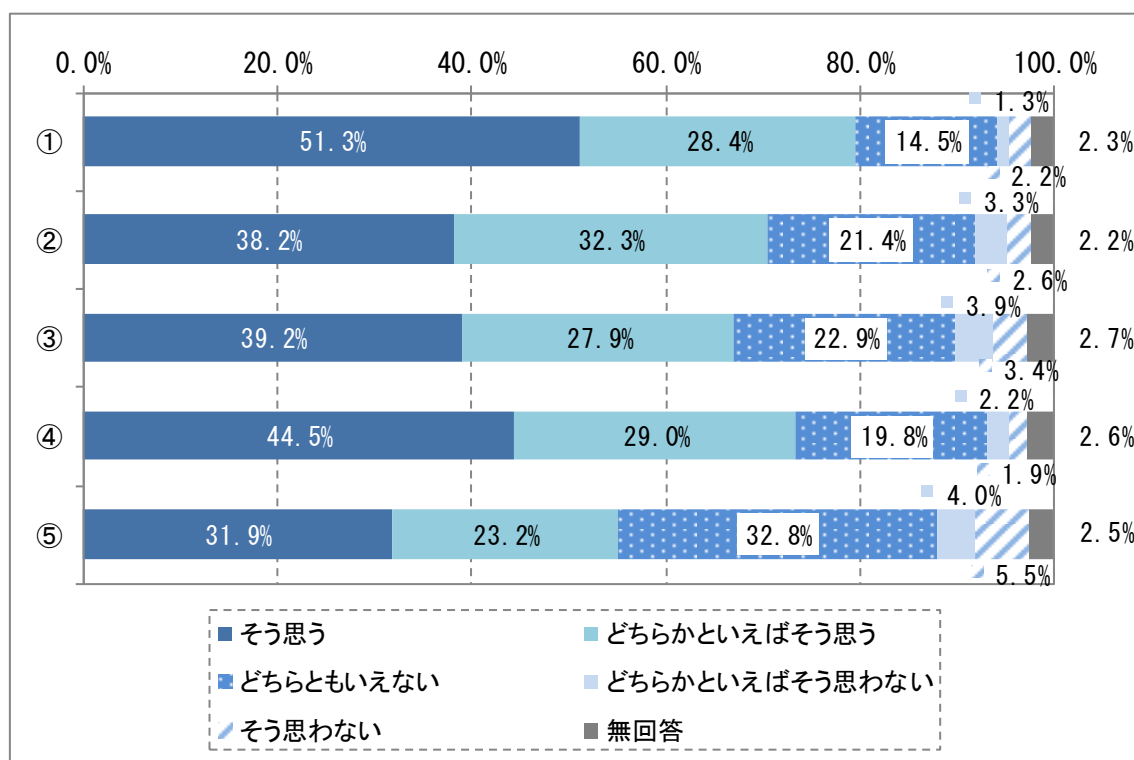


		全 体	よ く な い が	よ く な い 環 境 が	交 通 機 関 が 不 便	実 し て い な い 充 保	利 用 し 所 づ ら い
全体 上段／実数		210	21	9	39	102	66
下段／MA%		100.0	10.0	4.3	18.6	48.6	31.4
母親の就労タイプ	フルタイム	79	12	1	8	40	28
	(産休・育休中等を含む)	100.0	15.2	1.3	10.1	50.6	35.4
	パートタイム・アルバイト等	53	4	3	12	23	13
	(産休・育休中等を含む)	100.0	7.5	5.7	22.6	43.4	24.5
	就労していない	78	5	5	19	39	25
		100.0	6.4	6.4	24.4	50.0	32.1
	母親はいない	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		全 体	利 用 し 園 づ が ら い	利 用 し 館 づ が ら い	住 居 場 と 遠 い	公 園 が 少 な い	児 童 館 が な い
全体 上段／実数		210	60	19	21	108	87
下段／MA%		100.0	28.6	9.0	10.0	51.4	41.4
母親の就労タイプ	フルタイム	79	26	9	11	38	35
	(産休・育休中等を含む)	100.0	32.9	11.4	13.9	48.1	44.3
	パートタイム・アルバイト等	53	13	2	5	23	20
	(産休・育休中等を含む)	100.0	24.5	3.8	9.4	43.4	37.7
	就労していない	78	21	8	5	47	32
		100.0	26.9	10.3	6.4	60.3	41.0
	母親はいない	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-
		全 体	で地近 は域所 な活づ い動き があ 盛い んや	でネ地 きてツ いトの いワ子 ない育 くて が	情子 報育 をて 得に に 関 す い る	多事 く故 や 陰 犯 罪 が	そ の 他
全体 上段／実数		210	32	30	44	8	53
下段／MA%		100.0	15.2	14.3	21.0	3.8	25.2
母親の就労タイプ	フルタイム	79	12	10	14	1	17
	(産休・育休中等を含む)	100.0	15.2	12.7	17.7	1.3	21.5
	パートタイム・アルバイト等	53	12	8	14	4	16
	(産休・育休中等を含む)	100.0	22.6	15.1	26.4	7.5	30.2
	就労していない	78	8	12	16	3	20
		100.0	10.3	15.4	20.5	3.8	25.6
	母親はいない	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-

1 1 幼保一体化の考え方について

問3 3 次の幼保一体化の考え方について、あなたはどのように思いますか。

幼保一体化の考え方についてみると、「そう思う」と答えた割合は「親の就労の有無に関わりなく、地域の子どもが同じ環境で過ごせることで、小学校生活にスムーズに移れる」が51.3%と最も多く、次いで「就労状況等により親の考え方に違いがあるため、保護者会などの活動に難しい面がある」44.5%、「一体化施設になることで、それぞれの良さを生かした環境が整う」39.2%の順となっている。



- ①親の就労の有無に関わりなく、地域の子どもが同じ環境で過ごせることで、小学校生活にスムーズに移れる
 ②園児数が増え、異年齢の子どもとの触れ合いや同年齢の子どもとの競い合いが増え、良い成長が期待できる
 ③一体化施設になることで、それぞれの良さを生かした環境が整う
 ④就労状況等により親の考え方に違いがあるため、保護者会などの活動に難しい面がある
 ⑤幼保一体化（こども園への移行）を進めることは良いことだ

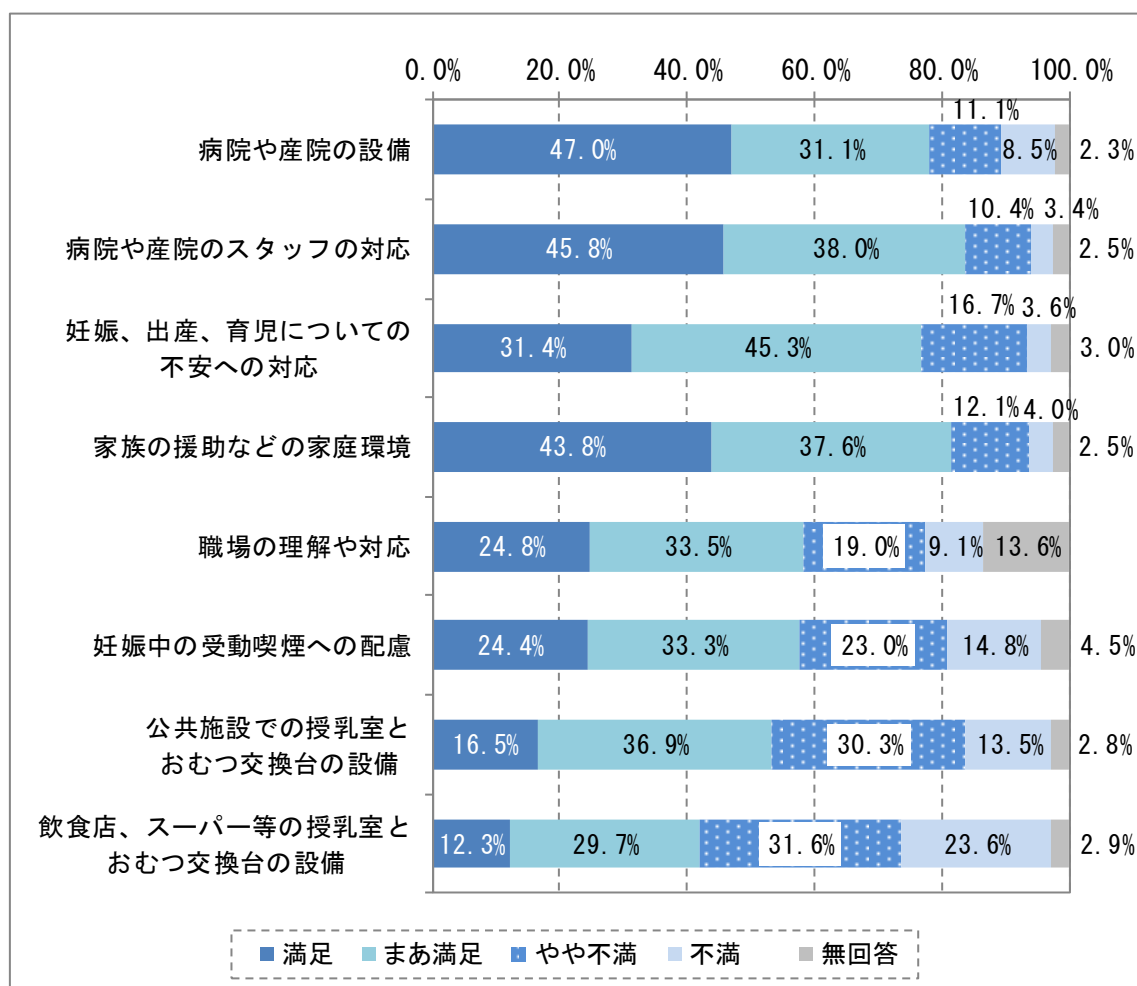
12 子育ての状況について

(1) 妊娠、出産、育児の状況について

問34 あて名のお子さんを妊娠、出産、育児をしている時の状況について、満足度をお答えください。(それぞれに○は1つ)

妊娠、出産、育児における満足度（満足+まあ満足）についてみると、「病院や産院のスタッフの対応」83.8%、「家族の援助などの家庭環境」81.4%、「病院や産院の設備」78.1%の順となっている。

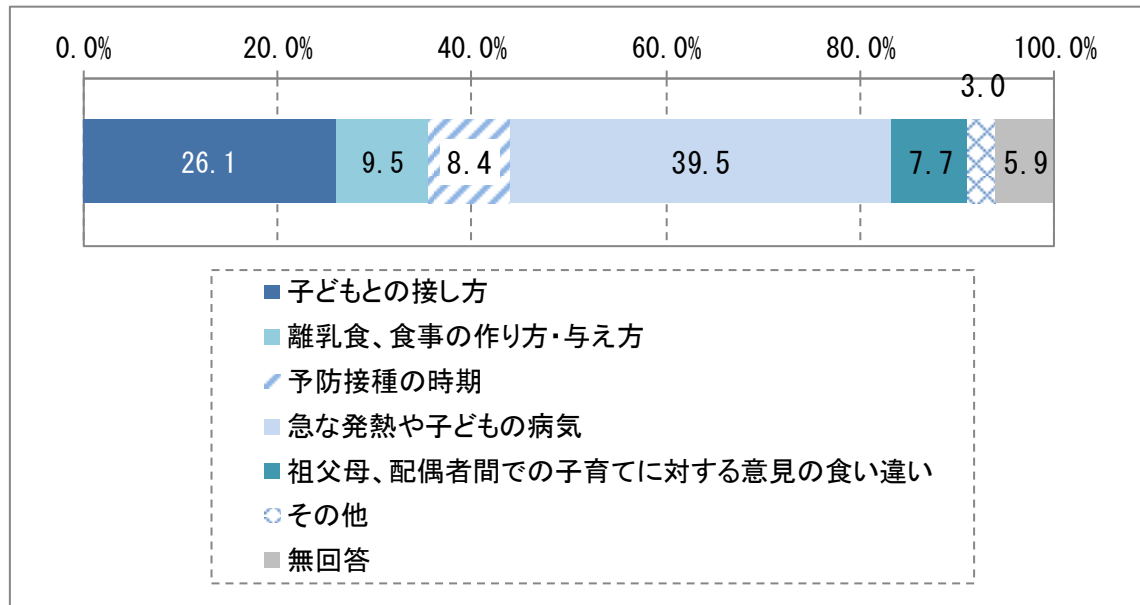
不満度（不満+やや不満）では、「飲食店、スーパー等の授乳室とおむつ交換台の設備」55.2%、「公共施設での授乳室とおむつ交換台の設備」43.8%、「妊娠中の受動喫煙への配慮」37.8%の順となっている。



(2) 子育てに関して困ったこと

問35 子育てに関して困ったことは何ですか。(○は1つ)

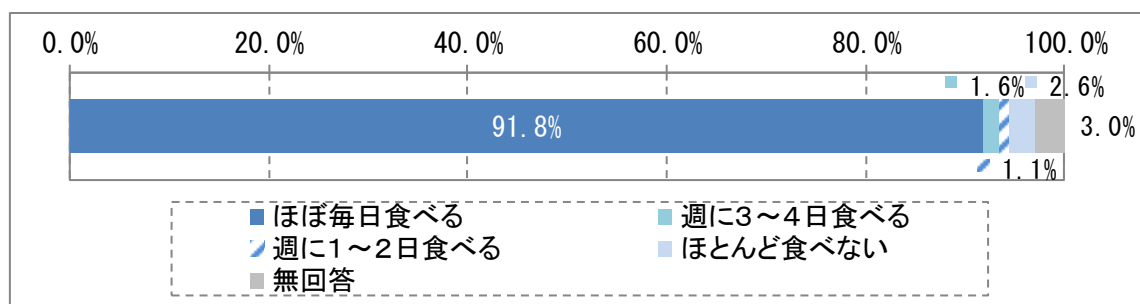
子育てに関して困ったことをみると、「急な発熱や子どもの病気」39.5%と最も多く、次いで「子どもとの接し方」26.1%、「離乳食、食事の作り方・与え方」9.5%の順となっている。その他では、「緊急時の預け先がない」「小児科の救急病院が近くにない」「夜泣き・夜中の授乳」などの意見があった。



(3) お子さんの朝食摂取状況

問36 あて名のお子さんは毎日朝食を食べますか。(○は1つ)

朝食の摂取状況をみると、「ほぼ毎日食べる」が91.8%となっており、1日でも朝食を抜くことがある子どもは全体の約5%となっている。



Ⅳ 小学生保護者調査の結果

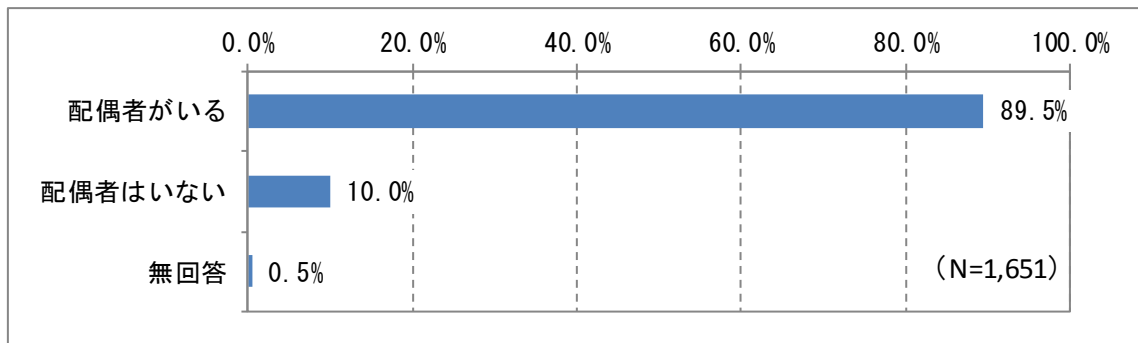
1 子どもと家族の状況について

(1) 回答者の配偶関係

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(○は1つ)

回答者の配偶関係をみると、「配偶者がいる」が89.5%、「配偶者はいない」10.0%となっている。

子どもの学年別にみると「配偶者はいない」は「3年」「6年」で1割を超えている。



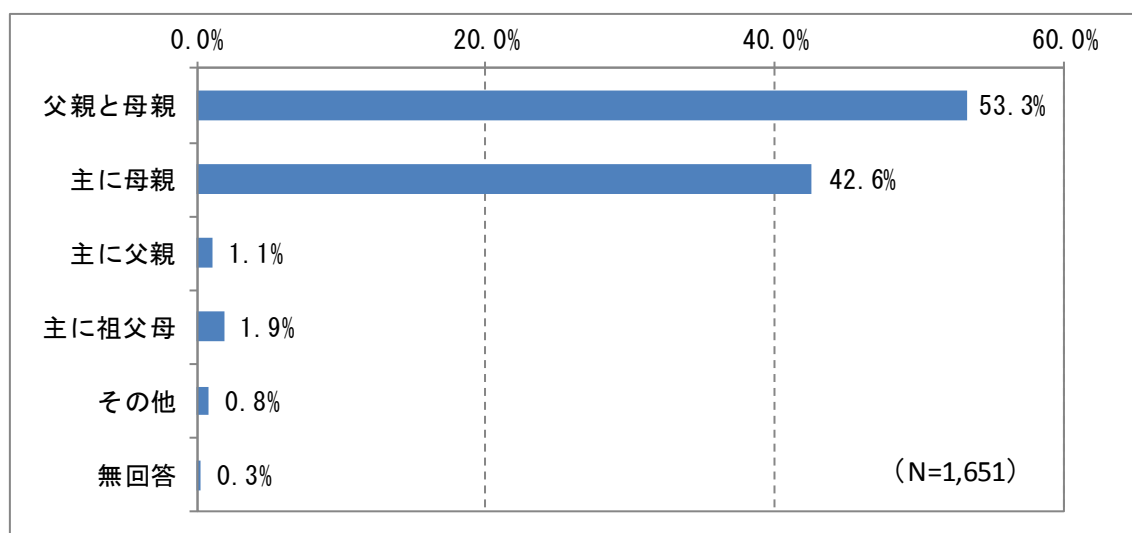
		全 体	配 偶 者 が い る	配 偶 者 は い な い	無 回 答
全体 上段／実数		1,651	1,477	165	9
下段／%		100.0	89.5	10.0	0.5
子 ど も の 学 年	1年	269	241	26	2
		100.0	89.6	9.7	0.7
	2年	261	237	23	1
		100.0	90.8	8.8	0.4
	3年	302	265	35	2
		100.0	87.7	11.6	0.7
	4年	272	247	24	1
		100.0	90.8	8.8	0.4
	5年	266	246	19	1
		100.0	92.5	7.1	0.4
	6年	281	241	38	2
		100.0	85.8	13.5	0.7

(2) 子育ての主体者

問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（○は1つ）

子育ての主体者をみると、「父親と母親」が53.3%と最も多く、次いで「主に母親」42.6%「主に祖父母」1.9%の順となっている。

子どもの学年別でみるとどの学年でも、全体同様に「父親と母親」が最も多く5割程度、次いで「主に母親」「主に祖父母」となっている。



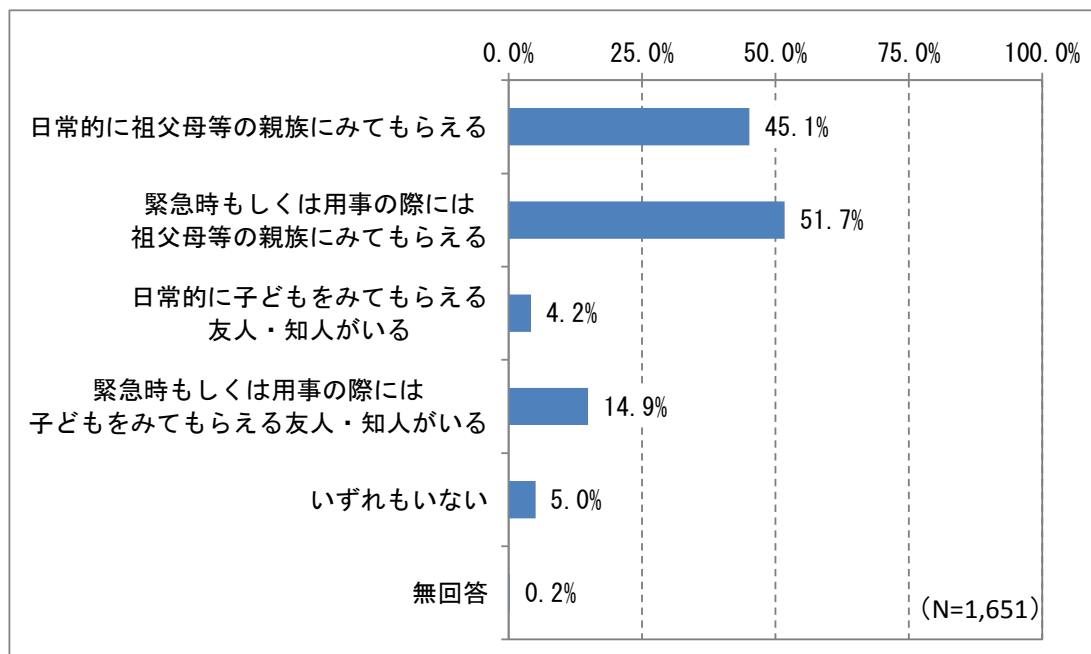
		全 体	父 親 と 母 親	主 に 母 親	主 に 父 親	主 に 祖 父 母	そ の 他
全体	上段／実数	1,651	880	703	18	31	14
	下段／%	100.0	53.3	42.6	1.1	1.9	0.8
子 ど も の 学 年	1年	269	146	110	3	7	3
		100.0	54.3	40.9	1.1	2.6	1.1
	2年	261	147	100	2	7	3
		100.0	56.3	38.3	0.8	2.7	1.1
	3年	302	150	142	3	2	4
		100.0	49.7	47.0	1.0	0.7	1.3
	4年	272	144	118	3	4	2
		100.0	52.9	43.4	1.1	1.5	0.7
	5年	266	146	110	3	5	1
		100.0	54.9	41.4	1.1	1.9	0.4
	6年	281	147	123	4	6	1
		100.0	52.3	43.8	1.4	2.1	0.4

(3) 日頃子どもをみてもらえる親族・知人

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

日頃子どもをみてもらえる親族・知人をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母の親族にみてもらえる」が51.7%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」45.1%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」14.9%の順となっている。

母親の就労タイプ別にみると、「みてもらえる友人・知人がいる（日常的+緊急時）」については大きな差はみられないが、「祖父母等の親族にみてもらえる（日常的）」では就労していない場合29.0%、パートタイム・アルバイトの場合41.2%、フルタイムの場合60.2%と大きな差がみられる。



	全 体	み 日 常 的 に 祖 父 母 等 の 親 族 に	は 緊 急 時 も し く は 用 事 の 際 に は 祖 父 母 等 の 親 族 に	え 日 常 的 に 子 ど も を み て ら え る 友 人 ・ 知 人 が い る	人 は 緊 急 時 も し く は 用 事 の 際 に は 子 ど も を み て ら え る 友 人 ・ 知 人 が い る	い ず れ も い な い
全体 上段／実数	1,651	745	854	69	246	83
下段／MA%	100.0	45.1	51.7	4.2	14.9	5.0
母親の就労タイプ フルタイム	565	340	247	27	73	15
(産休・育休中等を含む)	100.0	60.2	43.7	4.8	12.9	2.7
パートタイム・アルバイト等	658	271	368	29	108	31
(産休・育休中等を含む)	100.0	41.2	55.9	4.4	16.4	4.7
就労していない	396	115	233	11	61	32
100.0	29.0	58.8	2.8	15.4	8.1	
母親はいない	25	13	6	2	3	5
100.0	52.0	24.0	8.0	12.0	20.0	

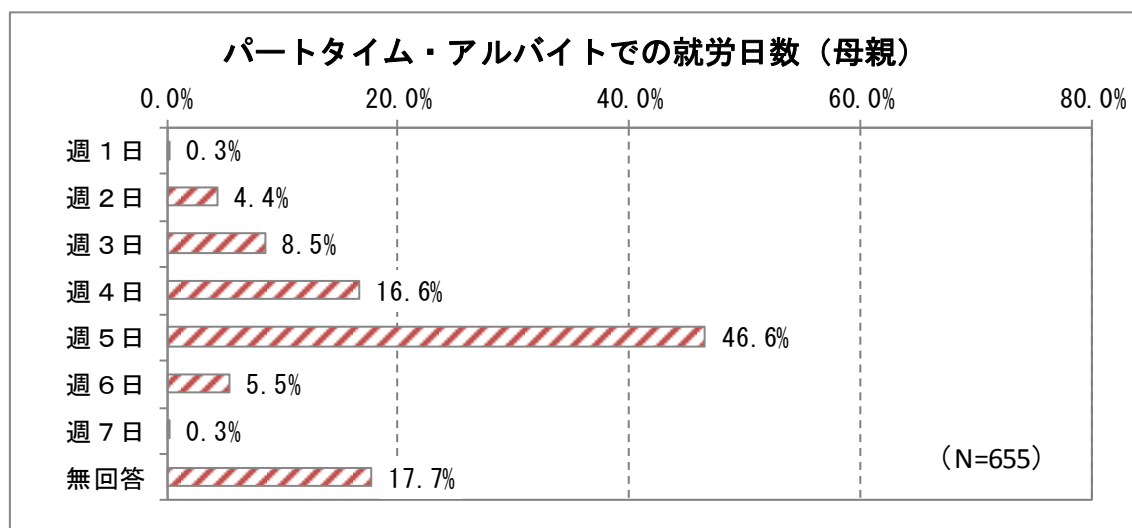
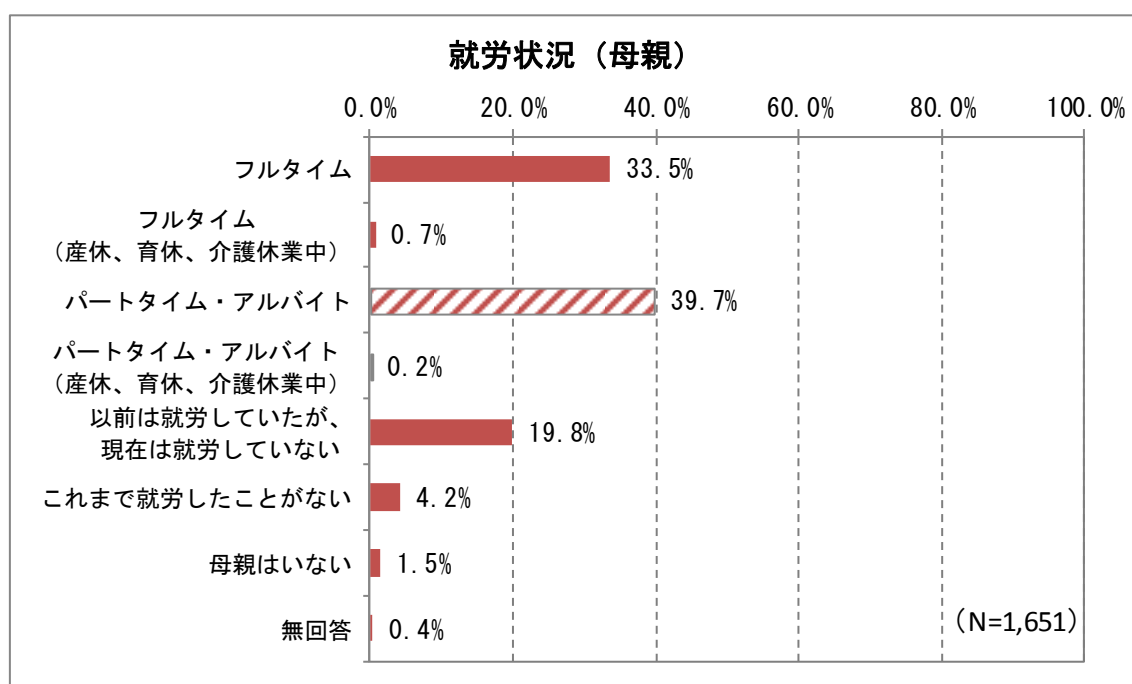
2 保護者の就労状況

(1) 父母の就労状況

問8 母親の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、おうかがいします。
母親の就労状況は次のどれですか。（○は1つ）

母親の就労状況をみると、「パートタイム・アルバイト」が39.7%と最も多く、次いで「フルタイム」33.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」19.8%の順となっている。「パートタイム・アルバイト」と回答した人の就労日数では、「週5日」が46.6%と最も多く、次いで、「無回答」17.7%「週4日」16.6%の順となっている。

子どもの学年別にみると、学年が上がるにつれて「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合がおおむね増加傾向にある。

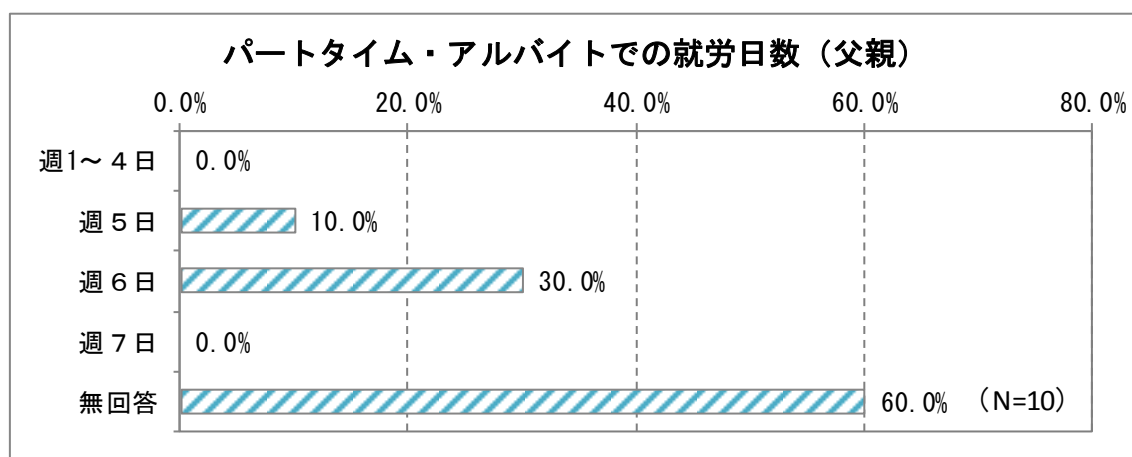
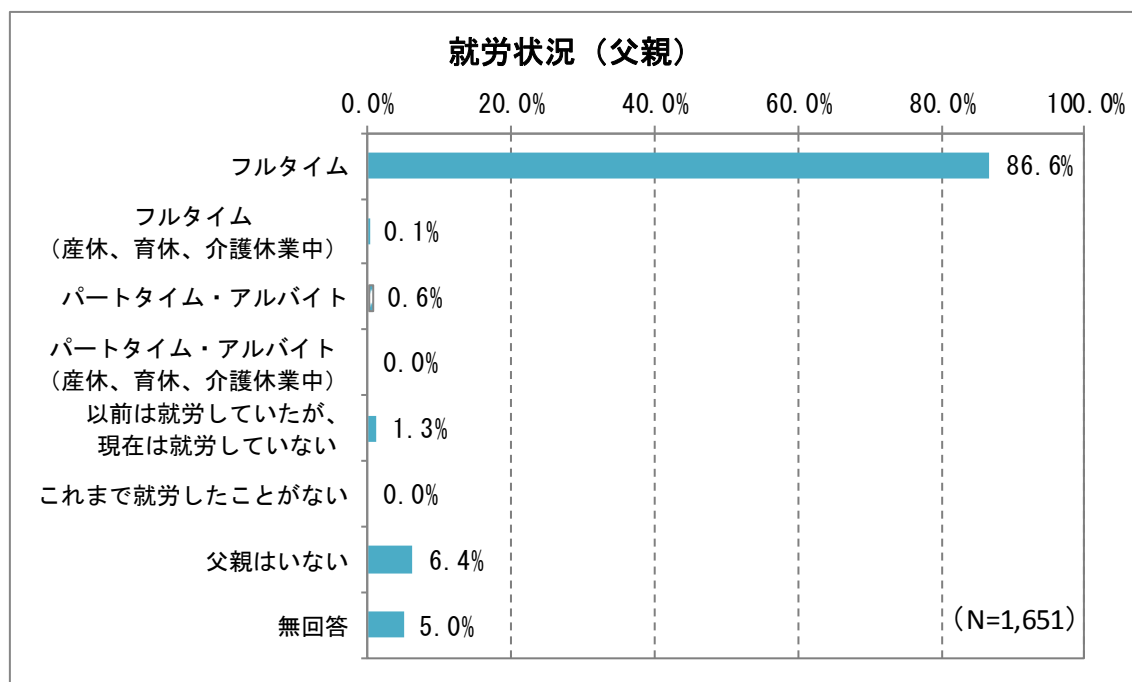


		全 体	フル タイム	フルタイム（産休、育休、 介護休業中）	パートタイム・アルバイト 等	パートタイム・アルバイト 等（産休、育休、介護休業 中）	以前は就労していたが、現 在は就労していない	これまで就労したことがな い	母親はいない	無 回 答
全体 上段／実数		1,651	553	12	655	3	327	69	25	7
下段／%		100.0	33.5	0.7	39.7	0.2	19.8	4.2	1.5	0.4
子 ど も の 学 年	1年	269	78	5	91	－	75	13	7	－
		100.0	29.0	1.9	33.8	－	27.9	4.8	2.6	－
	2年	261	87	2	92	1	65	11	2	1
		100.0	33.3	0.8	35.2	0.4	24.9	4.2	0.8	0.4
	3年	302	106	1	129	2	45	14	2	3
		100.0	35.1	0.3	42.7	0.7	14.9	4.6	0.7	1.0
	4年	272	91	3	114	－	51	9	3	1
		100.0	33.5	1.1	41.9	－	18.8	3.3	1.1	0.4
	5年	266	94	－	104	－	50	12	4	2
		100.0	35.3	－	39.1	－	18.8	4.5	1.5	0.8
	6年	281	97	1	125	－	41	10	7	－
		100.0	34.5	0.4	44.5	－	14.6	3.6	2.5	－

問9 父親の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、おうかがいします。
父親の就労状況は次のどれですか。（○は1つ）

父親の就労状況をみると、「フルタイム」が86.6%と最も多く、次いで「父親はいない」6.4%、「無回答」5.0%の順となっている。

「パートタイム・アルバイト」と回答した人の就労日数では、「無回答」が60.0%と最も多く、次いで「週6日」30.0%、「週5日」10.0%の順となっている。



(2) 父母の就労時間

問8で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。

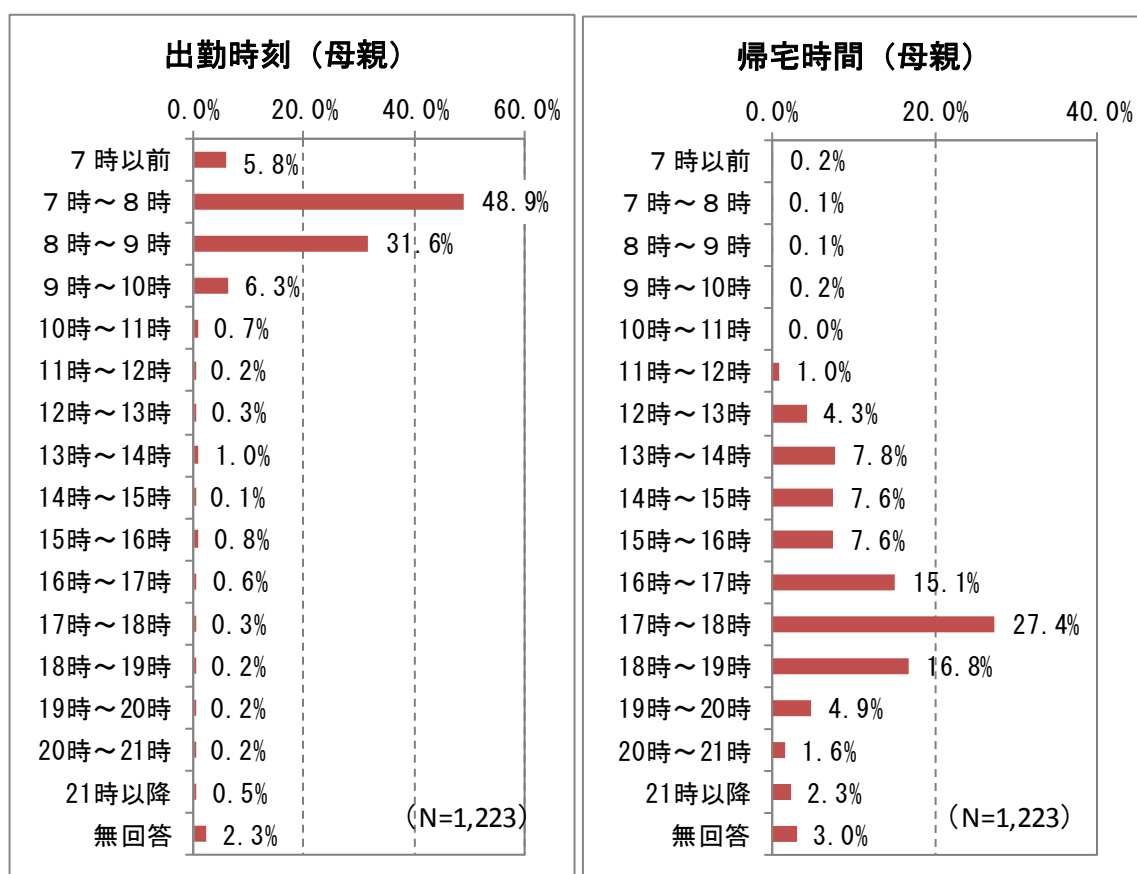
問8－1 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

問9で「1. ～4.」（就労している）に○をつけた方におうかがいします。

問9－1 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

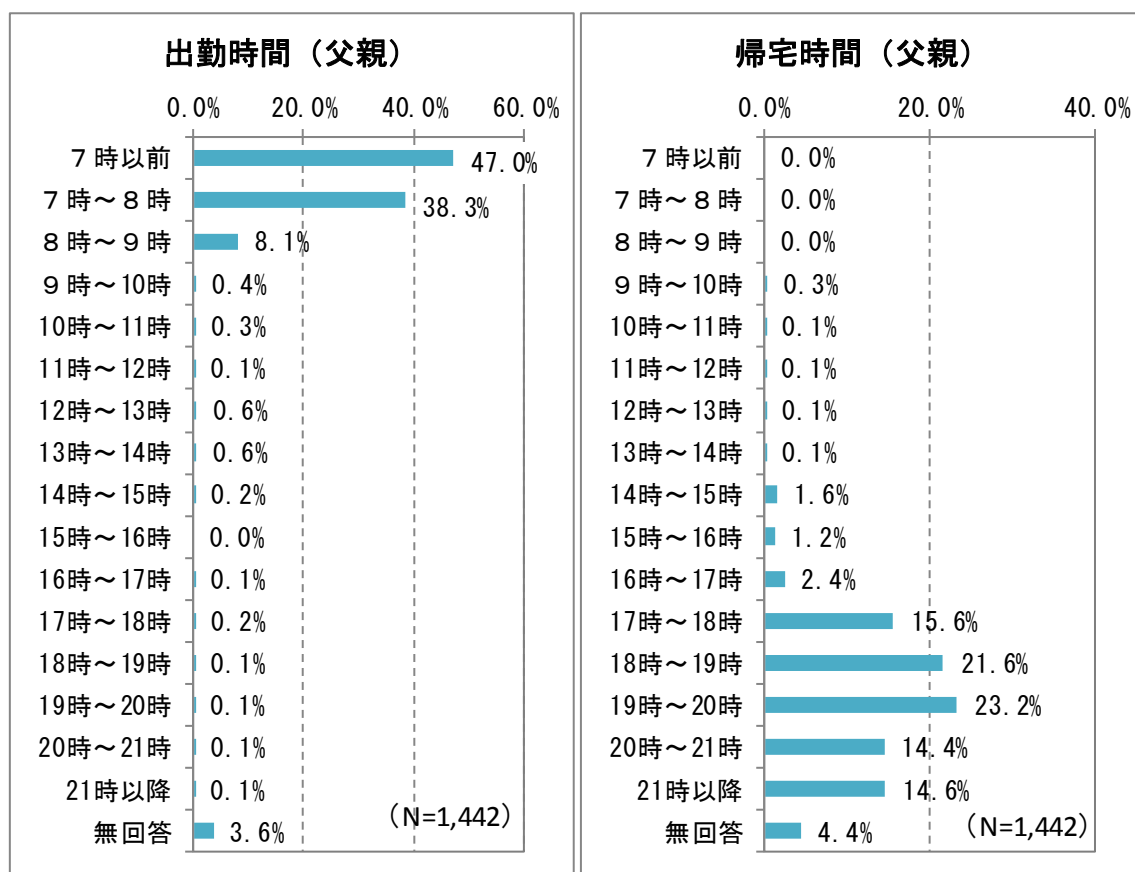
母親の就労時間をみると、出勤時刻では「7時～8時」が48.9%と最も多く、次いで「8時～9時」31.6%、「7時以前」5.8%の順となっている。

帰宅時刻では「17時～18時」が27.4%と最も多く、次いで「18時～19時」16.8%、「16時～17時」15.1%の順となっている。



父親の就労時間をみると、出勤時刻では「7時以前」が47.0%と最も多く、次いで「7時～8時」38.3%、「8時～9時」8.1%の順となっている。

帰宅時刻では「19時～20時」が23.2%と最も多く、次いで「18時～19時」21.6%、「17時～18時」15.6%の順となっている。



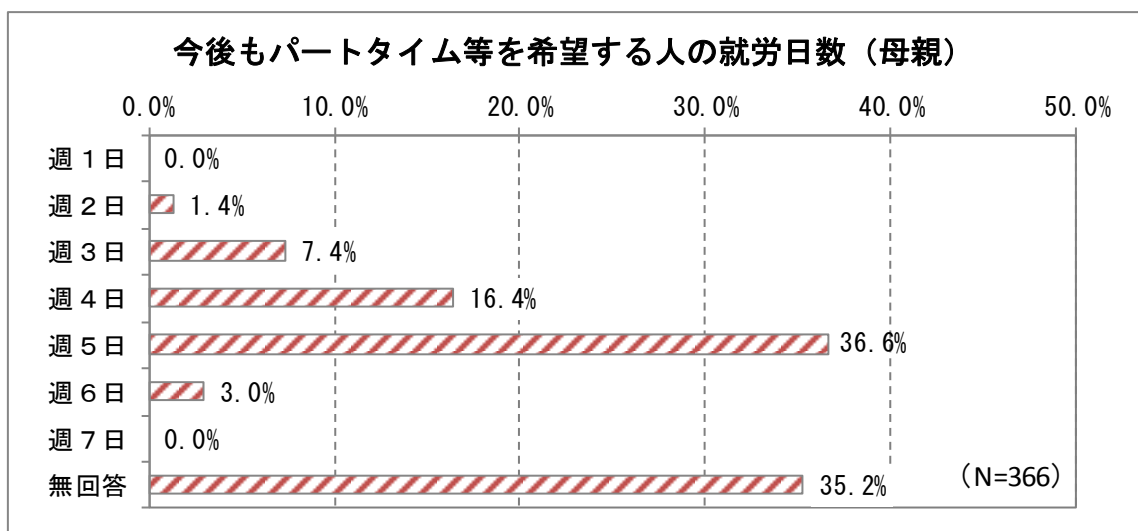
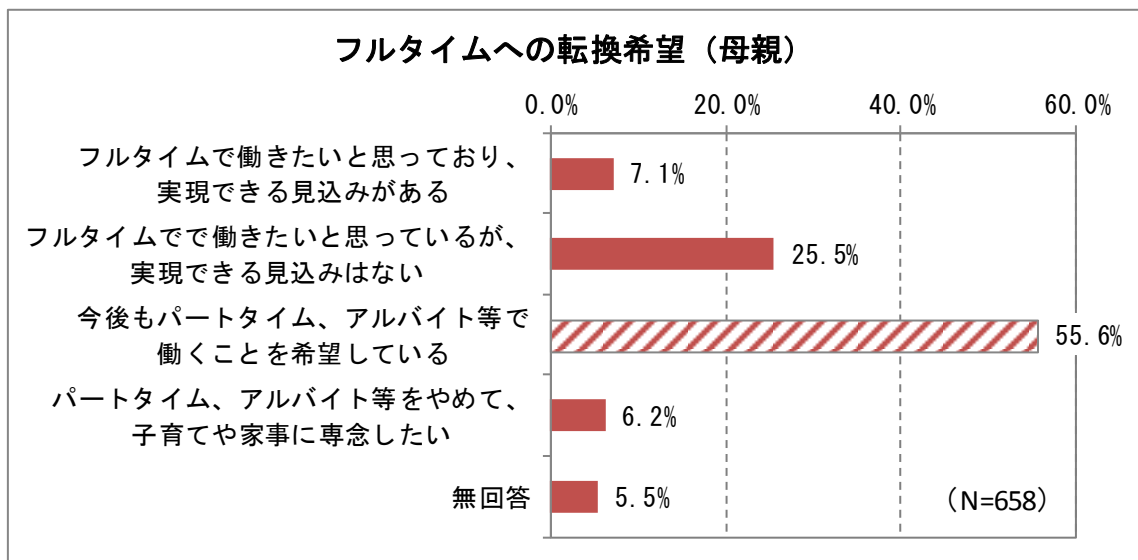
(3) フルタイムへの転換希望

問8で「3.」「4.」（パートタイム、アルバイト等で就労）に○をつけた方におうかがいします。

問8-2 フルタイムで働きたいと思いますか。（○は1つ）

フルタイムへの転換希望をみると、「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」が55.6%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」25.5%、「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」7.1%の順となっている。

「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」と回答した人の就労日数では、「週5日」が36.6%と最も多く、次いで「無回答」35.2%、「週4日」16.4%の順となっている。

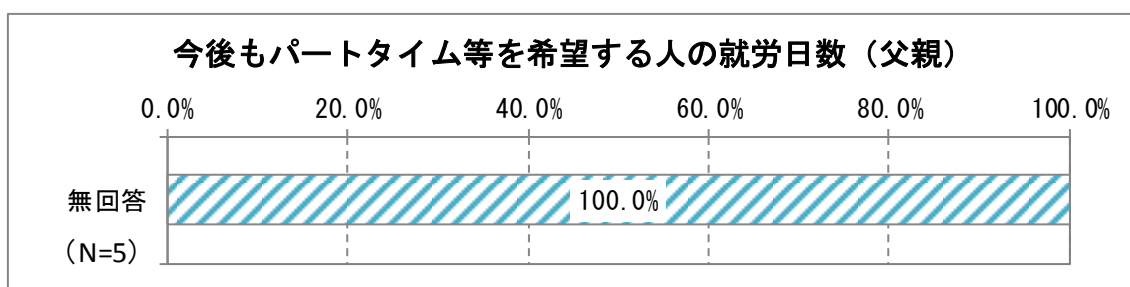
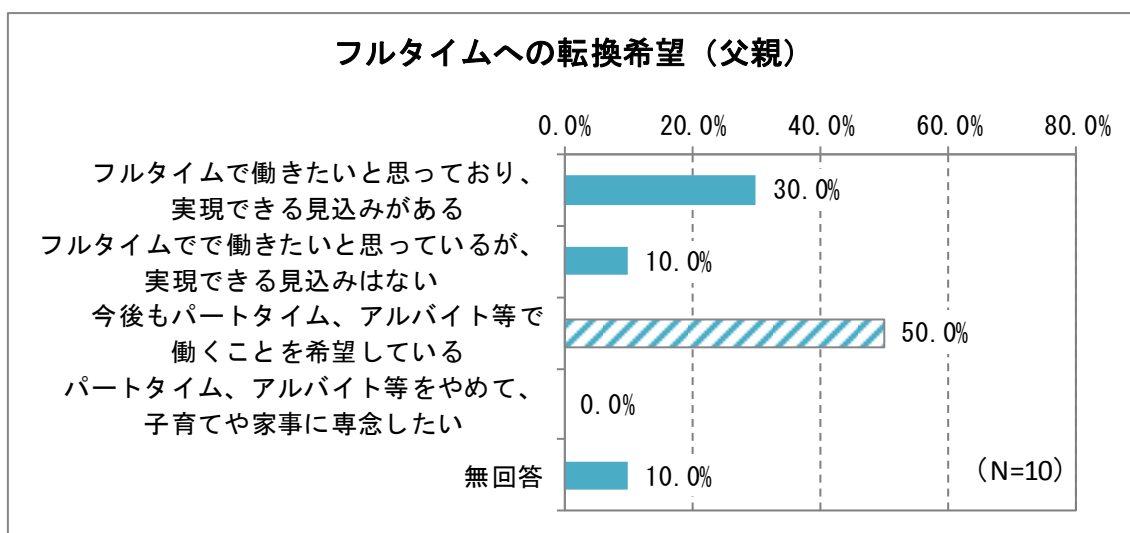


問9で「3.」「4.」（パートタイム、アルバイト等で就労）に○をつけた方におうかがいします。

問9－2 フルタイムで働きたいと思いますか。

フルタイムへの転換希望をみると、「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」が50.0%と最も多く、次いで「フルタイムで働きたいと思っており、実現できる見込みがある」30.0%、「フルタイムで働きたいと思っているが、実現できる見込みはない」10.0%の順となっている。

「今後もパートタイム、アルバイト等で働くことを希望している」と回答した人の就労日数は全て「無回答」となっている。



(4) 非就労者の就労希望

問8で「5.」「6.」（非就労）に○をつけた方におうかがいします。

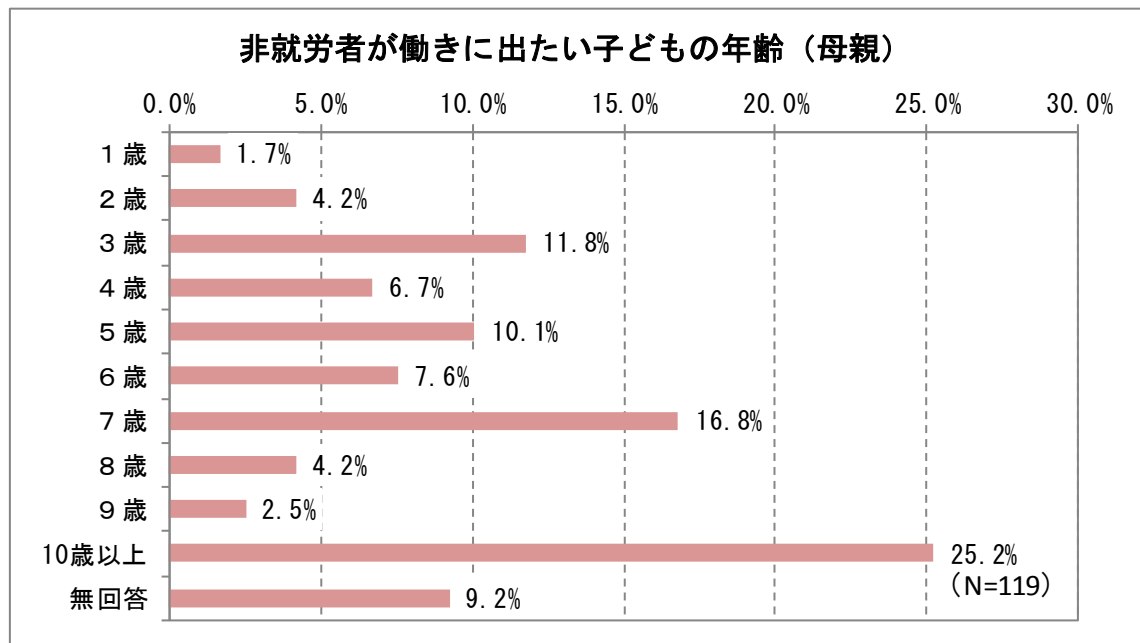
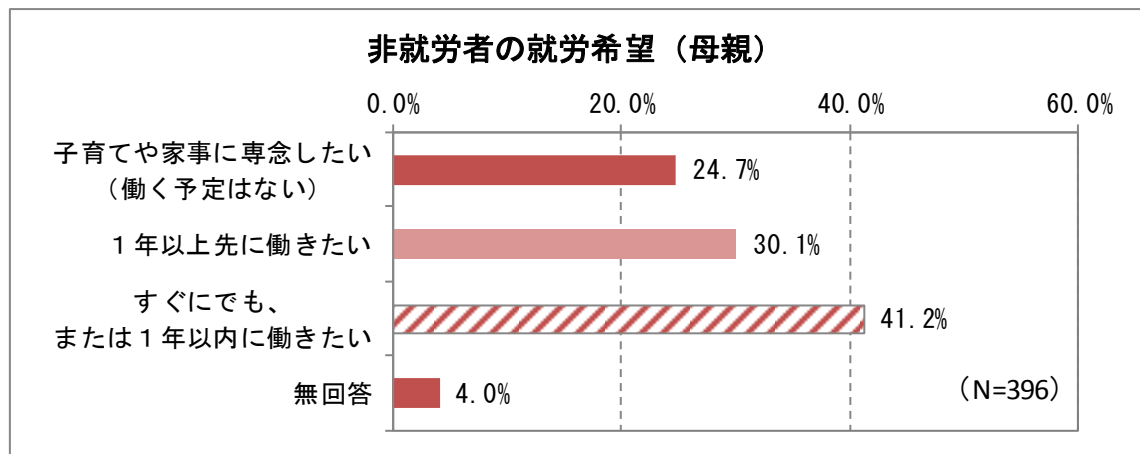
問8－3 今後、働きたいという希望はありますか。

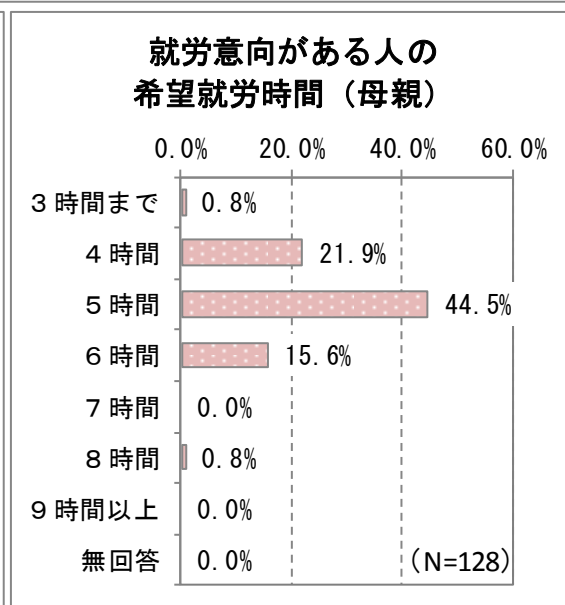
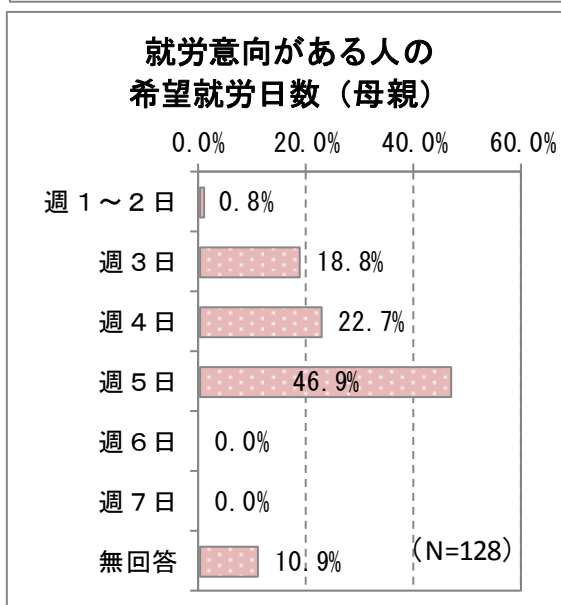
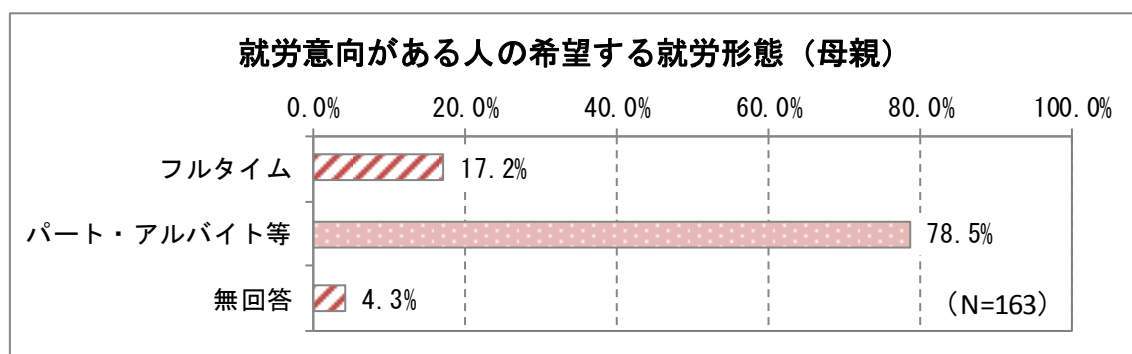
非就労者の就労希望をみると、母親では、「すぐにでも、または1年以内に働きたい」が41.2%、「1年以上先に働きたい」30.1%、「子育てや家事に専念したい（働く予定はない）」24.7%となっている。

「1年以上先に働きたい」と回答した人の働きに出たい子どもの年齢では、「10歳以上」が25.2%と最も多く、次いで「7歳」16.8%、「3歳」11.8%の順となっている。

就労意向のある人の希望する就労形態では、「パート・アルバイト等」が78.5%、「フルタイム」17.2%となっている。

また、希望する日数では、「週5日」46.9%、「週4日」22.7%となっており、希望する就労時間では、「5時間」44.5%、「4時間」15.6%の順となっている。





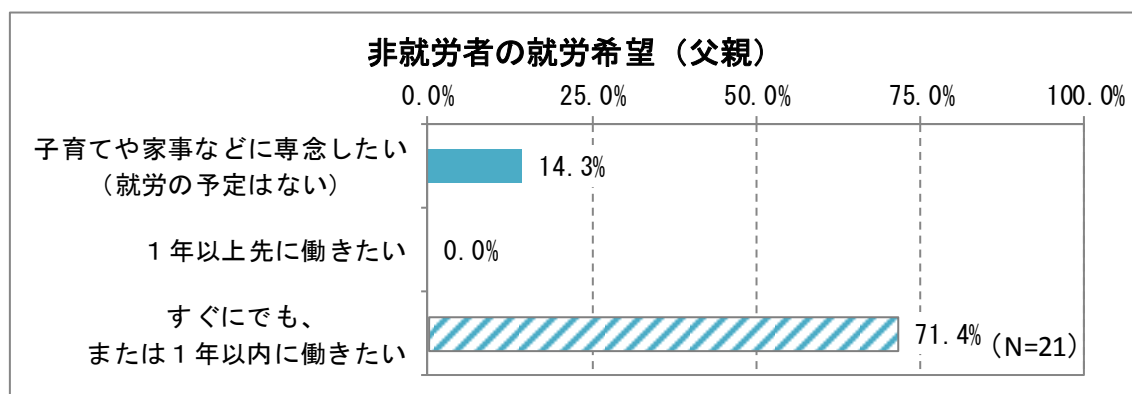
問9で「5.」「6.」（非就労）に○をつけた方におうかがいします。

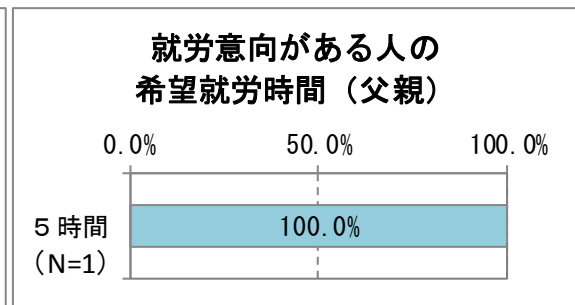
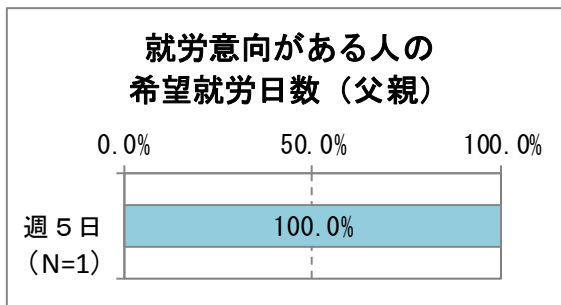
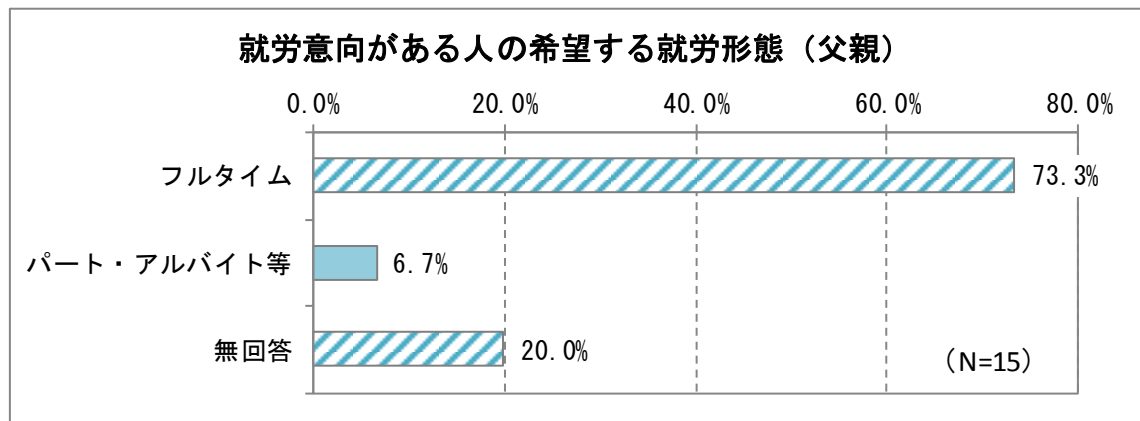
問9－3 今後、働きたいという希望はありますか。

非就労者の就労希望をみると、父親では、「すぐにでも、または1年以内に働きたい」が71.4%、「子育てや家事に専念したい（働く予定はない）」14.3%となっている。

就労意向のある人の希望する就労形態では、「フルタイム」が73.3%、「無回答」20.0%、「パート・アルバイト等」6.7%の順となっている。

また、希望する日数では、「週5日」100.0%となっており、希望する就労時間では、「5時間」100.0%となっている。





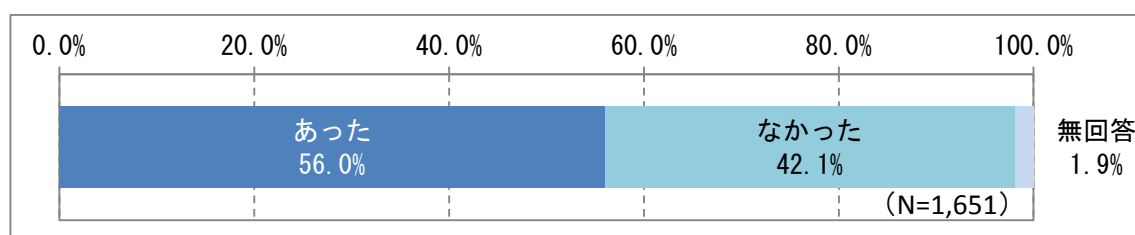
3 子どもの病気の際の対応について

(1) 病気等で学校を休まなければならなかったこと

問10 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならなかったことはありましたか。(○は1つ)

病気等で学校を休まなければならなかったことをみると、「あった」56.0%、「なかった」42.1%となっている。

母親の就労タイプ別でみると、「あった」はパートタイム・アルバイト等の場合、「なかった」は就労していない場合で最も多くなっている。



	全 体	あ っ た	な か っ た	無 回 答
全体 上段／実数	1,651	924	695	32
下段／MA%	100.0	56.0	42.1	1.9
母親の 就 労 タ イ プ	フルタイム	565	318	232
	(産休・育休中等を含む)	100.0	56.3	41.1
	パートタイム・アルバイト等	658	392	257
	(産休・育休中等を含む)	100.0	59.6	39.1
	就労していない	396	202	188
		100.0	51.0	47.5
母親はいない		25	9	15
		100.0	36.0	60.0

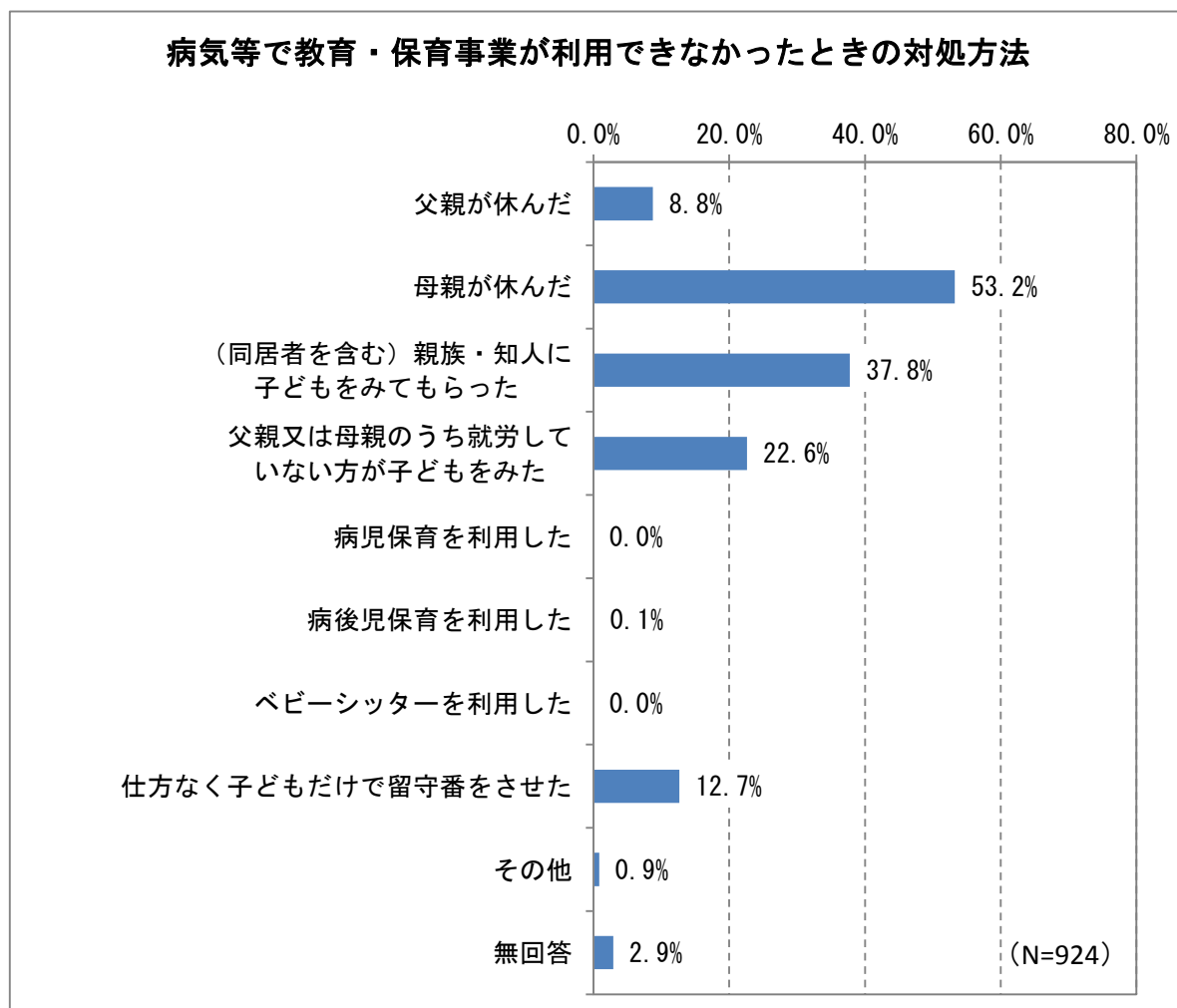
(2) 病気等で学校を休まなければならなかったときの対処方法

問10で「1. あった」に○をつけた方におうかがいします。

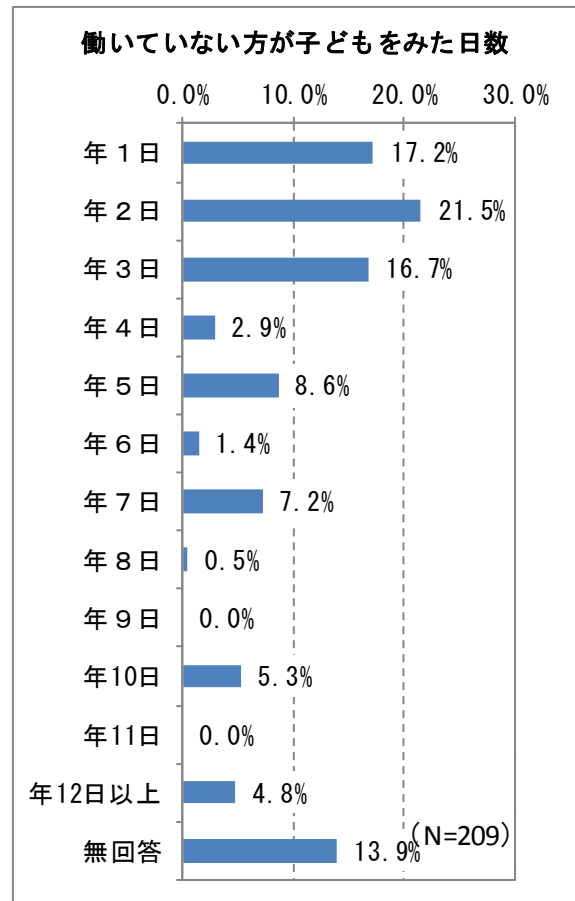
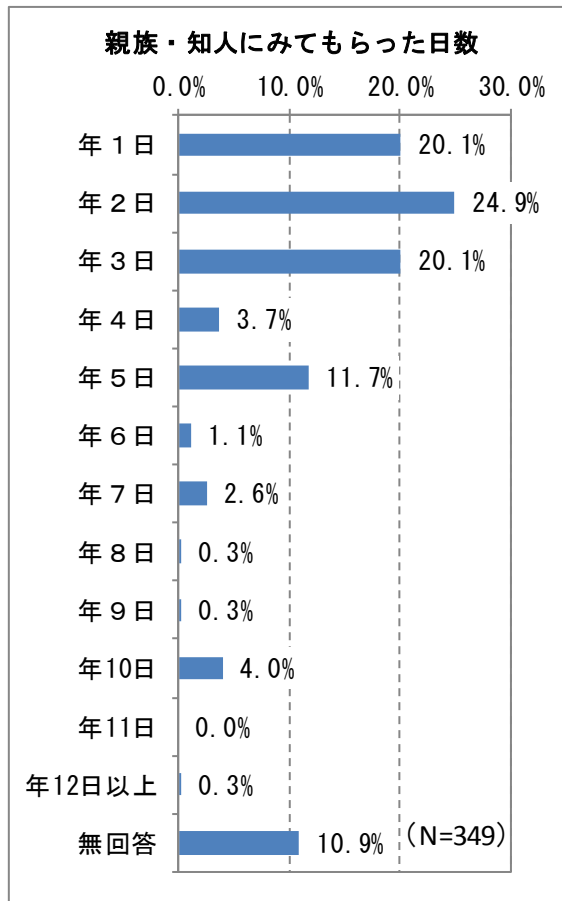
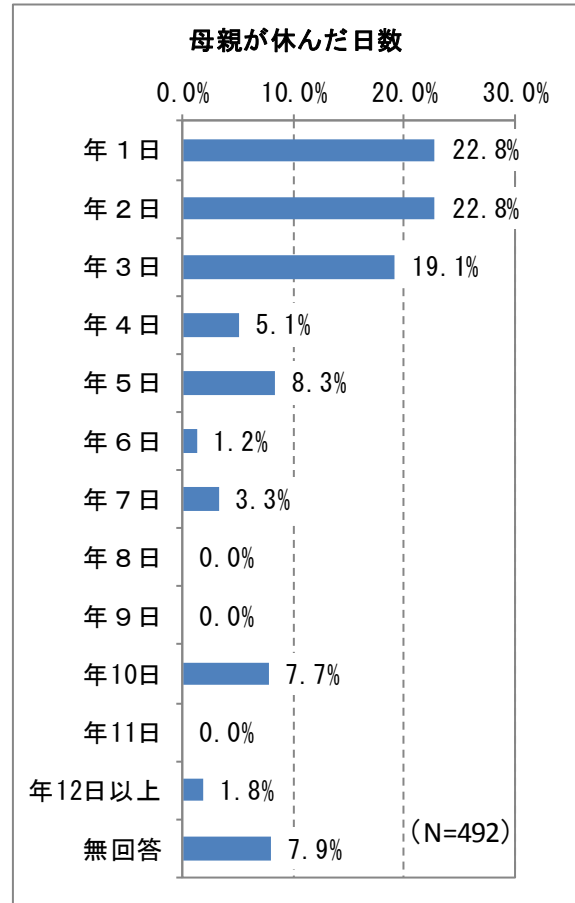
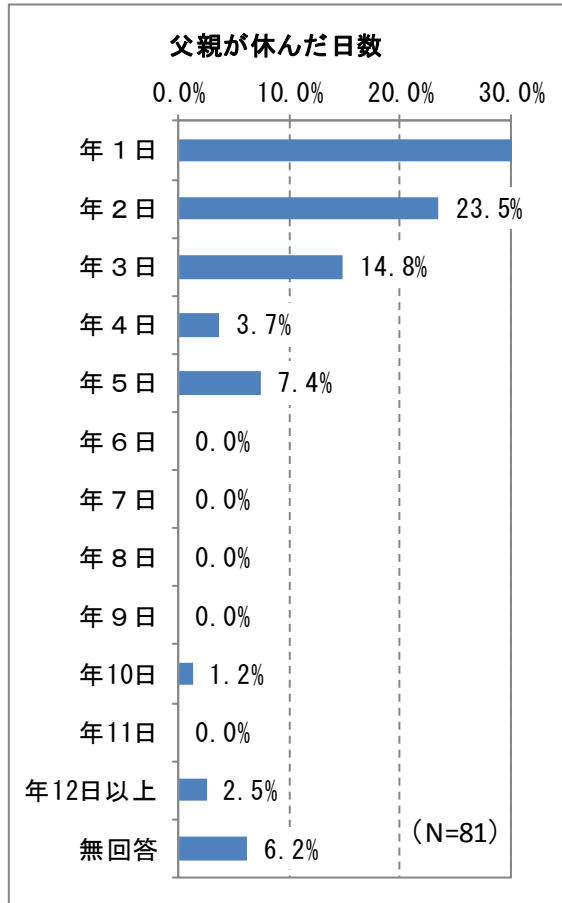
問10-1 あて名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間にどのように対処しましたか。

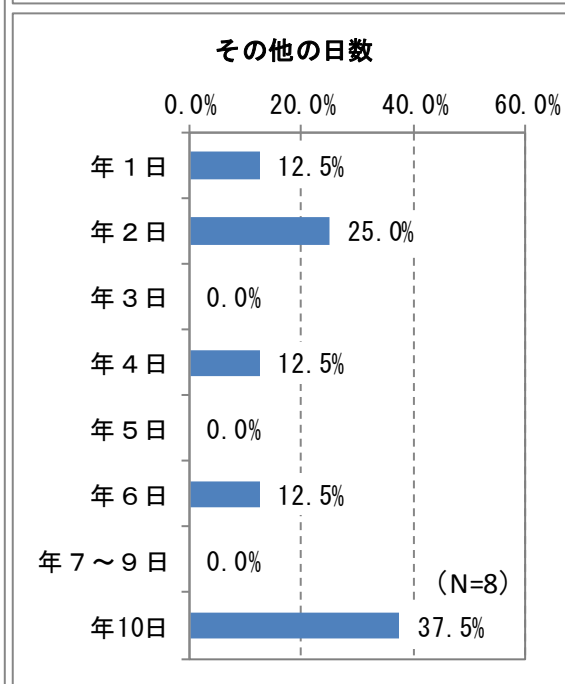
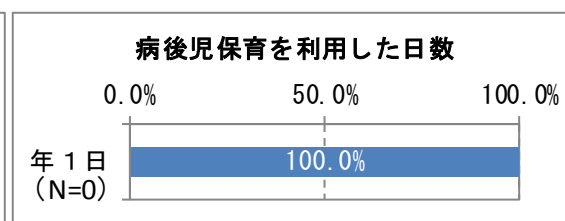
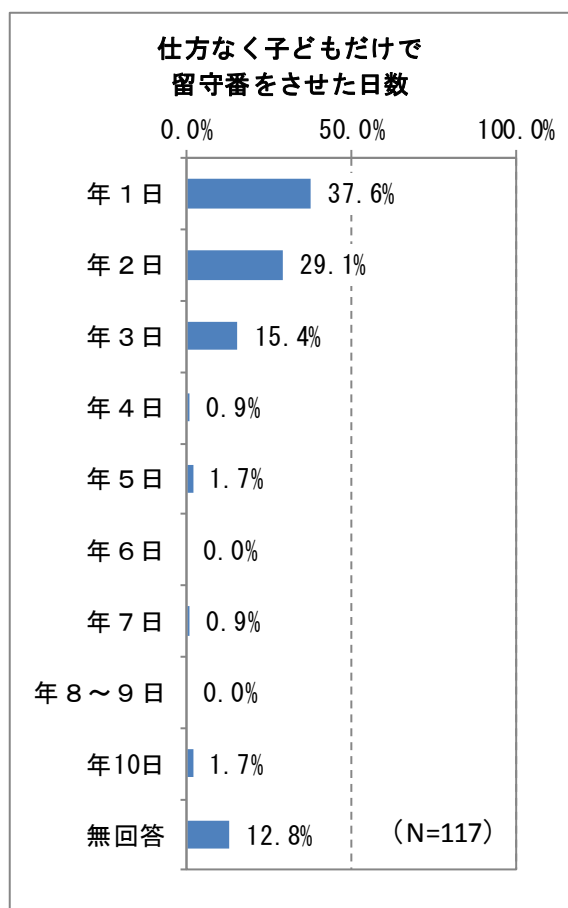
病気等で教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法をみると、「母親が休んだ」が53.2%と最も多く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」37.8%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」22.6%の順となっている。その他では、「自営業なので家でみた」「会社へ連れて行った」などの意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムの場合は「父親が休んだ」「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が他のタイプよりも多くなっている。



		全 体	父 親 が 休 ん だ	母 親 が 休 ん だ	子 ど も を み て も ら つ た （ 同 居 者 を 含 む ） 親 族 ・ 知 人 に	父 親 又 は 母 親 の う ち 就 労 し て い な い 方 が 子 ど も を み た	病 児 保 育 を 利 用 し た
全体 上段／実数		924	81	492	349	209	-
下段／MA%		100.0	8.8	53.2	37.8	22.6	-
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	318	46	192	192	10	-
	（産休・育休中等を含む）	100.0	14.5	60.4	60.4	3.1	-
	パートタイム・アルバイト等	392	26	277	136	34	-
	（産休・育休中等を含む）	100.0	6.6	70.7	34.7	8.7	-
	就労していない	202	3	23	14	165	-
		100.0	1.5	11.4	6.9	81.7	-
	母親はいない	9	5	-	5	-	-
		100.0	55.6	-	55.6	-	-
		全 体	病 後 児 保 育 を 利 用 し た	ベ ビ ー シ ツ タ ー を 利 用 し た	タ フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン	さ し 方 な く 子 ど も だ け で 留 守 番 を	そ の 他
全体 上段／実数		924	1	-	-	117	8
下段／MA%		100.0	0.1	-	-	12.7	0.9
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	318	-	-	-	46	5
	（産休・育休中等を含む）	100.0	-	-	-	14.5	1.6
	パートタイム・アルバイト等	392	1	-	-	64	3
	（産休・育休中等を含む）	100.0	0.3	-	-	16.3	0.8
	就労していない	202	-	-	-	4	-
		100.0	-	-	-	2.0	-
	母親はいない	9	-	-	-	3	-
		100.0	-	-	-	33.3	-





(3) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

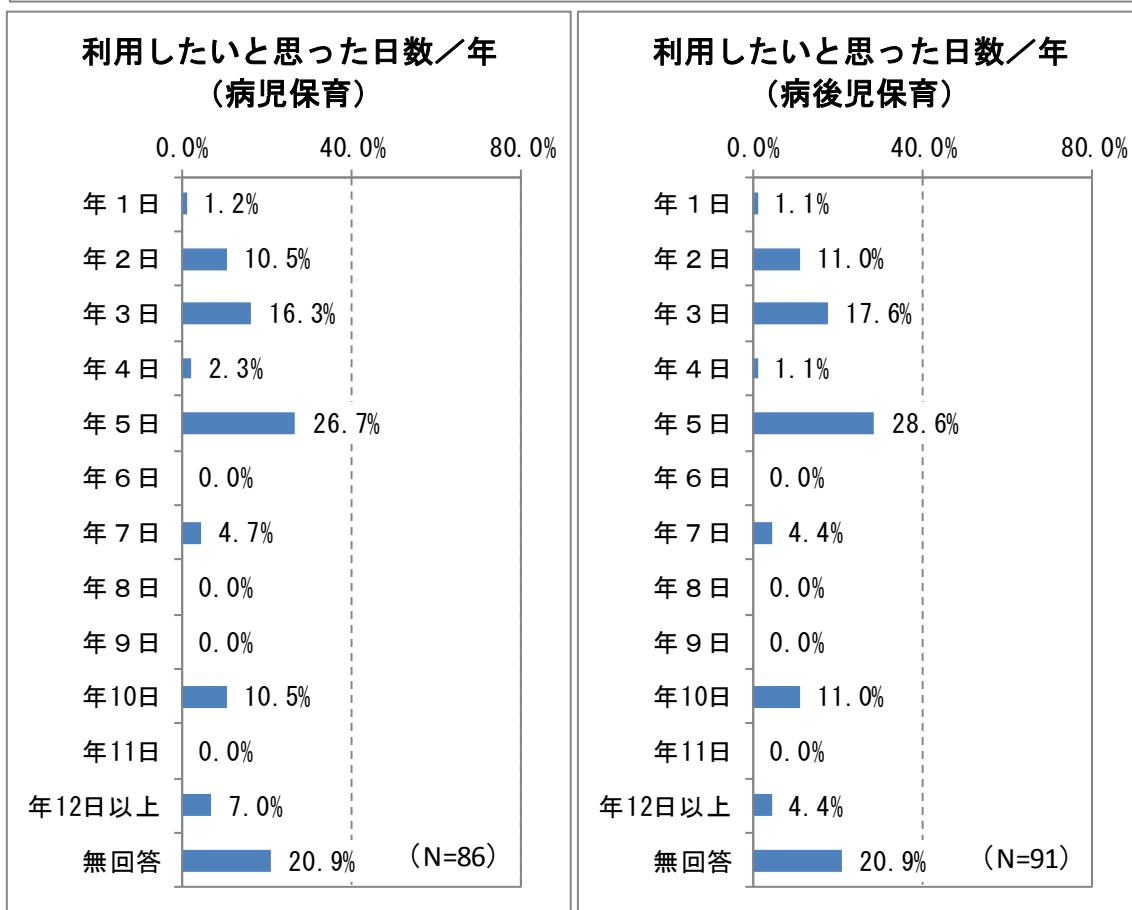
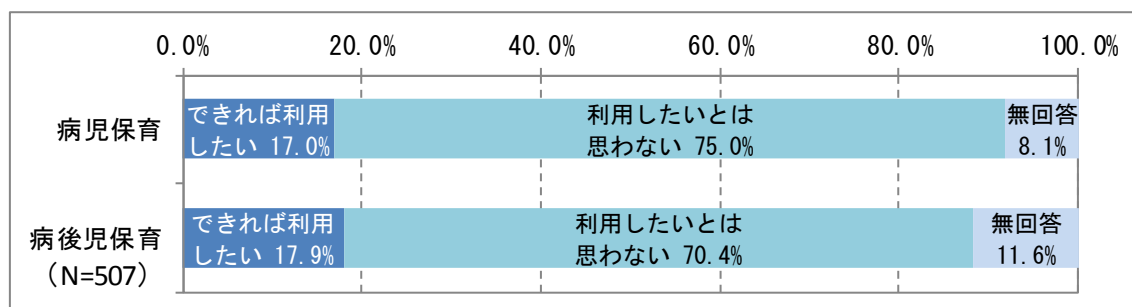
問10-1で「1.」「2.」のいずれかに○をつけた方におうかがいします。

問10-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

病児・病後児のための保育施設等の利用希望をみると、病児保育・病後児保育とも「利用したいと思わない」が最も多く75.0%、70.4%、次いで「できれば利用したい」17.0%、17.9%となっている。利用したいと思った日数は、病児保育・病後児保育とも「年5日」が26.7%、28.6%と最も多く、次いで「年3日」16.3%、17.6%の順となっている。

子どもの学年別にみると、病児保育・病後児保育ともに高学年（4～6年）よりも低学年（1～3年）で「できれば利用したい」が多くなっている。

母親の就労別にみると、「できれば利用したい」は病児保育・病後児保育ともに、フルタイムの場合で最も多く、次いでパートタイム・アルバイトの場合、就労していない場合の順となっている。



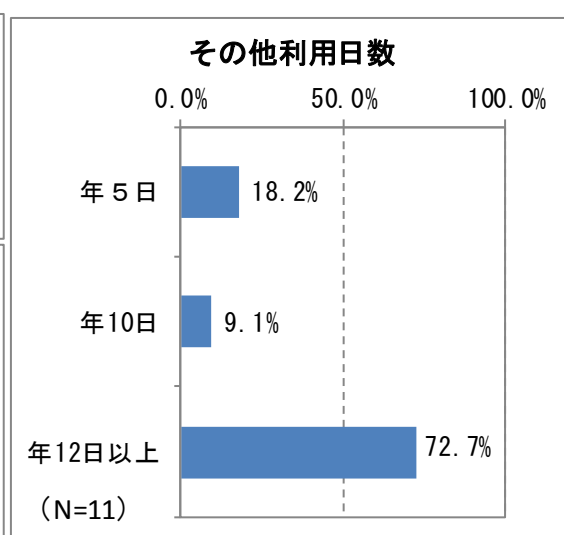
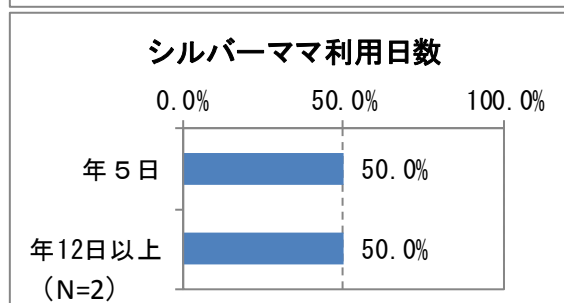
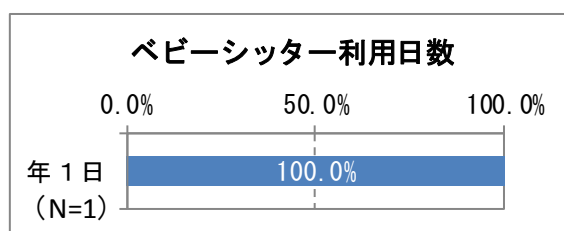
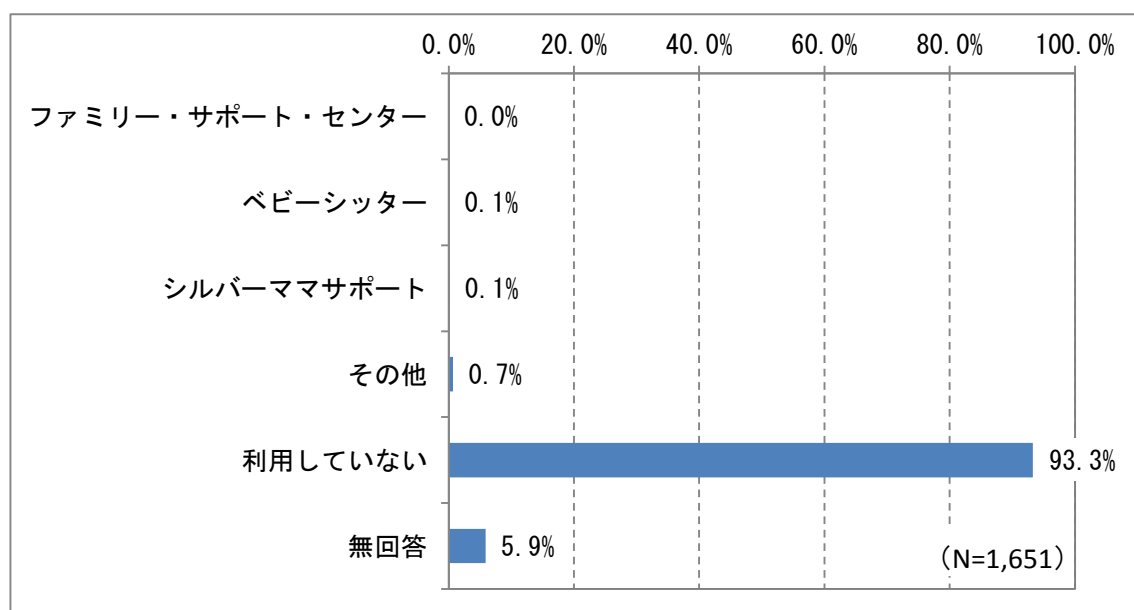
		全 体	病児保育			病後児保育		
			で き れ ば 利 用 し た い	い 利 用 し た い と は 思 わ な	無 回 答	で き れ ば 利 用 し た い	い 利 用 し た い と は 思 わ な	無 回 答
全体 上段／実数		507	86	380	41	91	357	59
下段／％		100.0	17.0	75.0	8.1	17.9	70.4	11.6
子 ど も の 年 齢	1年	68	16	46	6	19	41	8
		100.0	23.5	67.6	8.8	27.9	60.3	11.8
	2年	82	20	58	4	21	54	7
		100.0	24.4	70.7	4.9	25.6	65.9	8.5
	3年	107	15	83	9	19	72	16
		100.0	14.0	77.6	8.4	17.8	67.3	15.0
	4年	95	16	74	5	13	72	10
		100.0	16.8	77.9	5.3	13.7	75.8	10.5
	5年	89	7	75	7	8	74	7
		100.0	7.9	84.3	7.9	9.0	83.1	7.9
	6年	66	12	44	10	11	44	11
		100.0	18.2	66.7	15.2	16.7	66.7	16.7
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	197	38	143	16	38	132	27
	(産休・育休中等を含む)	100.0	19.3	72.6	8.1	19.3	67.0	13.7
	パートタイム・アルバイト等	278	46	211	21	51	200	27
	(産休・育休中等を含む)	100.0	16.5	75.9	7.6	18.3	71.9	9.7
	就労していない	26	1	21	4	2	20	4
		100.0	3.8	80.8	15.4	7.7	76.9	15.4
	母親はいない	5	1	4	-	-	4	1
		100.0	20.0	80.0	-	-	80.0	20.0

4 子どもの一時預かり等の利用について

(1) 不定期的に利用している事業

問11 あて名のお子さんについて、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。

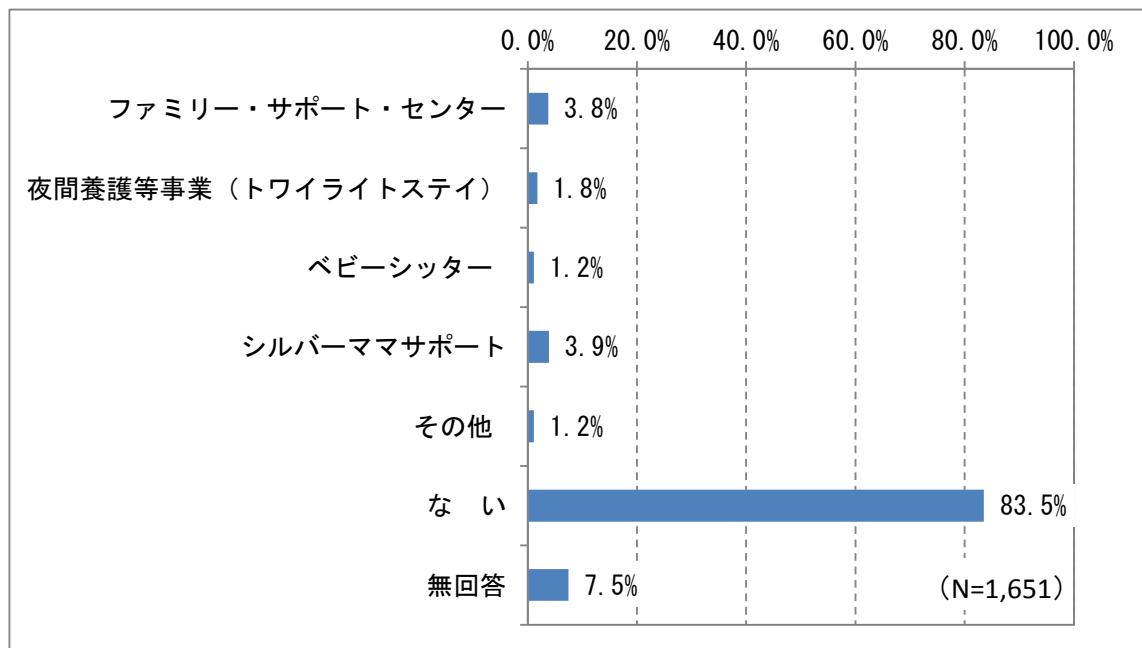
不定期的に利用している事業をみると、「利用していない」が93.3%と最も多く、次いで「無回答」5.9%、「その他」0.7%の順となっている。その他では、「長期休暇のみ学童保育」「職場の保育所」などの意見があった。

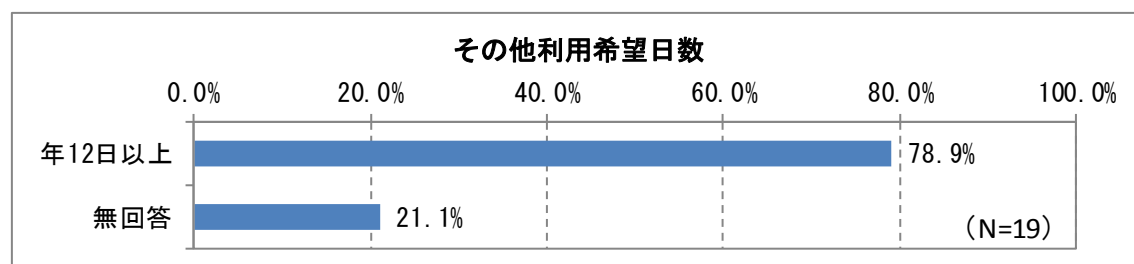
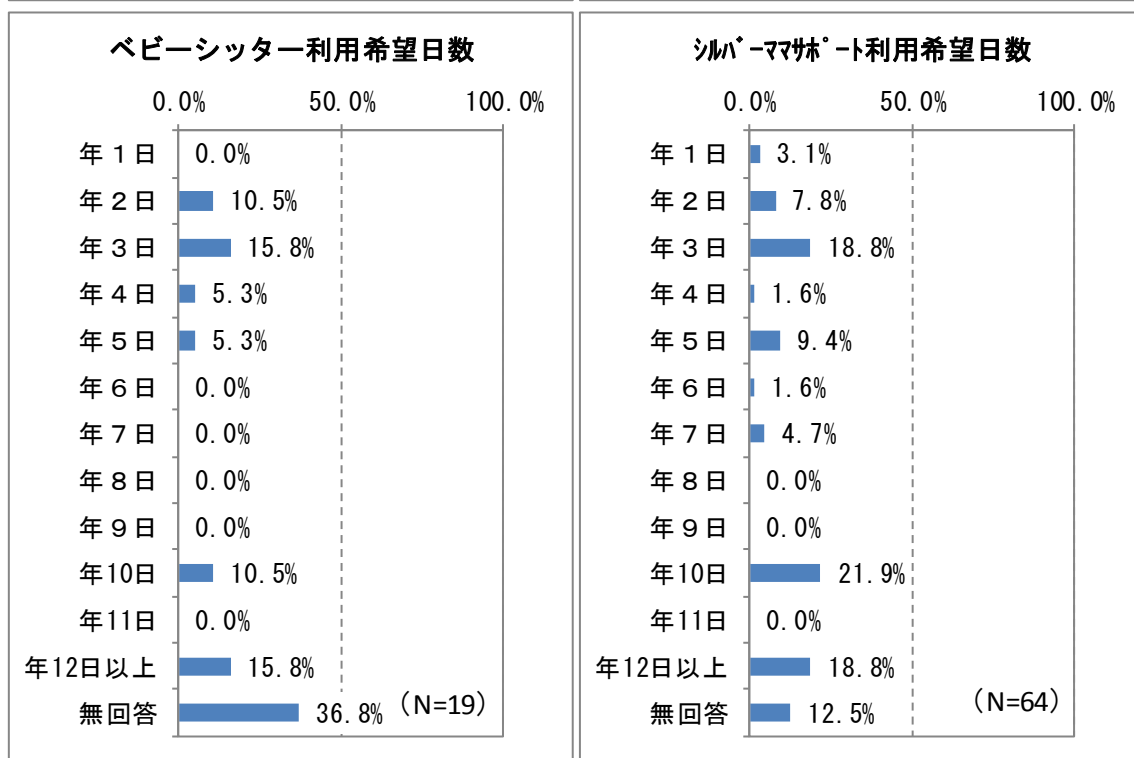
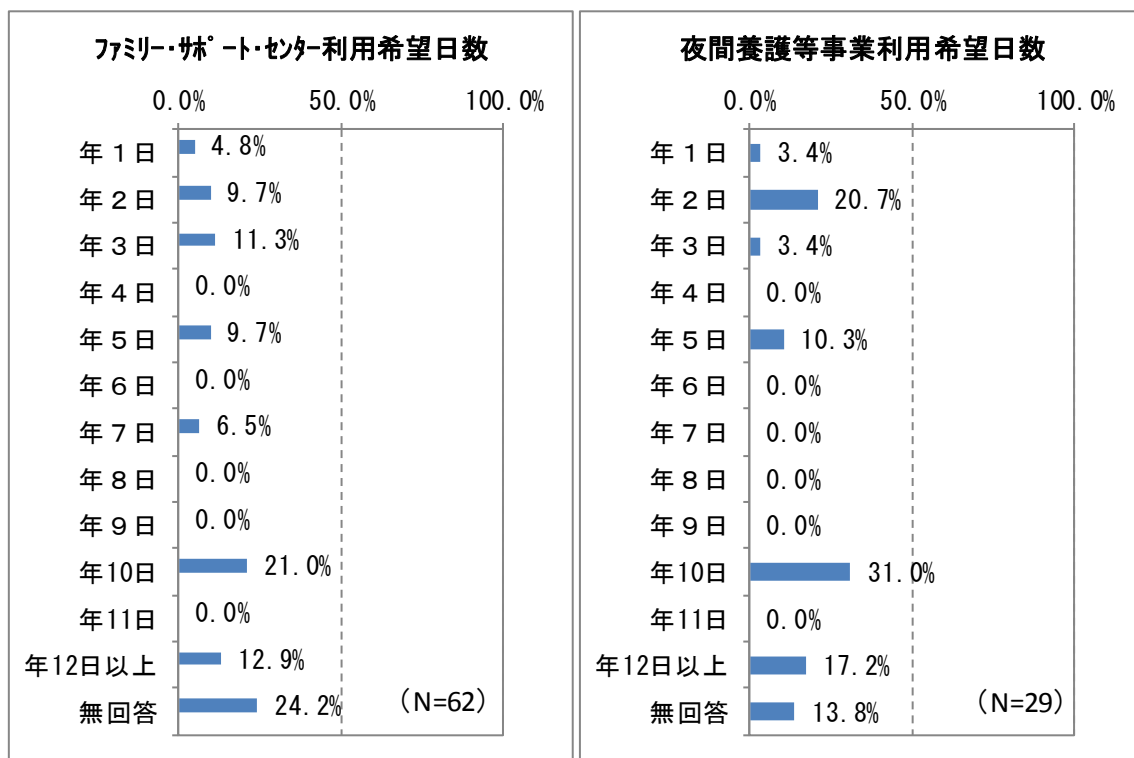


(2) 不定期に利用したい事業

問12 あて名のお子さんについて、現在、利用しているかどうかに関わらず、病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用したい事業はありますか。

不定期に利用したい事業をみると、「ない」が83.5%と最も多く、次いで「シルバーママサポート」3.9%、「ファミリー・サポート・センター」3.8%の順となっている。その他では、「学童保育」という意見が多かった。





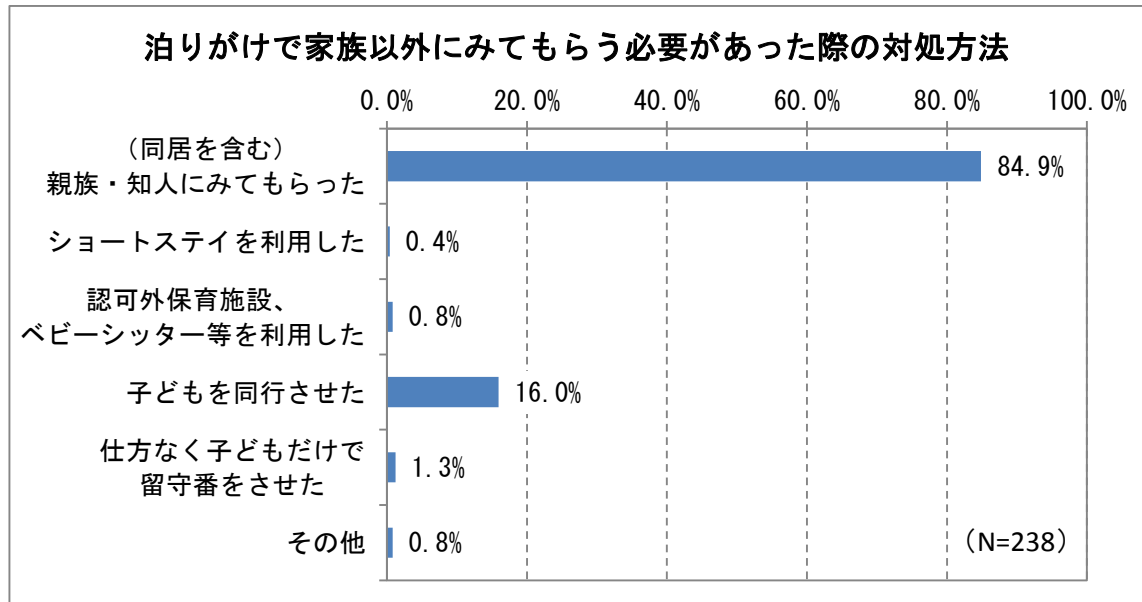
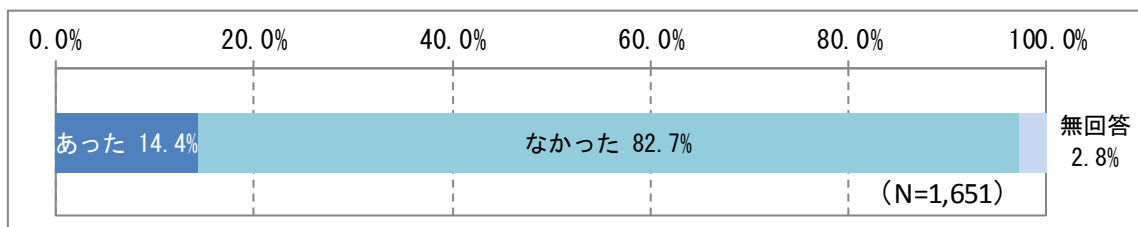
(3) 子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかったこと

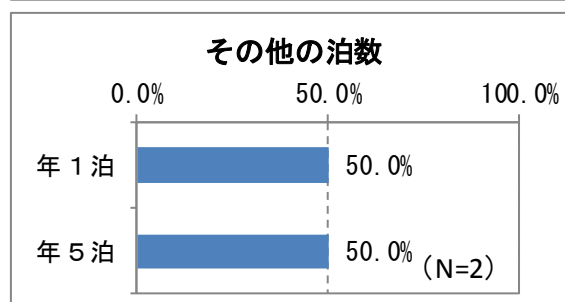
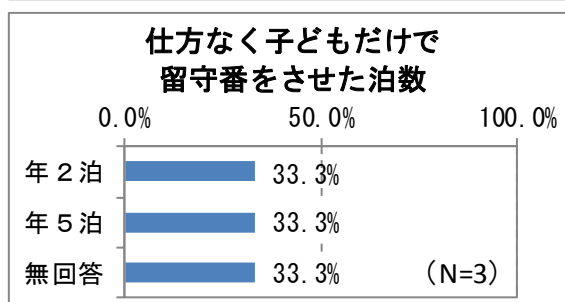
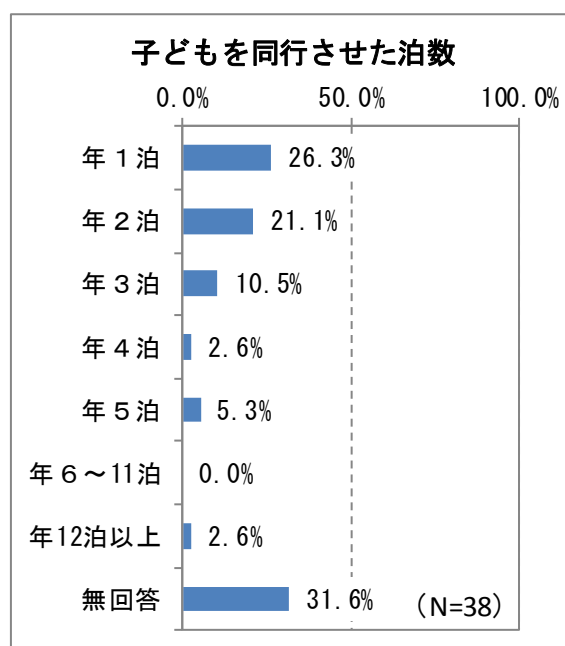
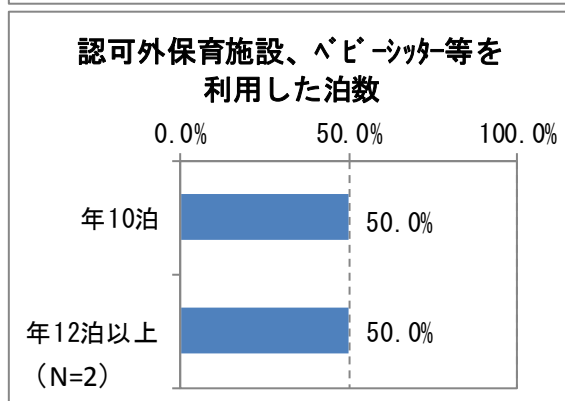
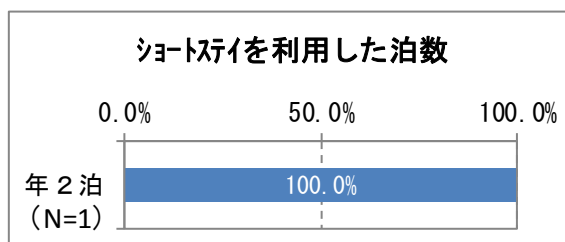
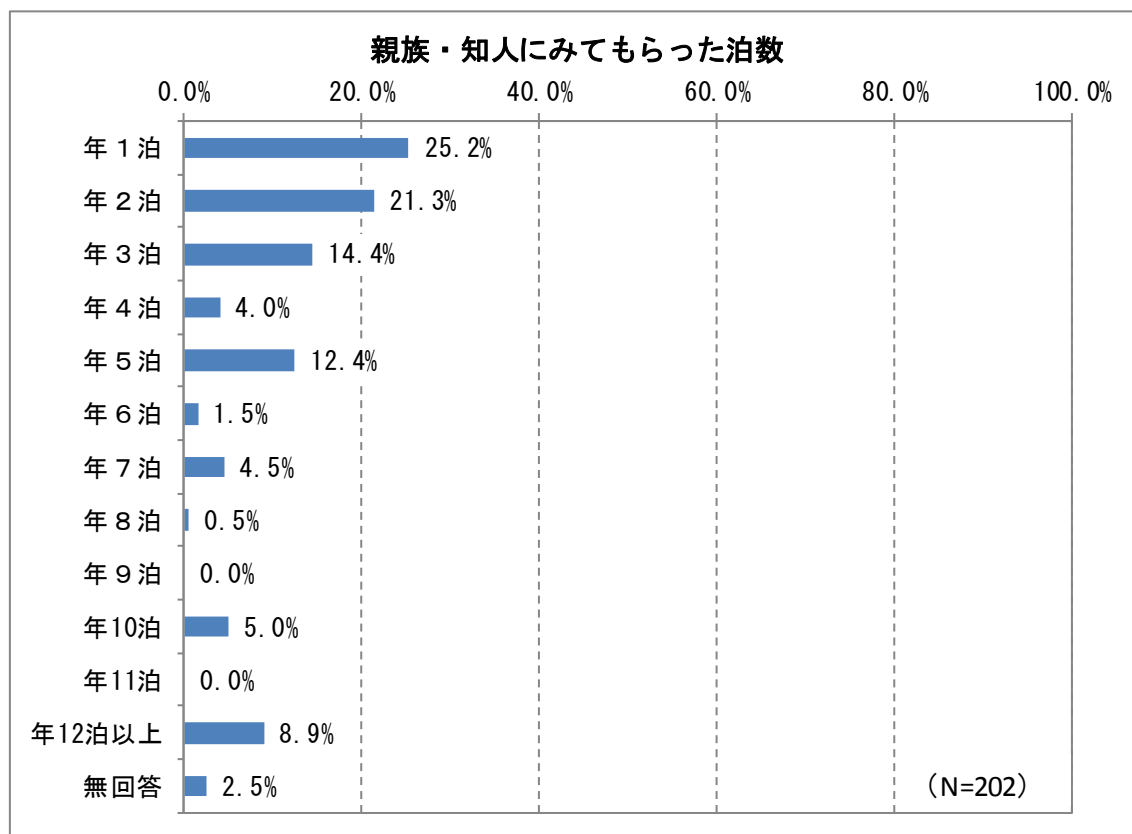
問13 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことをみると、「なかった」82.7%、「あった」14.4%となっている。

また、泊まりがけで家族以外にみてもらう必要があった際の対処方法は、「(同居を含む)親族・知人にみてもらった」が84.9%と最も多く、次いで「子どもを同行させた」16.0%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」1.3%の順となっている。その他では、「諦めた」「託児所」という意見があった。

泊まりがけで家族以外にみてもらった泊数は、「年1泊～年3泊」が多くなっている。



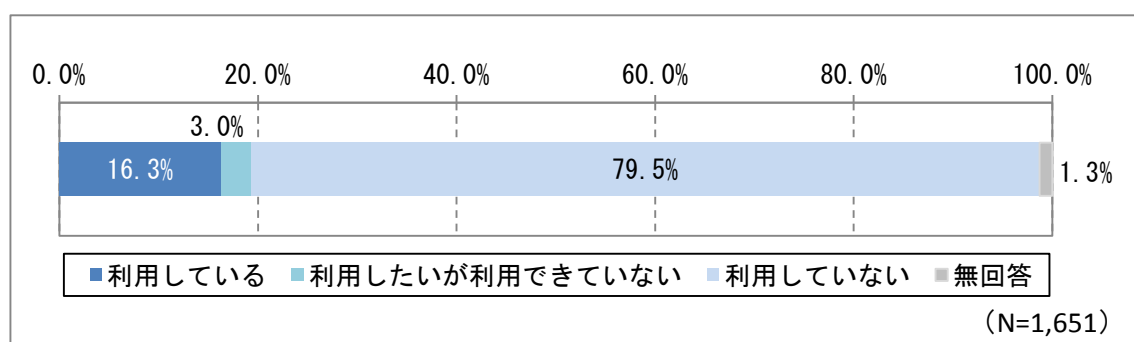


5 子どもの放課後の過ごし方について

(1) 放課後児童クラブの利用状況

問14 あて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。

放課後児童クラブの利用状況を見ると、「利用していない」79.5%、「利用している」16.3%、「利用したいが利用できていない」3.0%となっている。

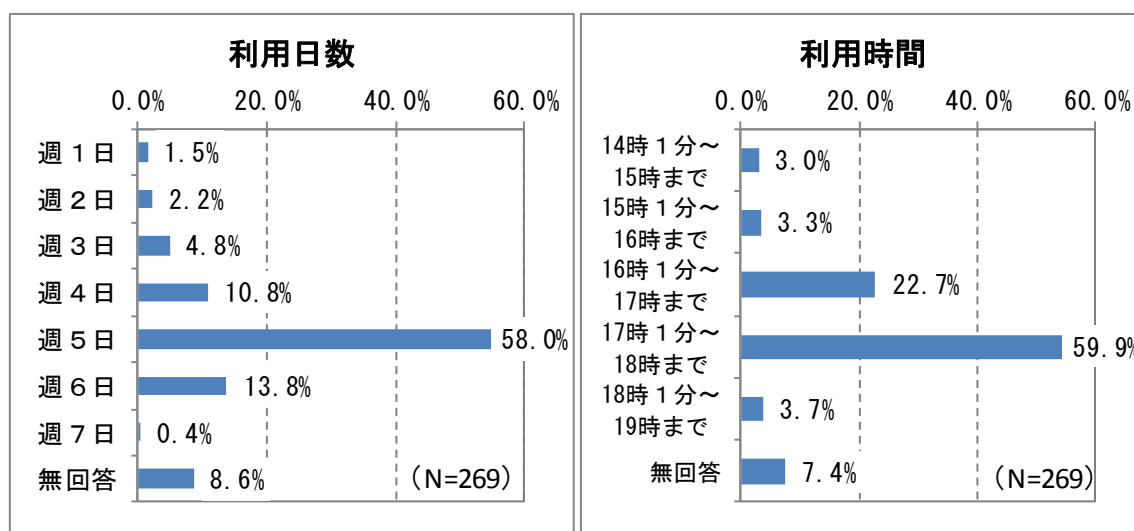


問14で「1. 利用している（長期休暇のみの利用を含む）」に○をつけた方におうかがいします。

問14-1 利用日数はどのくらいですか。また、おおむね何時頃まで利用していますか。

放課後児童クラブを利用している人の利用日数をみると、「週5日」が58.0%と最も多く、次いで、「週6日」13.8%、「週4日」10.8%の順となっている。

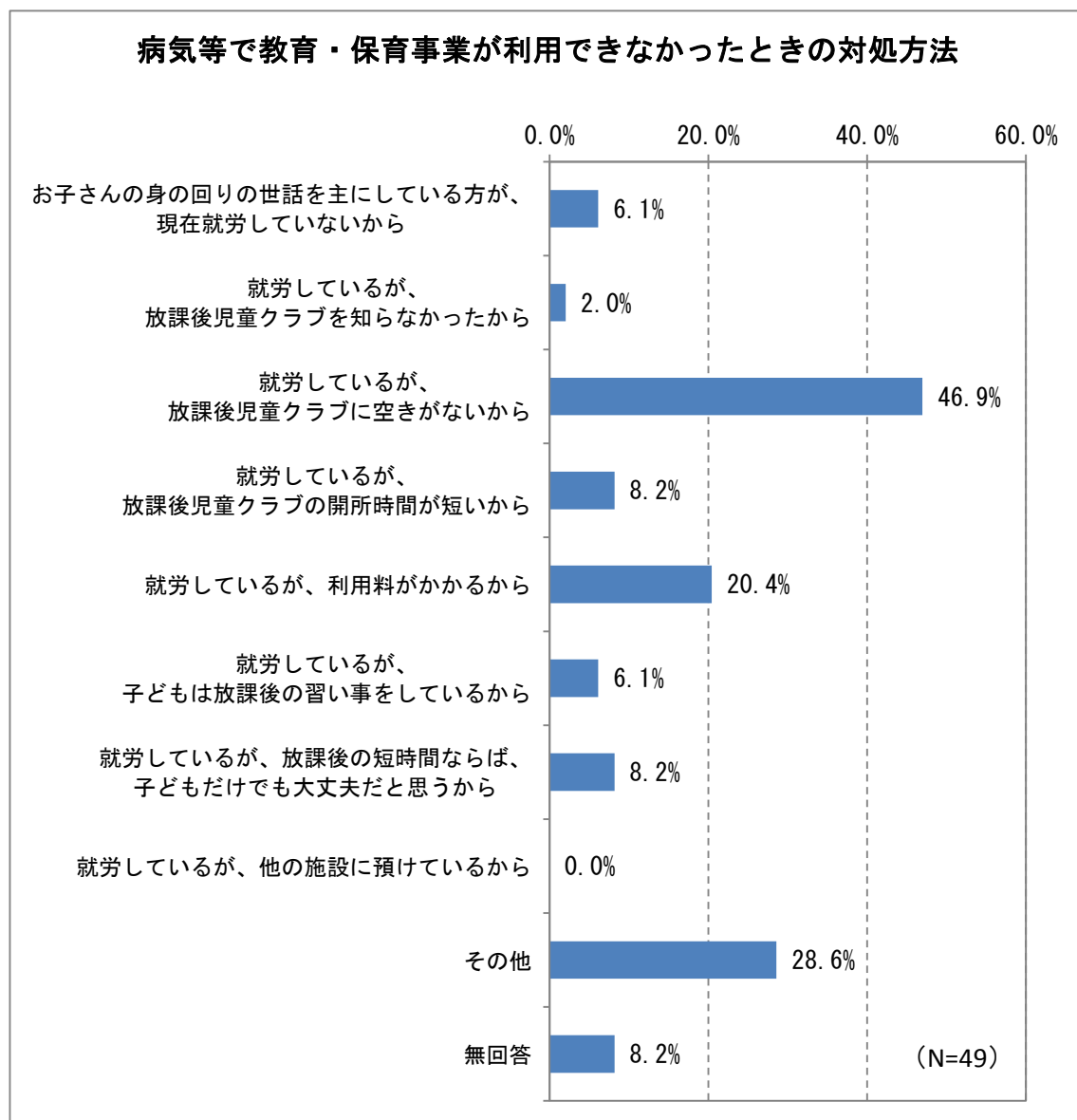
利用時間は、「17時1分～18時まで」が59.9%と最も多く、次いで「16時1分～17時まで」22.7%、「無回答」7.4%の順となっている。



問14で「2. 利用したいが利用できていない」に○をつけた方におうかがいします。

問14-2 利用できていない理由をお答えください。(○はいくつでも)

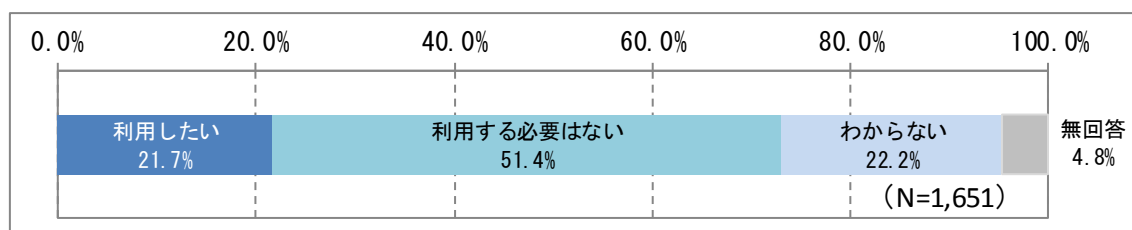
利用できていない理由をみると、「就労しているが、放課後児童クラブに空きがないから」が46.9%と最も多く、次いで、「その他」28.6%、「就労しているが、利用料がかかるから」20.4%の順となっている。その他では、「長期休暇のみの利用ができない」「祖父母と一緒に住んでいるから」などの意見があった。



(2) 放課後児童クラブの利用希望

問15 あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。
現在利用されている方も今後の希望についてお答えください。(○は1つ)

放課後児童クラブの利用希望をみると、「利用する必要はない」が51.4%、「わからない」22.2%、「利用したい」21.7%となっている。



問15で「1. 利用したい」に○をつけた方におうかがいします。

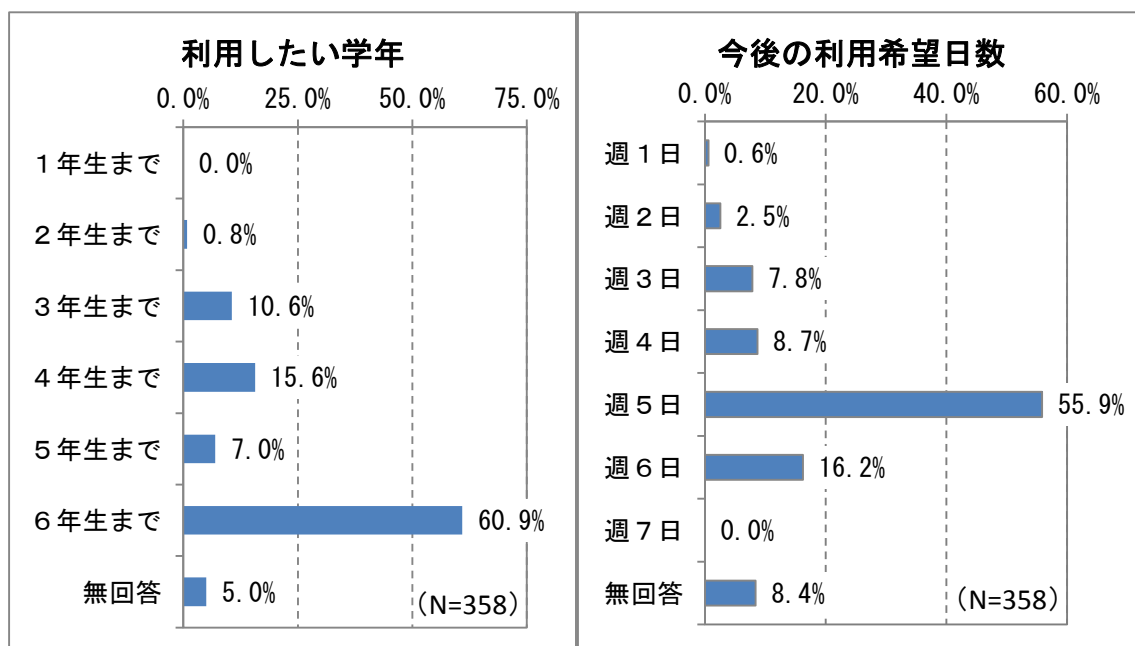
問15-1 放課後児童クラブを何年生まで利用したいと思いますか。

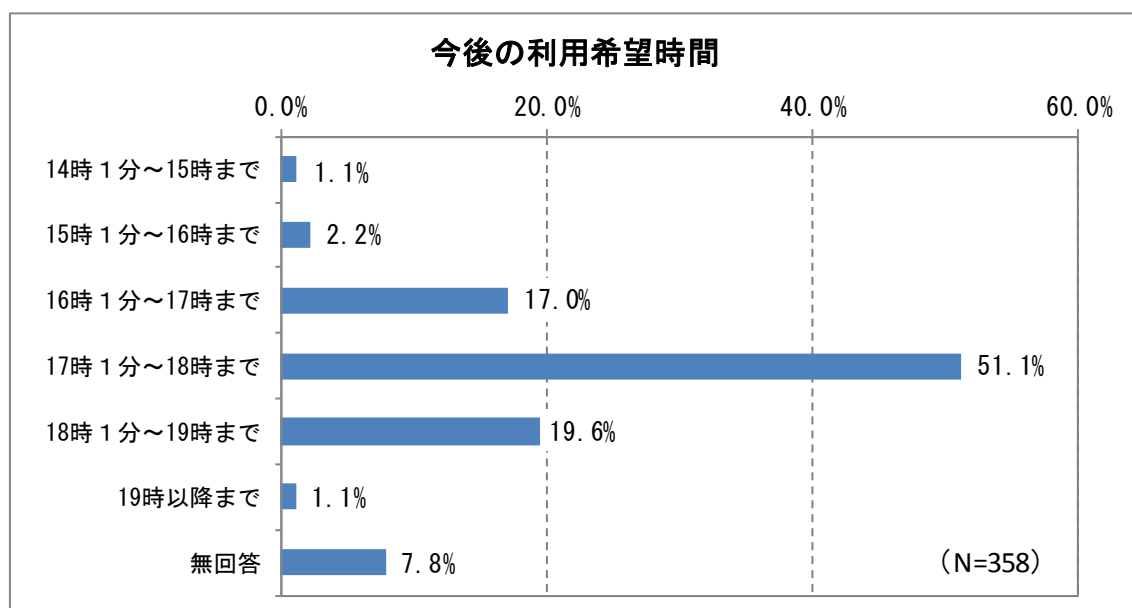
問15-2 今後の放課後児童クラブを利用する際に希望する利用日数はどのくらいで
まで利用したいですか。

利用したい学年をみると、「6年生まで」が60.9%と最も多く、次いで、「4年生まで」15.6%、「3年生まで」10.6%の順となっている。

今後の利用希望日数をみると、「週5日」が55.9%と最も多く、次いで、「週6日」16.2%、「週4日」8.7%の順となっている。

今後の利用希望時間をみると、「17時1分～18時」が51.1%と最も多く、次いで、「18時1分～19時」19.6%、「16時1分～17時」17.0%の順となっている。





問15で「1. 利用したい」に○をつけた方におうかがいします。

問15-3 土曜日と日曜日・祝日に放課後児童クラブの利用希望はありますか。

土曜日の利用希望をみると、「利用する必要はない」39.1%、「小学校4～6年生になっても利用したい」が33.0%、「小学校1～3年生の間は利用したい」23.5%となっている。

「小学校1～3年生の間は利用したい」と回答した人の希望開始時刻は「7時31分～8時」48.8%が最も多く、次いで「7時1分～7時30分」と「8時1分～8時30分」の16.7%の順となっており、希望終了時刻は「17時31分～18時」が42.9%と最も多く、次いで「16時1分～17時」16.7%、「17時1分～17時30分」11.9%の順となっている。

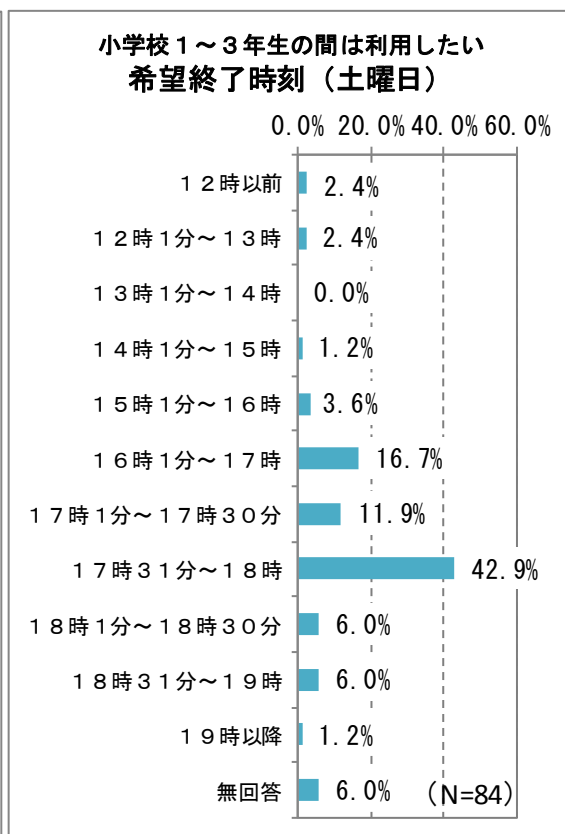
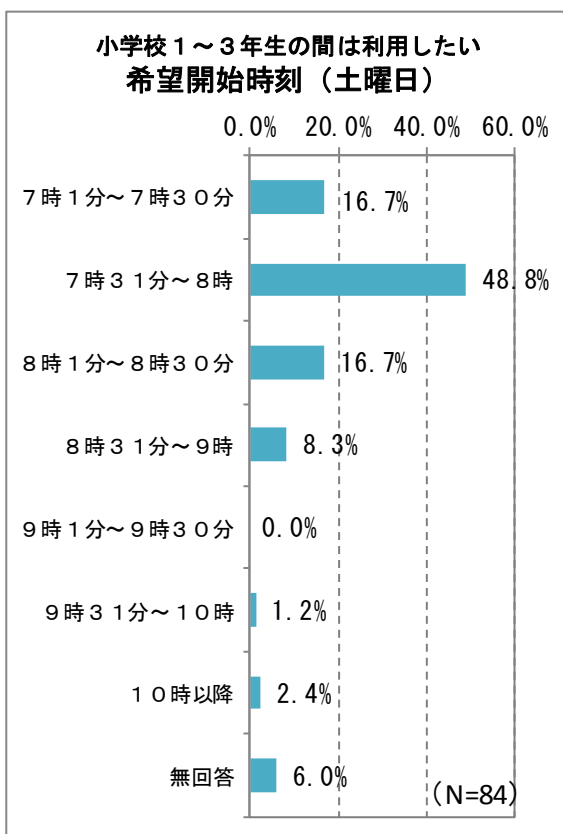
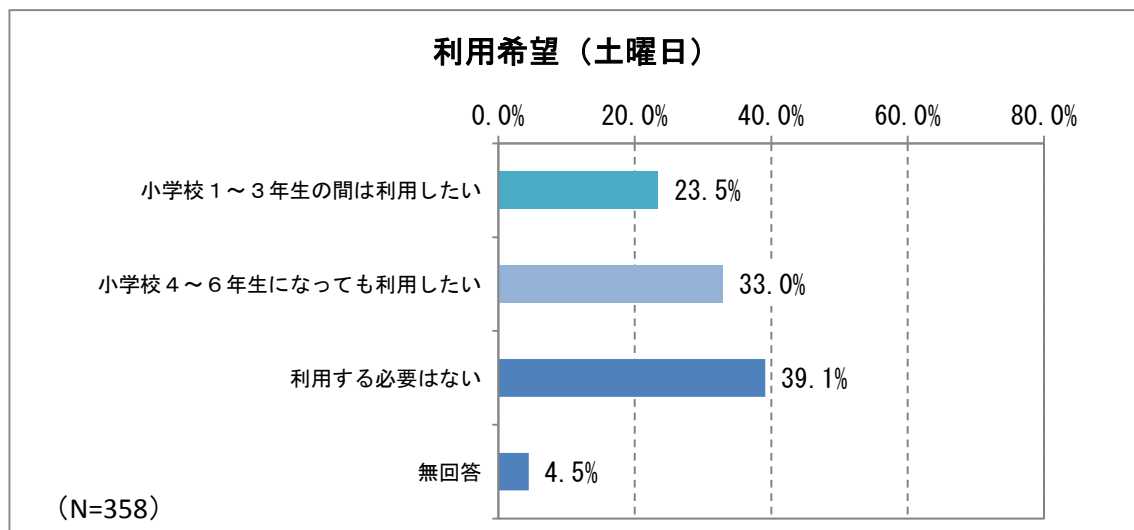
「小学校4～6年生になっても利用したい」と回答した人の希望開始時刻は「7時31分～8時」が45.8%と最も多く、次いで「8時1分～8時30分」16.1%、「7時1分～7時30分」11.0%の順となっており、希望終了時刻は「17時31分～18時」が36.4%と最も多く、次いで「16時1分～17時」20.3%、「18時1分～18時30分」8.5%の順となっている。

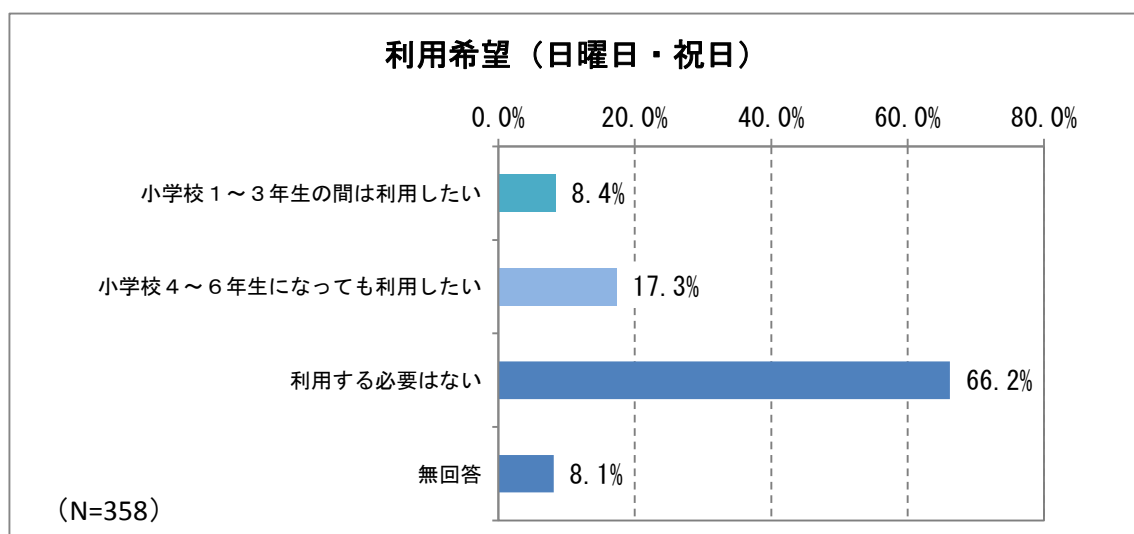
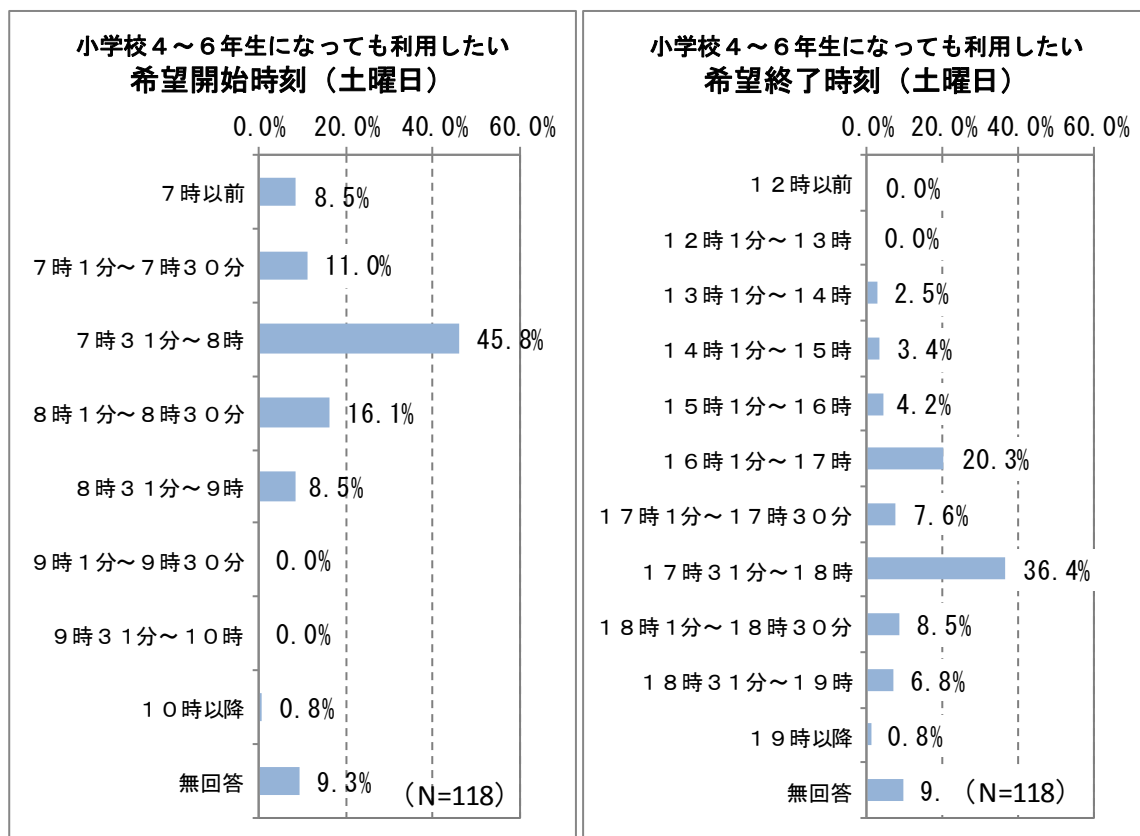
日曜日・祝日の利用希望をみると、「利用する必要はない」66.2%、「小学校4～6年生になっても利用したい」が17.3%、「小学校1～3年生の間は利用したい」8.4%となっている。

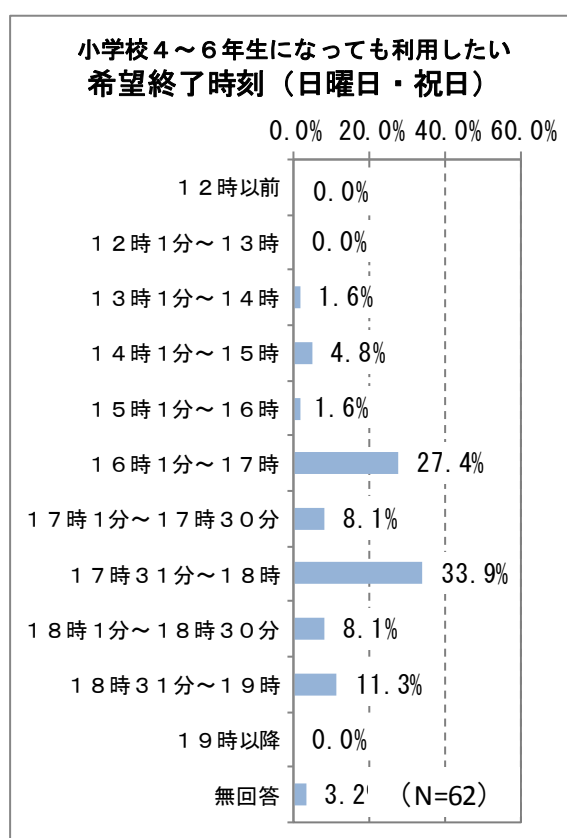
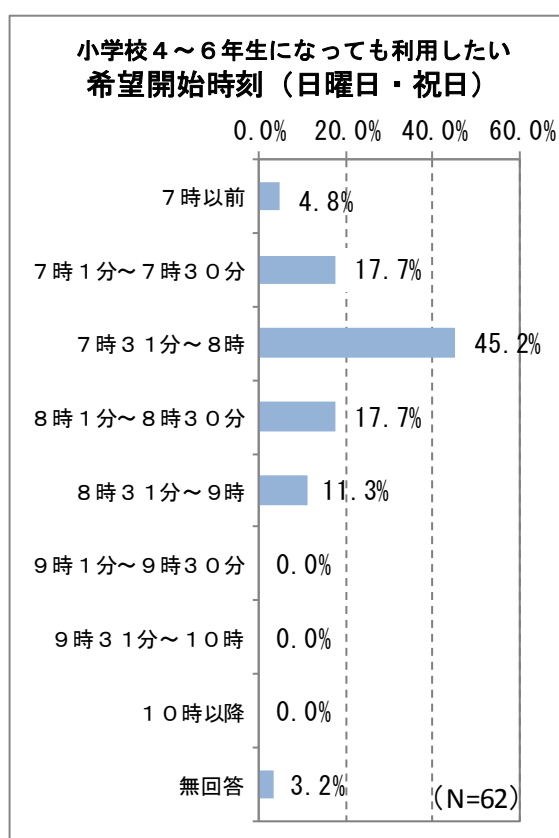
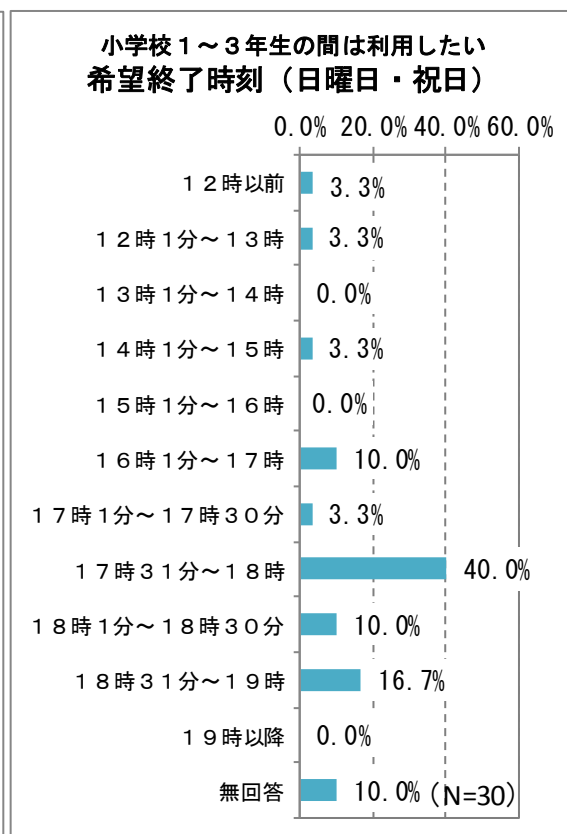
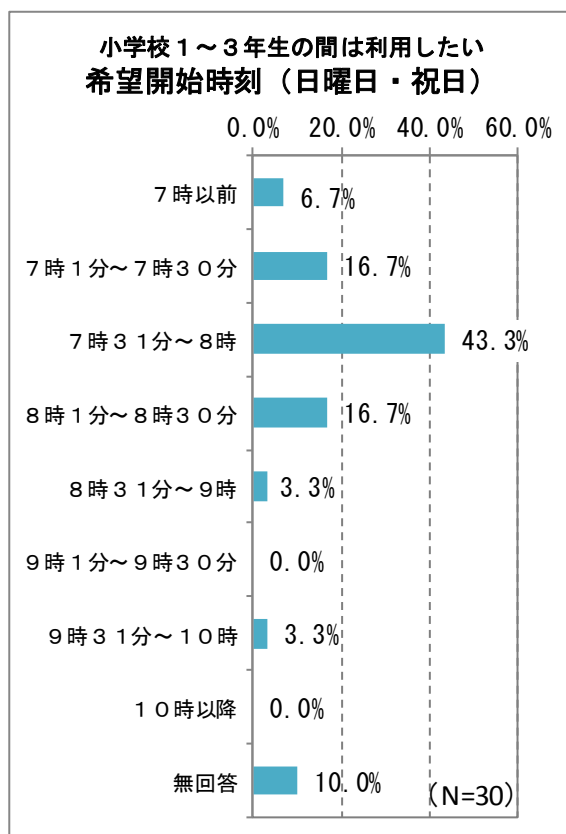
「小学校1～3年生の間は利用したい」と回答した人の希望開始時刻は「7時31分～8時」43.3%が最も多く、次いで「7時1分～7時30分」と「8時1分～8時30分」の16.7%の順となっており、希望終了時刻は「17時31分～18時」が40.0%と最も多く、次いで「18時31分～19時」16.7%、「16時1分～17時」と「17時1分～17時30分」の10.0%の順となっている。

「小学校4～6年生になっても利用したい」と回答した人の希望開始時刻は「7時31分～8時」が45.2%と最も多く、次いで「7時1分～7時30分」と「8時1分～8時30分」の17.1%の順となっており、希望終了時刻は「17時31分～18時」が33.9%と最も多く、次いで「16時1分～17時」27.4%、「18時31分～19時」11.3%の順となっている。

母親の就労タイプ別にみると、「土曜日」「日曜日・祝日」とともにフルタイムやパートタイム・アルバイト等の就労状況にある場合よりも就労していない場合で「利用したい」が多くなっている。







		全 体	土曜日			
			間小 は学 利校 用1 し3 た年 い生 の	な小 つ学 て校 も4 利6 用年 し生 たい	利 用 す る 必 要 は な い	無 回 答
全体 上段／実数		358	84	118	140	16
下段／％		100.0	23.5	33.0	39.1	4.5
母親の 就 労 タ イ プ	フルタイム	174	41	61	65	7
	(産休・育休中等を含む)	100.0	23.6	35.1	37.4	4.0
	パートタイム・アルバイト等	126	25	37	61	3
	(産休・育休中等を含む)	100.0	19.8	29.4	48.4	2.4
	就労していない	49	13	18	13	5
		100.0	26.5	36.7	26.5	10.2
	母親はいない	7	4	1	1	1
		100.0	57.1	14.3	14.3	14.3

		全 体	日曜日・祝日			
			間小 は学 利校 用1 し3 た年 い生 の	な小 つ学 て校 も4 利6 用年 し生 たい	利 用 す る 必 要 は な い	無 回 答
全体 上段／実数		358	30	62	237	29
下段／％		100.0	8.4	17.3	66.2	8.1
母親の 就 労 タ イ プ	フルタイム	174	16	32	110	16
	(産休・育休中等を含む)	100.0	9.2	18.4	63.2	9.2
	パートタイム・アルバイト等	126	9	15	94	8
	(産休・育休中等を含む)	100.0	7.1	11.9	74.6	6.3
	就労していない	49	5	14	25	5
		100.0	10.2	28.6	51.0	10.2
	母親はいない	7	－	－	7	－
		100.0	－	－	100.0	－

問15で「1. 利用したい」に○をつけた方におうかがいします。

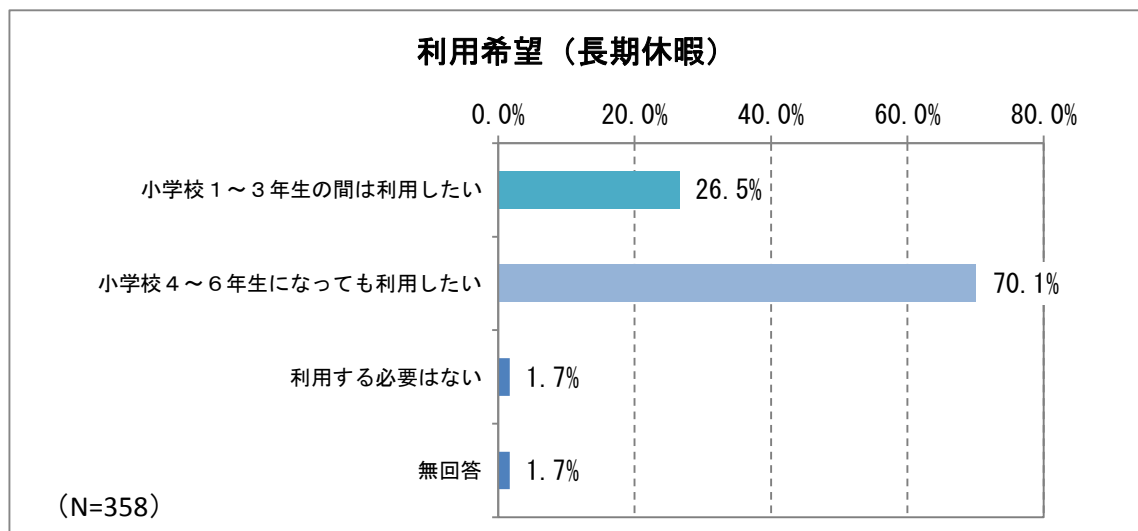
問15-4 夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。

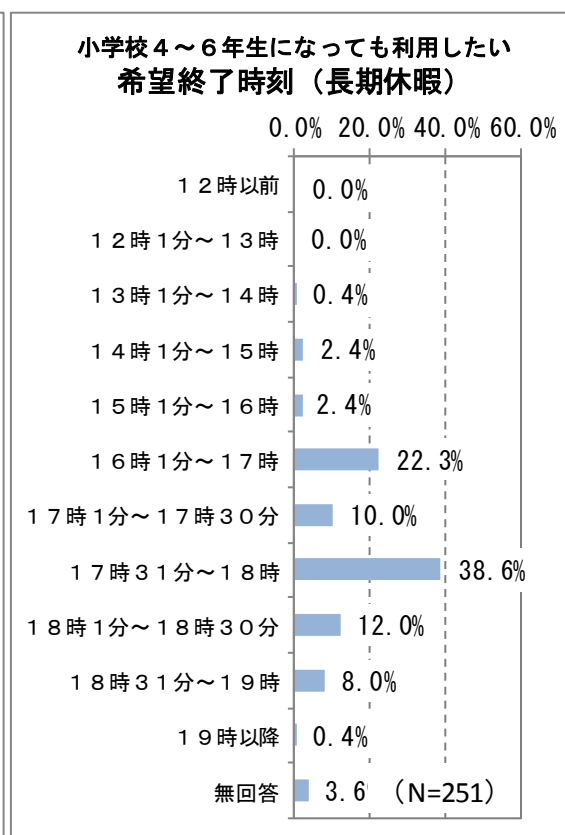
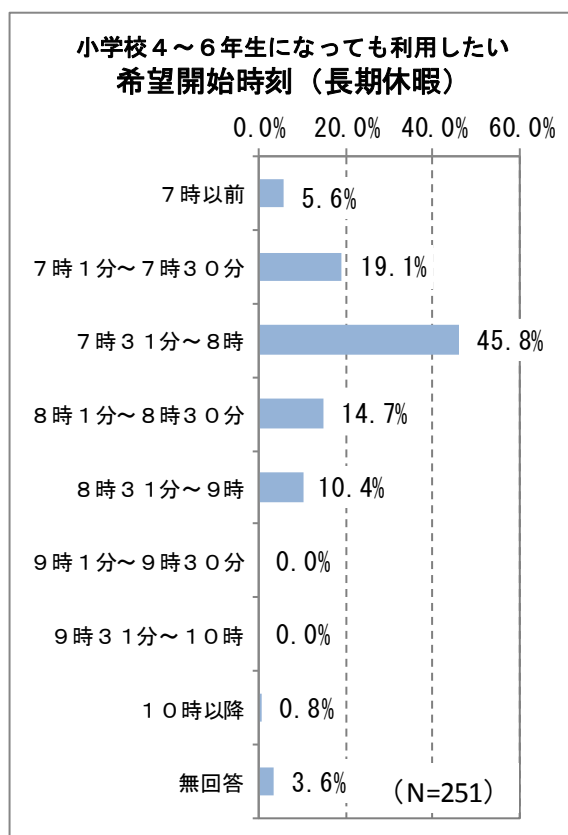
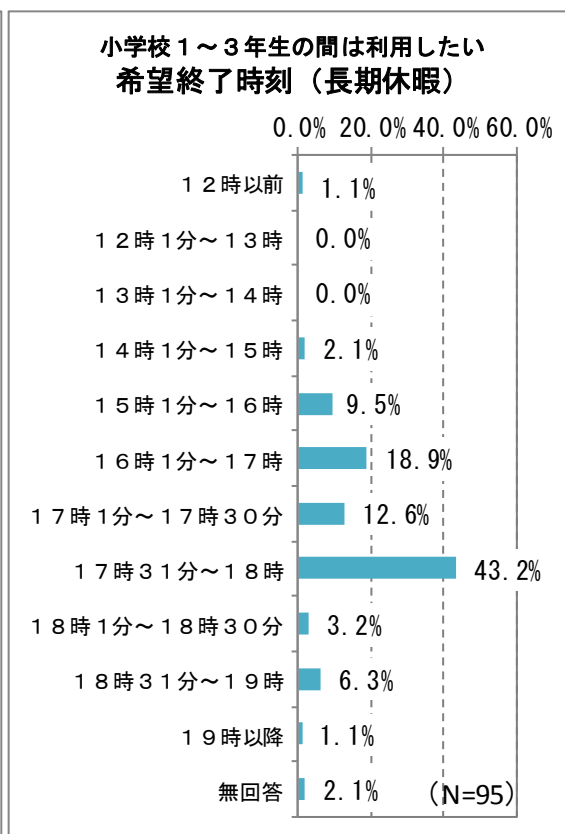
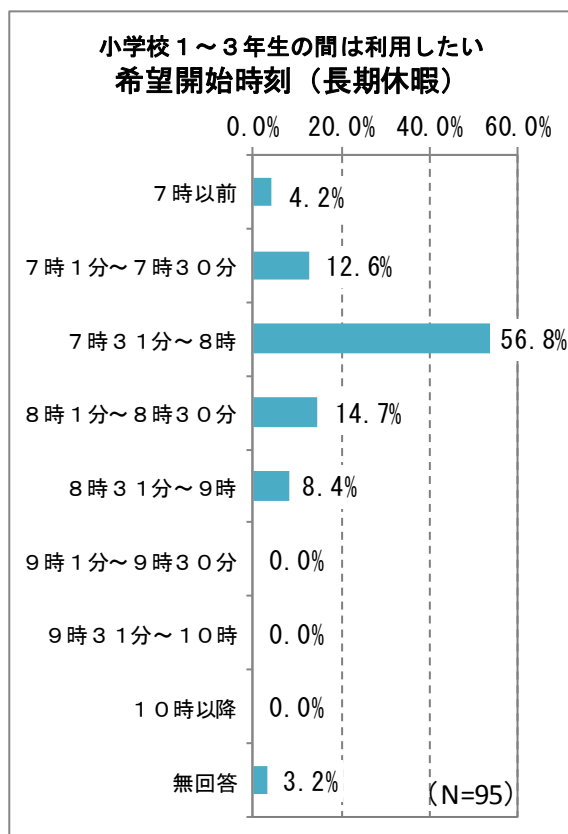
夏休み・冬休み等の長期休暇期間中の利用希望をみると、「小学校4～6年生になっても利用したい」が70.1%、「小学校1～3年生の間は利用したい」26.5%、「利用する必要はない」1.7%となっている。

「小学校1～3年生の間は利用したい」と回答した人の希望開始時刻は「7時31分～8時」が56.8%と最も多く、次いで「8時1分～8時30分」14.7%、「7時1分～7時30分」12.6%の順となっており、希望終了時刻は「17時31分～18時」が43.2%と最も多く、次いで「16時1分～17時」18.9%、「17時1分～17時30分」12.6%の順となっている。

「小学校4～6年生になっても利用したい」と回答した人の希望開始時刻は「7時31分～8時」が45.8%と最も多く、次いで「7時1分～7時30分」19.1%、「8時1分～8時30分」14.7%の順となっており、希望終了時刻は「17時31分～18時」が38.6%と最も多く、次いで「16時1分～17時」22.3%、「18時1分～18時30分」12.0%の順となっている。

母親の就労タイプ別にみると、フルタイムやパートタイム・アルバイト等の就労状況にある場合の70%以上の方が「小学校4～6年生になっても利用したい」と答えている。





		全 体	長期休暇（夏休み・冬休みなど）			
			間小 は学 利校 用1 し た3 い年 生 の	な小 つ学 て校 も4 利 用6 し年 た生 に	利 用 す る 必 要 は な い	無 回 答
全体 上段／実数		358	95	251	6	6
下段／%		100.0	26.5	70.1	1.7	1.7
母親の 就 労 タ イ プ	フルタイム	174	45	123	4	2
	（産休・育休中等を含む）	100.0	25.9	70.7	2.3	1.1
	パートタイム・アルバイト等	126	31	91	1	3
	（産休・育休中等を含む）	100.0	24.6	72.2	0.8	2.4
	就労していない	49	14	33	1	1
		100.0	28.6	67.3	2.0	2.0
	母親はいない	7	4	3	－	－
		100.0	57.1	42.9	－	－

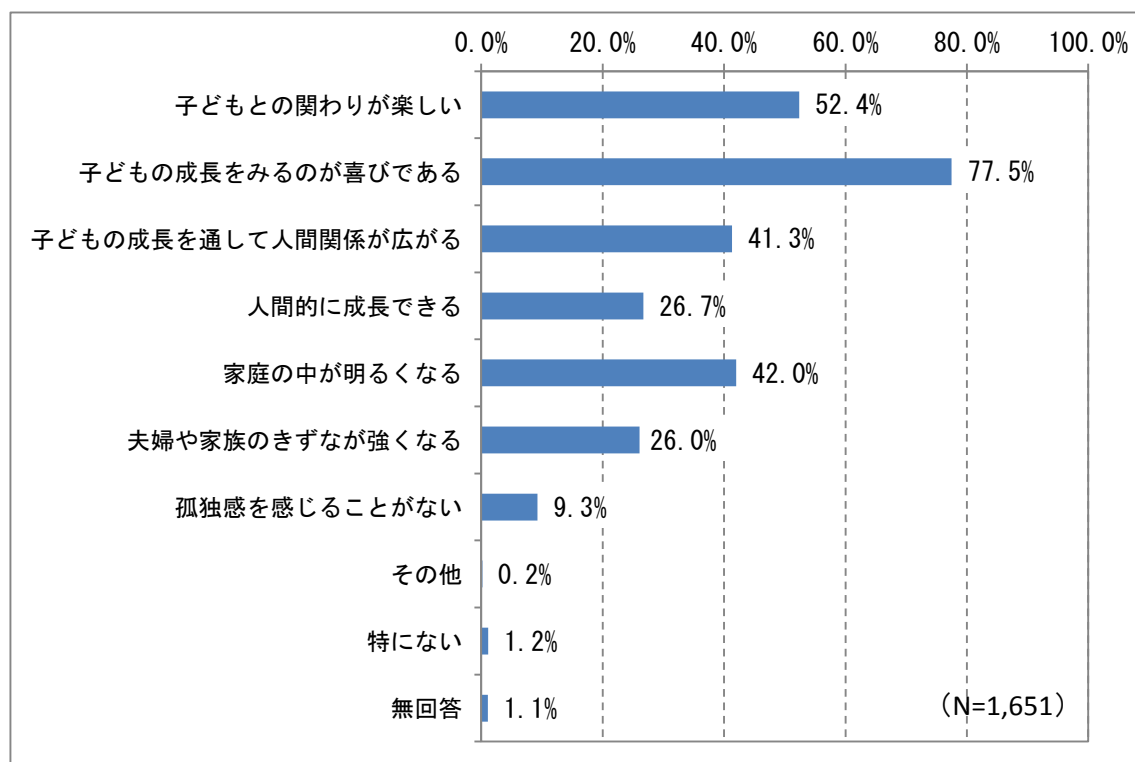
6 子育て全般について

(1) 子育ての良さや喜びについて

問16 子育ての良さや喜びについてどのようにお考えですか。(○は3つまで)

子育ての良さや喜びについてをみると、「子どもの成長をみるのが喜びである」が77.5%と最も多く、次いで、「子どもとの関わりが楽しい」52.4%、「家庭の中が明るくなる」42.0%の順となっている。

母親の就労タイプ別にみると、「子どもとの関わりが楽しい」についてフルタイムの場合56.3%、パートタイム・アルバイトの場合53.8%、就労していない場合44.7%と就労時間の増加とともに回答割合も増加傾向にある。また、「子どもの成長を通して人間関係が広がる」については、フルタイムの場合38.6%、パートタイム・アルバイトの場合41.6%、就労していない場合46.2%と就労時間の増加とともに減少傾向にある。



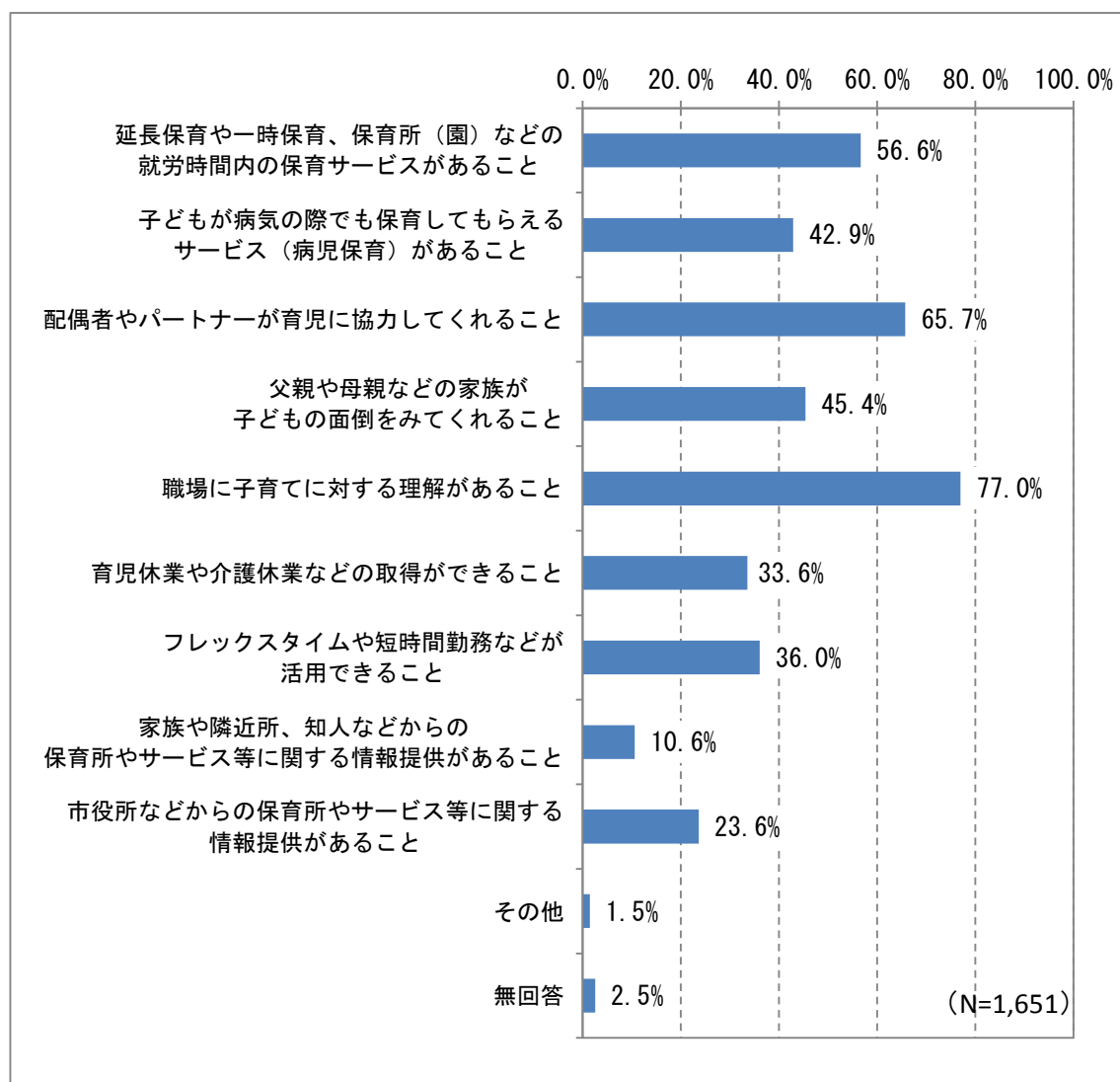
		全 体	が子どもとの関わり	る子どもの喜びで成長をみる	が子ども人間関係が広がる	成人間的に成長できる	なる家庭の中が明るく
全体 上段／実数		1,651	865	1,279	682	441	693
下段／％		100.0	52.4	77.5	41.3	26.7	42.0
母親の就労タイプ	フルタイム	565	318	432	218	146	237
	(産休・育休中等を含む)	100.0	56.3	76.5	38.6	25.8	41.9
	パートタイム・アルバイト等	658	354	514	274	189	258
	(産休・育休中等を含む)	100.0	53.8	78.1	41.6	28.7	39.2
	就労していない	396	177	308	183	99	181
		100.0	44.7	77.8	46.2	25.0	45.7
母親はいない		25	13	20	6	6	12
		100.0	52.0	80.0	24.0	24.0	48.0
		全 体	な夫婦強や家族のきず	感孤独感をとがない	その他	特にない	
全体 上段／実数		1,651	430	153	3	19	
下段／％		100.0	26.0	9.3	0.2	1.2	
母親の就労タイプ	フルタイム	565	140	50	－	9	
	(産休・育休中等を含む)	100.0	24.8	8.8	－	1.6	
	パートタイム・アルバイト等	658	167	66	2	5	
	(産休・育休中等を含む)	100.0	25.4	10.0	0.3	0.8	
	就労していない	396	120	31	1	4	
		100.0	30.3	7.8	0.3	1.0	
母親はいない		25	3	6	－	－	
		100.0	12.0	24.0	－	－	

(2) 仕事と子育てを両立するために必要な支援

問17 仕事と子育てを両立していくために、どんな支援が必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

仕事と子育てを両立するために必要な支援をみると、「職場に子育てに対する理解があること」が77.0%と最も多く、次いで「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」65.7%、「延長保育や一時保育、保育所（園）などの就労時間内の保育サービスがあること」56.6%となっている。その他では、「子育ての悩みや相談ができる友達・場所」「子どもの病気時に学校へ迎えに行ってくれるサービス」「学校行事を減らして欲しい」などの意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、すべてのタイプで「職場に子育てに対する理解があること」が最も多くなっている。

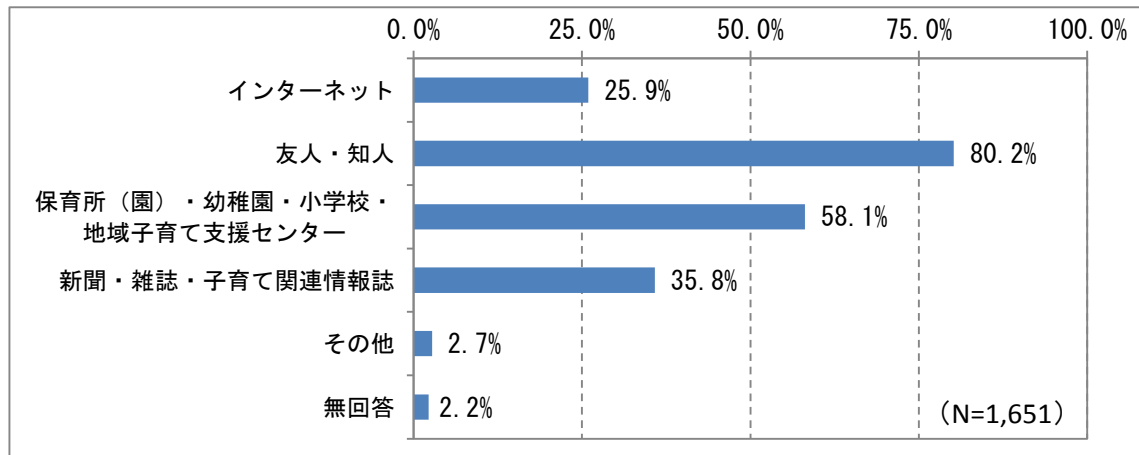


		全 体	延長保育や一時保育、保育所（園）などの就労時間内保育サービスがあること	子どもが病気の際でも保育してもらえサービス（病児保育）があること	配偶者やパートナーが育児に協力してくれること	父親や母親などの家族が子どもと面会をみてること	職場に子育てに対する理解があること	育児休業や介護休業などの取得ができること
全体 上段／実数		1,651	935	708	1,085	749	1,271	554
下段／%		100.0	56.6	42.9	65.7	45.4	77.0	33.6
母親の就労タイプ	フルタイム	565	338	238	363	295	459	239
	（産休・育休中等を含む）	100.0	59.8	42.1	64.2	52.2	81.2	42.3
	パートタイム・アルバイト等	658	353	278	466	294	503	194
	（産休・育休中等を含む）	100.0	53.6	42.2	70.8	44.7	76.4	29.5
	就労していない	396	233	181	250	148	297	115
		100.0	58.8	45.7	63.1	37.4	75.0	29.0
	母親はいない	25	10	8	6	9	11	6
		100.0	40.0	32.0	24.0	36.0	44.0	24.0
		全 体	勤務フレックスタイムなど活用できる短時間	関する家族や近所、知人などにか	供がサービスなどからする保育所提	市役所などからする保育所提	その他	無回答
全体 上段／実数		1,651	595	175	390	24	42	
下段／%		100.0	36.0	10.6	23.6	1.5	2.5	
母親の就労タイプ	フルタイム	565	215	73	128	5	15	
	（産休・育休中等を含む）	100.0	38.1	12.9	22.7	0.9	2.7	
	パートタイム・アルバイト等	658	212	64	148	6	15	
	（産休・育休中等を含む）	100.0	32.2	9.7	22.5	0.9	2.3	
	就労していない	396	167	36	107	12	9	
		100.0	42.2	9.1	27.0	3.0	2.3	
	母親はいない	25	1	2	5	1	2	
		100.0	4.0	8.0	20.0	4.0	8.0	

(3) 子育てに関する情報源

問18 子育てに関する情報はどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

子育てに関する情報源をみると、「友人・知人」が80.2%と最も多く、次いで、「保育所（園）・幼稚園・小学校・地域子育て支援センター」58.1%、「新聞・雑誌・子育て関連情報誌」35.8%の順となっている。その他では、「職場」「テレビ」などの意見があった。母親の就労タイプ別でみると、すべてのタイプで全体と同様の傾向となっている。



	全 体	イン ター ネッ ト	友 人 ・ 知 人	保 育 所 （ 園 ） ・ 幼 稚 園 ・ 小 学 校 ・ 地 域 子 育 て 支 援 セ ン タ ー	新 聞 ・ 雑 誌 ・ 子 育 て 関 連 情 報 誌	そ の 他	無 回 答
全体 上段／実数	1,651	428	1,324	959	591	45	37
下段／%	100.0	25.9	80.2	58.1	35.8	2.7	2.2
母親の就労タイプ							
フルタイム	565	146	445	338	198	15	16
（産休・育休中等を含む）	100.0	25.8	78.8	59.8	35.0	2.7	2.8
パートタイム・アルバイト等	658	156	536	377	238	18	16
（産休・育休中等を含む）	100.0	23.7	81.5	57.3	36.2	2.7	2.4
就労していない	396	122	326	223	148	11	5
	100.0	30.8	82.3	56.3	37.4	2.8	1.3
母親はいない	25	2	12	18	3	1	－
	100.0	8.0	48.0	72.0	12.0	4.0	－

(4) 子育てに関する事業の認知度・利用状況

問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものはありますか。

【認知度】

子育てに関する事業の認知度をみると、「広報あさくち」が93.0%と最も多く、次いで「浅口市ホームページ」71.0%、「あさくち子育てガイドブック」44.3%の順となっている。

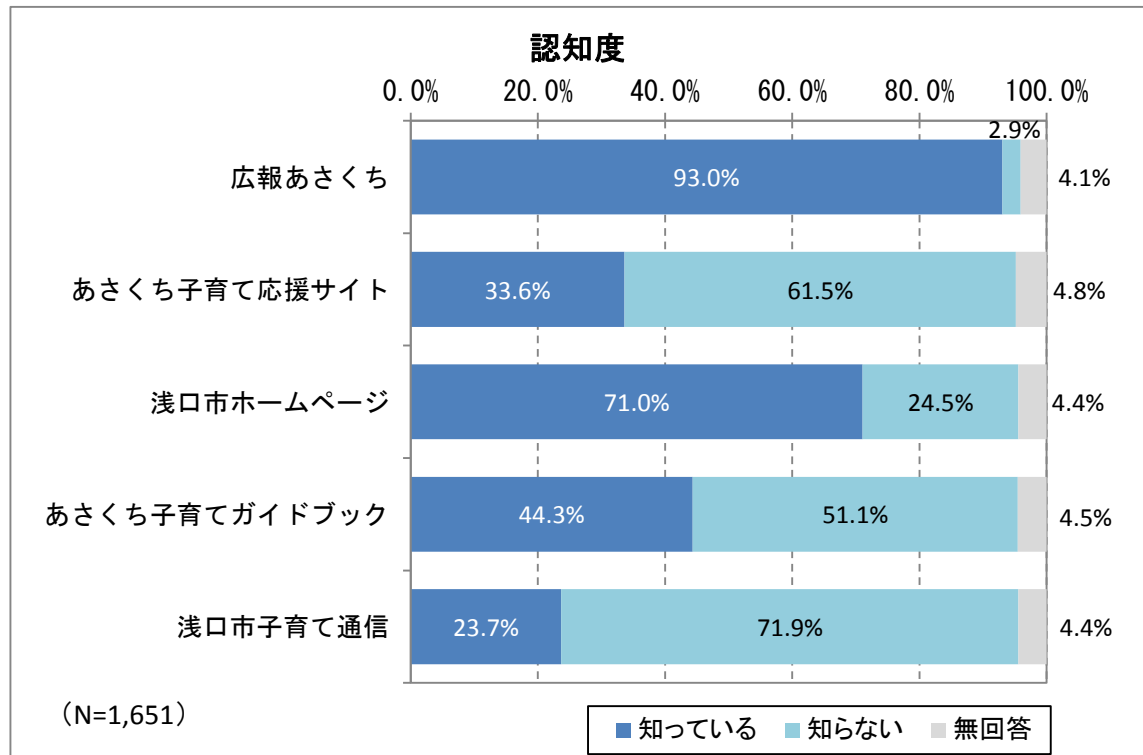
また、「あさくち子育て応援サイト」「あさくち子育てガイドブック」「浅口子育て通信」は半数以上が「知らない」と回答している。

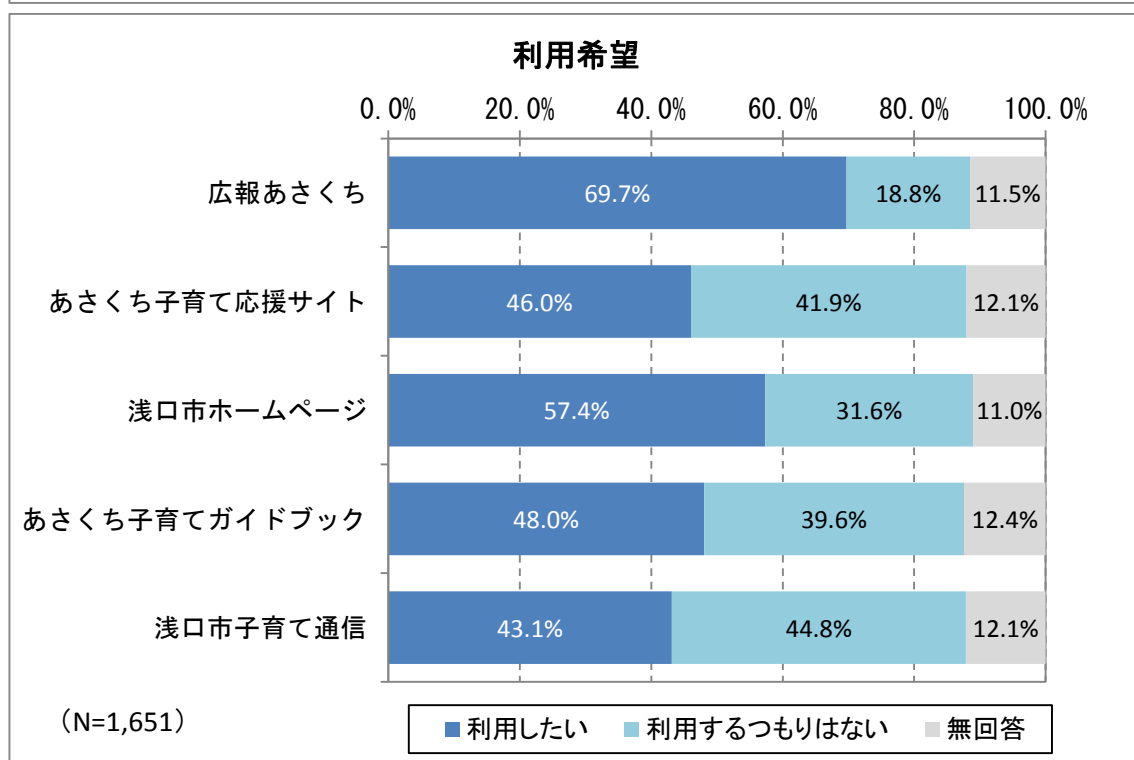
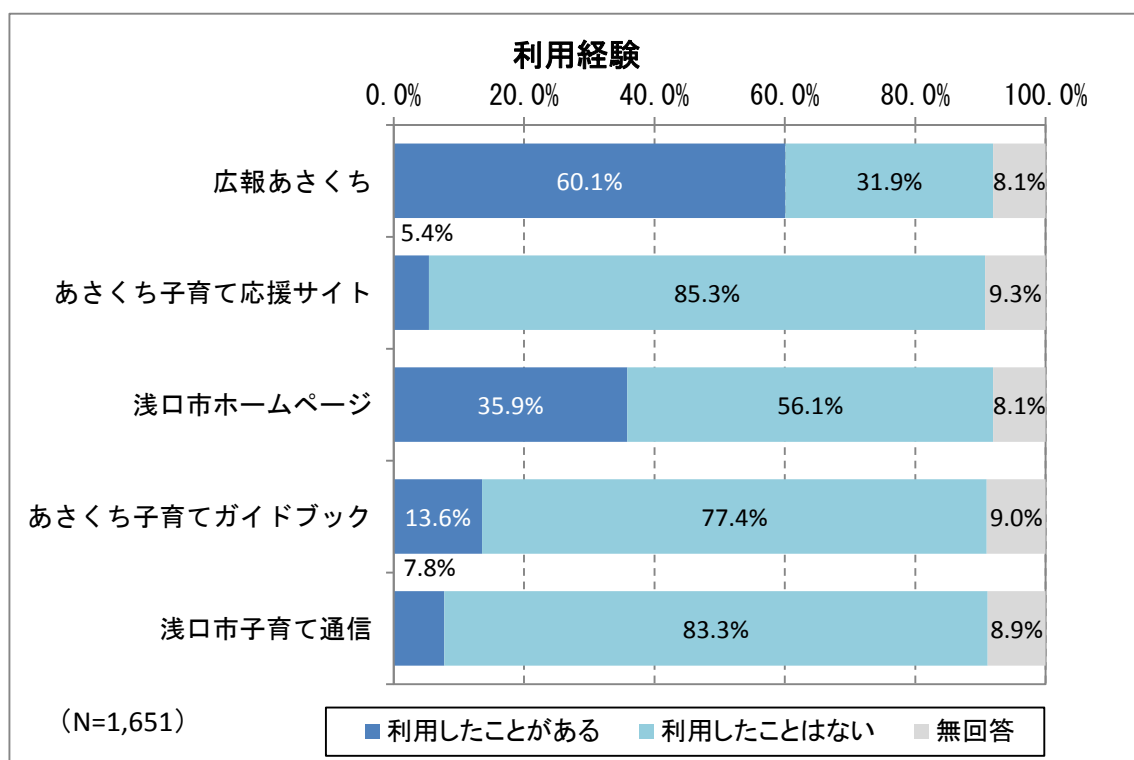
【利用経験】

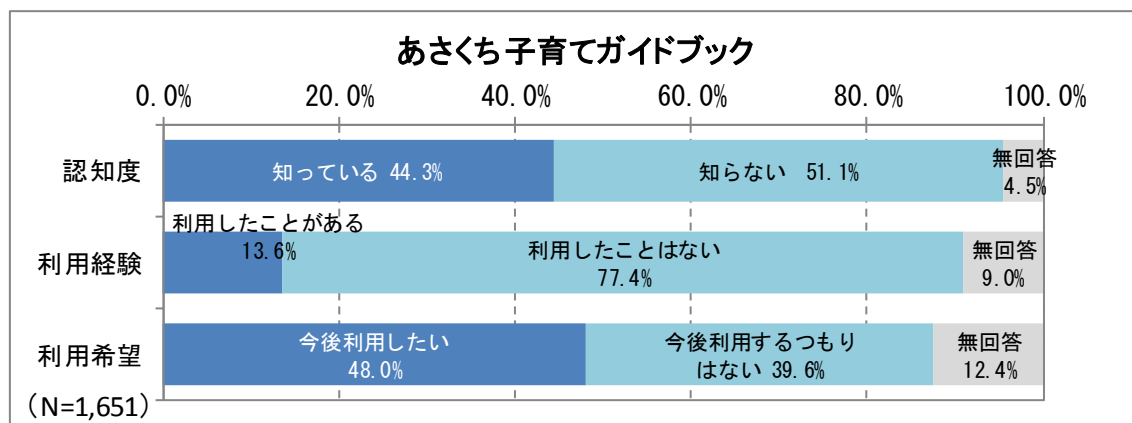
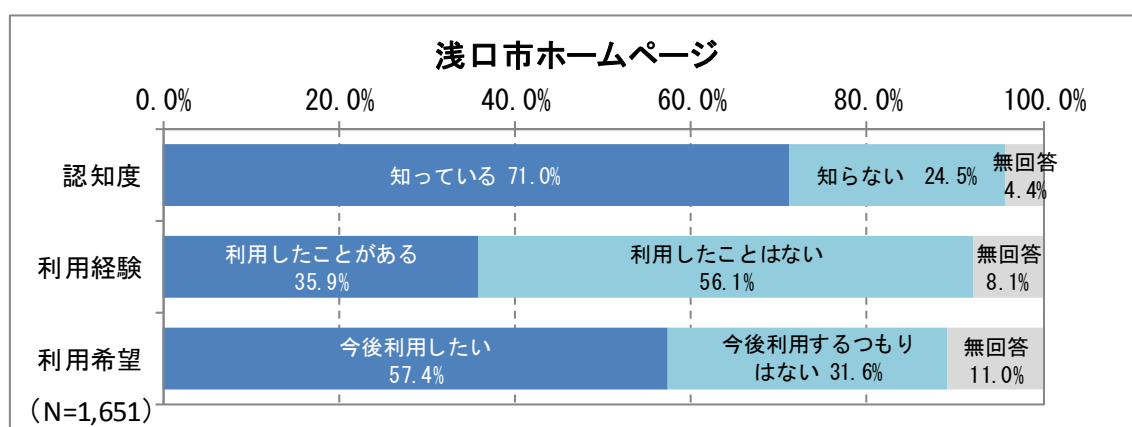
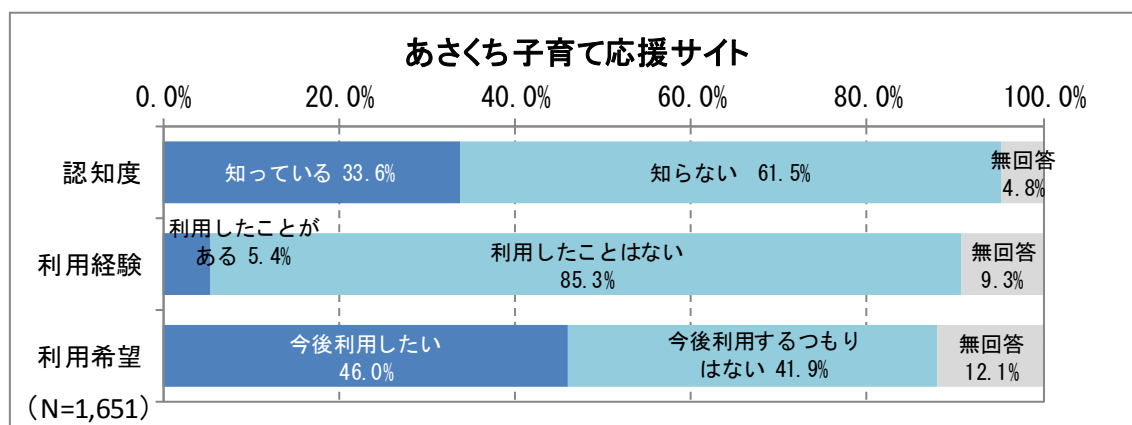
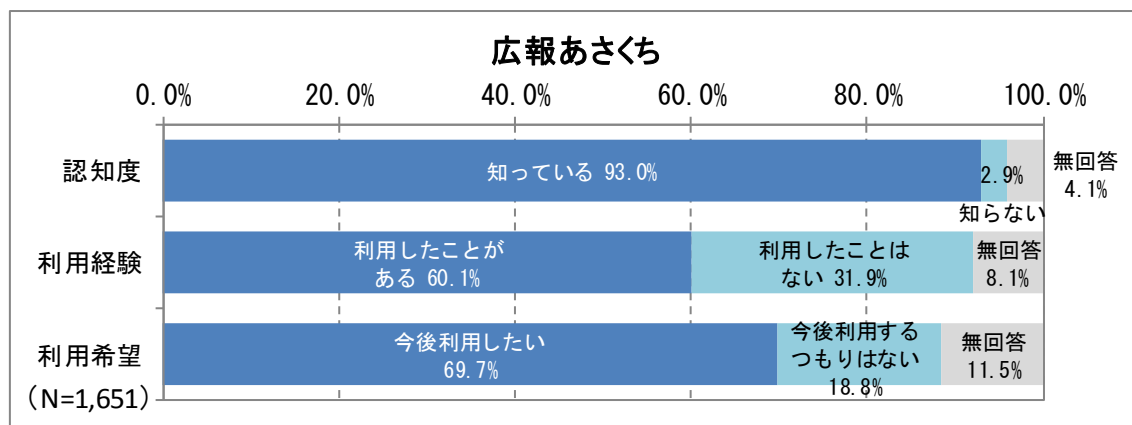
子育てに関する事業の利用経験をみると、「広報あさくち」が60.1%と最も多く、次いで「浅口市ホームページ」35.9%、「あさくち子育てガイドブック」13.6%の順となっている。また、「広報あさくち」以外は半数以上が「利用したことはない」と回答している。

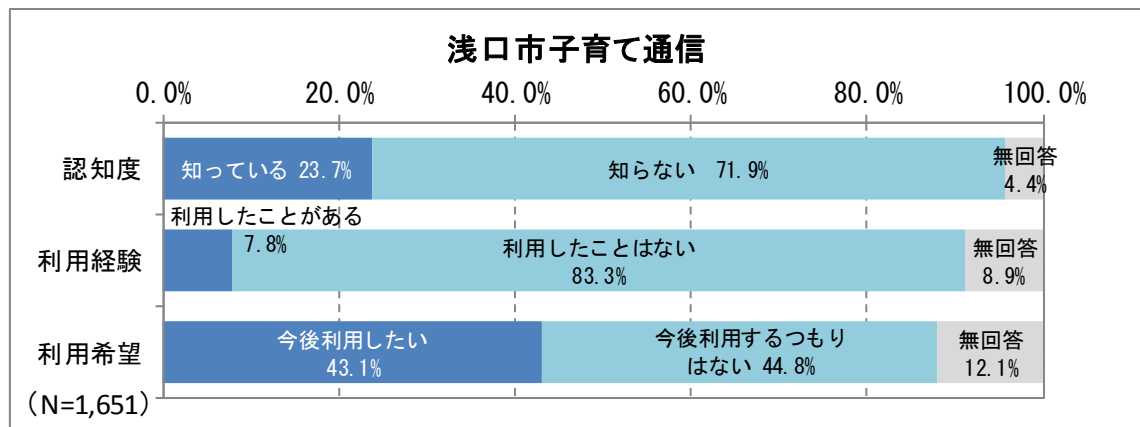
【利用希望】

子育てに関する事業の利用希望をみると、「広報あさくち」が69.7%と最も多く、次いで「浅口市ホームページ」57.4%、「あさくち子育てガイドブック」48.0%の順となっている。





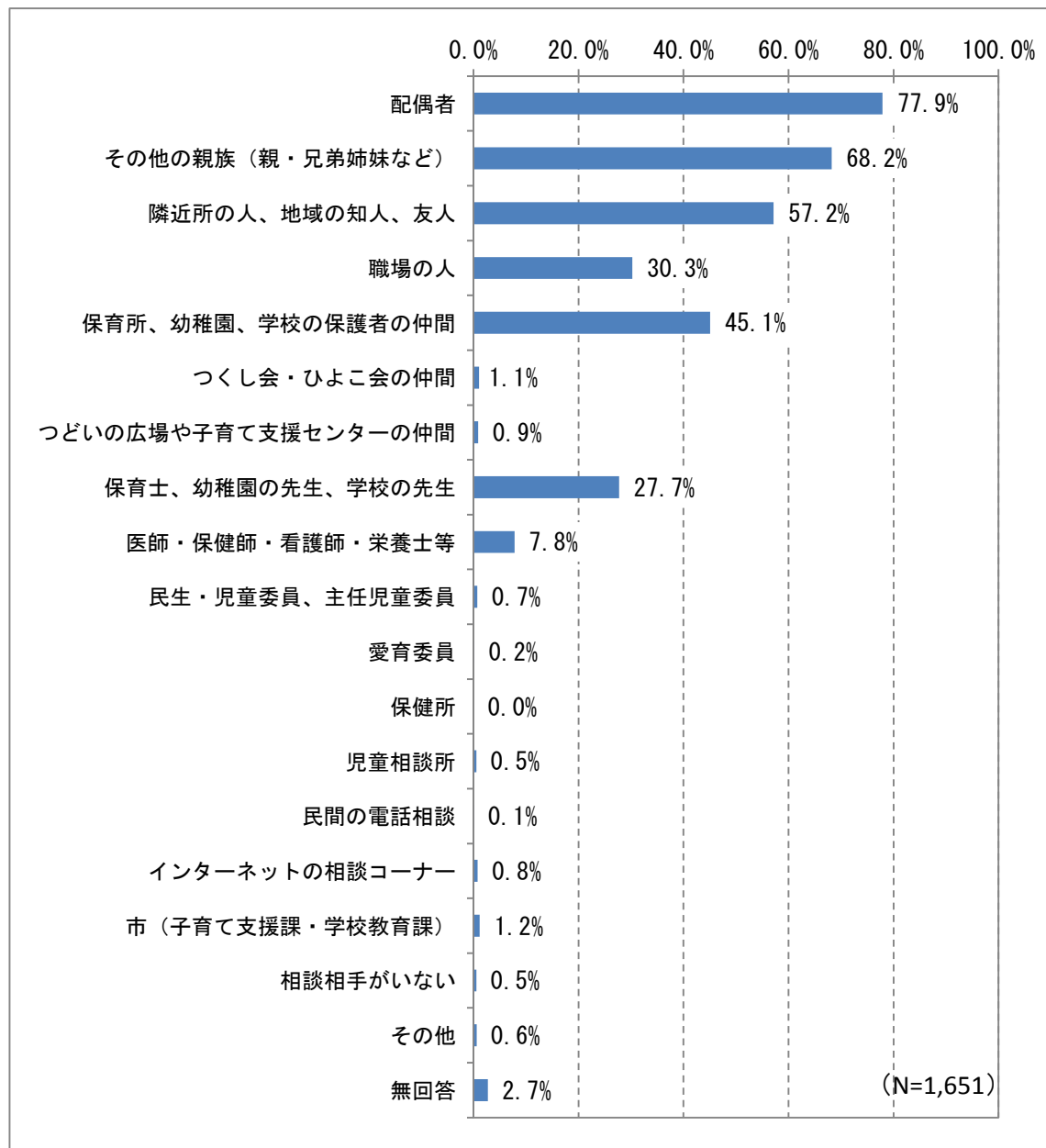




(5) 子育てに関する相談先

問20 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

子育てに関する相談先をみると、「配偶者」が77.9%と最も多く、次いで「その他の親族（親・兄弟姉妹など）」68.2%、「隣近所の人、地域の知人、友人」57.2%の順となっている。その他では、「発達支援センターの先生」「塾の先生」などの意見があった。

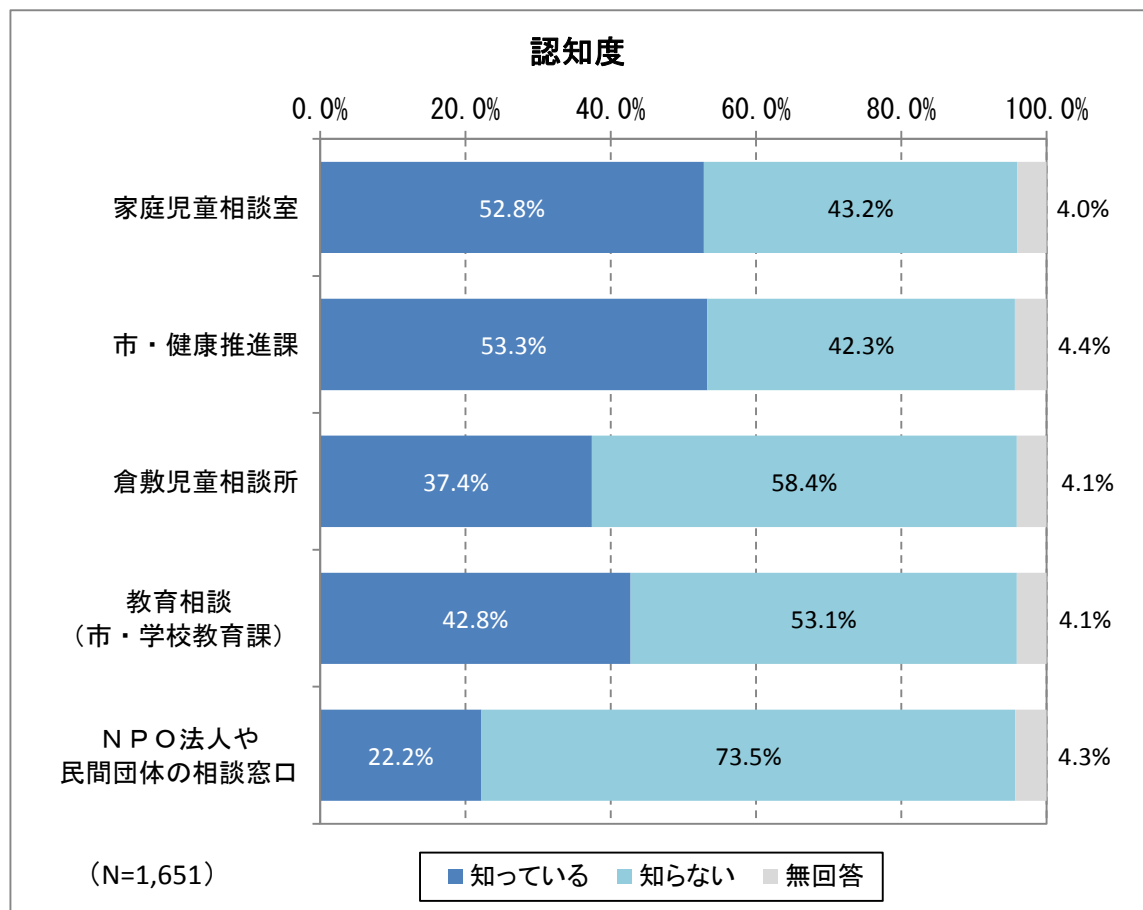


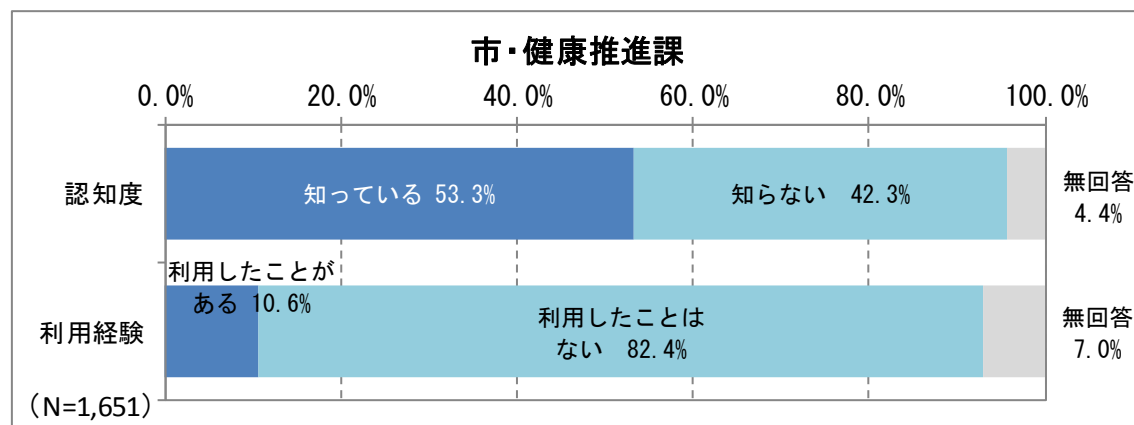
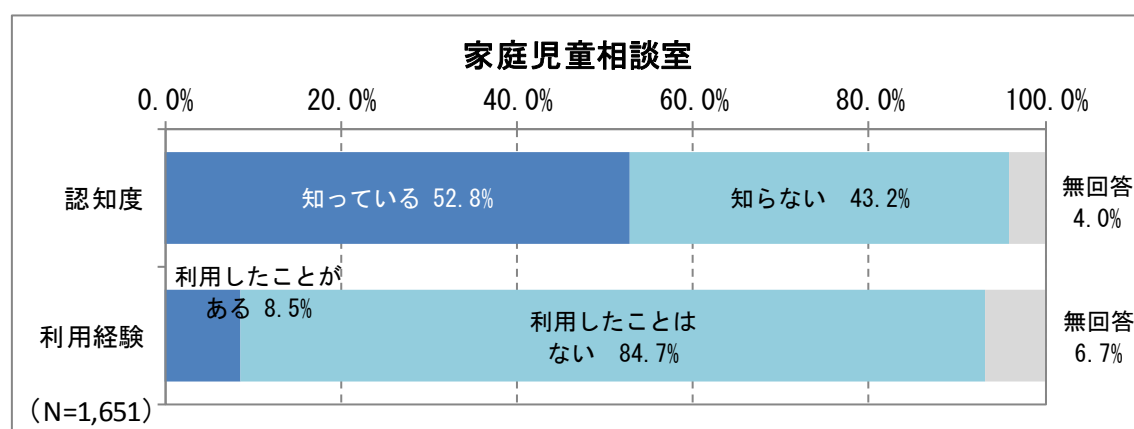
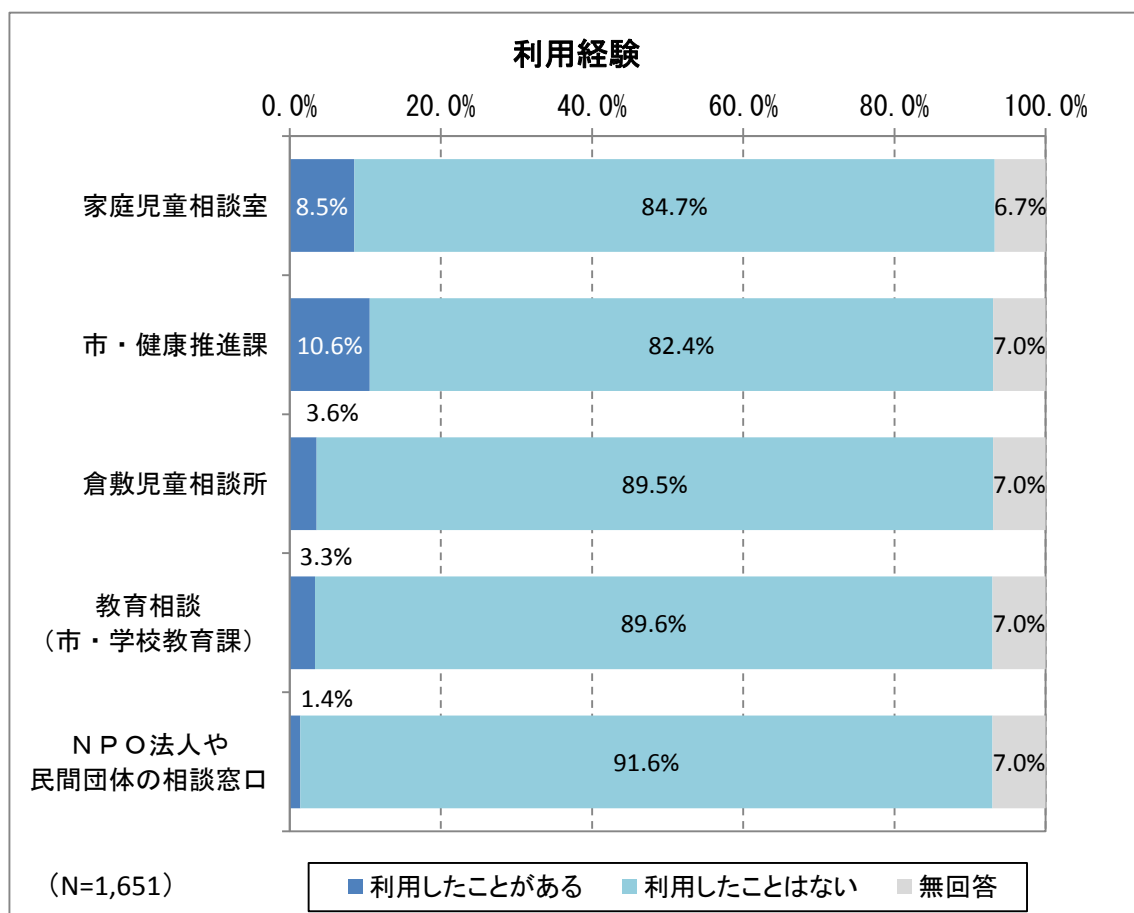
(6) 県内・市内の子育てに関する相談先の認知度・利用状況

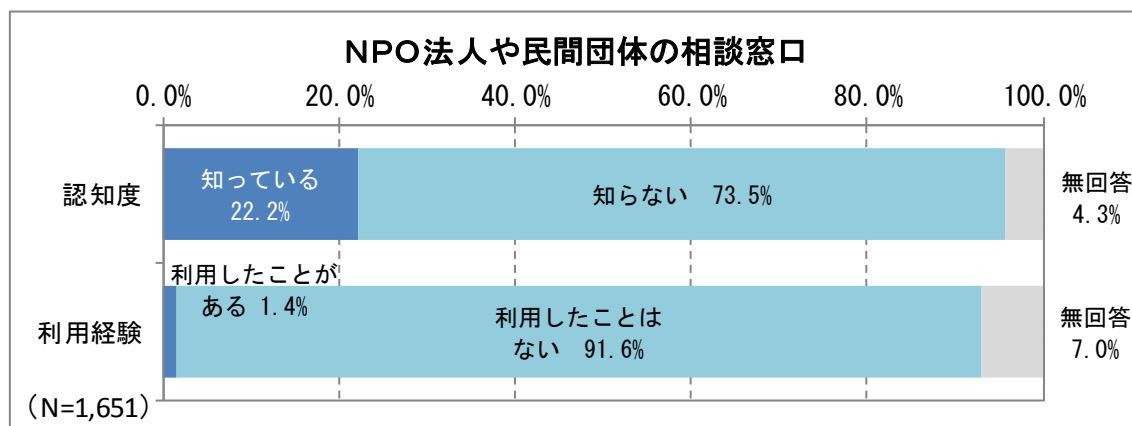
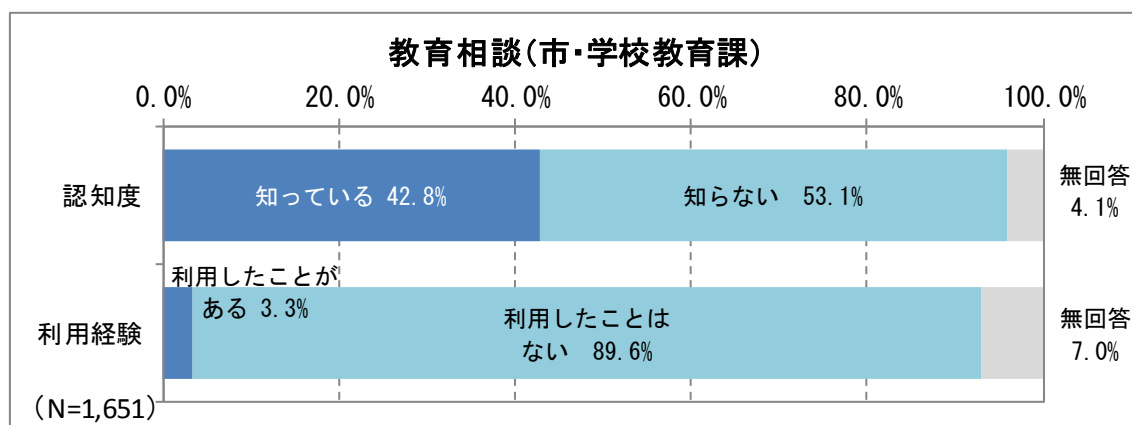
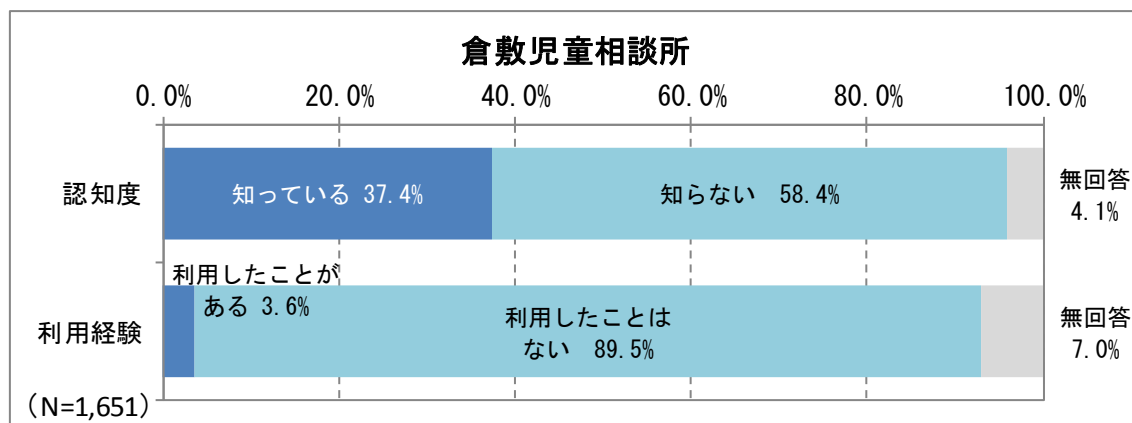
問2 1 岡山県内及び浅口市内の子どもに関する相談先について、各機関のA（知っている）・B（利用したことがある）のそれぞれに「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

県内・市内の子育てに関する相談先の認知度をみると、「市・健康推進課」が53.3%と最も多く、次いで「家庭児童相談室」52.8%、「教育相談（市・学校教育課）」42.8%の順となっている。

県内・市内の子育てに関する相談先の利用状況をみると、「市・健康推進課」が10.6%と最も多く、次いで「家庭児童相談室」8.5%、「倉敷児童相談所」3.6%の順となっている。



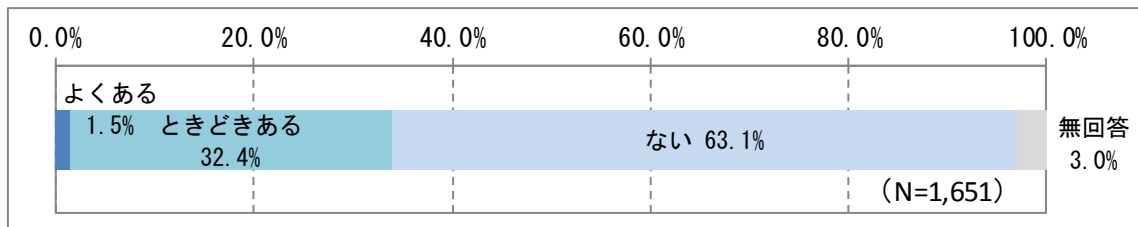




(7) 虐待について

問22 あなたは、あて名のお子さんを虐待してしまったと思うときがありますか。
(○は1つ)

虐待をしてしまったと思うときの有無をみると、「ない」63.1%、「ときどきある」32.4%、「よくある」1.5%となっており、虐待をしてしまったと思う時がある人が3割を超えている。母親の就労タイプ別にみても、それぞれのタイプで全体と同様の傾向となっている。

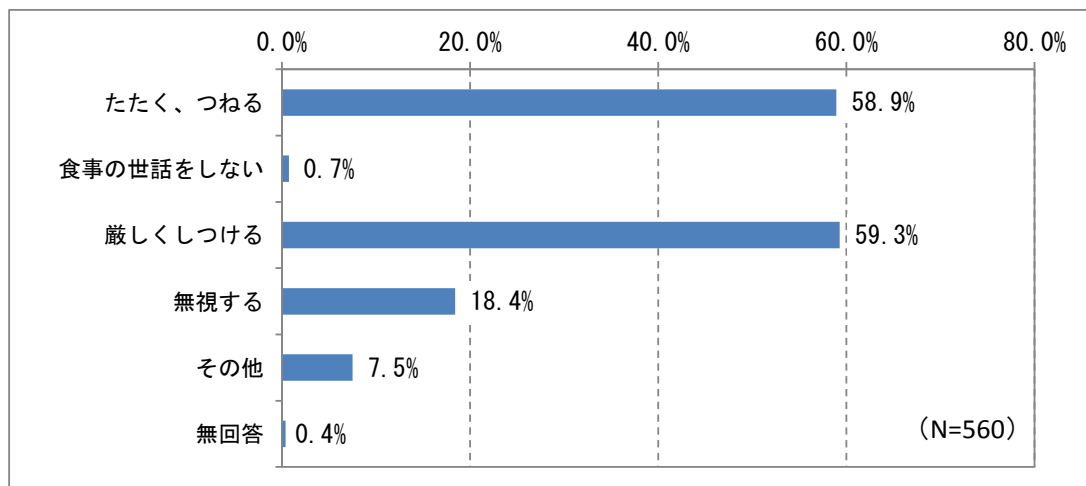


	全 体	よ く あ る	あ と き ど き	な い	無 回 答
全体 上段／実数	1,651	25	535	1,042	49
下段／％	100.0	1.5	32.4	63.1	3.0
母親の就労タイプ					
フルタイム	565	9	186	342	28
(産休・育休中等を含む)	100.0	1.6	32.9	60.5	5.0
パートタイム・アルバイト等	658	9	216	424	9
(産休・育休中等を含む)	100.0	1.4	32.8	64.4	1.4
就労していない	396	7	122	257	10
	100.0	1.8	30.8	64.9	2.5
母親はいない	25	－	9	15	1
	100.0	－	36.0	60.0	4.0

問22で「1.」「2.」(よくある・ときどきある)に○をつけた方におうかがいします。

問22-1 虐待してしまったと思うのは、どのようなときですか。(○はいくつでも)

虐待をしてしまったと思う行動をみると、「厳しくしつける」が59.3%と最も多く、次いで「たたく、つねる」58.9%、「無視する」18.4%の順となっている。その他では、「暴言」「キツイ言葉で怒る」などの意見があった。



(8) 子育てしやすいまちについて

問23 浅口市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

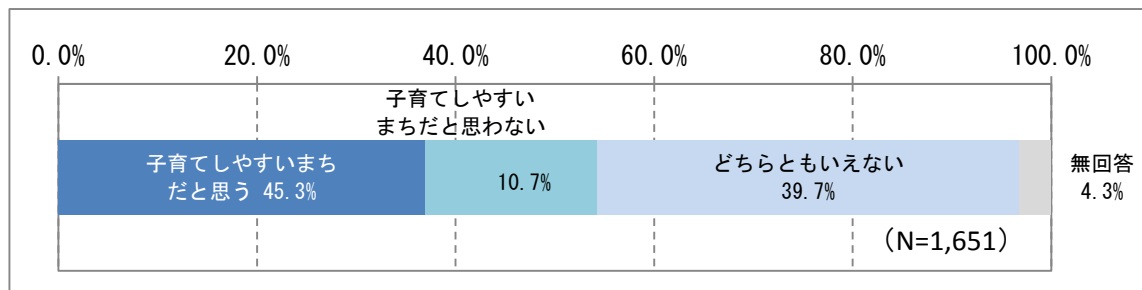
問23で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」に〇をつけた方におうかがいします。

問23-1 子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

子育てしやすいまちについてみると、「子育てしやすいまちだと思う」が45.3%と最も多く、次いで「どちらともいえない」39.7%、「子育てしやすいまちだと思わない」10.7%となっている。

子どもの学年別にみると、1年・4年で「子育てしやすいまちだと思わない」が若干多くなっている。

母親の就労タイプ別にみると、どのタイプでも全体と同様の傾向がみられる。

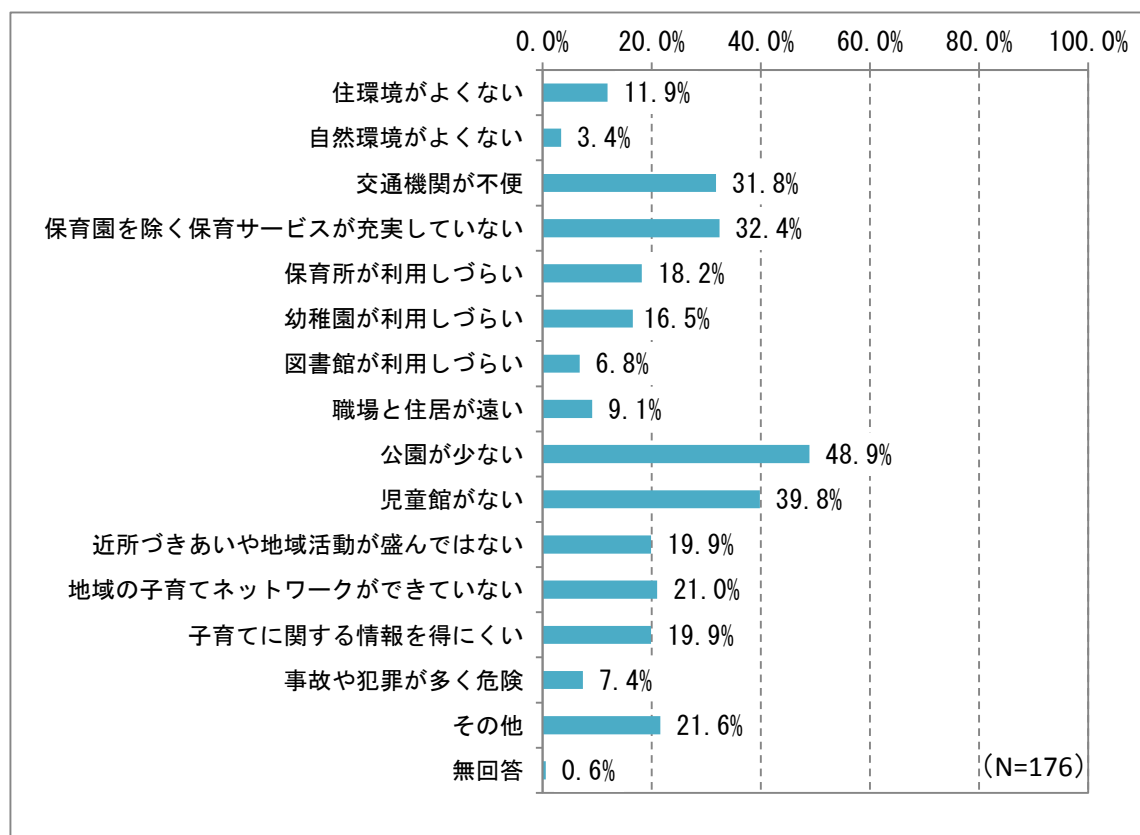


		全 体	だ 子 と 育 て し や す い ま ち	だ 子 と 育 て し や す い ま ち	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
全体	上段/実数	1,651	748	176	656	71
	下段/%	100.0	45.3	10.7	39.7	4.3
子 ど も の 学 年	1年	269	126	38	99	6
		100.0	46.8	14.1	36.8	2.2
	2年	261	116	25	111	9
		100.0	44.4	9.6	42.5	3.4
	3年	302	130	22	142	8
		100.0	43.0	7.3	47.0	2.6
	4年	272	120	36	103	13
		100.0	44.1	13.2	37.9	4.8
母 親 の 就 労 タ イ プ	5年	266	126	26	101	13
		100.0	47.4	9.8	38.0	4.9
	6年	281	130	29	100	22
		100.0	46.3	10.3	35.6	7.8
	フルタイム	565	257	55	221	32
	(産休・育休中等を含む)	100.0	45.5	9.7	39.1	5.7
	パートタイム・アルバイト等	658	311	76	246	25
	(産休・育休中等を含む)	100.0	47.3	11.6	37.4	3.8
母 親 の 就 労 タ イ プ	就労していない	396	167	42	174	13
		100.0	42.2	10.6	43.9	3.3
	母親はいない	25	10	3	11	1
		100.0	40.0	12.0	44.0	4.0

問23で「2. 子育てしやすいまちだと思わない」に○をつけた方におうかがいします。
 問23-1 子育てしやすいまちだと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

子育てしやすいまちだと思わない理由についてみると、「公園が少ない」が48.9%と最も多く、次いで「児童館がない」39.8%、「保育園を除く保育サービスが充実していない」32.4%となっている。その他では、「母子家庭支援が少ない」「病院が少ない」「仕事がない」などの意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、全体で最も多かった「公園が少ない」ではパートタイム・アルバイト、就労していない場合で割合が高く5割を超えている。



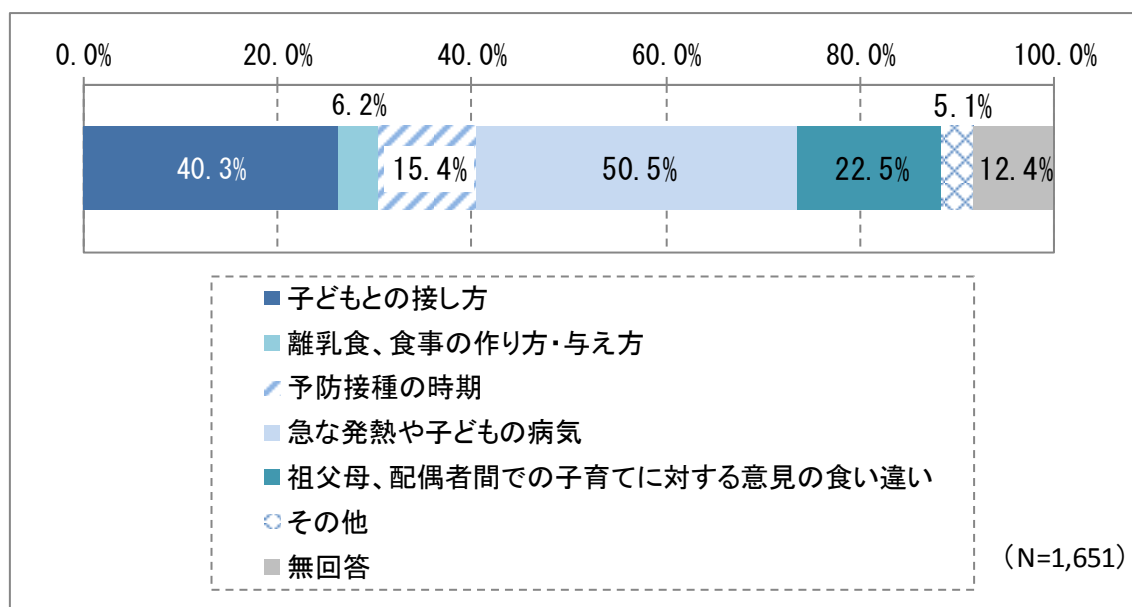
		全 体	住 環 境 が よ く な い	自 然 環 境 が よ く な い	交 通 機 関 が 不 便	い サ ー ビ ス を 除 く 保 育 て い な い	い 保 育 所 が 利 用 し づ ら
全体 上段／実数		176	21	6	56	57	32
下段／%		100.0	11.9	3.4	31.8	32.4	18.2
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	55	6	1	16	14	9
	(産休・育休中等を含む)	100.0	10.9	1.8	29.1	25.5	16.4
	パートタイム・アルバイト等	76	11	3	30	30	10
	(産休・育休中等を含む)	100.0	14.5	3.9	39.5	39.5	13.2
	就労していない	42	4	2	10	13	12
		100.0	9.5	4.8	23.8	31.0	28.6
母親はいない		3	－	－	－	－	1
		100.0	－	－	－	－	33.3
		全 体	い 幼 稚 園 が 利 用 し づ ら	い 図 書 館 が 利 用 し づ ら	職 場 と 住 居 が 遠 い	公 園 が 少 な い	児 童 館 が な い
全体 上段／実数		176	29	12	16	86	70
下段／%		100.0	16.5	6.8	9.1	48.9	39.8
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	55	8	8	7	20	19
	(産休・育休中等を含む)	100.0	14.5	14.5	12.7	36.4	34.5
	パートタイム・アルバイト等	76	10	2	9	43	37
	(産休・育休中等を含む)	100.0	13.2	2.6	11.8	56.6	48.7
	就労していない	42	10	2	－	22	14
		100.0	23.8	4.8	－	52.4	33.3
母親はいない		3	1	－	－	1	－
		100.0	33.3	－	－	33.3	－
		全 体	活 近 動 所 が づ 盛 き ん あ で い は や な 地 い 域	い ワ 地 域 の が 子 で 育 て て ネ い ッ な ト	を 子 得 に く に 関 す る 情 報	険 事 故 や 犯 罪 が 多 く 危	そ の 他
全体 上段／実数		176	35	37	35	13	38
下段／%		100.0	19.9	21.0	19.9	7.4	21.6
母 親 の 就 労 タ イ プ	フルタイム	55	8	9	9	7	13
	(産休・育休中等を含む)	100.0	14.5	16.4	16.4	12.7	23.6
	パートタイム・アルバイト等	76	17	19	15	4	13
	(産休・育休中等を含む)	100.0	22.4	25.0	19.7	5.3	17.1
	就労していない	42	7	9	10	2	12
		100.0	16.7	21.4	23.8	4.8	28.6
母親はいない		3	3	－	1	－	－
		100.0	100.0	－	33.3	－	－

(9) 子育てに関して困ったこと

問24 子育てに関して困ったことは何ですか。(〇はいくつでも)

子育てに関して困ったことをみると、「急な発熱や子どもの病気」50.5%と最も多く、次いで「子どもとの接し方」40.3%、「祖父母、配偶者間での子育てに対する意見の食い違い」22.5%の順となっている。その他では、「しつけの仕方」「発達障害への理解」「仕事との両立」などの意見があった。

母親の就労タイプ別にみると、どの項目でも大きな差はないものの「子どもとの接し方」についてはフルタイム36.6%、パートタイム・アルバイト40.3%、就労していない45.5%と就労時間の減少にともない増加がみられる。また、「予防接種の時期」についてはフルタイム17.0%、パートタイム・アルバイト15.3%、就労していない12.6%と就労時間の増加にともない減少がみられる。



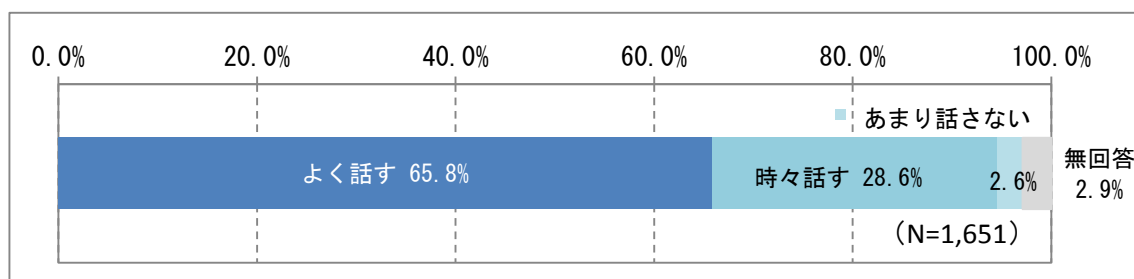
	全 体	子 ど も と の 接 し 方	与 え 方 ・ 離 乳 食 、 食 事 の 作 り 方 ・	予 防 接 種 の 時 期	急 な 発 熱 や 子 ど も の 病 気	違 い て に 対 す る 意 見 の 食 の 子	そ の 他	無 回 答
全体 上段／実数	1,651	665	103	254	833	371	84	205
下段／%	100.0	40.3	6.2	15.4	50.5	22.5	5.1	12.4
母親の就労タイプ								
フルタイム	565	207	33	96	293	128	23	89
(産休・育休中等を含む)	100.0	36.6	5.8	17.0	51.9	22.7	4.1	15.8
パートタイム・アルバイト等	658	265	46	101	340	150	37	69
(産休・育休中等を含む)	100.0	40.3	7.0	15.3	51.7	22.8	5.6	10.5
就労していない	396	180	21	50	190	87	23	40
	100.0	45.5	5.3	12.6	48.0	22.0	5.8	10.1
母親はいない	25	9	3	5	7	5	1	7
	100.0	36.0	12.0	20.0	28.0	20.0	4.0	28.0

7 子どものふだんの様子について

(1) お子さんと一緒に学校や友達のことなどを話す機会

問25 あて名のお子さんと一緒に学校や友達のことなどを話すことがありますか。
(○は1つ)

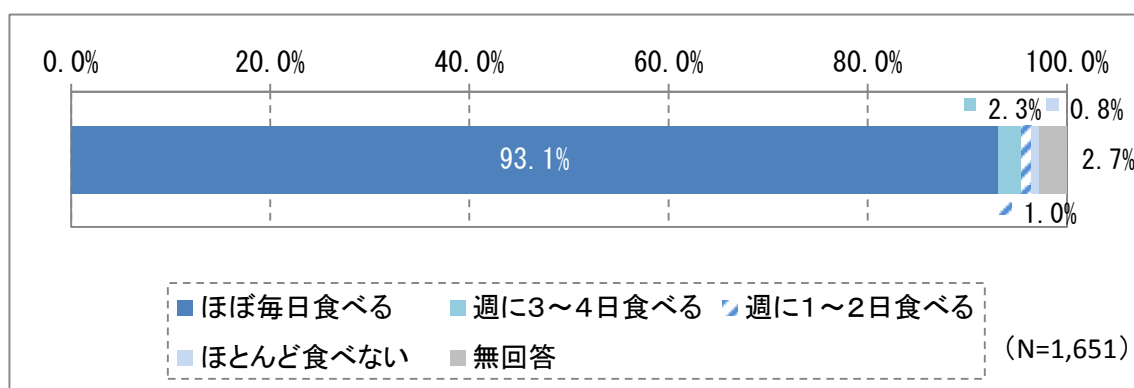
学校や友達のことなどの会話機会をみると、「よく話す」65.8%、「時々話す」28.6%、「あまり話さない」2.6%となっている。



(2) お子さんの朝食摂取状況

問26 あて名のお子さんは毎日朝食を食べますか。(○は1つ)

朝食の摂取状況をみると、「ほぼ毎日食べる」が93.1%となっており、1日でも朝食を抜くことがある子どもは全体の約4%となっている。

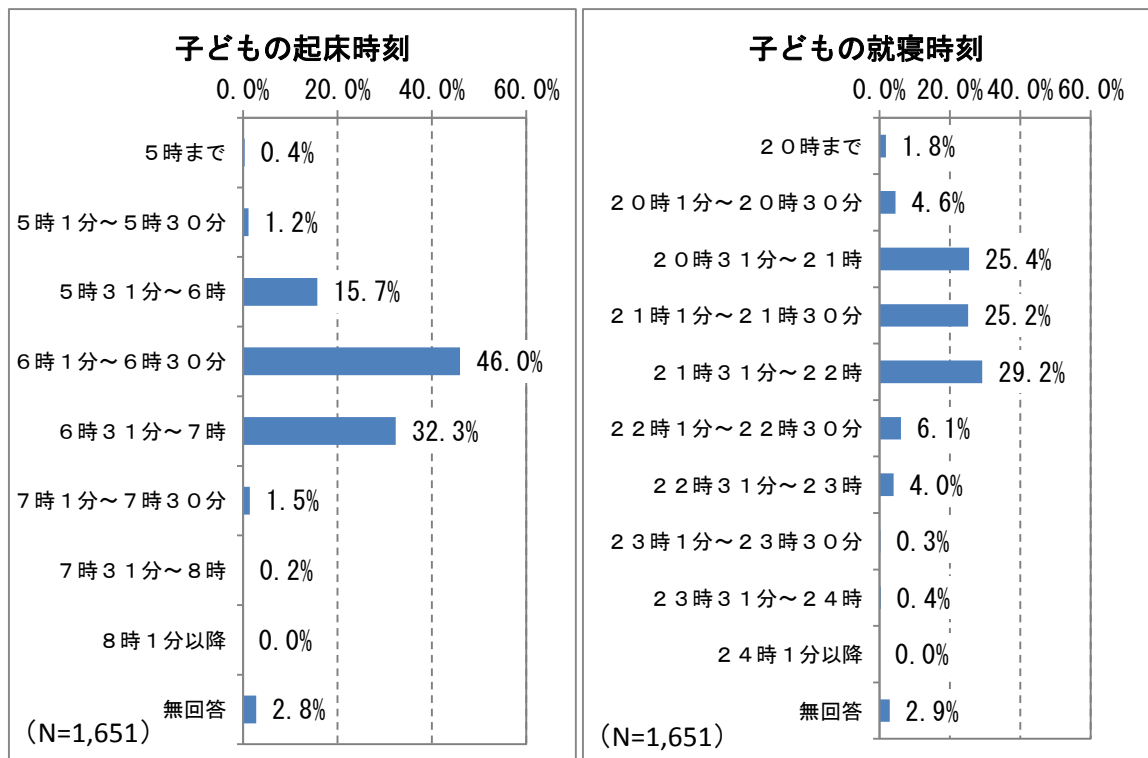


(3) お子さんの平日の起床時間と就寝時間

問27 あて名のお子さんの平日の起床時刻と就寝時刻を教えてください。

平日の起床時刻をみると、「6時1分～6時30分」が46.0%と最も多く、次いで、「6時31分～7時」32.3%、「5時31分～6時」15.7%の順となっている。

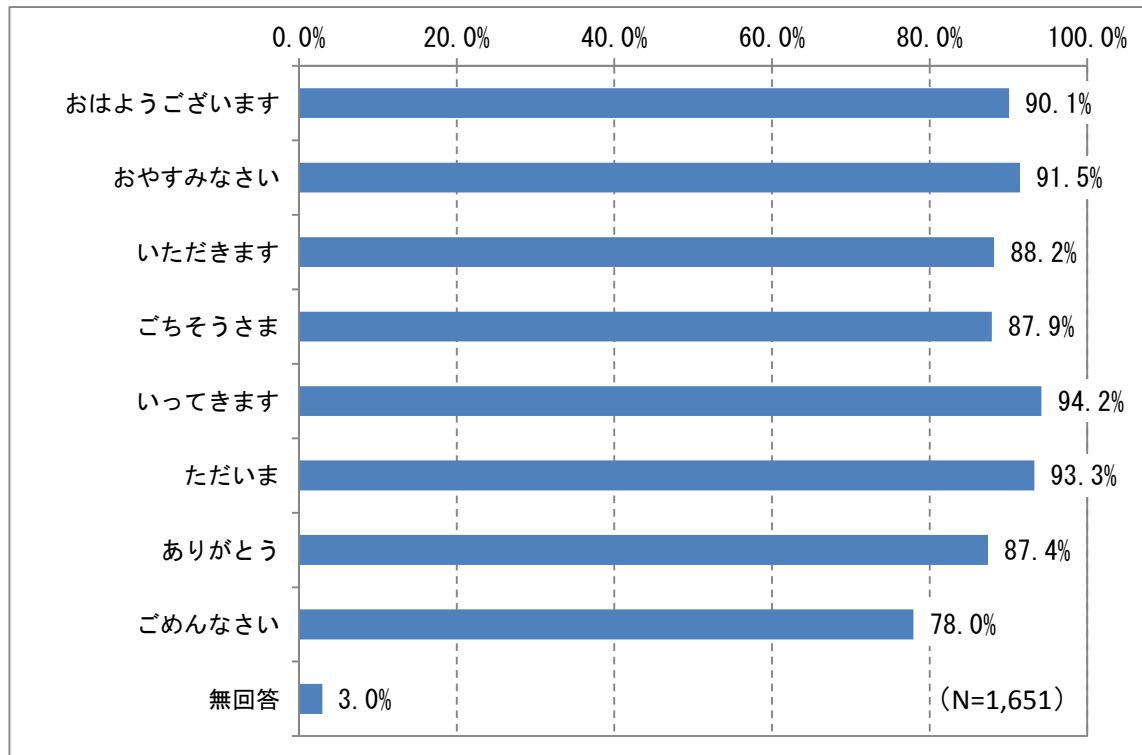
平日の就寝時刻をみると、「21時31分～22時」が29.2%と最も多く、次いで、「20時31分～21時」25.4%、「21時1分～21時30分」25.2%の順となっている。



(4) お子さんのあいさつ状況

問28 あて名のお子さんはどれくらいあいさつができますか。
(できるものすべてに○を)

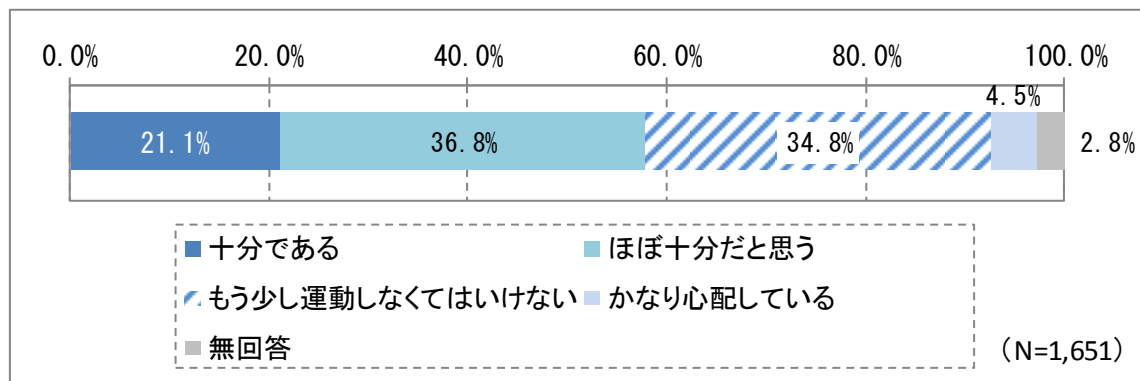
あいさつの状況をみると、概ね8割以上できているものの、「ごめんなさい」は78.0%と他のあいさつと比べると少なくなっている。



(5) お子さんの運動量

問29 あて名のお子さんの運動量について、どう思いますか。(○は1つ)

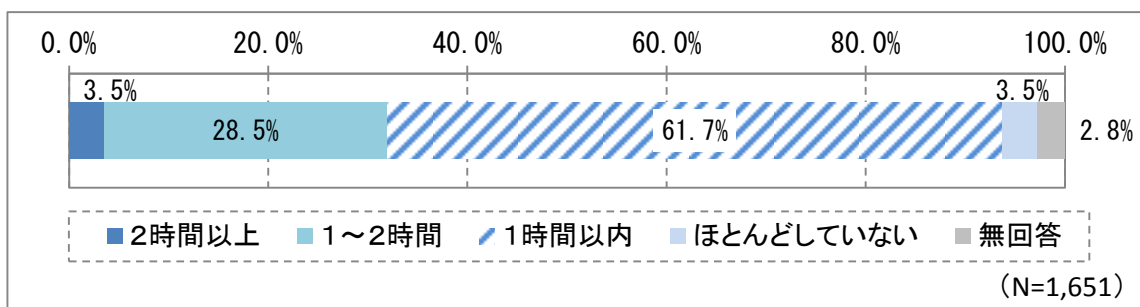
運動量をみると、「ほぼ十分だと思う」が36.8%と最も多く、次いで、「もう少し運動しなくてはいけない」34.8%、「十分である」21.1%の順となっている。



(6) お子さんの平日の勉強時間

問30 あて名のお子さんの平日の勉強時間を教えてください。(○は1つ)

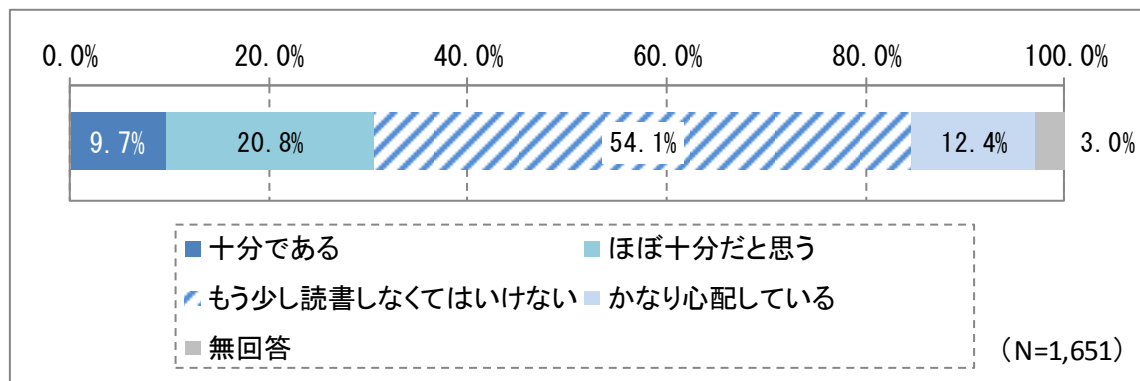
平日の勉強時間をみると、「1時間以内」が61.7%と最も多く、次いで、「1～2時間」28.5%、「2時間以上」「ほとんどしていない」3.5%の順となっている。



(7) お子さんの読書量

問3 1 あて名のお子さんの読書量について、どう思いますか。(○は1つ)

読書量をみると、「もう少し読書しなくてはいけない」が54.1%と最も多く、次いで、「ほぼ十分だと思う」20.8%、「かなり心配している」12.4%の順となっている。

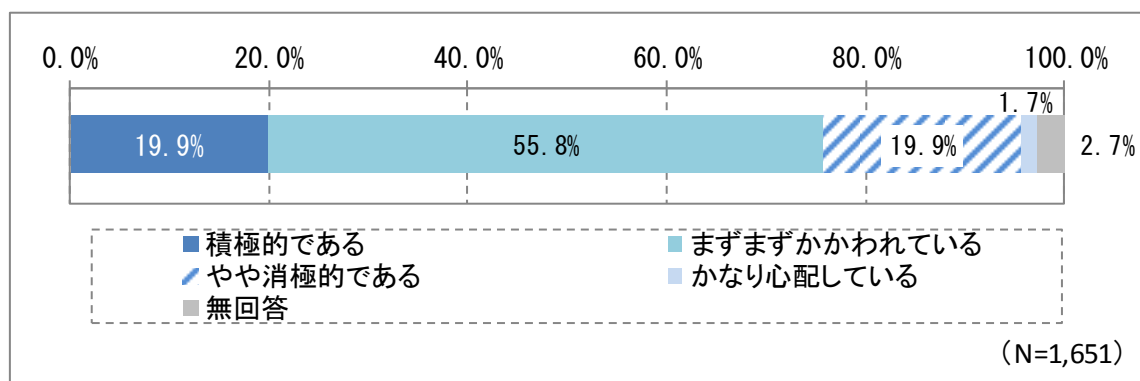


(8) お子さんの地域活動への参加状況

問3 2 あて名のお子さんは、近所や地域の人とかかわり合っていますか。

(遊んだり、行事に出たり、ふれあう活動に積極的に参加する等) (○は1つ)

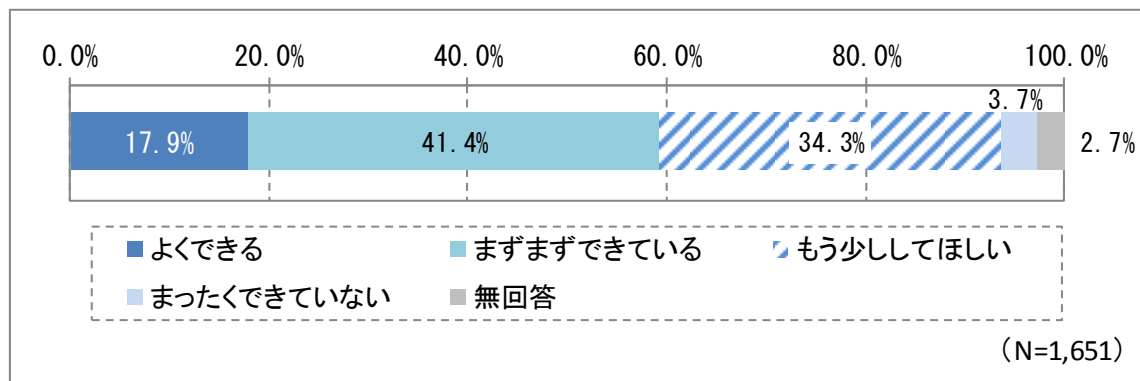
地域活動への参加状況をみると、「まずまずかかわれている」が55.8%と最も多く、次いで、「積極的である」19.9%、「やや消極的である」19.9%、「無回答」2.7%の順となっている。



(9) お子さんのお手伝い状況

問33 あて名のお子さんはすすんでお手伝いをしますか。(○は1つ)

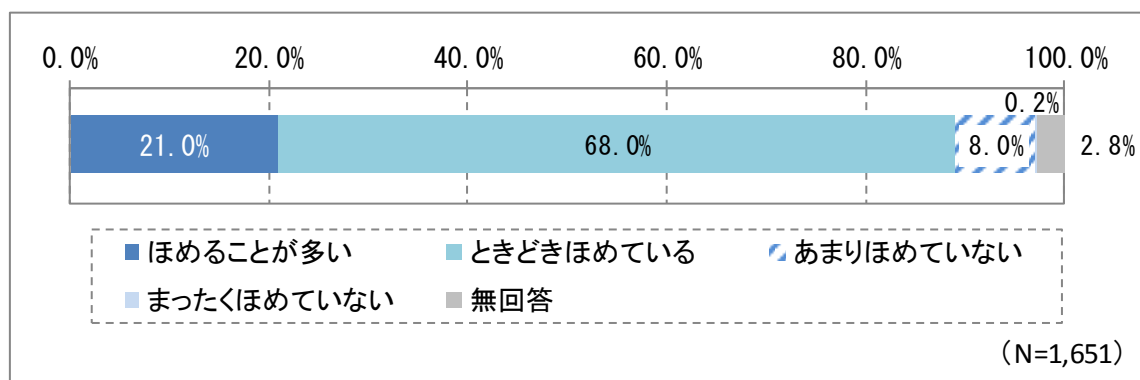
お手伝いの状況についてみると、「まずまずできている」が41.4%と最も多く、次いで、「もう少ししてほしい」34.3%、「よくできる」17.9%の順となっている。



(10) お子さんを褒める頻度

問34 あて名のお子さんを、よくほめますか。(○は1つ)

褒める頻度についてみると、「ときどきほめている」が68.0%と最も多く、次いで、「ほめることが多い」21.0%、「あまりほめていない」8.0%の順となっている。



V 自由意見のまとめ（就学前児童）

◆保育園について

保育園の定員/申込み	回答数
仕事をしたい（復帰したい）が保育園の定員がいっぱいで入れない。定員（クラス）を増やして欲しい。待機児童がなくなるよう努めて欲しい。	30
（途中入所でも）希望の保育園（最寄り等）に入りやすくして欲しい。上の子どもと下の子どもを一緒に保育園に入れて欲しい。	22
保育園を増やして欲しい。給食センターを作る前に保育園を増やした方が良い。	5
職場の近くの保育園に預けたい。市外の保育園に入れるように連携して欲しい。	2
母親が働いていなくても（パートでも）保育園に入園させて欲しい。	2
保育園の申込み手続きが難しい（面倒）。年度途中で申請したが入れず、年度初めに入る際に再度申請が必要等。	2
近所に祖父母（子どもの）がいるため保育園に預けられない。	2
保育園の申し込み期間を教えてほしい。保健師さんの訪問の時や検診の時に指導してもらえるとありがたい。	1
職場での保育施設が増えて欲しい。	1
保育園の申込み時期を早めて欲しい。保育園に4月以外でも入園できるよう検診時などに予約を取らせて欲しい。	1
保育園に入れるか不安。	1
人口に応じて保育所・幼稚園の増設・廃止を検討して欲しい。	1

保育料の負担軽減	回答数
保育料が高いため負担を軽減してほしい。	11
子どもの数に応じて負担の軽減をして欲しい。2人目または3人目以降無料など。	3
父親が単身赴任中や親の介護中など、事情に応じて保育料の軽減を検討して欲しい。	2
保育料が高くなるため仕事ができない。	1
母子・父子家庭等の保育料減免措置は助かっています。	1
保育料が高かったため転園した。	1

保育園の内容	回答数
保育園一時預かりの定員、回数、先生の数等を増やして欲しい。	5
保育園の一時預かりの予約を前日（直前）でも可能にして欲しい。	5
保育園も小学校との交流をして欲しい。	4
保育園でも教育的な要素を取り入れてもらいたい。	2
保育時間の延長をしてもらいたい。	1
保育時間が19時までとなっている理由が知りたい。	1
昔より父親の育児参加が増えてきたが、まだ足りないと思う。	1
保育園でも懇談を行って欲しい。	1
保育園によって対応が異なるので、市内の園の方針を統一して欲しい。	1

◆幼稚園について

	回答数
3年保育にして欲しい。	52
P T A活動や親が参加する行事が多いため、仕事をしていると入園させたくても難しい。行事は土日に実施して欲しい。	15
預かり保育を充実させて欲しい。 （早朝預かり、一時的な預かり、土日・夏休み・冬休み等の預かりなど）	8
認定こども園を早く作って欲しい。（作ってもらいたかった）	7
仕事をしている親も預けやすいよう保育時間を延長して欲しい。	5
園庭開放など来年入園予定の子どもが慣れる機会を増やして欲しい。	4
保育園だけでなく幼稚園も子どもの数に応じて保育料の軽減をして欲しい。	3
半日しかみてくれない日が多すぎる。 （4月、7月、3月が毎日半日しか預かってもらえない）	3
2クラスに分ける基準を緩めて欲しい。 人数が多いと目が行き届かないのではないかと不安。	2
通常の幼稚園が終わった後に習い事教室を開いて欲しい。	2
幼稚園と保育園の先生が異動で行き来する理由が知りたい。	2
保育園と幼稚園の違いを教えて欲しい。	2
年長になったら同じ小学校に行く子同士の交流があるとよい。	1
給食の回数を増やして欲しい。	1
参観日に下の子を連れて来ないように言われたが、預ける人がいない場合は困る。	1
幼稚園に赤ちゃんを連れて行くと滞在時間が長い場合、授乳に困る。	1
幼稚園は教育に力を入れてくれるので子どもがいろいろ吸収して帰ってくるのはありがたい。	1
どの幼稚園でも当日、延長預かりをお願いできるようにして欲しい。	1
幼稚園の預かり保育は18時まで預けにくいと聞いた。	1

◆幼稚園について

	回答数
祖父母参観の時間が長い。高齢者にとっては重荷に感じる。	1
決められた日時以外にも参観できるようにして欲しい。	1
教育内容をもう少し充実させて欲しい。	1
共働きが増えていることにより保護者の行事が少なくなって少し残念に思う。	1
一日も早く、皆が幼児教育を受けれるようになることを望む。	1
幼稚園に子どもを送ったあとに、空き教室を利用して親同士が交流できる場（サークルなど）があれば良い。	1
幼稚園の選択肢が少ない。	1
市長が幼稚園より保育園に力を入れている理由が知りたい。	1
鴨方東幼稚園の駐車場を整備して欲しい。	1
幼稚園の先生に対しても時間外手当や早番システムが必要では。	1

◆幼保一体化について

	回答数
幼保一体化を早く進めて欲しい。	8
働いていないお母さんに、役員など負担がかかりすぎるのでは。	2
就学前の集団生活、幼稚園教育の必要性は大いに感じるが、3歳未満の子との異年齢交流にも限界があると思う。小さい子への思いやりの気持ちを育てられるメリットなどもあるが、それ以上に行動の制限や遊びの展開の難しさなど学びに対するデメリットが多い。	1
幼稚園、保育園どちらにもメリットがあるようになれば良いと思う。	1
幼稚園と保育園では特色が異なるため求める内容も違う。	1

◆子どもを預けるところについて

	回答数
仕事の有無に関わらず、自分が病気のと看やリフレッシュ目的などで子どもを預かってもらえる場所を増やして欲しい。	8
子どもが馴染めないなど精神的負担が少なく、親も休めるような場所があると嬉しい。	1
障害児の日中一時預かりについて見守る人員をもう少し増やして欲しい。	1
不定期の就労のため休日保育や年末年始の保育があれば助かる。	1
一時保育・病気の子を見てくれるサービスがないのがビックリ。半日でも安心して預けられる所があればすごく助かる。	1
途中入園や一時保育ももう少し入りやすいといいと思います。	1

◆病児・病後児保育について

	回答数
病児・病後児保育がなくて困る。病児・病後児保育をして欲しい。	8
仕事をしているので病気のとくに子どもを預けるところがない。病児・病後児保育があれば仕事がしやすい。	7
現在通っている保育園に病児・病後児保育があれば助かる。	3
小児科専門の医師と連携して病児保育の受入が可能な施設を作ってもらいたい。小学生も対応してもらいたい。	1
病後児保育に登録しているものの38℃以上の熱が出ることが多いので利用できない。	1

◆子育てについて

子育てしながら働きやすい環境づくりについて	回答数
仕事しながら子育てすることが難しい。子育て支援を充実させて欲しい。	10
子育てを理解してくれる職場・求人が少ない。子どものいる社員に対する支援を企業へ呼びかけて欲しい。(帰宅時間を早めるなど)	8
仕事が決まったのに保育園に入れず困った。保育園に入れないので仕事ができない。	6
母親もフルタイムで働きやすい環境を整えて欲しい。	5
フルタイムで働いているため幼稚園に行く場合、PTA活動などをこなせるか不安。	2
育児休暇を取りやすい環境にして欲しい。働きたくても働けない。	4
職場に育児休暇の制度がなく、仕事を辞めなければならなかった。	2
保育園の受入がなく育休を延長している。職場復帰の時期が遅くなると戻りづらい。	2
幼稚園の給食日数を増やし、保育時間を延長したらパートに出られる。幼稚園は働く保護者には無理がある。	2
育児休業中の住民税を減額して欲しい。	1
仕事が決まっていなくても延長保育等を利用できるようにして欲しい。時間がないと仕事が見えない。	1
仕事と家庭が両立できる環境づくりもとても重要ですが、なぜ、共働きをしている夫婦が多いのかその根底から見直して欲しい。	1

◆子育てについて

子どもの遊び場について	回答数
公園を増やして欲しい（公園が少ない）。（小さい子でも安心、遊具が充実、ボール遊びができるなど）	20
金光、佐方に広い公園が少ない。	12
市外の公園に通っている。（矢掛公園、玉島の公園、里庄のつばきの岡公園、三ツ山スポーツ公園など）	5
小さい子どもには危険が多い公園がある。（天草の公園、円山公園）	5
公園の整備や掃除をして欲しい。	5
室内型公園があると雨の日、夏場の暑さが厳しい時期も遊びに連れて行ける。	1
高齢者の方がグラウンドゴルフをしている広場に鉄棒や砂場を作り、幼児から高齢者まで全員が遊べる広場を作って欲しい。	1
周りに危険が多すぎる。外遊びをさせづらい。	1

室内の施設（児童館等）整備について	回答数
雨天時でも室内で遊べる施設（児童館等）を作ってほしい。市外の児童館に通っている。（笠岡、玉島、倉敷のような）	22
色々な場所に授乳室、おむつ交換台を設備してほしい。（男子トイレにもおむつ交換台を置いて欲しい）	6
洋式のトイレを増やして欲しい。子ども用のトイレを充実させて欲しい。	3
いつでも利用できる児童館があると良い。	3
飲食の持込み可の施設が欲しい。	2
金光支所にも子ども用ベッドがあると、記入などする時に助かる。	1
明徳の東会館で行っている小学生向けの勉強会とても助かる。「硬筆」と「習字」の学習会もぜひ週1回でいいので行って欲しい。	1
金光さつき図書館の読み聞かせに行きたいが時間が合わない。	1
金光さつき図書館の授乳室は夏は暑く、冬は寒くて使えない。	1
子どもが自由に本を選べる図書館を作って欲しい。小さな子どもに静かにさせるのは難しい。	1
図書館に子どもの本を増やしてほしい。	1
鴨方の図書館のトイレにオムツを替える台を置いて欲しい。	1
図書館が土日祝日に閉まっているのが残念。	1

◆子育てについて

道路整備について	回答数
歩道がなかったり、ガードレールが子どもを守る高さではなく、子どもを安心させて歩かせるところが少ない。	3
街灯を増やしてほしい。	2
ベビーカーで通りやすい段差のない道路にして欲しい。	1
鴨方インターへの道は交通量も多く、トラックもスピードを出して走っているのに信号が少なく危険。	1

病院について	回答数
産院が近くにない。（困った、不安だった、心配等）	19
子どもが急病の時など夜間や休日に診てもらえる救急病院が近くにない。	3
出産後も、上の子供達と病院と一緒に泊まれるような産婦人科があったらとても嬉しい。	1
救急で診察してくれる病院が少なすぎる。場合によっては別の病院へと言われ、結局倉敷市の病院まで行かなくてはならなかった。	1
病院の小児科が少ない。大きい病院でも予約がないとすぐみてくれないとかで困る。	1

◆市への意見・不満等

つどいの広場のびっ子	回答数
開館日数を増やして欲しい。開館時間を延ばして欲しい。	10
金光や寄島地区にも欲しい。もう1か所増やして欲しい。	7
敷地が狭い。もっと広げて欲しい。	2
遊具やおもちゃが少なく行っても退屈することもある。	1
マナーの悪い親がひんぱんに来るようになり、行くのをやめた。	1
先生がよく来ている（と思われる）お母さんとばかりお話をされて時々行ってもなかなか相手をしてくれなかったのが、行きづらくなってしまった。	1
何度か利用しているが、狭いし、トイレなどの衛生面があまり良くないから、行くのをやめている。	1
それぞれ年齢に応じたサークル的なものがあるといいのではないか。	1
0才児専用の時間（保健師がきてくれた）がなくなった理由を教えてください。	1
休みのときは別の場所で同じようなことをして欲しい。	1

◆市への意見・不満等

検診・予防接種等について	回答数
おたふく、水ぼうそう、インフルなど絶対受けた方がいい予防接種は無料化（助成）して欲しい。	6
検診や予防接種の案内を年齢ごとに時期、種類等、その都度各家庭に送って欲しい。（案内が来ない・遅いなど）	5
市で行われる幼児、乳児検診の時間がちょうどお昼寝で眠たい時間のため午前に変えて欲しい。	4
市の検診で待ち時間が長すぎる。	2
マタニティクラスの回数を増やしてほしい。	1
検診時など臨時バスのようなものを準備してもらえると助かる。	1
ひよこ会の会員が減少しつつあるので健診などでPRしてもらいたい。	1
離乳食教室の回数を増やしてほしい。	1
母乳育児のために母乳相談の回数（補助）を増やして欲しい。	1
倉敷市にあるような産褥入院への補助もして欲しい。	1
健康センターの検診回数も少ないので増やしてはどうか。	1
予防接種、検診できる施設が少ない。	1
1歳検診なのにまだ10ヶ月だったり、年齢の幅が広く親が望む健診等にならず、不便だなと思う。個人でかかりつけ医で診てもらった方が、きめ細かい健診を受けることができ、相談もしやすいと感じた。	1
妊婦歯科検診を無料化して欲しい。	1
3か月、1歳、1歳半健診など、2か月まとめてではなく、その月齢ごとに行って欲しい。	1
障がい児の就学前健診は時間をずらしてくれるなど配慮をしてもらえるとありがたい。	1
鴨方東小の就学児検診はなぜ1日もかかるのか。朝集合して10時半解散、午後1時集合、3時半解散なんてばからしい。他校はすべて午後のみなのだから働いている親のことも考え、また他の親にとってもこんな1日もかかり、2回も学校へいく就学時検診はやめてほしい。	1

◆市への意見・不満等

医療費について	回答数
15 歳まで医療費が無料なのは助かっている。	11
医療費の無料化を 18 歳まで延ばして欲しい。	1
医療費の助成はありがたいが、市の財政を圧迫していないか不安。	1
医療費の助成はありがたいが、そのせいで大したことなくてもすぐに病院へ行く人が増えていると思う。	1

アンケートについて	回答数
同じ内容のアンケートを一世帯に何通も送る必要ない。郵送代がもったいないし、手間がかかる。	4
質問内容が妊娠出産の時から小学校高学年までと幅が広すぎる。まだ小さいのに小学校に入ってからのことなど聞かれても困る。	4
アンケートが長い。書き方がわかりづらかった。	3
意味がない。これが絶対的意見だと思わないで欲しい。	2
アンケートの結果が知りたい。	1
アンケートの電子化を望む。	1
園を通じて回収は誰が書いたかわかるのでやめて欲しい。	1
色々と要望はあるが、アンケートなどで声を聞いてくれて嬉しい。	1
数値的な結果だけではなく、保護者の生の声をもっと聞いて欲しい。	1
今回のアンケート内容はとても素敵な将来があるのではと感じた。	1
質問の意図がよく分からず回答しづらい問いがたくさんあった。	1

市の取り組み・まちづくりについて	回答数
ふれあいバスを増便して欲しい。	2
赤ちゃんの駅が増えるといいと思う。	
子どもの少ない家族より子どもの多い家族に支援をしてもらえると助かる。	2
発達障害の子供への理解、支援等を充実させて欲しい。	2
子育てについて気軽に相談できる場所があるか少し不安。子どもの様子について心配があるがどこに相談したらよいかわからない。	2
ももっ子カードは利用出来る店等が増えていてもいまいちどう利用するのがよく分かっていない事が多い。もう少しせつかくの良いカードなのだから何かしらで“こんな場所でこんな事が出来る”と新しく作り直すべきだと思う。インターネットで見た事も有るが、正直見にくいし、提供されるサービスについては内容がとても分かりにくい。利用したいと思う反面、利用しにくい現状。施設（動物園など）で、そのカードで無料とかあればもっと魅力を感じる。	2
日曜、祝日など親子で一緒に楽しんだり体験したりするイベントをしてほしい。	2

◆市への意見・不満等

市の取り組み・まちづくりについて	回答数
まずは、保育所などの現場の声を聞いてみるのが一番良いのではないかと。倉敷市や笠岡市で行っているサービスと比較し、どのような点が足りてないか、しっかり見てもらいたい。	2
シングルマザーへの支援にも力を入れてもらいたい。	2
おっぱいマッサージの助成はぜひ続けて欲しい。出生届を提出した時に、期限なしの回数券がもらえるととてもありがたい。	1
市のマタニティクラスでは出産時の呼吸法などを詳しくやらなかったため、いざ出産で“いきんで”って言われた時、呼吸法の練習などやってなかったので呼吸が大変だった。夫（妊婦さんの）も妊婦体験や沐浴指導など教えてもらえる場を作ってもらいたい。	1
マタニティクラスについて、回数が少なく妊婦同士の交流が図りにくい。回数を増やして欲しい。また、働いている人も多いので、できれば何回かは土曜日等で開催してもらおうようにして欲しい。知識を深める事も大切であるが、同じ境遇の方々と交流を深める事も大切だと思う。	1
チャイルドシートやベビーカーなどのずっとは使わない物などを、貸し出ししてくれると助かる。チャイルドシートは社会福祉協議会で貸してくれるが、6ヶ月だけなので、もっと長く使用出来たらありがたい。ゴミの減量にもつながると思う。	1
今年2月に福祉センターでした託児付きの映画「うまれる」は、本当によかった。子どもがいたら映画などなかなか見られないなか、ずっと見たいと思っていた映画が、それも無料で見られて本当にありがたかった。	1
車に貼りつけるマタニティマークを7カ月から配布しているが、母子手帳配布時に一緒に配布して欲しい。	1
育児についてのまとまった冊子をぜひ行政で作っていただき、配布して欲しい。	1
乳幼児受給者証などの書類の提出等の説明が分りづらい。	1
「子育て」する前に母親（父親）学級にもう少し力を注いだ方がよいのでは。	1
他の地域では出産祝い金として1万円もらえる制度があるらしいが、浅口市は無いのでとても残念。	1
子どもの発達相談で支援センターでの療育をすすめられた。そのこと事体は非常に良かったが、手続きが難しく課をたらい回しにされることもあり、職員の方の「障害者」、「精神障害者」という言葉に傷ついた事もあった。発達支援センターの方の対応には大変満足していますが、診断を受けるために笠岡まで行ったり、出産も産婦人科がないなど子育てをしやすいとは言えない。	1
浅口市の子育て支援は厳しい言い方ですが時代遅れだと思う。市の特色はなく幼稚園は2年で小学校に上がったなら児童館など子どもだけで安心して遊べる施設も何もない。保育園も古い考えで現在通っていますがうんざりしている。	1

◆市への意見・不満等

市の取り組み・まちづくりについて	回答数
浅口市にはファミサポがなく、それにかわるものがシルバー人材センターによるシルバーママサポートだとしたら具体的にどんなサービスなのかもっとわかりやすくホームページにも取り上げて欲しい。	1
第2子、第3子を妊娠した場合、一時保育を利用できる無料券等の配布があれば助かる。	1
男の人（父親や父親になる人）の為の講習や気軽に読める本（マンガみたいな）の提供をしてもらいたい。	1
浅口市でもできる限りの子育て支援をしてもらいたいと思う。	1
子育て王国“あさくち”と大きく言っているぐらいなら、もっと親にも子どもにも良い環境を作って欲しい。	1
浅口市が子育て王国と掲げてから、おむつ交換台が増えたことはいい点だと思うが、小さい子とトイレに行くとトイレの個室に2人で入らないといけないが、スペースが狭いなど、まだまだ問題点はあると思う。	1
日頃の市長の言動が合併特債目的の合併だったとしか受け取れない。「子育て王国」と胸を張って言える状況とは2人目の保育料が半額・中学までの医療費免除だけでは不十分であり、保育料・保育時間・保育環境すべてを見直してこそだと思える。市長の選挙目的の美辞麗句にはうんざりだ。	1
子育てしやすい町を目指しているわりに、支援サービスは中途半端で利用しづらい。	1
「こんなサービスをしよう」と計画している」とアナウンスしたのなら、「人数が集まらなかったのでやめます」と、言うべきではなかった。	1
子どもが安心して育てられる地域だと、必ず人は集まってきて活気が出てくると思う。地域の整備を駅周辺だけでなく、住宅（特に昔からある地域）方面にも目を向けて、安心安全な環境づくりをお願いしたいと思う。	1
これからもより良い子育て環境の整った浅口市にしていってほしい。	1
鴨方町は子育てするには、最高の環境だと思う。行政サービスの情報を教えてほしい。	1
現在、ずっと家にいるので全てこれから。これからこうあればよい、こうだからよいなど、思えると思う。	1
今も子育てをしやすい市だとは思いますが、収入が少ない世帯・子どもの多い世帯にもっと優しい制度ができればと期待している。	1
最近の子育て支援は、とても素晴らしいと思う。恵まれすぎて、有りがたみがわからなくなならないように、ムダなく皆さん利用して楽しく子育てが出来たらいいと思う。	1
子どもが安心して過ごせる町づくりをお願いしたい。	1

◆市への意見・不満等

市の取り組み・まちづくりについて	回答数
市長は共働きしやすい市にしますと言っているが、母親が働いていない家庭はどうでもいいのか。母親が働いてなくてもいろいろサービスが受けれたり出来ればと思う。	1
子どもとお年寄りにやさしい住みやすい、居心地の良い所だと感じる。お年寄りの方とふれあう企画も期待している。	1
週末に園以外で就学前の子たちを対象とした運動などのイベントを企画して欲しい。他の園の子どもたちのふれあいをもつようなイベントをして小学校へ入学した時に、知らない顔が多いよりは知っている顔＝遊んだことがあるというような認識があれば学校生活が楽しくなるのではないかなと思う。	1
新しい有料のサービスを増やす事だけを考えず既存の環境の中で充実できる事を実現させていく方が、コスト的にもサービス内容の完成度的にも良いと思う。不要な箱や人に金をかけるくらいなら、将来の子ども達のために、ストックしておいて欲しい。専門性のないスタッフ配置をしたサービスは誰も求めている。	1
地域の人達で子どもを守ろうという意識がない。浅口市全ての地区で、見守り隊などの実施をして欲しい。一部の地区でしか実施していない。子育てに関するボランティア活動などを実施したら補助金など出してはどうか。	1
保育園ばかりでなく、幼稚園教育にももう少し力を入れて欲しい。	1
子どもをのびのびと育てるためには園のサポートがまだまだ必要だと感じる。子育て中のお母さんが望んでいる事、現場の声がもっと届くとよいと思う。	1
子育て支援には大変感謝している。不平不満を持っているママさんにたまにお会いするが、今あるサービスを上手に利用していれば毎日、楽しく過ごせるように思う。	1
子育て支援を考えるなら今の制度に加えて親がもっと優遇されるサービスを考えて欲しい。保育料も医療費も高すぎて親が病気の時、体をリフレッシュしたい時使えるお金がない。	1
子育て中の保護者は、支援センターや公園などの環境を利用しながら周囲とのつながりを大切にしたいとする人が多いと思う。	1
初めての出産、子育ては親として初めての体験だけど生活する場所によって、支援のレベルに差があると感じる。子育てをする親育てが必要ではないか。知らなかったという事が意外に多いのでは。	1

職員について	回答数
保健師に対する不満（保健師によって言うことが違う、答えになっていない回答が多い、親身になって聞いてくれない、言い方・態度が悪い、のびっ子について聞くと行ったことないからわからないと言われた 等）	9
子育て支援課の対応の悪さをなんとかして欲しい。具体的に窓口対応の悪さ、声が小さい、こちらを見ていない、言葉遣いが悪い、連絡が遅すぎる。すべて社会人として基本的な事。以前もご意見させてもらったがかわっていない。	1

◆市への意見・不満等

小学校について	回答数
学校で使える研修バス（スクールバス）があったら、どこへでも見学に行けて勉強になると思う。小学校から家が遠い子ども用にスクールバスがあると助かる。	4
小学校にも冷暖房がつくとありがたい。	1
小学校の学力の問題、岡山県は下から数えたほうが早い。	1
小学校の参観日、学芸会などの行事と幼稚園の給食のあるなしの連携がまったく取れていない。	1
小学校の登下校の時間に老人会の方々で見守りをお願いしたい。	1
学力向上も結構だが、それ以前の基礎を身につける施策がまるでなされていないと思う。	1

◆放課後児童クラブについて

	回答数
必要なときに利用できるシステムにして欲しい。（長期休暇中など）	7
希望（必要）がある人は小学6年生までみてもらいたい。	2
今後、小学生になって学童保育を利用する事になるかとは思いますが、希望通り利用できるのか心配。	2
放課後児童クラブの利用料が高い。	2
色々な体験などが出来ると良い。（色々な職業の人の話が聞けるなど）	1
放課後児童クラブへ入る際に65歳以上の祖父母のいる家族は診断書等を必ず提出しなければいけないのか。低学年（1～3年）までは希望する家庭（フルタイムや仕事が遅い理由）は入れて欲しい。	1
放課後児童クラブに関する情報はどこで入手したらよいのか不安。	1
低学年のうちは学童保育の必要性が大きいですが、利用希望者数に対して施設が狭く入所しにくいし、入所できても環境が良くない。	1
校区によって放課後児童クラブの時間が異なることに不満がある。	1

◆放課後児童クラブについて

	回答数
放課後児童クラブでみてもらえる時間が短い。	1
4年生くらいまでは利用したいと思っている。	1
高学年になっても利用したい。	1
学童保育も学校や園が個人情報だからと切りはなして考えているが、子どもを預かる延長なのだから情報の共通や意見交換などをしてほしい。	1

◆その他

	回答数
満足している。	2
ちょっとした不安や疑問を電話で相談したい。	1
赤ちゃんの駅といっているが、きちんとできてない所が多いのでは。	1
マルナカに子ども用カートがないので不便を感じたことがある。	1
家の近所にお友達が少ない。	1
警報が出たら学校がお休みになるが、仕事は休みにならないので困る。	1
いけないいけないと思っていてもつい怒ってしまい、自己嫌悪に陥ってしまう。もっと気持ちに余裕を持てるようになりたい。他のお母さんたちを見ると、はつらつとしているのにとあってまた自己嫌悪の毎日。	1
子育てについて気軽に相談に乗ってもらえる場がもっと増えるといい。	1
子連れでも気軽に入れるお店などが浅口市にはない。	1
3人乗り自転車の貸し出しがあればよかった。	1
P T Aの活動は何のためにやっているのか。子どもと接する時間を削って、P T A活動をして何になるのか。必要性を感じる人が少ない活動はやめてしまうべき。	1
おむつやおしりふきの自動販売機があったらとても便利だと思う。少し出掛ける際の荷物が減って、外出するのがおっくうにならないと思う。	1
サンパレア内の施設を利用している人がいるときはエアコンをつけて欲しい。	1
金光竹小学区の都市調整区域をなくしてもらいたい。	1
職場の託児所を利用している子どもは、市営以外の保育所の一時預かりを利用できないという取り決めが納得いかない。	1
浅口市が合併した事により寄島の保育園の制服等を今後統一して欲しい。	1
早く工業団地を作って欲しい。所得や雇用環境が改善すれば、子育て環境も充実すると思う。	1
買い物にいく時、3ヶ月の赤ちゃんでもOKのベビーカー（買い物用）を置いているスーパーとないところがあるので、市の協力ですべてに設置して欲しい。	1
子ども同士も幼稚園組からのつながりが少なからず人間関係に影響しているようにも思う。子どもの事を考えると、幼稚園入園→小学校が望ましいと思う。	1

VI 自由意見のまとめ（小学生）

◆保育園について

	回答数
保育園に入れないので仕事ができない。	2
保育園の年長児→小学校との交流と幼稚園児（年長の交流）。	1
以前、保育園入園希望で窓口に行ったが、対応された方（女性）がとても不親切に感じ、入園をあきらめた。	1

◆幼稚園について

	回答数
集団生活や行事だけでなく3才から読み書き計算（学習）のできる幼稚園が地域内にあれば利用できるのと思う。	1
幼稚園も毎日預り保育は入れる必要がない人も日払いで、その日だけとかみてもらえると助かると思う。	1
幼稚園までは外で遊んで、工作、絵を書いたりとたくさんするけど、小学校に行ったらずっと席に座って1日中勉強になるので、その切り替えが難しかった。	1
もう少し幼稚園に預けやすい環境にして欲しい。（役員の仕事量が多い、お弁当の日は小学校と合わす 等）	1
幼稚園離れが進む原因として8:15～しか受け取ってもらえないということもあると思う。また、幼稚園での役員というのが働く保護者にとってとても大きな負担になっている。月の行事も多く月に何度も出なくてはいけない＝仕事を休まなくてはならない。子どものためなのだからと思うかもしれないがそう簡単に休みをもらえる仕事ばかりではない。市長さんがいろいろ考えてくれるのはありがたいが、「現場の声」をもっと拾ってもらった上で実行してもらいたい。	1
私立幼稚園の補助金制度は、年収とかに関係なく、子どもの多い家庭には、同じように助成して欲しい。	1

◆認定こども園について

	回答数
早く認定こども園を作り、幼稚園が終わった後、放課後だけ保育園が利用できるようにして欲しい。	1

◆子どもを預けるところについて

	回答数
日曜日・祭日など休みの日も預かってもらえる施設を増やして欲しい。	4
長期休暇のみの預かりを利用できるよう検討して欲しい。	2
週末（金曜から土曜、または、土曜から日曜）の24時間保育をして欲しい。	1
急用や病気の際に預かってもらえる場所があると助かる。	1
下の子が1年生になったので、パートに出ようと思っているが、長期休暇時に子どもをどうするか心配。下の子は1年なので、学童で預かってもらえると思うが、上の子は4年なので、上の子だけ自宅？となってしまうのか。他の家庭ではどのようにしているのか本音が知りたい。私の希望は2人とも学童に預けたい。	1
子育てと仕事は同じ様に大切だが、特に夕方の時間のサポートが充実していれば皆さんもっと安心して生活できるのでは？と思う。シルバーさんに頼みたいと思うが、急すぎたりで連絡も難しかったり、わかりやすく頼みやすい助っ人がいれば安心できる。	1
子ども達を留守番させるのは、不安だし、かといって児童クラブやベビーシッターに子ども達を預けてまで働くのは家族に反対される。予算もかかるし。働きたくても働けない状況にある。	1
小学校の預かりを利用しているが、延長でお金を取られるのは厳しいものがある。迎えが遅くなると延長料金がかかると思うと、仕事が済んで慌てて迎えに行かなければならないし、何のために仕事をしているのか分からなくなる。	1
寄島町はいるかの家が唯一の子どものデイサービスの場所だと思うが、いつも満席で空きがない。もっと身近に利用出来るデイなどがあればいいと思う。	1
医療を伴う子ども達の行き場がないのでケアを行ってもらえるデイサービスがあるとありがたい。	1

◆病児・病後児保育について

	回答数
病児保育があれば働きやすい。助かる。	6
小学生でも利用可能な病児・病後児保育を作って欲しい。	1
病児保育や病後保育を充実させるのではなく、病気の子どもの親が側にいてあげれる制度を作って欲しい。職場から「病児保育に預けたら？」「病児保育に預けて（仕事）きて」と言われる。病気の子どもの人を預けてまで仕事をしたくない。	1

◆子育てについて

子育てしながら働きやすい環境づくりについて	回答数
子育てに理解のある職場が少ない。学校行事に仕事を休みづらい。子育てに理解がある人や会社が増えてくれたら助かる。短時間労働できる会社を増やして欲しい。子育てのために仕事を合わせられるような社会ができればいい。	10
警報がでるとすぐ学校（放課後児童クラブも同様）が休みになるのが仕事をしていると困る。	6
共働き世帯が安心して働くことができるよう、放課後児童クラブの環境を整えて欲しい。（早朝預かり、時間の延長、長期休暇中の預かり 等）	3
私の場合は職場の理解があり、大変助かった。行政サービスよりも、子どもの病気時には、休みをいただける環境がなによりだと思う。	2
子どもがいればいるほど働くのが難しかったりお金もかかる。それを少しでも楽になればみんなも子どもを産んでもっとよくなると思う。	1
働いていないと放課後児童クラブ（学童）に入れないので、働きたくても働けない。働く親にも良い環境を作って欲しい。長期休暇中に留守番させることが心配で仕事もできない。	1
保育園は保育料が高いし、幼稚園は時期によって午前保育が多すぎるため仕事がしづらい。	1
仕事をするお母さんが増える環境は決して子育てにいいとは限らない気がするが、もっと子育てに意識を向けられるような親の成長を見守られるような環境であって欲しいと願っている。	1
どんなきれいな事を並べても日本は男が外で働き女は家を守るという風土は結局何も変わっていない。それどころか女が外で働かなければ家計が苦しい時代になったのに表向きだけ男女平等を叫び女ばかりが割をくっているのが現実だ。外でも働き家でも働き子供の世話をし悪さをして怒れば虐待と言われ正直やってられないと思うことも多々ある。もっと父親をそだてる教室を開くなり意識を変えていってもらえるようにすることが本当の意味での支援ではないか。	1
各学校区内に学校用品（文房具）の取扱店があるとありがたい。また、仕事帰りに寄れるような時間まで営業して欲しい。	1

◆子育てについて

子どもの遊び場について	回答数
(広い) 公園が少ない。子どもだけでも安心して遊ばせられる場所が欲しい。家にたまってゲームばかりするようになる。(里庄や勇崎のような) 子どもが遊びたいと思える遊具がある公園を増やして欲しい。	19
金光町(大谷地区)にも子どもが遊べる公園や施設(プールなど)を増やして欲しい。	5
遊具が古くサビだらけなので公園の整備をして欲しい。公園をキレイにして欲しい。トイレを完備して欲しい。	3
自転車が乗りまわせるような公園がほしい。	2
高齢者の方とふれ合い学べる機会や場を、もっと増やしてもらいたい。	2
今年、子どもが自由に遊べる広場ができたので野球、サッカーなど体を動かす遊びができるようになった。	2
丸山公園は山の上で子どもだけでは遊びに行かないし、危険。子連れで親友達同伴でも、選ばない。	2
子どもが乳幼児だった頃には、安全に遊べる遊具のある公園がなかったが、最近、丸山公園にそういうエリアができて良かったと思う。	1
子どもが公園でボール遊びができる環境を整えて欲しい。	1
八重には遊具のある公園がないので不便。	1
鴨方は公園がめぐまれていると思う。	1
子どもの力でもっと好きなことができる施設があればいいと思う。	1
近くにちびっこ広場があるが、遊具が汚いと言ってあまり遊びに行ってくれない。	1
子どもが自然とふれあいながら遊べる場所が(安全な)もっとたくさんあるといいと思う。	1
子どもが集まる公園に高校生の子がいて、少し心配、遊びづらそう。	1
天草公園は道路に面しているので危険だと思ふことがある。	1
天草の所に公園が出来たが地域にもう少し公園があると良いなと思う。	1

室内の施設(児童館等)整備について	回答数
放課後や長期休暇中に天気を気にせず、子どもが安心して遊べる公民館・児童館などが欲しい。飲食やおしゃべり、カードゲームなどをしても大丈夫な施設があるといいと思う。暑さや寒さが凌げる施設を作って欲しい。	27
(温水) プール施設があればいいと思う。プール教室をして欲しい。	3
学校の図書室を勉強用に開放してもらいたい。(長期休暇中など)	2
図書館をもっと利用しやすくして欲しい。少し大きな声を出しただけで注意される。	2

◆子育てについて

通学路について	回答数
竹小学校区、下竹～八重へ変える通学路、川を挟んで車道ではない方の土手を帰るのだが車道側に木が茂るようになり子どもが見えなくなった。安全面からも早急に川沿いの木を切ってほしい。唐船の車線変更に伴い渋滞がひどくなった。そのため八重の道が抜け道として使われ交通量が増えた。特に朝はスピードを出し子どもがいても徐行しない事が多い。「通学路注意」の看板は設置されたが注意しているドライバーは少ないと思う。香取議員が言っているように玉島方面へ向かう車線を充実させ八重を抜け道に使わせないようにして欲しい。車線変更が無理なら7～9時は制限を設ける、警察官を配置する等の対策を切望します。	1
見通しの悪い所も多く交通事故や痴漢被害が心配。	1
川の整備はしないのか。草は生えっぱなし増水した後、流れてきたゴミもそのまま。里見川も竹川も汚い。（草が生い茂り、中高生が通ってもよく分からず不審者に会う機会が増えているように思える）	1
小・中学生では自転車で行動することが多くなり、危険箇所の点検が気になる。	1
2号線バイパスが佐方まで開通した場合、インターチェンジから、2号線へ通じる道を、子どもたちが横断して通学しなければならなくなるので、歩道橋などで安全に横断できるようにしてもらいたい。	1
通学路が危険。横断歩道の要望を言っても設置してもらえない。ガードレールがない。路側帯があまりにも狭い。街灯がなく暗い。いつ事故が起きても不思議ではない。	1
通学路が危険。道が狭いののに車がスピードを落さずに走る。歩行者と自転車が危ない。子ども達の中の1人が事故にあったら考えてくれるのか。	1
通学路が危ない。車が川に落ちないためのガードレールがあるが、ガードレールの手前側を子ども達は歩かないといけな。車はスピードを出して見えていても怖い。	1
通学路の安全確保につとめてほしい。（ガードレールをつける。縁石をつくるなど。）毎年のように要望を出しているがいまだに実現できてない。事故があってからでは遅い。	1
通学路の車通りが多い。狭い通路なのに車がスピードを出している。本町交差点の辺り。通学の時間だけでも制限して欲しい。	1
みどり丘はお年寄りの方が多く突然飛び出して来たり自動車の運転もすごく怖い。	1
最近、不審情報が多いので心配している。	1
通学の安全を確保してもらいたい（車道）。地頭明～六受間が危険。	1
道路の設備をしてほしい。歩道まで雑草がはえていたり木が覆い茂って街灯が少ないところがある。小学校の通学路ではないが中学生はよく通っている道。日中でも視界が悪く夜はなおさら。一度見に来て欲しい。	1

◆子育てについて

通学路について	回答数
安全に通学できるようにしてもらいたい。車道の安全性。地頭明～六愛間が危ない。	1
市では、通学路の状況をどのくらい把握されているのか。朝、主要道路の抜け道として使用される道路を小学生が歩いていることを知っているのか。歩道の整備について考えて欲しい。	1
鴨方の中心的な場所は、整備が進んでいるが、西の方は、何度幼稚園や小学校で希望を言っても、通学路の電柱の電球は薄暗く、とても危険。周りは竹やぶが覆い茂り、不審者情報も他から聞く中、子ども達が心配。冬の下校時には真暗になる。子ども達の安全を少しでも考えてもらえると嬉しい。	1
学校から家まで距離があり、大人でも大変な道のりを低学年から登下校している。見守りサポートの方々にも大変お世話になっているが、限界も感じている。近年の悪天候や災害等のニュースに不安も増強している。改善案や策を検討して欲しい。	1
小学校への通学路の変更を検討すると言ってもう何年も現状維持のまま。毎年危険と言っても変わらない。	1
子どもが高校生になった時の交通機関に不安を覚える。暗い道を自転車で帰ってる子を見ると、うちの子も数年後はと、とても心配。	1
登下校の歩道を安全に。	1
本町の交差点が通学路なのに車通りがすごく多く子どもが危ないと思う。スピードを出している車が多い。	1

病院について	回答数
病院も小児科とか大きい病院は日にちが決まっていたり予約になってたりして困る。	6
小児科専門医の開設する診療所が少ない。	1
病気になった時の当番医を毎月知っていたい。	1
病院を増やして欲しい。	1
内科や小児科等の病院はいくつかあるが、専門科のある総合病院があれば、とても役に立つと思う。	1
夜間や時間外に急に子どもが病気になったときに診てもらえるような小児科や救急センターが欲しい。	1

◆子育てについて

習い事について	回答数
習い事などの情報が一覧できるような広告が年に一度でももらえると嬉しい。	1
子どもを習い事や塾に通わせたいが、費用が高く無理なので、開放教室など無料で通える所があればと思う。	1
子どもの学習意欲はあるがお金がなくて習い事に通わせられない。子どもがたくさんいると1人の学習能力の維持向上が難しいのが現状。	1
町外の習い事に行くのに交通の便が悪く、仕事をしていると送迎に困る。習い事に行かせづらい。	1
町や各団体で費用が安い教室をしてくれるとありがたい。	1

◆市への意見・不満等

つどいの広場のびっ子について	回答数
のびっ子は、小さい時に利用してよかった。場所の提供、情報交換のきっかけ、アドバイスのできる人員という点で。	1
つどいの広場に入る車の量が多く、なかにはスピードが出てる車もあるので、細い道に入る時に、ひやっとすることがある。また、その場所は以前は小学生（近隣）の居場所で今はつどいの広場ができて小学生の遊ぶ場所がなくなった。	1

検診・予防接種等について	回答数
インフルエンザ等の予防接種、少しでも補助金が出たら助かる。	4
就学時健診の時間を短くして欲しい。（1日または半日。何度も学校に行くのは大変。）	3
何歳までにどの予防接種をして、いつまで無料で受けられるか知りたい。	1
健診等は鴨方でまとめてされるより各町で行って欲しい。	1
3人目の子どもの初めての乳児検診の際、保健師さんに「3人目だから、何も気になることはないですね。」と私が話したいことも話せない状況にして、検診をサッサと終わりにさせられた。他のお母さん方も同じような扱いがあったとのこと。少しおかしいと思う。	1

◆市への意見・不満等

医療費について	回答数
医療費が中学3年生まで自己負担無料は本当にありがたい。	20
医療費を18才まで、無料にして欲しい。	1

アンケートについて	回答数
アンケートが反映されるとは思わない。このようなアンケートを取って意味があるのか。お金の無駄遣いでは。このアンケートが何に活かされているのか、よくわからない。質問の意図もよくわからない。こんなアンケートしても浅口の子育てしやすい町にするのにはまだまだだと思う。	6
アンケートがわかりづらい。学校や保育所経由でアンケートを渡された人は同封の封筒へ入れて返却するのかわかりづらい。	2
こんなアンケートにお金をかけなくても、参観日など懇談会などに職員が参加して話を一緒にするほうがよいのでは。こんなアンケートよりも、市長や、お偉いさん方が日常の学校生活等、見てまわったり、保護者の意見をもっともっと、聞いてほしい。	2
居住地域や学年を記入させるなら匿名の意味がないと思う。	1
集計されたものは、データとして公になるのか。たくさんの選択肢が用意されているが、あいまいにしか答えられない現状もあり、「強いて言えばこれかな」という回答もある。「子育て支援に大きく影響するアンケート」として活用してもらいたい。昨年子育て支援課に返事要としてメールしたが、回答頂けなかった。	1
アンケートは障害者の為アンケート内容に答えが当てはまらないものが多い。学校も支援学校に通っているのでアンケートは送らないでほしい。	1
このアンケートを3人の子ども分書いた。一度にもらえば同時に済んだのにポストに入っていたり幼稚園、学校から持って帰ったり別々の日に手元に来るので3日間子どもが寝てからママタイムをこのために使った。それだけ時間をかけてやったので良い結果を期待している。	1
このようなアンケートを実施して欲しいといつも思っていた。	1

◆市への意見・不満等

相談窓口について	回答数
子育て支援は子どもが小さい時の支援が多いので、これからの親の目が届きにくい年齢になってからの支援や行きやすい相談先がもっとあればと思う。	2
市の相談窓口が色々あるのは知っていても、この程度の事で相談していいのかなと思いつめてしまう。	1
引っ越してきて、浅口市での子育て支援についてあまりよくわからない。子どもが大きくなればそういった支援に相談しにわざわざ行く事はほとんどなくなると思う。行ってみたくても行けないのが現実。	1
学校での友達との接し方が心配で家族での教育をどうしたらいいのか悩んでいる。色んな人に相談しているが本人（子ども）の心の中は何を考えているのか正直分からない事が多い。	1
相談窓口として、健康推進課などがあるなら、どんなことでも、時間をかけて、話を聞いてくれる保健師さんを職員として採用してほしい。	1

母子家庭・父子家庭について	回答数
母子家庭手当での検討。年収だけで振り分けなくて欲しい。給食費、学童利用費の無料、減額など考慮して欲しい。	4
母子家庭に対する配慮がもっと欲しい。給食費免除の手続きなど全く知らなかったし、離婚した際にどのような手続きをしたらいいのか分からなくて、「なにかガイドブックのようなものがありますか？」と聞いたが「ない」との返事で愕然とした。母子手当も給料がほんの少し増えただけですぐに1~2万毎月のお金が減額され、本当に困っている。	1
父子家庭への支援の充実（金銭面）	1

市の取り組み・まちづくりについて	回答数
浅口市は子育て環境に力をいれてくれているまちだと思う。他県の友人から浅口市は子育てしやすいのでうらやましいと言われたことがある。これからも子育て支援に力を入れて欲しい。	6
子どもが大きくなればなるほどお金がいるのに子どもの少ない家と子どもの多い家、その家の収入に応じて支援してもらえると助かる。せめて3人目以降は何かしらのお祝い金等が有っても良いのでは。	3
浅口市になにができるの？	2

◆市への意見・不満等

市の取り組み・まちづくりについてについて	回答数
浅口市内の野焼き、草焼きの煙や煤は町中としては度を過ぎており、子どもの健康にも良くない。環境課に言っても埒があかない。野焼きが多く日々けむりの臭いに悩んでいる。窓を開けていると部屋中に煙が入ってきたり外に干している洗濯物や布団が全部臭くなり大変。子ども達も臭いで鼻炎や鼻閉になり大変困っている。金光町は日々あっちこっちで燃やす人々が多く普通では考えられない悪い環境と思う。	2
子どもの成績面やスポーツ功績など申請制でいいので申請・審査などで支援金を出してもらえたらありがたい。	1
子育てに関する、行事や市のコミュニティが全く情報として伝わって来ないので、ポスティングとかして頂くと助かる。	1
「広報あさくち」は気に入っている。	1
子ども手当を小学生以降も充実させてほしい。	1
子育て環境や支援などを机上で論理あげるような策は必要ない。どんなに良い施設があっても認知されなければ無駄、税金がもったいない。せっかく作ってくれた機関、事業等利用しないままと言われる方が多い。	1
小学校に入るとほとんど親や子どもの交流がないので、市でも何かあればいいと思う。	1
数年前に転居のため浅口へきたが、子育てガイドブックがあることを知らなかった。「シルバーママサポート」事業も全く知らなかった。	1
愛育委員さんの必要性がわからない。もっと相談しやすい窓口があったほうがよいのでは。	1
市のホームページが見にくい。子育てに関する情報等を拾いにくい。	1
母子家庭ではないが主人は都内勤務で現在我が家に大人は私しかおらず、親戚や、子どもを気軽に預けられる知人もいない。もし、私が体調を壊したときなど、何かそういった人向けのサービスはあるのか知りたい。	1
浅口市は教育にとっても力を入れてくれていると思う。	1
子育てや教育支援の充実、小・中学校の30人学級の実現（それに伴い、教員、支援員等の加配）	1
「浅口スポーツあそびところ」について、以前問合せをした際、対応が悪かった。ボランティアで運営しているとはいえ、市として募集をかけているのであれば、対応についてもう少し考えるべき所があると思う。	1
事務的、流れ作業の不定期な連絡など、あまり良い感じではない。子ども手当も金額が変動しすぎ。小さい頃より大きくなる時にお金はかかるのに金額が下がった。	1
地域のイベントが6年生（小学生）までが多いので、中高生向けのイベントも考えて欲しい。	1

◆小学校について

放課後児童クラブ（学童）について	回答数
長期休暇のみの利用も出来るようにして欲しい。一人親で仕事を辞められないので、せめて夏休みだけでも学童で預って欲しかったが、定員がいっぱいということで断られた。	24
学童保育を充実して欲しい。小学校ごとに学童保育のサービス内容が違うので、統一して欲しい。	15
開所時間が8時半で困っている。開所時間を早めて欲しい。（平日、夏休み等の長期休暇）	11
6年生（高学年）まで入れるようにして欲しい。学年が大きくても1日中1人で家で留守番させるのは心配。長期休暇期間だけでも放課後児童クラブの利用年齢を6年生までにしてほしい。	9
利用したいが定員がいっぱいで利用できない。定員を増やして欲しい。	8
学童保育の利用時間を延ばして欲しい。	8
年度途中からの登録を可能にして欲しい。放課後児童クラブの登録をいつでも出来るようにして欲しい。	5
学童の先生の数を増やして欲しい。有資格者や看護師さんの配置も必要だと思う。	5
料金を見直して欲しい。（利用料金・延長料金・兄弟割・その都度払い等）	5
学童保育の先生は感じが悪い（レベルが低い）。もう少し勉強されている方が望ましい。先生の指導を市でお願いしたい。学童の先生が仕事中に携帯ばかり触るのはどうかと思う。	3
土曜日でも利用したい。	3
今後小学6年生まで利用できるという事になると今のままの設備では手狭。高学年になると入所できないのではないかと不安がある。学童保育数増加にともなう職員の仕事量増加で十分な保育ができていくか心配。	3
金小の学童の増員できる環境づくりをお願いしたい。金小の学童保育は定員がいっぱいなので来年も入れるか心配。	3
下に兄弟姉妹がいる場合は、4～6年も入所できるようにして欲しい。	2
学童を利用しながら習い事をさせるのは難しい。	1
環境が良くない（勉強できない、騒がしい等）とうわさに聞くことがある。	1
夏休みだけでも他の小学校の学童の定員が空いているのであれば、そちらに預けられる様にして欲しい。	1
小学校中・高学年までは放課後安全に過ごせる場所を提供して欲しい。	1
学童の支援員に、子どもともっと関わられるよう、フルタイムからパートに変えるか、仕事を辞めたらいいのではないかと、言われたことがある。平日、時間が少ない中でも子どもと接するよう頑張っているのに、このようなことをいわれ悲しくなった。	1

◆小学校について

放課後児童クラブ（学童）について	回答数
のびっ子の希望者が多いので入所ができるか不安。のびっ子の時間を増やしてほしい。	1
通年募集で不定期に預けたりできるようにして頂けるとありがたい。	1
学童での他の子どもの言葉づかいや子ども同士の接し方が気になる。	1
収入を得るために、仕事へ出ると子どもだけの食事になることが多いため、教育費等をもう少し考えてほしい。	1
学童保育以外でも、延長があればいいなと思う。	1
「学童は6年生までになる」といいながらも、なかなかならなかった。	1
今後も放課後児童クラブを利用したい。	1
共働きの場合、送迎が難しく親に頼むことが多い。	1
いろいろな働き方事情があると思うが学童等18時で充分だと思う。	1
放課後児童クラブの案内を保育園や幼稚園でも案内してもらいたい。	1
入学時に学童の説明がなく、利用できなかった。情報を公にして欲しい。	1
就労していなくても利用できるようにして欲しい。	1
警報が発令された場合に子どもをみてもらえないので困る。	1

学校設備について	回答数
小学校の各教室にエアコンを付けてあげて欲しい。	7
中学校にクーラーをつけて欲しい。	1

登下校について	回答数
登下校時にボランティアの方が見守ってくれているのがありがたい。	2
下校時の地域の方の見守りがあると安心。	1
最近は車で学校に迎えに来る親がすごく多くなったと思う。学校は見てみぬふりをするのではなく注意したらと思う。	1
子どもが低学年の間は、母又は父親が見送り、出迎えをしてやれる環境が欲しい。	1
学校の登校班は学校で決めて欲しい。	1
スクールバスを用意して欲しい。	1
登校時、地区ごとに並んで歩いて行っているが、1年～6年まで一緒の班で行くと、1年生と6年生では歩幅も違うし、班長が男の子の場合走ったりし1年生ではついて行けない事が多く、学校に行きたくなかったり歩いて行けなくなるケースも有ると思う。地区ごとに並んで行く必要はあるのか。	1

◆小学校について

授業や学校行事について	回答数
土曜日でも月2回～毎週くらいで授業をして欲しい。土曜日でも学校があって欲しい。学年が上がるにつれ、土曜に学校があってもよいのでは。	7
夏休みにあった「ホリデーわくわく in 金光公民館」が良かったので、継続して欲しい。	7
放課後学習を続けて欲しい。放課後学習ありがたい。	5
参観日が多すぎる。参観日が多すぎて休みが非常に取りづらく困る。学年参観の目的がわからない。参観日は月末以外にして欲しい。	3
英語教育を充実させて欲しい。（外国の先生とふれあう時間が少なすぎる）小学校の英語の時間が減ったことが残念。	3
学校の懇談会に親の出席が少ない。子どもの帰宅時間と重なる為だと思うが、意見交換の場になると思うので、もう少しよい方法があればよいと思う。	2
最近では親のかわりに祖父母がよく学校行事や地域の行事に出てくることが多くなったことについて子どもの間ではそれを嫌がりよく文句を言うこともある。出過ぎたことをしているのではないかと思う。	1
子育てに関する著名人の講演会をして欲しい。（尾木ママ、明橋大二先生等）	1
学校行事などでも保護者の方がほぼ全員参加するなど、なかなかない地域だと思う。	1
土曜日に行事があるって振替休みを月曜日にする事は本当に必要なのか。休みが多すぎる。	1
子ども達の学力向上の為、学力サポートを充実して欲しい。	1
さつきっ子教室や、夏休みの講座などもとても楽しみに参加させてもらっている。	1
学芸会など出来れば土・日曜日にして欲しい。	1
長期休み中でも、勉強以外の登校日があれば良いと思う。	1
イベントなど小学生同士の交流の場が欲しい。	1
参観日に下の子どもを預かってくれる部屋を作って欲しい。	1
個人情報の関係で名簿がなくなったが、許可が取れた人だけでも作ってもらえると、連絡を取って遊ぶことができる。	1
学級崩壊、授業中、騒ぐ子が多くて勉強が出来ない等困っている児童がたくさんいる。	1
「浅口学力向上N01プロジェクト」を掲げ、市をあげての取り組みを始めたばかりのところ、個別の事情（障害等）を抱えた子ども達も教育的支援を受けてその子の伸び幅になれば子どもの幸せにつながると思う。	1
子供達の学力向上の為、学力サポートを充実して欲しい。	1
学習面だけでなく子ども達の学校区でのサポートの為に、先生を増やすか、せめて40人学級をなくして欲しい。	1

◆小学校について

授業や学校行事について	回答数
学力向上プロジェクトについて、2年生の場合、迎えがいたので、迎えが困難であると参加できない為、格差が生じていると思う。	1
岡山県の学力は全国の下の方から数えたほうが早い。県が何かやってくれるのを待っていては遅いと思うので、是非小さな市から何かを変えて欲しい。	1
浅口市は教育にとっても力を入れていると思う。	1

町内会・子ども会について	回答数
町内会で子どもの人数が少ないと親も少ない。多い地区は自由なのに少ない地区は強制的にたくさんの仕事や役が常にあること。子どもも強制的に参加しなくては行けない。行かないと、いじめられそうな気がする（親も子も）。不公平だと思う。	1
子どもの数が年々少なくなっているため、地域別に学校子ども会などで、役員にあたってしなくては行けない時、年々負担が多くなっている。地区など協力の要請をしてみても？とアドバイスをもらうが、年配の方が多く、自分達の事が精一杯の状況でなかなか色々な事が難しくなっていると感じる。近所や地域のかかわりを積極的にと言うが、トラブルになる事が多く、わずらわしいのが現実。	1
私はアパートに住んでおり、地元の子ども会などによその者だと言ってまつりや行事に参加させてもらえない。子どもは入りたいが地元の人がよそ者だと言ってはいれない部落差別だと思う。	1
住んでいる地域は昔から子ども会がしっかり組織されていて、子どもにとってはいいと思う。PTA や子ども会役員など、先輩のお母さん方に比べれば、若い親たちは個人が中心で、協力して子育てを行うという意識が低いと感じることが多い。	1
子ども会でとても嫌な思いをして、子ども会をやめた。それから、学校での登校班も勝手に決められ、学校へ相談をしに行くと、子供会＝地域の方々の問題と言われ、6年間大変な思いをした。登校班は学校へ行くことなので学校で線をひき、管理して欲しい。	1
町内会行事など地域の活動に積極的に若い人達も参加して欲しい。地域のつながりが広がれば孤立化や虐待なども減るのではないかな。	1
子どもが少なくなり、町民大会の選手を選出するのがとても難しくなっている。	1

◆小学校について

障がい児等について	回答数
発達障害について教員等の理解を深めて欲しい。発達障害について深い知識のある専門の先生を増やして欲しい。	6
発達支援センターあさくちのような場所がもっとたくさんあればいい。発達支援センターあさくちに通っているが2年生以降も利用したい。	2
発達障害のあると思われる子どもがクラスにいて暴力やはさみをふりまわす、机の上を歩く、上ばきが飛びかうなどのことが起こり、学校に行きたくない子が出てきてしまい、親や親せきの方がついて登校しないといけなようなクラスになってしまい困っていると懇談で聞いた。授業も遅れてきているので、暴力をふるう子はクラスを分けてもらえたらと思う。発達障害のある子どもたちも、みんなと同じことを要求されて怒られてばかりで同じようにするのは大変だし、子どものときからの療育が大人になってからの適応レベルがずいぶん上がると聞いたのでそういう子どもたちの受け皿を作って欲しい。	1
子どもの発達障害について理解が全く無い保護者がいて困っている。	1
金光中学校に、金光小学校の「ことばの教室」の様な支援学級があればと思う。	1
特別支援学級についての認識がほとんどないと思った。金光吉備は今年やっとその学級ができた。保護者も児童も特別支援の意味を理解している人がどれだけいるか疑問である。心ない言葉をかける児童もいる。	1
発達障害があるので、夏休みなどは6年生まで児童クラブがあって欲しい。	1
発達障害の子どもたちに近隣（笠岡市）のように支援してもらえるとありがたい。	1
障害児、もしくは未熟児の子に対するフォローが遅い。	1
障害児に関するサポートももう少し考えて欲しい。出生当初、相談する場もなくすごく孤独だった。児童福祉年金についても他市町村に比べるとずいぶん額が違うように思う。	1
発達障害のグレーゾーンに対する子どもの支援があまりなされていないように感じる。金光小学校にしか通級（1対1）での教室がないのは不便。	1

給食について	回答数
学校給食がセンターに統一されるのがとても残念。自校給食の方が絶対いい。学校給食をそのままにして欲しい。	4
給食費を無料化して欲しい。	3
給食センターが完成した後、給食費が上がらないことだけを願っている。	1
子どもは大きな鍋やしゃもじなども見たことがないらしいので給食室があるうちに見学させてあげて欲しかった。	1
給食をバイキングにして欲しい。	1

◆小学校について

教職員について	回答数
学力向上 NO.1 プロジェクトを打ち立てる中で先生方に何かあった時でも現場の先生や指導を受ける子ども達にしわ寄せがこない体制づくりをお願いしたい。	1
子どもが行っている小学校の校長先生はいつも子どもの事を一生懸命に考えてくださっていてありがたい。	1
学校は子どもに対する理解がない。家庭への苦情、電話が多く精神的に落ち込む事がある。私の事を悪く言われるのはかまわないが、子どもの人権を否定し傷つけるような事を言わないで欲しい。専門機関に相談に行くよう言われたが、どこへ行けばいいのか。具体的な話しもなく親を不安にさせるだけのその場しのぎの一教師の考えなら言葉を慎むべきだ。教師は何の専門なのか？と疑問に思う。教育現場の改善を強く望む。子どもをひきつけるような授業、期待している。	1
教師はもっと生徒の事を考えてほしい。勉強だけが学校ではないのだから友達と過ごす大切さ、楽しさ等も伝えるべきだと思う。親の目が届かない分、もっと配慮があってもいいのでは。	1
学校での子どもの様子を悪いことも良いことも隠さず教えて欲しい。	1
小学校に入ると相談先が学校の先生になるが、意見の食い違い等により親同士で目のかたきにされたりふれあいがない。	1
学校の先生の生徒との接し方、言葉づかいなどの問題を解決して欲しい。	1

生徒数について	回答数
学校の生徒人数が少ない。児童数の減少が困る。子どもが増える為に何か考えて欲しい。近所に友達がいない。下校時に一人になってしまうのが心配。学年によって下校時間の差もあり親が毎日途中まで迎えに行っている状況なので学区など見直す必要があるのでは。	10
竹小は人数が少ないので小学校の合併を希望されている方が多い。	1

その他	回答数
ランドセルを自由に選びたい。	1
昔は同じ金光町で親がいなくても平気で遊んでいた。今の親が心配性&過保護なのは。	1
最近話題のネットいじめなどの対策もお願いしたい。	1
2年3組では学級崩壊があり、暴力、いじめなどがある。一度学校のほうへ見に来て欲しい。	1
家庭での教育がもう少し出来ていれば挨拶する子どもも増えてくると思う。悪いこと、良いことをもう少ししっかり教えてあげたいと思う。	1
学校が楽しく、明るい所であってほしい。	1

◆その他

	回答数
もっといい環境にしてもらいたい。	1
親と同居しているので今まで病気の子を育てながら共働きで大変だったが、みんなで協力して乗り越えてくる事が出来た。子どもを育てるのには苦労はつきものだから成長していく楽しさや喜びもひとしおのように思う。まず自分が出来る事を精一杯やった上で出来ない事に援助を求めるべきだと思う。親が嫌いだから同居しないとか頼まないとか聞くこともあり少々淋しい気持ちになる。わがままに振り回されるのもどうか。	1
祖父が病気で入院、家の中が暗く子どもが心配している。祖母と私（親子）が子どもの前でささいな事で言い合いも時々ある。そんな時、子どもが泣きながら「やめて」と止める。子どもの前で言い合いをしてはダメと分かっているが…子どもが情緒不安定になるので大人の顔色を見るのが心配。引っ越しも考えたいが転校をせざるおえないのが子どもにとって良いのか考えてしまう。でも、家庭環境は良くない。子どものために何を今して動けば良いのかわからない。子どもが泣くのは辛い。	1
月に何度か預かってもらえると助かるので一時預りをもう少し充実させてほしい。	1
学校外でのあいさつが全くできていない。	1
5年半前に倉敷より主人の実家のある金光にきたが、さつきこ教室、市内の小学生が参加できるイベント等が沢山あり、引っ越して良かったと思った。	1
高学年なので、以前ほど、深刻に悩まなくなったが、実はもっと考えてやらなければならない年齢なのは、と思う。	1
現在住んでいる地区は年寄りが多い。しかしその家族の若夫婦や孫は全くいないのでこちらの思いは全く通じずいつも“文句”ばかり言ってきて大変いやな思いばかりしている。	1
少子化の中、わが家は4人の子どもがいる。どの子にも平等に力をつけてやり、個性をのばしてやりたいと強く願っているが、習い事や塾にやる金銭面が厳しく夫は本当に働きづめ。3人目、4人目の子どもは他の家を支える子になる訳ですから、手当てを厚くしてもらえたり、申請したら、学費や習い事の支援をしてもらえたら有難い。	1
近くに高校、中学があるが特に中学生の自転車の乗り方が悪く事故も多い。もう少し中学校でマナーについて教える様指導してほしい。六条地区学区だけじゃなく鴨東、鴨西ももっと力をいれて欲しい。	1
見極める力を身に付けて欲しい。真実が見えていない時がある。	1
経済的に生活が出来なければ仕方がないが、許す限り親が子どもの面倒を見るのが一番だと思う。産まれてから幼児の時は特に、母親が必要だと思う。一番愛らしい頃でもあるので、その時の子どもを見ることが出来ないのは実に残念だ。	1
バスが利用出来なくなりとても不便。	1

◆その他

	回答数
例えば学校の支援員は一度採用されたら、ずっといるが中には何もせずにただ授業中つつ立っているだけの人もいる。問題がある人もけっこういるのでは？しっかり子育てをされている友人も採用試験にのぞんだ人もいますが、不合格だった。どのような基準で採用されるのか疑問。保育士の資格があっても一度も保育所で教えた事のない人もいるので、結局教育委員会の意向が強く働くのでは。	1
子育てを通じて大人も成長していきたい。	1
両親共にフルタイムで仕事をしているとPTA役員、地域の役員、仕事先での研修、出張等で時間におわれる生活になる。もう少し余裕をもった生活がしたい。	1
西松屋、バースデーなど子ども服を安く買える場所が近くに欲しい。	1
夫の理解、協力が、どこまで得ることができるか。	1
子育ては、子どもが小さい時期が大切だと思う。私には、子どもが2〜3才の時に心の余裕がなく、子どもを自分の感情で育てしまい、ものすごく、子どもに申し訳ない育て方をしてしまった。言うことを聞くということを、軽く思っていたが、とても大切なこと。“はい”と心から返事が出来る子が、クラスに何人いるか。私は子どもの未来のための子育てをしてあげることが出来なかったことを後悔している。道徳心はとても大切だと思う。小さな子どものいるお母さんたちに道徳を教えてあげて欲しい。子育てに必要なのは“心のゆとり”だと思う。	1
今後、4人の子どもの話を1人1人に目を向けて聞いてあげることが出来るか心配。	1
男の子なので自分と違い理解しにくいいため主人が単身赴任なのでとても不安。	1
6年生の子育ては難しい。友達との遊び方、友人関係、言葉使いが以前に比べて全く違ってきて接するのがとても難しい。中学になるともっと大変だと聞く、心配。	1
子育ては、本当に大変。特に何才までが大変だと言うことでなく、幼稚園、小学校、中学校と状況に変更変化がある。親も心が揺れるが仕事をする上で、全て自分で出来ないことを知ることと、他の利用出来る情報があることを知ること助かることも多いと思う。でも母親は自分が子どもの病気の時は、そばにいたいのが本心。	1
子どもの性格、個性があるので、他からアドバイスをもらってもなかなか自分が良いと思える子育てが出来ないが、子育ての環境や、市からの子育て支援、情報、学校での勉強や先生方の指導等、現状で満足している。	1
子育て等について子どもとの関わり方が皆同じではなく、正しいのか正しく無いかは分からないが、子どもが日々笑っておいしくご飯が食べられて、健康であれば良い。	1
浅口市は合併してから大変不便になった事が多々ある。寄島町の時の方が、住みやすく、全てにおいて充実していた。小中学生の時期は町内で、徒歩の為、何も困ることはなかったが、高校生になり、町外へ通う時に駅までの交通手段が困っている。	1